



LEVANCIO-S

レバンシオ-S

取扱説明書

第4版

安全にお使いいただくために必ずお読みください




この取扱説明書には、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。

その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

本書をよくお読みになったあとは、いつでも見られる場所に保管してください。

本書を紛失または損傷したときは、お買い求めの販売店でお買い求めください。

本書中のマーク説明

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
 お願い	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかつたり、機能停止を招く内容を示しています。



長年にわたってご使用いただく場合、経年劣化による発火・けがなどの事故に至るおそれがありますので、定期的な点検をおすすめいたします。

- 標準使用期間として10年が目安になります。
- 標準使用期間は、弊社が自主的に設定した条件にて算出した、製造した年から安全上支障なく使用できる標準的な期間です。
標準使用期間は、設計上の目安であり、設置状況・環境、使用頻度によっては、より短い期間で経年劣化による発火・けがなどの事故に至るおそれがありますので、定期的な点検をおすすめします。
- 標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。また、一般的な故障を保証するものではありません。
- 機器の製造年月の表示は、例えば2010年12月製造の場合、以下に示す例1～例6があります。

【例1】 製造年月 2010.12 【例2】 LOT 2010.12
【例3】 2010.12 【例4】 LOT 10.12
【例5】 10.12 【例6】 LOT 10. L (Lの読替えは下表参照)

略記号	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
製造月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12

注意

この装置は、クラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。


(VCCI-A)

本商品のご使用にあたって、NTTのレンタル電話機がご不要となった場合は、NTT（局番なしの116番）にご連絡いただければ、「機器使用料金」は、不要となります。


- この電話機システムは日本国内用に設計されておりますので、海外ではご利用できません。
This telephone system is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.
- 本商品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電等の外部要因によって、通話、録音、通話料金管理、FAX通信、データ通信、その他のサービスの利用ができなかったために生じた損害等の純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本商品の設置および修理には、工事担任者資格を必要とします。無資格者の工事は違法となり、また事故のもととなりますので絶対におやめください。
- 本商品を分解したり改造したりすることは、絶対に行わないでください。
- 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、お買い求めの販売店等へお申しつけください。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

警告


- 万一、煙が出ている、へんな臭いがするなどの異常状態のまま使用を続けると、火災・感電・故障の原因となります。すぐに主装置の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、バッテリーの配線をショートさせないように接続端子からはずしてください。電話機などの端末機器は、(電源スイッチのあるものは切り、電源プラグをコンセントから抜き) モジュラケーブルをはずすか、接続ケーブルを接続端子からはずしてください。その上で煙がでなくなるのを確認して、お買い求めの販売店に修理をご依頼ください。お客さまによる修理は危険ですから絶対におやめください。
- 万一、主装置が倒れて破損した場合は、主装置の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。電話機などの端末機器を落として破損した場合は、(電源スイッチのあるものは切り、電源プラグをコンセントから抜き) モジュラケーブルをはずすか、配線を接続端子からはずして、お買い求めの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- 主装置から異常音がしたり、主装置キャビネットが熱くなっている状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに主装置の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い求めの販売店に点検をご依頼ください。
- 主装置や電話機などをぬれた手でさわったり、水をかけないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。
- 主装置や、電話機などの端末機器の通風口などの開口部から装置内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電・故障の原因となります。万一、主装置や電話機などの端末機器に異物が入った場合は、装置の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、モジュラケーブルをはずすか、配線を接続端子からはずして、お買い求めの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- 万一、主装置内部に水などの液体が入った場合は、すぐに主装置の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い求めの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- 主装置や電話機などを分解・改造したりしないでください。火災・感電の原因となります。内部の点検・調整・清掃・修理はお買い求めの販売店にご依頼ください(分解、改造された主装置や電話機などは修理に応じられない場合があります)。
- 主装置や電話機などのそばに花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬用品や水の入った容器、または小さな金属類を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。
- ふろ場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは使用しないでください。火災・感電の原因となります。

警告

- AC100Vの商用電源以外では、絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となります。
- 主装置からの電源コードおよび電話機などの配線を傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重い物を乗せたり、加熱したりすると電源コードおよび電話機までの配線が破損し、火災・感電の原因となります。電源コードおよび電話機などの配線が傷んだら、お買い求めの販売店に修理をご依頼ください。
- めれた手で電源プラグや電話機などのモジュラケーブルを抜き差ししないでください。感電の原因となります。
- テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを使用した、タコ足配線はしないでください。火災・感電の原因となります。
- お客さまによる主装置の工事・修理などは危険ですから絶対におやめください。主装置の工事・修理などを行うときは、お買い求めの販売店にご依頼ください。
- 主装置の電源コードが傷んだ（芯線の露出、断線など）状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに主装置の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い求めの販売店に点検をご依頼ください。
- 動いている機械の近くでヘッドセットを使用している場合は、コード類の機械への巻き込みに十分注意してください。大怪我の原因となります。
- 故障したまま使用しないでください。火災・感電の原因となります。すぐに電源スイッチを切り、差し込みプラグを抜いて、お買い求めの販売店にご連絡ください。
- 電源プラグの刃に金属などが触れると火災・感電の原因となります。
- 主装置や電話機などはぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。また、主装置や電話機などの上に重いものを乗せないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。
- 万一、電話機などの内部に水などの液体が入った場合は、すぐに電話機などを電話機コードから抜いて、お買い求めの販売店にご連絡ください。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

⚠ 注意

- 主装置は直射日光の当たるところや、暖房設備・ボイラーなどのため著しく温度が上昇するところに置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。
- 主装置や電話機などを調理台のそばなど油飛びや湯気が当たるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 電話機などを壁掛用に取り付ける場合は、電話機などの重みにより落下しないよう堅固に取り付け、設置してください。落下してけがの原因となることがあります。
- 電話機底面には、ゴム製のすべり止めを使用していますので、ゴムとの接触面が、まれに変色するおそれがあります。
- 電源プラグをコンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
- 近くに雷が発生したときは、すぐに主装置の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてご使用を控えてください。雷によっては、火災・感電の原因となることがあります。
- 主装置や電源コードを熱器具に近づけないでください。主装置キャビネットや電源コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- 主装置の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと主装置の内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。次のような使い方はしないでください。
 - ・主装置を仰向けや横倒し、逆さまにする。
 - ・主装置を収納棚や本箱などの風通しの悪い狭いところに押し込む。
 - ・主装置をじゅうたんや布団の上に置く。
 - ・主装置にテーブルクロスなどをかける。
- 長時間ご使用にならないときは、安全のため必ず主装置の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 電話機パネルの取り外しには先のとがったものを利用してください。指や爪で行うとけがをするおそれがあります。
- 主装置を移動させる場合は、電源プラグをコンセントから抜き、配線など外部の接続線ははずしたことを確認のうえ行ってください。また、電話機などの端末機器を移動させる場合は、電源コードのあるものは電源プラグをコンセントから抜き、モジュラケーブルや配線などを接続端子からはずしたことを確認のうえ行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
- 本機から送話をするときは、受話器を上げ、発信操作後に耳を近づけてください。
- 電話機などをお手入れされる場合は、安全のためモジュラケーブルを抜いてから行ってください。呼出音で衝撃を受けることがあります。
- 電話機などに水滴が付いた場合は、乾いた布で拭き取ってください。
- 電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。
- 振動・衝撃の多い場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。
- 受話音量増幅スイッチを「NH」に切り換えている場合は、標準ハンドセットは絶対に使用しないでください。受話器から過大音量が発生して耳に衝撃を受ける場合があります。

お願い

●主装置や電話機などをぬれた雑巾、ベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。主装置や電話機などの変色や変形の原因となることがあります。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れをふき取り、やわらかい布でからぶきしてください。



●電話機などを落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。

●電話機コードを引っ張らないでください。故障の原因となることがあります。

●停電中に主装置の電源スイッチを切らないでください。停電復旧時に使用できなくなります。

●停電のときは、停電用電話機を使用してください。

- ・他の内線電話機は使えません。
- ・ドアホンは使えません。

●故障の原因となりますので、次のような場所への設置は避けてください。

- ・製氷倉庫など特に温度が下がる場所。
- ・塵・ほこり・鉄粉・有害ガスなどが発生する場所。

●電気製品・AV機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところに置かないでください（電子レンジ、スピーカ、テレビ、ラジオ、蛍光灯、インバータエアコン、電磁調理器など）。

- ・磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通話ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
- ・テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
- ・放送局や無線局などが近く、雑音が大きいときは、主装置や電話機などの設置場所を移動してみてください。

●硫化水素が発生する場所（温泉地）や、塩分の多いところ（海岸）などでは、主装置や電話機などの寿命が短くなることがあります。

●電話機などは平らな面に置いてお使いください。

個人情報の取り扱いについて

●本商品を廃棄、譲渡、返却される場合は、発信履歴や着信履歴、および個人電話帳などの重要な個人情報が盗まれることのないよう、必ず個人情報を削除してください。

目次

安全にお使いいただくために必ずお読みください

1. はじめに

本システムの構成機器と取扱説明書について	1-2
本取扱説明書の読み方	1-4
マーク／表記について	1-5

2. お使いいただく前に

多機能電話機	2-2
各部の名称とはたらき	2-2
電話機の角度を調整する	2-7
キーシートをセットする	2-8
システム電話機の確認方法／電話機番号確認	2-9
「メニュー」ボタンの操作方法／操作一覧	2-10
「機能」ボタンの使い方	2-12
フレキシブルボタンについて	2-13
割り当て内容の確認方法	2-13
割り当て可能な機能一覧	2-14
はじめに割り当てられている機能について	2-17

3. 多機能電話機 基本設定編

時刻を設定する	3-2
時刻調整	3-2
音の調整	3-3
キータッチトーン	3-3
電話機ごとに着信音を設定する	3-3
音量調整をする	3-5
多機能電話機の音について	3-9
保留音	3-12
外部保留音（オプション）	3-13
BGM	3-13
電話帳を登録する	3-14
新規に登録する	3-15
発信履歴から登録する	3-22
着信履歴から登録する	3-23
登録内容を編集する	3-24
登録内容を削除する	3-26
電話帳グループの名称を編集する	3-28
文字の入力方法	3-30
入力モードを切り替える	3-30
文字を入力する	3-31

液晶表示部の説明	3-35
カレンダー／時刻表示	3-35
ダイヤルモニタ	3-35
内線相手番号表示	3-35
通話時間／料金表示	3-36
不在メッセージ表示	3-37
LCD表示切り替え	3-38
画面コントラストを調整する	3-39
ヘルプ表示	3-40

4. 多機能電話機 基本操作編

外線へかける	4-2
受話器を上げてかける〈オフフックダイヤル〉.....	4-2
受話器を置いたままかけるとき〈オンフックダイヤル〉.....	4-3
ダイヤル途中で電話番号を間違えたとき〈ロングフラッシュ〉.....	4-4
最後に電話した相手に再びかけ直すとき〈ラストナンバーリダイヤル〉.....	4-5
電話番号をディスプレイで確認してから電話をかける〈プリセットダイヤル〉.....	4-6
短縮ダイヤルを利用する	4-7
応答しない相手に何度もかけ直すとき〈オートリピートダイヤル〉.....	4-9
電話帳に登録した電話番号にかける	4-11
発信履歴／着信履歴からかける	4-20
発信履歴を操作する	4-22
着信履歴を操作する	4-25
外線を受ける	4-31
内線へかける	4-32
受話器を上げてかける〈オフフックダイヤル〉.....	4-32
受話器を置いたままかけるとき〈オンフックダイヤル〉.....	4-33
電話番号をディスプレイで確認してから電話をかける〈プリセットダイヤル〉.....	4-34
内線呼び出し、呼び出しモード変更（トーン／音声）.....	4-35
ダイヤル途中で電話番号を間違えたとき〈ロングフラッシュ〉.....	4-36
呼び出したい部署の空いている電話機を呼び出すとき〈内線代表呼び出し〉.....	4-37
呼び出した相手の応答がなく、続けて別の内線を呼び出すとき〈クリアコール／シフトコール〉.....	4-38
内線を受ける	4-40
受話器を取り上げて受ける〈内線自動応答〉.....	4-40
受話器を上げずに受ける〈内線ハンズフリー通話〉.....	4-40
音声呼び出しに受話器をとらずに答える〈内線ハンズフリー応答〉.....	4-41
保留・転送する	4-42
外線を保留する／再応答する	4-42
内線を保留する／再応答する	4-43
保留した外線を他の人が受けないようにする〈外線自己保留〉.....	4-44
「外線」ボタンを選択せずに自動的に応答する方法〈保留外線自動応答〉.....	4-44
近くのひとに外線を転送する	4-45
特定のひとに外線を転送する〈自動転送／キャンプオン〉.....	4-46
外線の保留状態が続いた場合に保留警報を鳴らす	4-50
内線を転送する〈自動転送／キャンプオン〉.....	4-51

目次

5. 外線転送（転送電話） 機能編

転送電話概要	5-2
自動転送	5-2
自動転送 一斉呼び出し〈3WAYコール〉	5-5
手動転送	5-5
自動転送（一般・着番号毎・発信者番号毎転送）	5-6
電話機から転送先を登録する	5-6
電話機から転送先を確認する	5-12
電話機から転送先ボックスを割り付ける	5-15
電話機から転送先ボックスを解除する	5-18
電話機から転送移行時間を登録する	5-21
電話機から転送先を取り消す	5-24
電話機から転送電話をオン／オフする	5-30
外出先から転送電話をオン／オフする	5-32
外出先から転送ボックスを割り付ける	5-34
不在転送先を外線に転送する〈不在転送-ルート方式〉	5-36
「メニュー」ボタン操作で転送先を登録／取り消す	5-36
転送先を登録する	5-39
不在転送をオン／オフする	5-41
転送先を一括して取り消す	5-41
転送先をルートごとに取り消す	5-42
不在転送先を外線に転送する〈不在転送-単一方式〉	5-43
転送先を登録する	5-43
不在転送をオン／オフする	5-44
転送先を取り消す	5-44
固定不在転送	5-45
転送電話アナウンス	5-45
手動転送	5-46
外線への手動転送〈外線間会議 接続キー〉	5-46

6. ボイスメール機能編

多機能電話機における設定例	6-2
表示一覧	6-3
「メニュー」ボタン操作で留守番電話の設定をする	6-4
留守録応答メッセージを選択する	6-6
留守録モニタ開始方法を選択する	6-8
留守録自動発報先ダイヤルを設定する	6-9
留守録自動発報タイミングを設定する	6-10
発報時刻を設定する	6-11
メッセージ自動消去動作を設定する	6-13
自動消去対象条件を設定する	6-14
録音お知らせメールの動作モードを設定する	6-16
録音お知らせメールの宛先Eメールアドレスを設定する	6-18
録音お知らせメール送信先を選択する	6-20
留守番スケジュールのスケジュールを登録する	6-22

留守番スケジュールのスケジュール特定日を設定する	6-31
留守番スケジュールのスケジュール即時適用範囲を指定する	6-37
再生パスワード（暗証番号）を変更する	6-38
設定パスワード（暗証番号）を変更する	6-40
同報ボックスを変更する	6-42
留守番電話	6-44
グループ留守番録音を開始／終了する	6-44
個別留守番録音（電話機ごと）を開始／終了する	6-46
ボイスメールにスライド着信する	6-50
留守録中に相手の声をモニタする〈留守録モニタ〉	6-51
伝言が録音されたら自動的に知らせる〈呼び出し〉	6-52
録音内容再生	6-53
録音された内容を再生する	6-53
録音された内容を消去する	6-55
録音された内容を保存する	6-56
録音された伝言を転送する〈振り分け〉	6-57
再生時の暗証番号について〈再生パスワード〉	6-57
応答メッセージ	6-58
応答メッセージを録音する	6-59
応答メッセージを再生／消去する	6-61
応答メッセージを選択する	6-63
外部（外出先）から録音内容再生／録音する〈リモート〉	6-64
録音された内容を外出先から再生する	6-64
録音された内容を外出先から再生する〈取次再生〉	6-66
外出先から留守番電話をオン／オフする	6-67
外出先から伝言を録音する〈リモート伝言録音〉	6-69
通話録音	6-70
お話しを手動で録音する	6-70
お話しを自動で録音する	6-72
録音した通話の保存先を変更する	6-74
通話録音を中止する	6-74
通話録音の再生	6-75
通話録音された内容を再生する	6-75
通話録音された内容を消去する	6-77
通話録音された内容を保存する	6-78
通話録音された内容を転送する〈振り分け〉	6-78
再生時の暗証番号について〈再生パスワード〉	6-79
伝言録音機能	6-80
メッセージを指定ボックス／同報ボックスに録音する〈伝言録音／同報録音〉	6-80
録音お知らせメール	6-82
録音お知らせメールを送信する	6-82
録音お知らせメールを受信する	6-83

目次

7. 多機能電話機 応用操作／応用機能編

外線発信関連	7-2
簡単に発信操作をする〈クイックオペレーション〉	7-2
外線グループ発信	7-3
ダイヤル回線でプッシュ信号を送る〈ダイヤルリバース〉	7-4
受話器を上げるだけで外線を捕捉する〈空外線自動捕捉〉	7-5
指定時間後に外線を予約する〈タイムドトランクキューイング〉	7-6
使用中の外線が空きになったことをお知らせする〈トランクキューイング〉	7-8
受話器を持たないでお話する〈外線ハンズフリー通話〉	7-11
外線自動発信	7-13
内線発信関連	7-14
受話器を上げるだけで内線を捕捉する〈内線自動捕捉〉	7-14
受話器を上げるだけで特定の内線電話機を呼び出す〈内線ホットライン〉	7-14
呼び出したい部署の電話機を一斉に呼び出す〈グループ呼び出し〉	7-15
すべての電話機を一斉に呼び出す〈一斉呼び出し〉	7-16
内線をワンタッチで呼び出す〈DSS〉	7-18
応答しない内線電話機を強制的に呼び出すとき〈オーバーライド〉	7-19
呼び出した相手が話中のときお話しが終了したことを知らせる〈コールバック〉	7-20
着信関連	7-22
通話中に着信があつたとき〈話中着信〉	7-22
受話器を上げるだけで自動的に外線に応答する〈外線着信自動応答〉	7-23
着信している電話機を他の電話機で応答する〈着信代理応答〉	7-24
秘書応答	7-25
外線着信グループ応答	7-27
保留・転送関連	7-28
外線・内線を特定ボタンに保留する／再応答する〈個別パーク保留〉〈グループパーク保留〉	7-28
通話中の内線を他の電話機に強制的に転送する〈自動転送／内線キャンプオン〉	7-33
離席のときにかかってきた電話を内線に転送する〈不在転送-ルート方式〉	7-35
離席のときにかかってきた電話を内線に転送する〈不在転送-単一方式〉	7-41
保留した外線を特定内線に自動転送する	7-45
会議関連	7-46
外線会議通話	7-46
複数外線会議通話	7-48
外線間会議通話	7-50
内線会議通話	7-51
その他システム機能関連	7-53
電話にでられないときに着信を拒否する〈ドント・ディスターブ〉	7-53
他の電話機の通話内容を聞く〈通話モニタ〉	7-54
他のお話しに割り込む〈バージ・イン〉	7-55
今かけている相手の電話番号を登録させる〈セーブナンバリダイヤル〉	7-56
外線通話中に別の電話番号を記録する〈メモダイヤル〉	7-58
受話器を上げる前に外線または内線を予約する〈プリセクション〉	7-60
電話機パスワード	7-61
モーニングコール	7-63
タイムコール	7-65
応答できない相手に連絡がほしい事を伝える〈メッセージウェイト〉	7-67
電話に出られないときに不在理由を表示する〈不在メッセージ〉	7-70

秘話／秘話解除	7-73
ハウラ音送出	7-74
特定の相手先からの不応答記録から折り返し電話をかける<システム不応答履歴>	7-74

8. 回線機能編

LEVANCIO-Sでご利用になれる回線	8-2
ISDN回線	8-3
基本サービス	8-3
付加サービス	8-4
着信転送	8-5
通話中転送	8-6
三者通話	8-7
INSボイスワープ	8-8
ナンバー・ディスプレイ（付加サービス）	8-11
i・ナンバー	8-12
NTTダイヤルイン	8-13
迷惑おことわりサービス	8-18
迷惑電話の登録方法	8-18
迷惑電話の取り消し方法	8-19
迷惑電話おことわりサービスの効果を確認する	8-21
ダイレクトインワードシステムアクセス〈DISA〉	8-22
外出先からの内線個別呼び出し方法	8-22
外出先からの内線電話機の一斉呼び出し、グループ呼び出し、ページング呼び出し方法	8-22
システムを介した外線発信またはグループ外線発信方法	8-23
ACR発信方法	8-24
自動おまたせメッセージ	8-25
着信に応答できないときにメッセージを送ってお待ちいただく<自動おまたせメッセージ>	8-25
擬似話中返し	8-26
擬似話中の登録方法	8-26
擬似話中の解除方法	8-27
ダイヤルイン回線擬似話中	8-28
ダイヤルイン回線の擬似話中登録方法	8-28
ダイヤルイン回線擬似話中の解除	8-28
迷惑電話防止	8-29
非通知の着信にメッセージまたは話中音で応答する	8-29
登録された相手に着信拒否のメッセージまたは話中音で応答する	8-30
話中の相手にきっかけ音を聞かせる	8-36
オフフックトランクキューイング	8-37
プライムステーション	8-37
外線着信鳴音指定／外線代表着信／スライド着信	8-38
外線着信方式	8-39
着信鳴音優先順位	8-39
簡易着信呼均等分配〈簡易ACD〉	8-40
夜間切り替え／分散切り替え	8-41
夜間切り替え方法	8-41
分散切り替え方法	8-42

目次

音声案内	8-43
固定メッセージの再生	8-44
可変メッセージの録音	8-45
可変メッセージの再生	8-46
可変メッセージの消去	8-48
案内サービス	8-49

9. IP 関連機能編

IP機器について (オプション)	9-2
ご利用いただく前に	9-2
VoIP機能 (オプション)	9-3
IP電話サービス	9-3
IWATSU-NET	9-3
インターネット電話帳	9-3
システム情報を確認する	9-4

10. 単独電話機 基本操作編

機能特番の使い方	10-2
機能特番をダイヤルするとき	10-2
外線へ電話をかける	10-3
受話器を上げてかける	10-3
外線を指定して電話をかける〈外線発信／グループ外線発信〉	10-3
短縮ダイヤルでかける〈短縮ダイヤル発信〉	10-4
最後にかけた相手に再びかけ直す〈ラストナンバーリダイヤル〉	10-4
内線へかける	10-5
受話器を上げてかける〈空内線自動捕捉〉	10-5
内線呼び出し音を切替える〈音声呼び出し／トーン呼び出し〉	10-6
呼び出したい部署の空いている電話機を呼び出す	10-6
一斉呼び出し／グループ呼び出し／外部スピーカ呼び出し	10-7
内線ホットライン	10-8
相手が通話中か応答がなく続けて別の内線を呼び出す〈クリアコール／シフトコール〉	10-9
応答しない相手に、折り返し連絡がほしい旨のメッセージを伝える〈メッセージウエイト〉	10-9
呼び出した相手の応答がない場合に強制的に呼び出す〈オーバーライド〉	10-10
外線を受ける	10-11
外線からの電話を受けるとき〈外線着信自動応答〉	10-11
内線を受ける	10-12
受話器を上げて受ける〈内線自動応答〉	10-12
離席の人への内線呼び出しに自席で応答する〈着信代理応答〉	10-12
呼び出した相手がお話中の場合、お話しの終了を知らせる〈内線コールバック (発信)〉	10-13
外部スピーカの呼び出しに応答する〈ミーティング・ミー応答〉	10-13
保留・転送する	10-14
外線を保留する (他の人がとれないようにする)〈外線保留／応答〉	10-14
内線を保留する〈内線保留／応答〉	10-15
外線を特定の人に転送する〈外線自動転送／外線キャンプオン〉	10-16
内線を転送する	10-16

外線への手動転送〈外線間会議通話〉	10-17
パーク保留	10-18
登録・設定など	10-19
短縮ダイヤルの登録・変更〈短縮ダイヤル登録〉	10-19
不在転送先を設定する-単一方式〈不在転送／話中転送／未応答転送〉	10-20
不在転送先を設定する-ルート方式〈不在転送／話中転送／未応答転送〉	10-22
電話に出られないときに着信を拒否する〈ドント・ディスターブ (DND)〉	10-24
呼び出した相手がお話し中の場合、お話しの終了を知らせる〈内線コールバック (登録・解除)〉	10-25
応答しない内線相手に、折り返し連絡がほしい旨のメッセージを伝える〈メッセージウェイト〉	10-26
電話機パスワード	10-27
その他	10-28
ドアホンを呼び出してお話しする	10-28
録音再生	10-28
録音消去・保存	10-29
録音内容転送	10-29
伝言録音	10-30
伝言同報	10-30
ボイスワープ	10-31

11. オプション編

ヘッドセット接続 (オプション)	11-2
ヘッドセットコントロールボタンを使って内線へかける	11-2
ヘッドセットコントロールボタンを使って外線へかける	11-3
ヘッドセットコントロールボタンを使って着信に应答する	11-4
ヘッドセットコントロールボタンを使って外線を受ける	11-5
ヘッドセットコントロールボタンによる転送／キャンプオン操作	11-6
ヘッドセットから受話器に切り替える	11-7
受話器からヘッドセットに切り替える	11-7
ドアホン接続 (オプション)	11-8
ドアホンからの呼び出しでお話しする	11-8
ドアホンを呼び出してお話しする	11-10
ドアホン周囲の音をモニタする	11-10
センサーで検知して多機能電話機のスピーカから一斉放送を聞く〈センサー検知一斉放送〉 (オプション)	11-11
外部スイッチを動かす〈リレーコントロール〉 (オプション)	11-12
リレー1がリレーコントロール用に設定されている場合	11-13
リレー2がリレーコントロール用に設定されている場合	11-13
構内放送	11-14
外部スピーカを使用して呼び出す〈ページング呼び出し〉	11-14
外部スピーカの呼び出しに電話機で应答する〈ミーティング・ミー应答〉	11-15
センサーと連動させてセキュリティを強化する (オプション)	11-16
センサー検知連動機能の動作説明	11-17
センサー検知の設定をする	11-20
自動発報用短縮番号を設定する	11-21
検知時送信先を選択する	11-22
お知らせ送信先を選択する	11-23
センサー検知メールおよびお知らせメールの送信先を設定する	11-24

目次

外出監視セット忘れ通知時刻を設定する	11-25
監視用パスワードを設定する	11-26
メール本文内容を設定する	11-27
センサーの検知状態を確認する	11-31
センサー監視状態を確認／登録する	11-31
センサー検知中の威嚇を停止する	11-33
お知らせメールを受信する	11-34
多機能電話機周辺の物音を外出先からモニタする	11-34
外出先から外出監視状態をセットする	11-35
センサー監視に関する履歴情報を閲覧する	11-35
センサー検知メールを受信する	11-36
外出監視セット忘れのお知らせメール	11-37
自動発報	11-37

12. 管理者編

システム障害に関して	12-2
システムのデータ設定に関して	12-2
市外発信クラス切り替え／市外発信規制	12-3
番号計画に関して〈フレキシブルナンバリングプラン〉	12-4
内線グループ分け〈内線テナント〉	12-4
内線通話規制	12-5
外線グループ分け	12-5
外線応答規制	12-6
外線発信規制	12-6
通話料金に関する機能	12-6
予算オーバー発信規制	12-6
通話料金集計表示	12-7
通話料金使用率表示	12-10
停電のとき	12-11
停電専用ユニット（オプション）	12-11
停電バッテリーによる運用	12-11
停電切替えによる運用	12-12
困ったときは	12-13
故障！とお考えになる前に	12-14
アフターサービスについて	12-16

索引

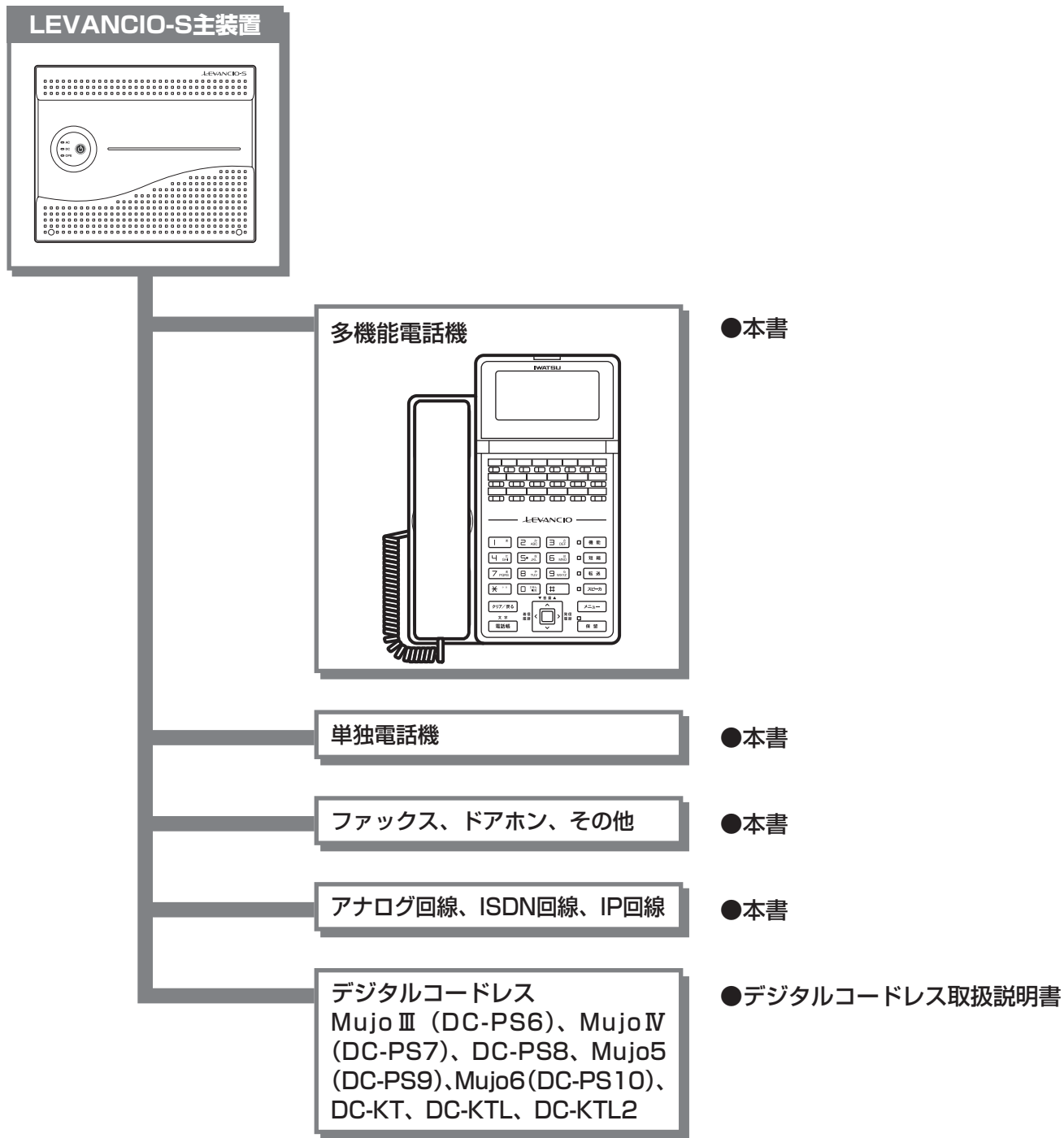
索引	索引-1
----	------

1 はじめに

本システムの構成機器と取扱説明書について

LEVANCIO-Sには、以下の機器を接続できます。お使いになる電話機の機能に該当するページをお読みください。また、この他にも各種オプションや別売品を接続してシステムの充実を図ることもできます。詳しくは、お買い求めの販売店にご相談ください。

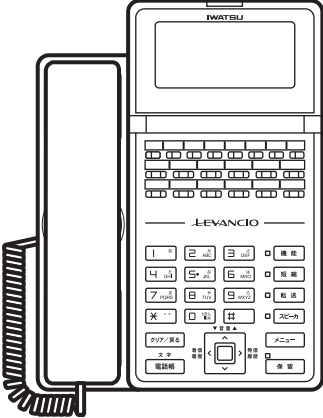
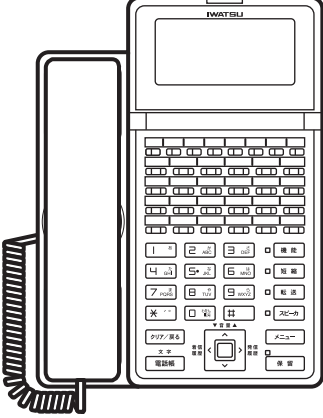
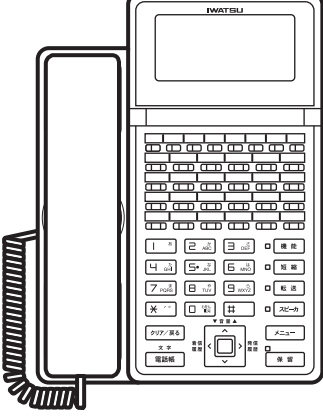
各種オプションをご利用の場合は、お使いの機器の取扱説明書も合わせてお読みください。



Note

- 本システムは、アナログ回線、ISDN回線、IP回線でご利用いただけます。
- 本システムに接続している機器は、お客様によって異なります。システムの構成は、お客様のシステム管理者、またはお買い求めの販売店にお問い合わせください。
- 次のような場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。
 - システムに電話機を増設する場合
 - オプションを追加する場合
 - 現在ご使用いただいている各種機能を追加・変更する場合
- 各種オプションの場合は、お使いになる電話機の機能に該当するページをお読みください。また、別売品をご利用の場合は、お使いの機器の取扱説明書も合わせてお読みください。

■接続できる主な機器

機器	説明	参照先
多機能電話機（型式：IX-12KT-N） 	<ul style="list-style-type: none"> 外線や内線などの機能を12個割り付けできます。 1行20文字（漢字10文字）で4行のディスプレイ表示ができます。 ボディカラーは、ホワイトです。 	「2.お使いいただく前に」 「3.多機能電話機 基本設定編」 「4.多機能電話機 基本操作編」 「5.外線転送（転送電話）機能編」 「6.ボイスメール機能編」 「7.多機能電話機 応用操作／応用機能編」 「8.回線機能編」 「9.IP関連機能編」
多機能電話機（型式：IX-24KT-N） 	<ul style="list-style-type: none"> 外線や内線などの機能を24個割り付けできます。 1行20文字（漢字10文字）で4行のディスプレイ表示ができます。 ボディカラーには、ホワイトとブラックがあります。 	「2.お使いいただく前に」 「3.多機能電話機 基本設定編」 「4.多機能電話機 基本操作編」 「5.外線転送（転送電話）機能編」 「6.ボイスメール機能編」 「7.多機能電話機 応用操作／応用機能編」 「8.回線機能編」 「9.IP関連機能編」
多機能電話機（型式：IX-24KTAPF-N） 	<ul style="list-style-type: none"> アナログ回線用停電対応多機能電話機IX-24KTAPF-Nは、通常は多機能電話機として動作します。停電時には、一般単独電話機（SLT）として動作します。 	「2.お使いいただく前に」 「3.多機能電話機 基本設定編」 「4.多機能電話機 基本操作編」 「5.外線転送（転送電話）機能編」 「6.ボイスメール機能編」 「7.多機能電話機 応用操作／応用機能編」 「8.回線機能編」 「9.IP関連機能編」
単独電話機	<ul style="list-style-type: none"> 一般単独電話機を接続できます。 	「10.単独電話機 基本操作編」
ファックス、ドアホン、その他	<ul style="list-style-type: none"> ファックスやドアホンなどを接続できます。 	「11.オプション編」
デジタルコードレス	<ul style="list-style-type: none"> デジタルコードレスを利用できます。詳しくは、お買い求めの販売店にお問い合わせください。 	お使いになるデジタルコードレスの取扱説明書を参照してください。

本取扱説明書の読み方

この取扱説明書に記載したディスプレイの表示などは、操作方法を説明するためのサンプルです。実際の表示と異なることがあります。

■ ページ構成

章タイトル

章ごとにタイトルが付けられています

タイトル

操作目的ごとにタイトルを付けています。

電話機イラスト

操作で使うボタンなどの位置を示しています。

4. 多機能電話機 基本操作編

内線へかける

受話器を上げてかける〈オフフックダイヤル〉

受話器を取り上げてから、内線に電話をかけます。

- 1 受話器を取り上げます。
「ツツツツツ」という内線発着音が聞こえます

Note

- 内線発着音が聞こえるのは20秒間です。その間に相手の内線番号をダイヤルしないと、警告音が鳴り内線発着がでなくなります。

- 2 相手の内線番号をダイヤルします。
ディスプレイに内線番号が表示されます。

呼び出し中 12
11

- 3 相手とつながり、お話しができます。

6月 1日(土) 16:35
内線 12

Note

- 電話機の受話器を上げたときは、以下の優先順位で、設定された機能が発動します。
 - 着信自動応答
 - 外線自動発信
 - 外線自動拒絶
 - 内線ネットライン
- 内線の自動検出が設定されていない電話機では、受話器を上げたときに無音状態となります。ただし、他の機能が有効となっているときは除きます。
- 無音状態となった場合は、「内線」ボタンを押してください。
- 内線に電話をかけ直す場合、受話器を上げたままの状態から「フラッシュ」ボタンを押します。発着音が聞こえ、相手の内線番号をダイヤルすることができます。

4-32


操作手順説明

準備や操作手順を順番に説明しています。

マーク／表記について

この取扱説明書で使用するマークや表記には、次のようなものがあります。

「安全にお読みいただくために必ずお読みください」(2ページ)に記載している警告マークと合わせて、内容を理解してからお使いください。

マーク	説明
 Note	注意事項、知っておいていただきたい内容、役立つ内容などを説明しています。
オプション	マークの付いている項目をご使用になるには、機器の追加が必要です。

表記例	説明
「外線」ボタン 「保留」ボタン	各種機能（外線、保留、発信、索線など）を割り当てた、フレキシブルボタンのことを示しています。
「機能」ボタン	 のことを示しています。
「電話帳」ボタン	文字  のことを示しています。
着信履歴ボタン	 のことを示しています。
発信履歴ボタン	 のことを示しています。
「0」「1」～「9」 「#」、「*」	ダイヤルボタン（  <small>わかん 登録</small> ～  <small>WXYZ</small> 、  、  <small>°°</small> ）のことを示しています。
上下ボタン	 のことを示しています。
上下左右ボタン	 のことを示しています。
「決定」ボタン	 のことを示しています。
音量ボタン	 のことを示しています。
文字ボタン	文字  のことを示しています。
「機能」+「1」「1」ボタン	 を押し、続けて  <small>あ</small> 、さらに続けて  <small>あ</small> と押すことを示しています。

■システム電話機とは

システム全体に関わる設定や登録などの操作が許可された電話機を、システム電話機と呼びます。

■フレキシブルボタンについて

多機能電話機（IX-12KT-N）の1から3段目キーを、フレキシブルボタンと呼びます。

あらかじめ、フレキシブルボタンに各種機能を登録・設定しておくことで、いろいろな機能をワンタッチで操作できます。

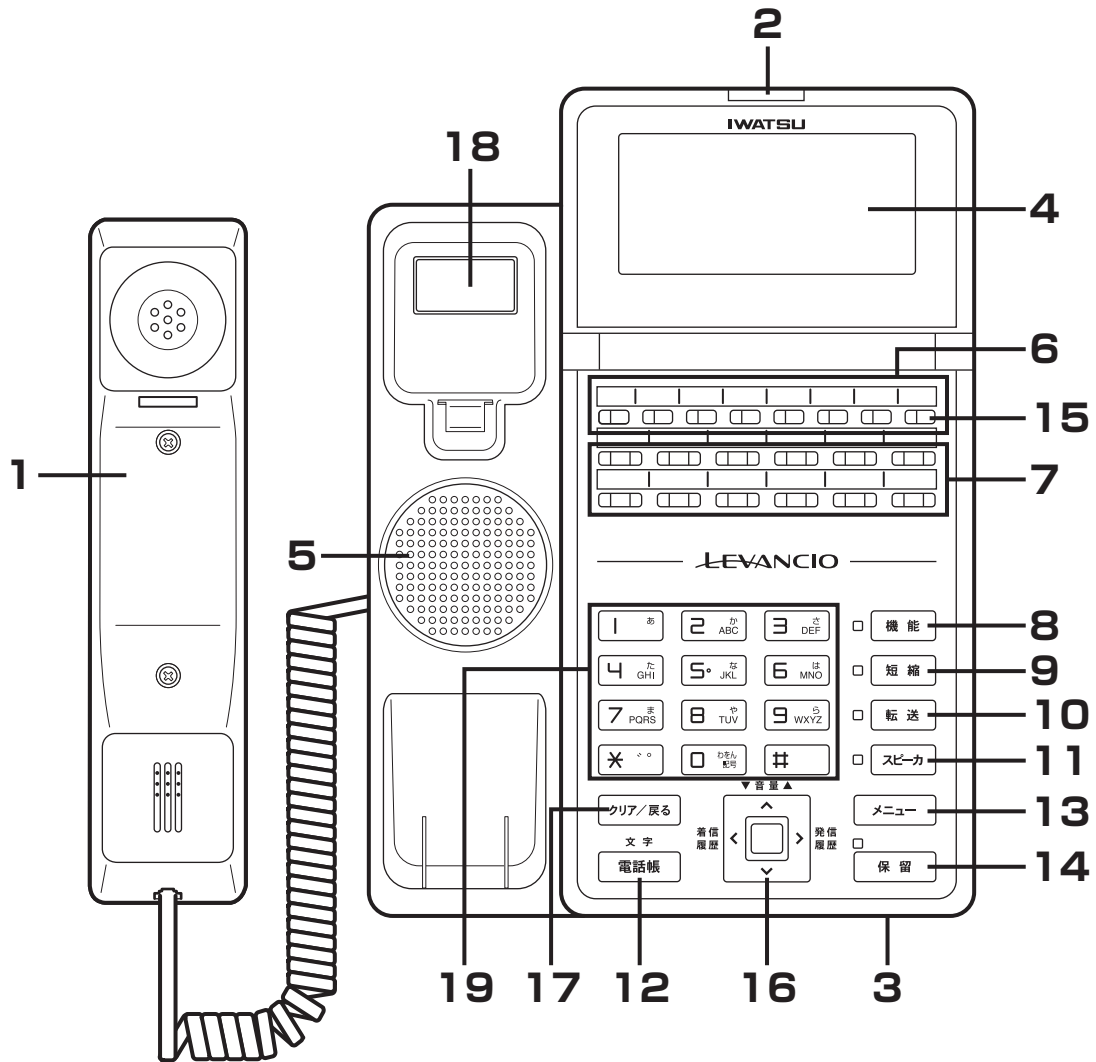
MEMO

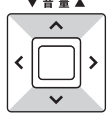
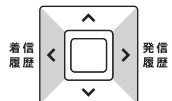
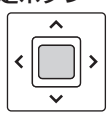
2. お使い いただく前に


多機能電話機

各部の名称とはたらき

■多機能電話機（前面）IX-12KT-N

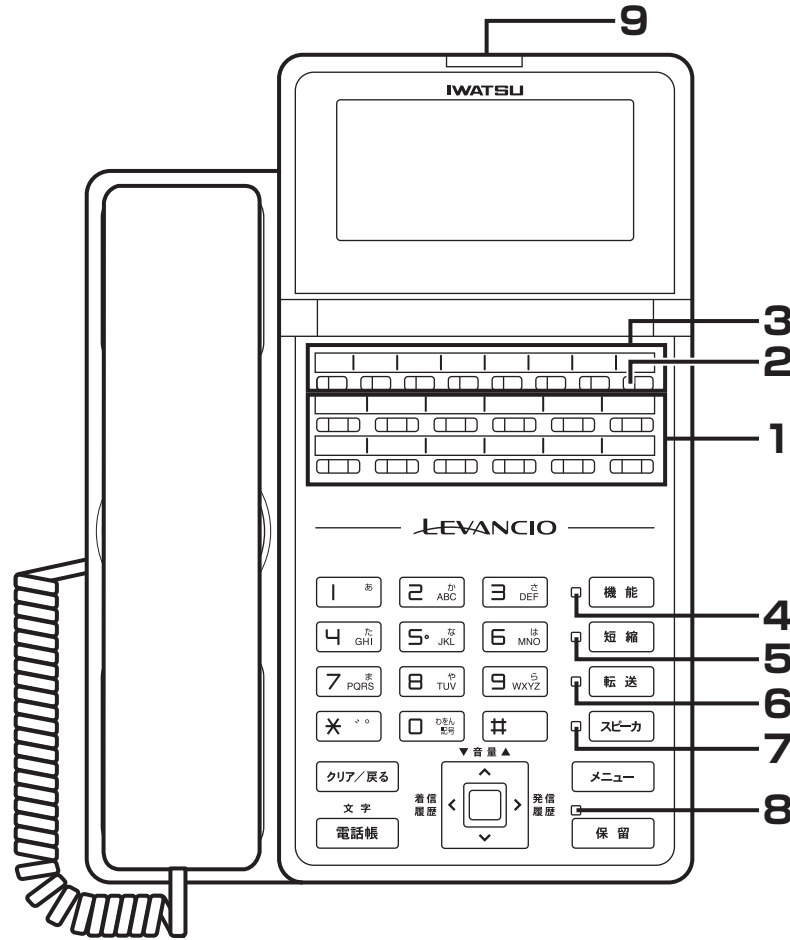


No	名称	はたらき
1	受話器 (ハンドセット)	相手とお話するときに使います。
2	着信ランプ	電話がかかってきたときに点滅します。(2-5ページ)
3	マイク	ハンズフリー通話用のマイクです。
4	ディスプレイ	電話機の状態表示および、操作ガイダンス等を表示します。
5	スピーカ	スピーカボタンと連動し、相手側の音声が届きます。
6	フレキシブルファンクションボタン	システムの設定により、いろいろな機能を割り付けることができます。
7	外線ボタン (フレキシブルファンクション)	システムの設定により、いろいろな機能を割り付けることができます。
8	機能ボタン	ダイヤルボタンと組み合わせて、いろいろな機能を使うときに使用します。
9	短縮ボタン	短縮機能を使うときに使用します。
10	転送ボタン	転送機能を使うときに使用します。
11	スピーカボタン	相手の声などをスピーカで聞くとときや、受話器を置いたまま電話をかけるときに使用します。
12	電話帳ボタン 文字ボタン	電話帳ダイヤルを登録するとき、電話帳を使って電話をかけるときに使用します。 文字の入力モードの選択に使用します。
13	メニューボタン	メニュー機能を使うときや、メニュー機能を終了するときに使用します。
14	保留ボタン	電話を保留するときに使用します。
15	内線ボタン	内線でお話するときに使います。
16	十字/決定ボタン	<p>上下 (音量/検索) ボタン</p>  <p>受話音量、外線着信音量、内線着信音量、およびスピーカ音量の調節に使います。 電話帳、発着信履歴やメニュー機能の検索に使用します。 電話帳ダイヤルの登録などでかな漢字変換を行うときに使用します。</p> <p>左右 (着信履歴/発信履歴) ボタン</p>  <p>発着信履歴の表示やカーソルを移動するときに使用します。</p> <p>決定ボタン</p>  <p>選択した項目や入力した内容などを確定するときに使用します。</p>
17	クリア/戻るボタン	入力した電話番号や文字を修正するときに使用します。
18	フックスイッチ	
19	ダイヤルボタン*	電話番号や文字を入力するときに使用します。

※：ダイヤルボタンの  の部分に突起が付いていますが、この突起は目のご不自由な方の操作を容易にするものです。

多機能電話機

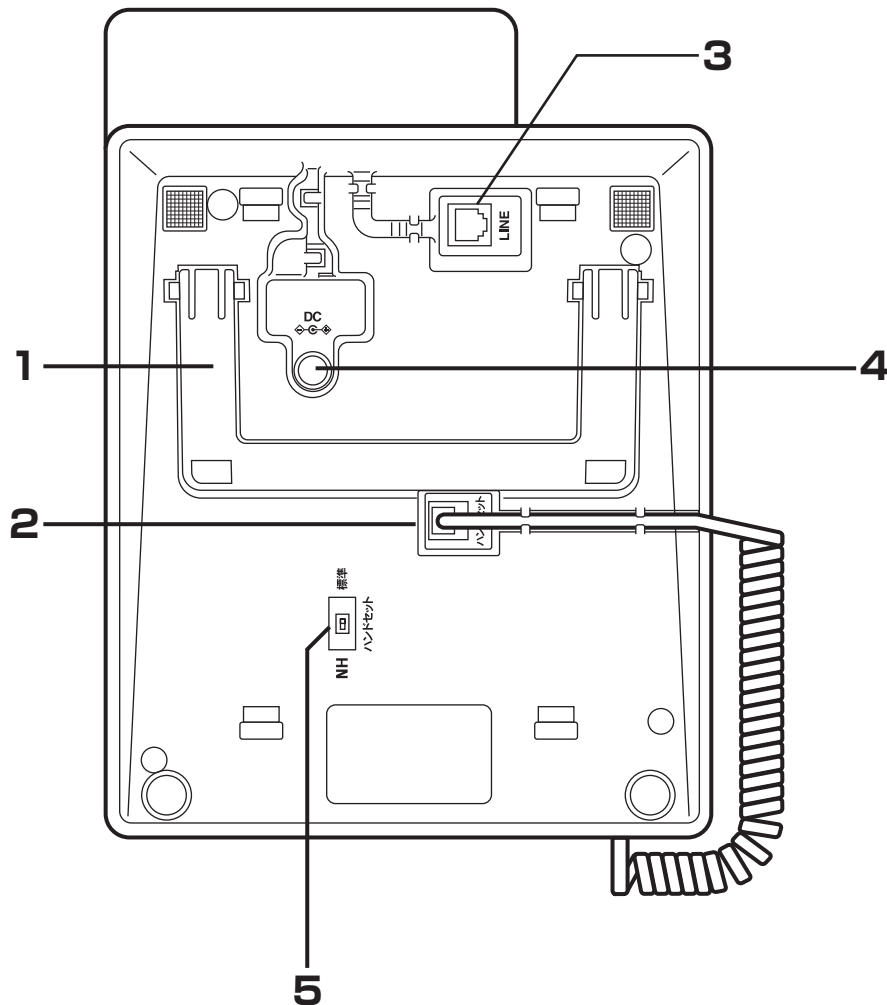
■多機能電話機（ランプ）IX-12KT-N



No	ランプの種類	ランプのつき方	電話機の状態
1	外線ボタン (ランプ)	点灯中に2回消える (緑)	自分の電話で通話中の局線
		点灯 (赤)	他の内線電話機が通話中の局線
		点滅 (赤)	その局線に電話がかかってきている
		遅い点滅 (赤)	他の内線電話機が保留中の局線
		遅い点滅 (緑)	自分の電話機で保留中の局線
2	内線ボタン (ランプ)	点灯中に2回消える (赤)	自分の電話機が内線通話中
		点滅 (赤)	自分の電話機が内線で呼び出されている
		遅い点滅 (赤)	自分の電話機で内線を保留中
3	フレキシブルボタン (ランプ)	点灯 (赤)	割り付ける機能により異なる
		点滅 (赤)	
		遅い点滅 (赤)	
4	機能ボタン (ランプ)	点滅 (赤)	機能ボタンを使った操作をしている
5	短縮ボタン (ランプ)	点灯 (赤)	短縮を押した
6	転送ボタン (ランプ)	点滅 (赤)	通話中に転送を押した
7	スピーカボタン (ランプ)	点滅 (赤)	スピーカを使用している
8	保留ボタン (ランプ)	消灯	常時消灯
9	着信ランプ	早い点滅 (赤)	自分の電話機に電話がかかってきた

多機能電話機

■多機能電話機（底面）IX-12KT-N



No	名称	はたらき
1	角度調節脚	
2	受話器（ハンドセット）差入口	受話器（ハンドセット）のコネクタを差し込みます。
3	電話機コード差入口	電話機コードを差し込みます。
4	ACアダプタ差入口	オプションの内線延長ユニット（IX-24KT-EXT）ご利用時に、ACアダプタ（IX-59AC）のDCプラグを差し込みます。
5	受話音量増幅スイッチ	オプションの受話音量増幅／防騒音（NHHD）ハンドセットをご利用時に切り換えます。工場出荷時は標準にセットされています。

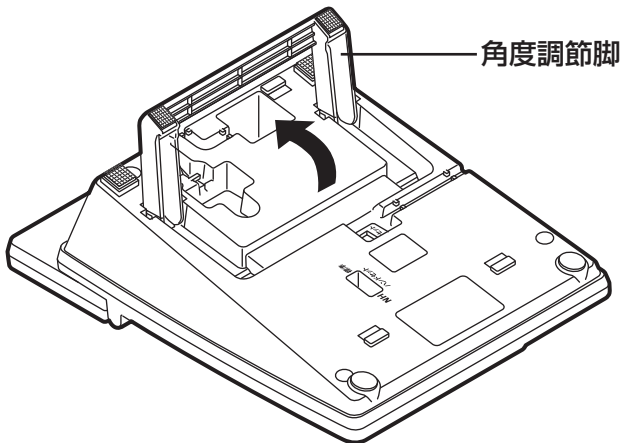
 **Note**

 **注意**

- オプション品の防騒音ハンドセットを利用されない場合は、受話音量増幅スイッチを、「NH」へ切り替えないでください。受話音量が「標準」に比べて、かなり大きい音になります。

電話機の角度を調整する

- 1 電話機本体を裏がえします。
- 2 角度調節脚を引き起こし、操作しやすい角度に調整します。



 **Note**

 **注意**

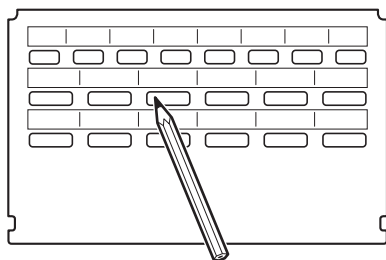
- 角度調節脚を引き起こすときは、無理な力を加えないでください。電話機本体と角度調節脚の接合部分が破損することがあります。

キーシートをセットする

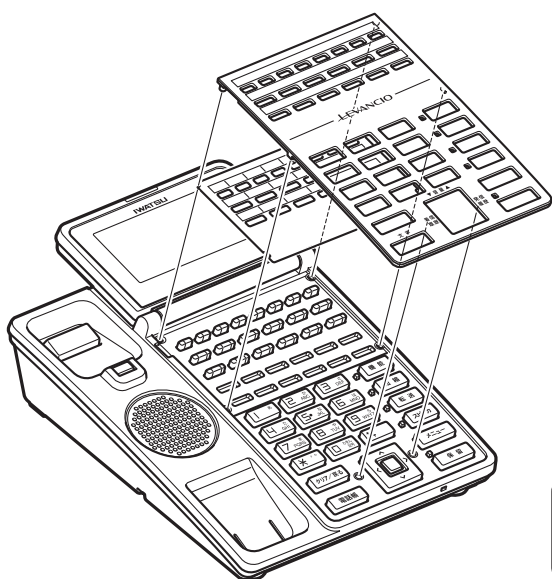
- 1 図のようにカバー上部左を指で持ち上げカバーとシートを取り外します。



- 2 キーシートにフレキシブルボタンに登録した内容などを書き込みます。



- 3 キーシートとカバーを元に戻します。カバーの突起を押して取りつめます。



Note

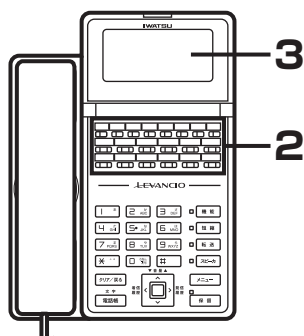
- キーシートデザイナーソフトは、弊社のホームページ (<http://levancio.iwatsu.co.jp/>) から、ダウンロードすることができます。

システム電話機の確認方法／電話機番号確認

システム電話機の確認、および、自分の電話機の内線番号を表示することができます。

Note

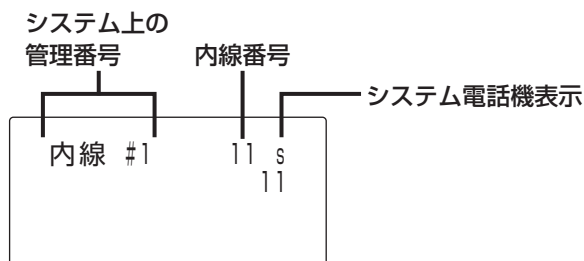
- システム電話機では、システム電話帳の登録、夜間切替設定などの操作ができます。
- システム全体に関わる設定や登録は、操作ミスによる誤動作や故障などを防止するために、システム管理者が行うようにしてください。
- システム電話機の内線番号は、システム工事のときに設定されます。詳しくは、お買い求めの販売店にお問い合わせください。
- 「本システムの構成機器と取扱説明書について」(1-3ページ)にご案内した多機能電話機であれば、いずれの電話機でもシステム電話機にすることができます。



1 受話器は置いた状態にします。

2 「自内線番号表示」ボタン（または「機能」＋「9」「9」ボタン）を押します。

3 ディスプレイ表示が約10秒間、下の例のようになります。



※ “S” が表示される電話機はシステム電話機になります。

Note

- システム上の管理番号、内線番号、発信者名は、あらかじめ登録されたものです。
- 「自内線番号表示」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。
- システム電話機、電話番号確認情報は、電話機ディスプレイに10秒間表示されます。

「メニュー」ボタンの操作方法／操作一覧

端末から「メニュー」ボタンを操作して、各種機能の設定を行うことができます。

- 1 受話器を置いた状態で、「メニュー」ボタンを押します。
- 2 上下ボタンを押して目的のメニューを表示させます。
- 3 設定する内容を選び、「決定」ボタンを押します。
- 4 メニューから抜けて、空き状態へ戻るには、再度「メニュー」ボタンを押します。

Note

- 「決定」ボタンのかわりに「戻る」ボタンを押すと、ひとつ前の画面に戻ることができます。
- メニューの表示内容一覧は下記をご覧ください。
- センサー監視設定の「メニュー」内容については、11-20ページをご参照ください。

第一階層	第二階層	第三階層	第四階層	
①不在転送設定	①不在転送設定※1	—	—	
	②不在転送解除設定※2	—	—	
	③戻る※4	—	—	
②留守番／メール設定	①個別ボックス	①留守番設定	①応答メッセージ選択	
			②留守録モニタ動作	
			③留守録自動発報	
			④お知らせメール	
		②メッセージ自動消去	①消去除外ボックス	
			②消去対象属性条件	
		③パスワード変更	①再生パスワード	
			②設定パスワード	
		④戻る※4	—	
	②同報ボックス	①所属ボックス設定	—	
	③グループボックス	①留守番設定		①応答メッセージ選択
				②留守録モニタ動作
				③留守録自動発報
				④お知らせメール
		②メッセージ自動消去	①消去除外ボックス	
			②消去対象属性条件	
	③パスワード変更	①再生パスワード		
		②設定パスワード		
	④戻る※4	—		
④留守番スケジュール	①スケジュール登録		—	
			②スケジュール特定日設定	
			③スケジュール即時適用	
⑤メール基本情報	①折り返し電話番号		—	
			②コメント	
			③送信元Eメールアドレス登録	
⑥戻る※4	—	—		

 Note

第一階層	第二階層	第三階層	第四階層
③鳴音種別設定	①次	—	—
	②前	—	—
	③登録	—	—
	④戻る※4	—	—
④メニュー終了※3	—	—	—
⑤音量調整／画面調整	①局線スピーカ音量	—	—
	②内線スピーカ音量	—	—
	③受話音量	—	—
	④画面コントラスト	—	—
	⑤着信音量	—	—
	⑥戻る※4	—	—
⑥電話帳登録	※5	—	—
⑦ヘルプ表示	※6	—	—
⑧メニュー終了※3	—	—	—

※1 転送の登録が行えます。詳細については「転送先を登録する」(5-36ページ)をご参照ください。

※2 転送の削除が行えます。詳細については「転送先を取り消す」(5-38ページ)をご参照ください。

※3 「メニュー終了」を選択すると、メニューから抜けて空き状態に戻ります。

※4 「戻る」を選択すると、ひとつ前の画面に戻ることができます。

※5 電話帳の登録、編集、削除が行えます。詳細については「電話帳を登録する」(3-14ページ)をご参照ください。

※6 ヘルプ表示が行えます。詳細については「ヘルプ表示」(3-40ページ)をご参照ください。

「機能」 ボタンの使い方

以下の機能は工事によって設定する必要があるものです。

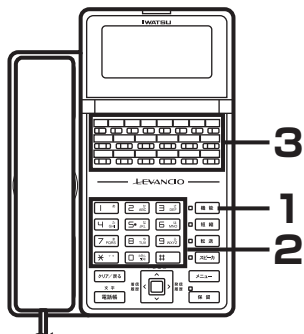
データ設定がされているかどうかは、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

■多機能電話機のさらに便利な使い方

「機能」 ボタンと「0」～「9」のダイヤルボタン、「*」、「#」ボタンを組み合わせると、以下のような豊富な機能の操作ができます。主に、電話機のフレキシブルボタンに機能が登録されていない場合に使用します。

操 作	機能の名称	用 途	参照ページ
「機能」 「1」 「1」	ロングフラッシュ（フック）	ダイヤル途中でかけ直すときに使用します	4-4、4-36
「機能」 「1」 「2」	ショートフラッシュ	ショートフラッシュ信号を送出するときに使用します	8-6、8-7
「機能」 「1」 「3」	ダイヤルリバース（プッシュ）	プッシュ信号を送出できます	7-4
「機能」 「1」 「4」	秘話解除	通話中の外線に割り込みができます	7-73
「機能」 「1」 「5」	きっかけ音	迷惑電話を切りたいときに相手にきっかけ音を聞かせることができます	8-36
「機能」 「2」 「1」	セーブナンバリダイヤル	ダイヤルした番号を記憶させ、再びかけ直すことができます	7-56
「機能」 「2」 「2」	メモダイヤル	通話中に別の電話番号を記憶させ、かけ直すことができます	7-58
「機能」 「2」 「3」	外線予約（トランクキューイング）	外線の使用予約ができます	7-8
「機能」 「2」 「4」	外線時間予約 （タイムドトランクキューイング）	指定時間後の外線使用予約ができます	7-6
「機能」 「3」 「1」	グループ内代理応答	同じ内線グループの別の電話機にかかってきた電話に応答できます	7-24
「機能」 「3」 「2」	グループ外代理応答	異なる内線グループの別の電話機にかかってきた電話に応答できます	7-24
「機能」 「3」 「3」	個別代理応答	着信している電話機の番号をダイヤルして代わりに応答できます	7-24
「機能」 「3」 「4」	パーク応答 （コールパークピックアップ）	パーク保留に応答するときに使用します	7-31
「機能」 「3」 「5」	ページ応答（ミート・ミー応答）	スピーカ呼び出しに応答するときに使用します	11-15
「機能」 「4」 「1」	タイムコール	設定した時刻に電話機を鳴らしてお知らせします	7-65
「機能」 「4」 「2」	モーニングコール	指定した時刻に電話機を鳴らし、メッセージを流します	7-63
「機能」 「4」 「3」	内線コールバック	通話中の内線通話が終了したことをお知らせします	7-20
「機能」 「4」 「4」	電話機パスワード	外線の発信規制ができます	7-61
「機能」 「4」 「5」	音声案内再生	音声による案内サービスを利用する場合に使用します	8-50
「機能」 「6」 「1」	マイク	マイクのOFFからONへの切り替えを行うことができます	4-40、4-41、7-11
「機能」 「6」 「2」	BGM	スピーカからBGMを流します	3-13
「機能」 「6」 「3」	LCD表示切り替え	ディスプレイの表示内容を切り替えることができます	3-38
「機能」 「6」 「4」	時刻調整	時刻の調整を行うことができます	3-2
「機能」 「6」 「5」	内着モード切り替え	内線着信を音声着信、トーン着信のどちらかに指定できます	4-35
「機能」 「7」 「1」	通話料金表示（前回分）	前回通話した1回分の料金を表示します	12-7
「機能」 「7」 「2」	通話料金表示（本日分）	当日分の料金を表示します	12-8
「機能」 「7」 「3」	通話料金表示（今月分）	当月分の料金を表示します	12-8
「機能」 「7」 「4」	通話料金表示（先月分）	先月分の料金を表示します	12-9
「機能」 「7」 「5」	グループ予算額設定、 グループ使用率表示	内線グループ（部署など）別の予算額に対する使用率を表示します	12-10
「機能」 「9」 「1」	システム情報表示	システムソフトウェアのバージョンとCCSUのLANポートのIPアドレスを表示します	9-4
「機能」 「9」 「9」	自内線番号表示	操作中の電話機の内線番号を表示します	2-9
「機能」 「#」 「9」	ボタン案内	各ボタンに何が割り当ててあるか確認できます	2-13

フレキシブルボタンについて



割り当て内容の確認方法

1 受話器を置いた状態で「機能」ボタンを押します。

2 「#」「9」ボタンを押します。

6月 1日(土)16:35
11

3 割り当てられている機能が、確認したいフレキシブルボタンを押します。

4 設定された機能内容が、約10秒間ディスプレイに表示されます。



Note

- フレキシブルボタンの初期割り当ては2-17ページをご参照ください。

フレキシブルボタンについて

割り当て可能な機能一覧

データ設定により、あらかじめ電話機のフレキシブルボタンに各種機能を登録することによって、ワンタッチ操作で豊富な機能を活用できます。

どのように登録されているか（登録内容）は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

電話機のフレキシブルボタンに割り付けることができる主な機能は、以下のものです。

ボタンに割り付く機能名	機能の名称	用途	参照ページ
外線	外線	外線を発信するときに使用します	4-2
グループパーク	グループパーク保留	システムパーク保留を行うときに使用します	7-28
索線	索線	外線を発信するときに使用します（続けて外線グループ番号を指定します）	7-3
索線番号	索線番号	外線を発信するときに使用します	7-3
内線番号	ワンタッチ内線個別呼び出し	電話機を個別に呼び出すことができます	—
内線代表	内線代表呼び	部署などの内線グループごと呼び出すことができます	4-37
ページンググループ	一斉呼び出し（グループページング）	電話機を一斉に呼び出すことができます	7-16
外線応答	外線応答	外線キーを選ばずに応答できます	7-23、7-27
内線呼返し	内線コールバック	通話中の内線通話が終了したことをお知らせします	7-20
不在メッセージ	不在メッセージ	不在中の連絡事項をメッセージとして伝えることができます	7-70
会議	会議通話	3人または4人で通話できます	7-46
BGM	バックグラウンドミュージック (BGM)	スピーカからBGMを流します	3-13
外線予約	外線予約（トランクキューイング）	外線の使用予約ができます	7-8
個別代理応答	個別代理応答	着信している電話機の番号をダイヤルして、代わりに応答できます	7-24
転送電話	転送電話1~4	着信した外線を転送します	5-6
表示切替	LCD表示切り替え	ディスプレイ表示内容を切り替えることができます	3-38
機能	機能	各種機能が活用できます	2-12
不在転送	不在転送	不在中にかかってきた電話を指定した電話へ転送できます	7-35、7-41
個別短縮	個別短縮ダイヤル	電話機毎に設定された短縮ダイヤルを、ワンタッチで発信できます	4-7
共通短縮	共通短縮ダイヤル	システム共通に設定された短縮ダイヤルを、ワンタッチで発信できます	4-7

ボタンに割り付く機能名	機能の名称	用途	参照ページ
フラッシュ	ロングフラッシュ（フック）	ダイヤル途中でかけ直すときに使用します	4-4
グループ外代理 応答	グループ外代理応答	他の外線グループにかかってきた電話に別の電話機で応答できます	7-24
内線	内線	内線を捕捉します	4-32
パスワード	電話機パスワード	外線の発信規制ができます	7-61
一斉	一斉呼び出し（ページング）	電話機を一斉に呼び出すことができます	7-16
モーニングコール	モーニングコール	設定した時刻に電話機を鳴らし、メッセージを流します	7-63
ページ応答	ミーティング・ミー応答	スピーカ呼び出しに反応するときを使用します	11-15
メモダイヤル	メモダイヤル	通話中に別の電話番号を記憶させ再びかけ直すことができます	7-58
マイク	マイク	マイクのON・OFFの切り替えを行うことができます	4-41
伝言	伝言（メッセージウェイト）	不在中、または通話中の相手に折り返し連絡してほしいときに使用します	7-67
モニタ	通話モニタ	他の電話機の通話内容を聞くことができます	7-54
強制呼出	オーバライド	応答しない電話機（着信拒否／話中）を強制的に呼び出します	7-19
個別パーク	個別コールパーク	保留した外線を他の人がとらないようにできます	7-28
グループ内代理応答	グループ内代理応答	同じ内線グループにかかってきた電話に別の電話機で応答できます	7-24
パーク応答	パーク応答（コールパークピックアップ）	パーク保留に反応するときを使用します	7-31
プッシュ	ダイヤルリバース	プッシュ信号を送出できます	7-4
リピート	オートリピートダイヤル	自動的に繰り返し何度もかけ直すことができます	4-9
タイムコール	タイムコール	設定した時刻に電話機を鳴らしてお知らせします	7-65
リレー番号	リレー1または2	電話機から別のユニットの電源などをON・OFFできます	11-12
スピーカ	スピーカ	受話器を置いたまま発信・着信・応答状態になります	4-3
短縮	短縮	短縮ダイヤルがかけられます	4-7
ショートフラッシュ	ショートフラッシュ（ショートフック）	ショートフラッシュ信号を送出するときに使用します	—
セーブナンバ	セーブナンバリダイヤル	ダイヤルした番号を記憶させ再びかけ直すことができます	7-56
転送	転送	転送するときに使用します	4-46
外線時間予約	タイムドトランクキューイング	指定時間後の外線使用予約ができます	7-6
内着モード切り替え	内線呼び出しモード切替	内線着信を音声着信、トーン着信のどちらかに指定できます	4-35
秘話解除	秘話解除／会議	通話中の外線に割り込みができます	7-73
ドント・ディスターブ	ドント・ディスターブ	着信拒否ができます	7-53
グループ予算	グループ予算額設定、グループ使用率表示	内線グループ（部署など）別の予算額に対する使用率を表示します	12-10
保留	保留	保留状態にします	4-42
前回	前回通話料金	前回通話した1回分の料金を表示します	12-7
本日	本日通話料金	当日分の料金を表示します	12-8
今月	今月通話料金	当月分の料金を表示します	12-8
先月	先月通話料金	先月分の料金を表示します	12-9
保留外線自動応答	保留局線自動応答	受話器を上げずに保留した外線に応答できます	4-44
再発信	再発信（ラストナンバリダイヤル）	最後に発信した相手に再び発信できます	4-5
通話録音	通話録音	通話録音を行う／行わないを切り替えると共に、その状態を表示します	6-70
ボックス	ボックス	ボイスメールメッセージの再生を行うと共に、メッセージの有無を表示します	6-53、6-75

(次ページへ続く)

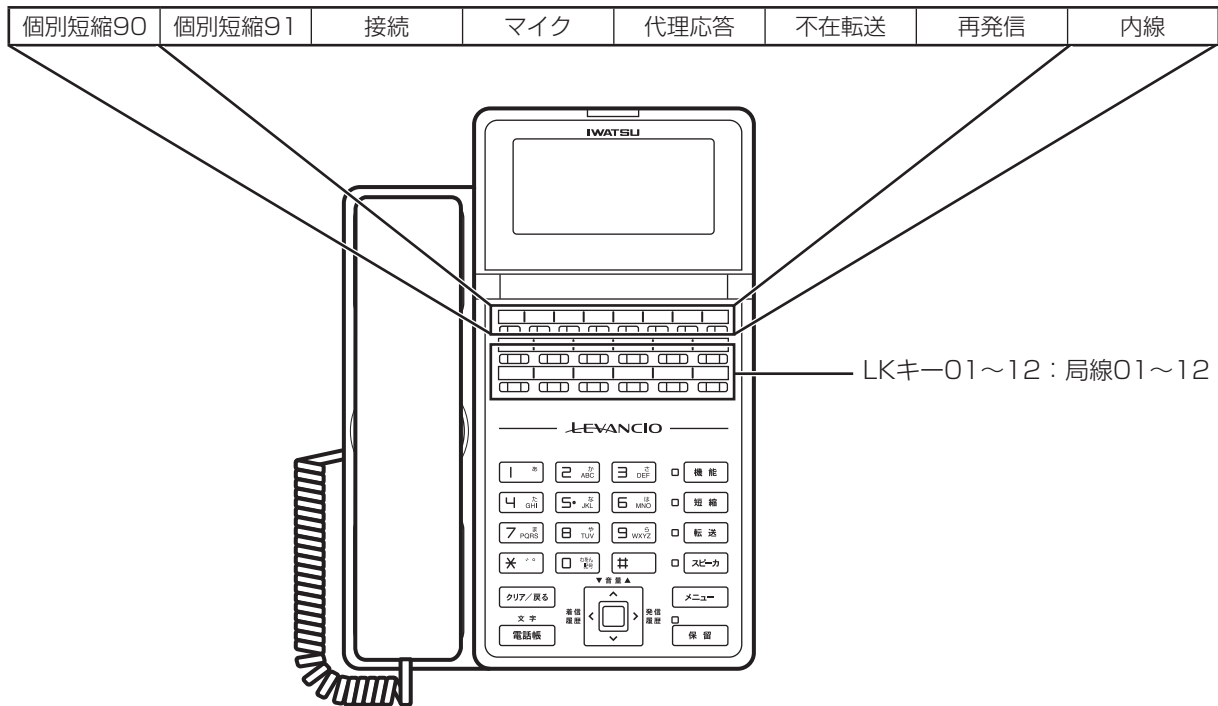
フレキシブルボタンについて

(前ページの続き)

ボタンに割り付く機能名	機能の名称	用途	参照ページ
迷惑電話	迷惑電話防止	迷惑電話の電話番号の登録、確認、削除する時に使用します	8-29
接続	外線への手動転送	局線との通話をいったん保留して、別の局線にて発信通話を行い、その局線と保留した局線呼を接続することができます	5-46
ダイヤルイン	ダイヤルインn	ダイヤルイン着信時、およびダイヤルインボタンを使用した局線発信に使用します	8-15
索線ダイヤルイン	FLTダイヤルインn	空いているダイヤルイン局線を自動捕捉して局線発信するときを使用します	8-17
ダイヤルイングループ応答	ダイヤルイングループ応答ボタンでの応答	ダイヤルイングループの着信に応答します。	8-17
音声案内録音	音声案内録音	音声案内メッセージを録音します	-
音声案内再生	音声案内再生	音声案内メッセージを再生します	-
センサー監視	センサー監視連動機能	センサー監視状態を変更したり、センサー連動機能の設定を行う時に使用します	11-20、 11-31

はじめに割り当てられている機能について

フレキシブルボタンの初期割り当て状態は以下の通りです。



MEMO

3. 多機能電話機

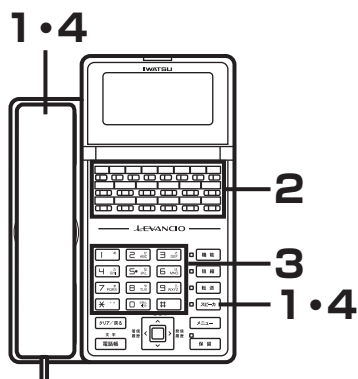
基本設定編

時刻を設定する

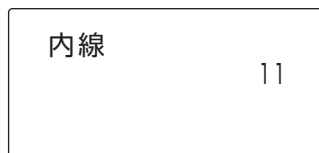
時刻調整

システム電話機にてシステム内の時計をセットまたは微調整ができます。

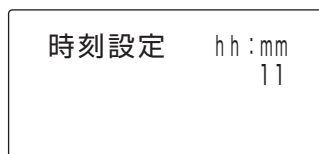
●時刻のセット方法



- 1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。
「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。



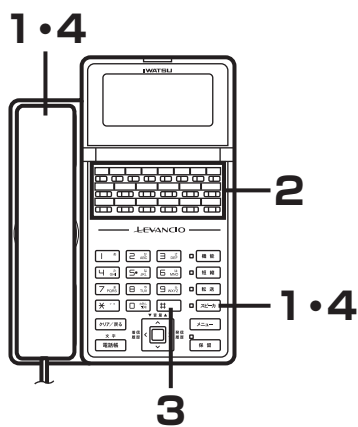
- 2 「時刻調整」ボタン（または「機能」+「6」「4」ボタン）を押します。



- 3 24時間表記で時刻を押します。
〈例〉午後3時30分の場合は、「1」「5」「3」「0」ボタンを押します。
時刻がセットされると、「プッププツ」という確認音が聞こえます。

- 4 受話器を置くか「スピーカ」ボタンを押します。

●時刻の0秒設定



- 1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。
「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。

- 2 「時刻調整」ボタン（または「機能」+「6」「4」ボタン）を押します。

- 3 「*」ボタンを2回押します。
時刻の0秒がセットされると、「プッププツ」という確認音が聞こえます。

- 4 受話器を置くか「スピーカ」ボタンを押します。

Note

- 日付の設定は設置時に設定します。日付の調整についてはお買い求めの販売店にご依頼ください。
- 時刻の微調整をおこなうと、その時点で秒が0秒にリセットされます。微調整をしたのが0～29秒だった場合、分はそのまま0秒になります。30～59秒だった場合、1分進んで0秒になります。
- 「時刻調整」ボタンはデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。
- システム電話機確認方法は2-9ページをご参照ください。

音の調整

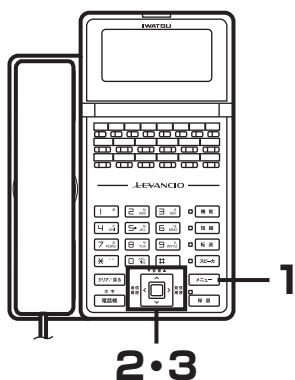
キータッチトーン

ダイヤルボタンが押されたことを音で確認できます。

※ダイヤルボタンを押すごとに、「ピッ」という音がします。キータッチトーンを使うには、あらかじめ電話機ごとに、データ設定が必要です。

電話機ごとに着信音を設定する

●着信音を設定する



1 受話器を置いた状態で「メニュー」ボタンを押します。
メインメニュー画面が表示されます。

▶音量調整 / 画面調整 電話帳登録 ヘルプ表示 メニュー終了	▶不在転送設定 留守番 / メール設定 鳴音種別設定 メニュー終了
--	--

2 上下ボタンで“鳴音種別設定”を選択し、「決定」ボタンを押します。
鳴音種別選択画面が表示されます。

鳴音種別選択 ▶登録 戻る	鳴音種別選択 ▶次 前
---------------------	-------------------

3 上下ボタンで“次”または“前”を選択し、「決定」ボタンを押します。
次：次候補の着信音が鳴ります
前：前候補の着信音が鳴ります

鳴音種別選択 ▶次 前	1
-------------------	---

Note

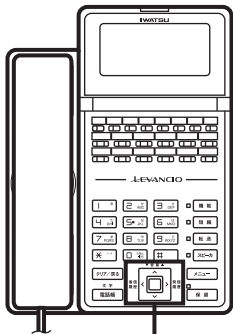
- 鳴音種別設定で設定した着信音は、外線 / 内線の着信音となります。
- メニューからの操作では、着信音の設定を取り消すことはできません。
- 着信音の変更を取り消す方法については3-4ページをご参照ください。
- 着信音量がオフに選択されているときは、着信音を聴取して確認することはできません。

Note

- 着信音は下記の8種類です。
 着信音1：外線の着信音1と同じ
 着信音2：外線の着信音2と同じ
 着信音3：外線の着信音3と同じ
 着信音4：内線の着信音と同じ
 着信音5：内線リコールの着信音と同じ
 着信音6：内線キャンブオンの着信音と同じ
 着信音7：外線リコールの着信音と同じ
 着信音8：ドントディスタープ音と同じ

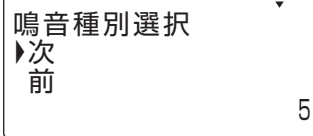
音の調整

(前ページの続き)

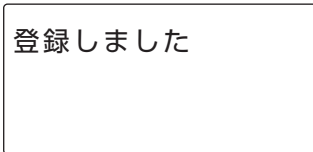


4・5

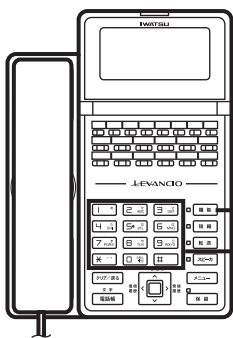
4 希望の着信音が鳴るまで、手順(3)を繰り返します。



5 上下ボタンで“登録”を選択して、「決定」ボタンを押します。
着信音が登録され、設定完了画面が表示されます。
約3秒後にメインメニューに戻ります。

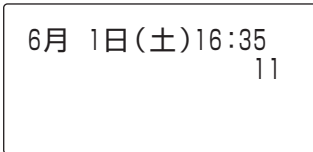


● 着信音を設定/変更する (機能ボタンからの操作)



1
1・2

1 受話器を置いた状態で「機能」「#」「*」ボタンの順に押します。

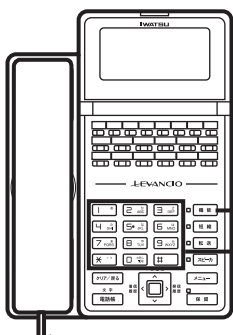


2 変更する着信音に対応した番号(1~8)と「#」ボタンを押します。

Note

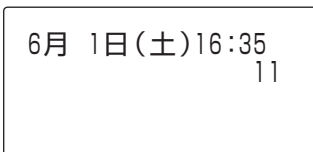
- 着信音は下記の8種類です。
- 着信音1：外線の着信音1と同じ
- 着信音2：外線の着信音2と同じ
- 着信音3：外線の着信音3と同じ
- 着信音4：内線の着信音と同じ
- 着信音5：内線リコールの着信音と同じ
- 着信音6：内線キャンプオンの着信音と同じ
- 着信音7：外線リコールの着信音と同じ
- 着信音8：ドントディスタープ音と同じ

● 着信音の変更を取り消す (機能ボタンからの操作)



1
1・2

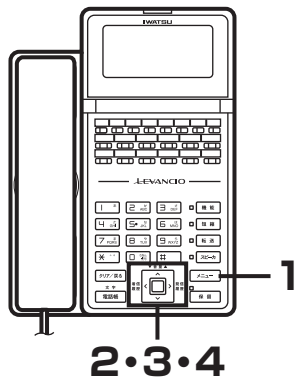
1 受話器を置いた状態で「機能」「#」「*」ボタンの順に押します。



2 「0」「#」ボタンを押します。

音量調整をする

●外線で通話する時のスピーカ音量を調節する



- 1** 受話器を置いた状態で「メニュー」ボタンを押します。
メインメニュー画面が表示されます。

▶音量調整／画面調整

電話帳登録
ヘルプ表示
メニュー終了

▶不在転送設定
留守番／メール設定
鳴音種別設定
メニュー終了

- 2** 上下ボタンで“音量調整／画面調整”を選択し、「決定」ボタンを押します。

設定項目選択画面が表示されます。

設定項目選択

▶着信音量
画面コントラスト
戻る

設定項目選択

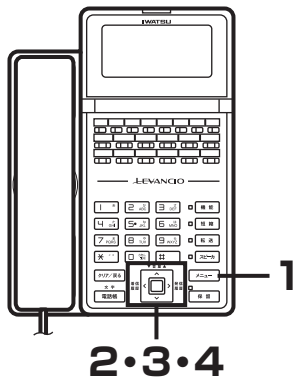
▶局線スピーカ音量
内線スピーカ音量
受話音量

- 3** 上下ボタンで“局線スピーカ音量”を選択し、「決定」ボタンを押します。

局線スピーカ音量
5 ████

- 4** 上下ボタンで音量（1～11まで）を選択します。
約3秒後にメインメニューに戻ります。

音の調整



●内線で通話する時のスピーカ音量を調節する

1 受話器を置いた状態で「メニュー」ボタンを押します。
メインメニュー画面が表示されます。

▶音量調整／画面調整

電話帳登録
ヘルプ表示
メニュー終了

▶不在転送設定
留守番／メール設定
鳴音種別設定
メニュー終了

2 上下ボタンで“音量調整／画面調整”を選択し、「決定」ボタンを押します。

設定項目選択画面が表示されます。

設定項目選択

▶着信音量
画面コントラスト
戻る

設定項目選択

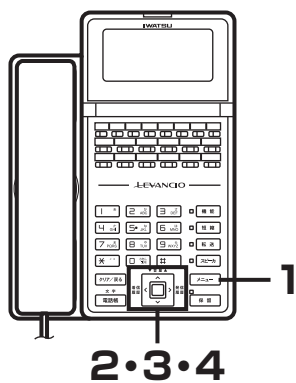
▶局線スピーカ音量
内線スピーカ音量
受話音量

3 上下ボタンで“内線スピーカ音量”を選択し、「決定」ボタンを押します。

内線スピーカ音量
5 ■■■

4 上下ボタンで音量（1～11まで）を選択します。

約3秒後にメインメニューに戻ります。



Note

- 受話音量の調整は、半固定モードへのデータ変更が必要です。設定については、お買い求めの販売店に、お問い合わせください。

●ハンドセットの受話音量を調整する

- 1 受話器を置いた状態で「メニュー」ボタンを押します。
メインメニュー画面が表示されます。

音量調整／画面調整
電話帳登録
ヘルプ表示
メニュー終了

不在転送設定
留守番／メール設定
鳴音種別設定
メニュー終了

- 2 上下ボタンで“音量調整／画面調整”を選択し、「決定」ボタンを押します。

設定項目選択画面が表示されます。

設定項目選択
▶着信音量
画面コントラスト
戻る

設定項目選択
▶局線スピーカ音量
内線スピーカ音量
受話音量

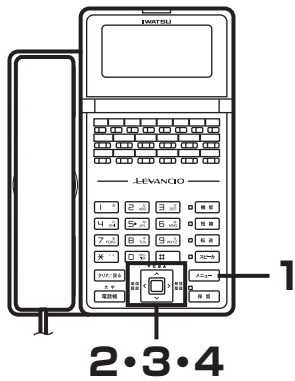
- 3 上下ボタンで“受話音量”を選択し、「決定」ボタンを押します。

受話音量



- 4 上下ボタンで音量（1段階から6段階まで）を選択します。
約3秒後にメインメニューに戻ります。

音の調整



● 着信音量を調整する

- 1** 受話器を置いた状態で「メニュー」ボタンを押します。
メインメニュー画面が表示されます。

▶音量調整／画面調整 電話帳登録 ヘルプ表示 メニュー終了	▶不在転送設定 留守番／メール設定 鳴音種別設定 メニュー終了
--	--

- 2** 上下ボタンで“音量調整／画面調整”を選択し、「決定」ボタンを押します。
設定項目選択画面が表示されます。

設定項目選択 ▶着信音量 画面コントラスト 戻る	設定項目選択 ▶局線スピーカ音量 内線スピーカ音量 受話音量
-----------------------------------	---

- 3** 上下ボタンで“着信音量”を選択し、「決定」ボタンを押します。

着信音量 ---■

- 4** 上下ボタンで音量（オフ、1段階から6段階まで）を選択します。
約3秒後にメインメニューに戻ります。

多機能電話機の音について

■多機能電話機の受話器で聞こえる音

状態	音色 (Hz)	鳴り方	こんなとき聞こえます
内線発信音	400	ツツツツツツツツツツ・・・	受話器を取り上げたとき
第2ダイヤルトーン	400	ツツツツツ・・・	通話を転送するとき
内線呼出音	432/480	ブルルルル、ブルルルル、・・・	電話機を呼び出しているとき
話中音	400	ツー、ツー、ツー、・・・	呼び出した相手が話し中のとき
警告音	400	ツーツ、ツーツ、ツーツ、・・・	操作が適切でないとき
確認音	800	プッププツ、	機能が完了したとき
秘話解除音	800	プー、	外線通話中に秘話解除の操作をしたとき
転送音	800	プー、	通話の転送が完了したとき
話中呼出音	432/480	ブル、ブル、ブル、・・・	通話中に電話がかかってきたとき
バイパス音	800	プー、	通話中に他の電話機から割り込み操作が行なわれたとき
アッドオントーン	800	プー、	会議通話の用意ができたとき
検索中トーン	400	ツ、ツ、ツ、・・・	DCL検索中のとき
ハウラ音	1532	キーン・・・	受話器が長い間外れているとき
保留音	メロディIC /外部	┌─────────── └─メロディー	通話を保留したとき
リクエストトーン	400	プブ、プブ、プブ、・・・	モーニングコールで呼び出し時間を設定するとき
外線発信音	400	ツー・・・	外に電話をかけるとき
ドント・ディスタープ音	800	プーツ、プーツ、プーツ、・・・	呼び出し先が着信拒否中のとき
ウェイティングトーン	400	プブブブブ、プブブブブ、・・・	外線がすべて使用中のときに外線が空くのを待っているとき
不在メッセージトーン	800	プーツ、プーツ、プーツ、・・・	呼び出し先に不在メッセージが登録されているとき
インタセプトトーン	A:624 B:400	ブルブル、	優先順位の高い電話機から割り込み着信があるとき
確認音 (長音)	800	プッププツ、プッププツ、・・・	登録操作が完了したとき
音声呼び出しパースト	400	プー、	内線で呼び出したときに鳴るお知らせ音

音の調整

■多機能電話機の鳴る音

状態	音色 (Hz)	鳴り方	こんなとき聞こえます
タイムコール	800 (800)	ブブブブ、・・・ブ、ブブブブ・・・	タイムコールで設定した時刻に鳴るお知らせ音
モーニングコール	480/624	トゥルルルツ、トゥルルルツ、	設定時刻にシステムからのメッセージがあるとき
内線音声呼び (冒頭音)	500/667	トゥルルルル、	内線で音声呼び出したときに鳴るお知らせ音
転送保留リコール	432/624/16 (400/500)	ブブブブブ、ブブブブブ、・・・	通話の転送ができなかったとき、または転送操作を途中でやめたとき
外線保留警報	432/624/16 (400/500)	ブブブブブ、ブブブブブ、・・・	保留状態が一定時間を超えたとき
外線コールバック	432/624/16 (432/480)	ブブブブブ、ブブブブブ、・・・	外線に空きができたとき
外線キャンブオン1	400/496/16 (400/500)	ブルル、ブルル、・・・	外線通話が転送されてきたとき
外線キャンブオン2	432/480 (400/667/16)	ブルルルル、ブルルルル、・・・	外線通話が転送されてきたとき
外線キャンブオン3	432/624/16 (400/500)	トゥルルルツ、トゥルルルツ、・・・	外線通話が転送されてきたとき
外線キャンブオン4	保留音 (400/800)	┌─────────── └─メロディー	外線通話が転送されてきたとき
着信警報音	480/624 (400)	ポポポポポ、ポポポポポ、・・・	設定した電話機が一定時間以上応答しないとき
外線着信1	400/496/16 (400/500)	ブルブル、ブルブル、・・・	外線に電話がかかってきたとき
外線着信2	432/480 (400/667/16)	ブルルルル、ブルルルル、・・・	外線に電話がかかってきたとき
外線着信3	432/624/16 (400/500)	トゥルルルツ、トゥルルルツ、・・・	外線に電話がかかってきたとき
外線着信4	保留音 (400/800)	┌─────────── └─メロディー	外線に電話がかかってきたとき

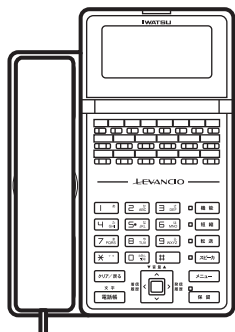
 **Note**

• 音色の () 内の数値は、話中着信時に端末のローカルトーンにより鳴音する音色です。

状態	音色 (Hz)	鳴り方	こんなとき聞こえます
内線リコール	480/624 (400)	ポポポポポ、ポポポポポ、...	内線通話の転送操作を途中でやめたとき
内線コールバック	480/624	ポポポポポ、ポポポポポ、...	お話し中の内線通話が終了したとき
内線キャンプオン	480/624 (400)	トゥルルルツ、トゥルルルツ、...	内線通話が転送されてきたとき
内線着信1	480/624 (400)	トゥルトゥルトゥル、トゥルトゥルトゥル、...	内線から電話がかかってきたとき
ドアホン着信1	ピンポン1 (400)	ピンポーンピンポーン、	ドアホンからの呼び出しがあったとき
ドアホン着信2	ピンポン2 (400)	ピンポンピンポンピンポン、	ドアホンからの呼び出しがあったとき
ドアホン着信3	480/624 (400)	トゥルトゥルトゥル、トゥルトゥルトゥル、...	ドアホンからの呼び出しがあったとき
ドアホン着信4	480/624 (400)	ポポポポポ、ポポポポポ、...	ドアホンからの呼び出しがあったとき
ページング	音声	┌ 音声	一斉/グループ/ページング呼び出しされているとき
ページング予告音1	528Hz 音声	ブブ、┌ 音声	一斉/グループ/ページング呼び出しされているとき
ページング予告音2	528Hz 音声	ブーブー、┌ 音声	一斉/グループ/ページング呼び出しされているとき
ページング予告音3	ピンポン2 音声	ピンポン、┌ 音声	一斉/グループ/ページング呼び出しされているとき
BGM	音声	┌ ミュージック	バックグラウンドミュージック
優先内線着信 (トーン)	A:624, B:400 (667/400)	ブルブル、ツツツ、ブルブル、ツツツ、...	着信中に優先の高い割り込み着信がかかってきたとき
優先内線着信 (音声)	A:624, B:400	ブルブル、 音声	着信中に優先の高い割り込み着信の音声呼び出しがあったとき

※ 多機能IX-12KT-N電話機では、端末ごとに着信音を設定することが可能です。

音の調整



保留音



Note

- 保留音の選択はデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。
 - 1 瞳がほほえむから
 - 2 HERE COMES THE SUN
 - 3 ハイ・ホー
 - 4 未来予想図Ⅱ
 - 5 I NEED TO BE IN LOVE
 - 6 パッヘルベルのカノン

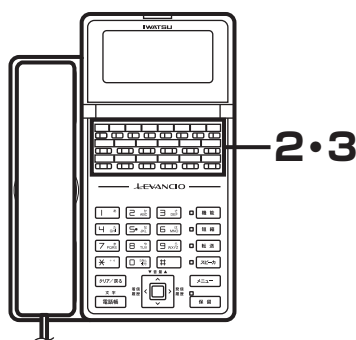
外部保留音

オプション

外線、内線、ひかり電話回線の通話を保留した際、相手に外部に接続した音源の保留音を流すことができます。
※外部保留音源が必要です。お買い求めの販売店にお問い合わせください。

BGM

空いている多機能電話機のスピーカ、外部スピーカから音楽を聞くことができます。



●多機能電話機のスピーカの場合

- 1 電話機が空いていることを確認します。
- 2 「BGM」ボタン（または「機能」+「6」「2」ボタン）を押すと、BGMが聞こえます。

6月 1日(土)16:35
11

Note

- 「BGM」ボタンはデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。
- BGMは「センサーで検知して多機能電話機のスピーカから一斉放送を開く（センサー検知一斉放送）」（11-11ページ）とは、併用できません。

- 3 そのままの状態ですべて「BGM」ボタン（または「機能」+「0」「6」「2」ボタン）を押すと、BGMが止まります。
※外部BGM音源が必要です。お買い求めの販売店にお問い合わせください。

●外部スピーカで音楽を流す場合

オプション

BGMアンプが必要です。お買い求めの販売店にお問い合わせください。

電話帳を登録する

システムの電話帳に、相手先の情報を登録できます。

電話帳に登録しておくことで、登録した名前のスクロール検索や、発信に便利な機能（短縮発信、検索発信など）が携帯電話のような感覚で使えます。

電話帳には、システム全体で共通の電話帳、グループで共通の電話帳、電話機毎に持つ電話帳の3種類があります。それぞれの電話帳に登録できる件数は、使用する短縮番号の桁数により異なります。

電話帳の種類	最大登録件数			
	短縮番号2桁	短縮番号3桁	短縮番号4桁	短縮番号 拡張4桁
システム電話帳	90件	900件	1000件	5000件
内線グループ電話帳（グループ全体）	使用不可	使用不可	1000件	使用不可
個別電話帳（電話機ごと）	10件	20件	20件	20件

■ 電話帳項目

以下の内容を電話帳に設定することができます。

- 名前:一覧表示に使用する名前を登録します。
- ヨミガナ:検索に使用するヨミガナを登録します。
- 電話番号:相手先電話番号を登録します。
- 電話帳グループ:電話帳データが所属するグループを登録します。
- 発信グループ:発信先が外線の場合、局線発信グループを登録します。
- 着信音パターン:着信音を登録します
- 短縮番号:短縮ダイヤル発信時に使用する短縮番号を登録します。

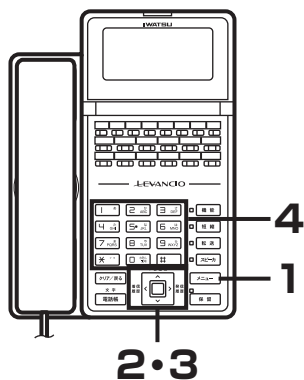
Note

- システム電話帳、内線グループ電話帳は、システム電話機またはあらかじめ決められた電話機で登録が行えます。
- 個別電話帳は、各電話機から登録が行えます。
- 電話帳登録データと短縮ダイヤル登録データは同一のデータです。
- 初期値「2桁」の場合、3桁、4桁または拡張4桁でご使用になる場合は、あらかじめ設定が必要です。お買い求め時（初期値）の短縮番号の桁数は2桁です。
- 発信者番号毎転送は、電話帳に登録された相手からの着信を、外部の転送先に自動転送する機能です。

新規に登録する

以下の操作は、下記の内容を登録する方法について説明しています。

名前：鈴木一郎、電話番号：03-XXXX-1234、
電話帳グループ：グループ2、外線発信グループ：1、
着信音パターン番号：2



Note

- 手順(1)で、「電話帳」ボタンの長押しでも、登録モード選択画面が表示されます。
- 手順(1)で、「機能」、「短縮」ボタンの順に押ししても登録モード選択画面が表示されます。
- 登録操作を途中でキャンセルする場合は、いったん受話器を取り上げ、受話器を置いてください。
- 登録中の画面で一定時間(30秒)操作を行わない場合は、電話機は空き状態になります。
- 何らかの理由で登録できない場合は、登録不可のメッセージが3秒間表示され、入力前の状態に戻ります。再度入力し直してください。

- 1 受話器を置いたまま、「メニュー」ボタンを押します。
メインメニュー画面が表示されます。

▶不在転送設定
留守番／メッセージ
鳴音種別設定
メニュー終了

▶音量調整／画面調整
電話帳登録
ヘルプ表示
メニュー終了

- 2 上下ボタンで“電話帳登録”を選択し、「決定」ボタンを押します。
登録モード選択画面が表示されます。

登録モード選択
▶新規登録
編集／削除
グループ編集

- 3 上下ボタンで“新規登録”を選択し、「決定」ボタンを押します。
名前の入力画面が表示されます。

電話帳新規登録 名前？

- 4 登録先の名称(姓)を入力します。
例：すすき

すすき

- ①す : 「3」を3回押す
②す : 右ボタンを押して、右に1文字移動し、「3」を3回押す
③” (濁点) : 「*」を1回押す。
④き : 「2」を2回押す

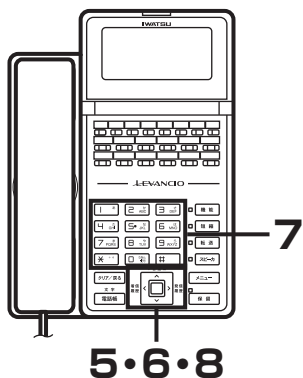
※登録先の名称(姓+名)は、ひらがな・漢字は全角10文字、カタカナ・英数字は半角20文字まで入力できます。

※文字入力の詳細については、「文字の入力方法」(3-30ページ)を参照してください。

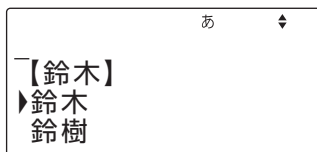
(次ページへ続く)

電話帳を登録する

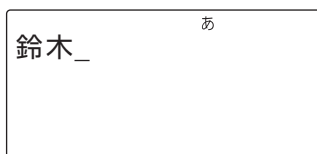
(前ページの続き)



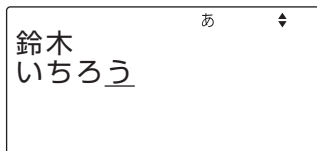
5 上下ボタンを押します。
カーソル位置までの変換候補が表示されます。



6 上下ボタンを押し、目的の候補にカーソルを移動し、「決定」ボタンを押します。



7 登録先の名称（名）を入力します。



例：いちろう

い：「1」を2回押す

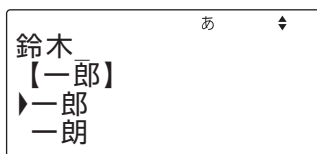
ち：「4」を2回押す

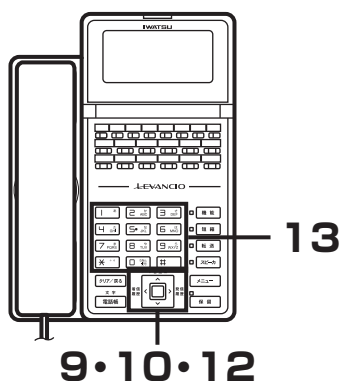
ろ：「9」を5回押す

う：「1」を3回押す

※文字入力の詳細については、「文字の入力方法」(3-30ページ)を参照してください。

8 上下ボタンを押します。
カーソル位置までの変換候補が表示されます。





- 9** 上下ボタンを押し、目的の候補にカーソルを移動し、「決定」ボタンを押します。

鈴木一郎 あ

- 10** 「決定」ボタンを押します。
名称が確定します。

読み? ア
ス*キイチロウ

- 11** 読み仮名の変更が必要な場合は、修正します。
※読み仮名は、カタカナ・英数字を半角20文字まで入力できます。
※文字入力の詳細については、「文字の入力方法」(3-30ページ)を参照してください。

- 12** 「決定」ボタンを押します。
電話番号入力画面が表示されます。

ダイヤル? 1

- 13** 電話番号(32桁以内)を入力します。
入力されたダイヤルが表示されます。

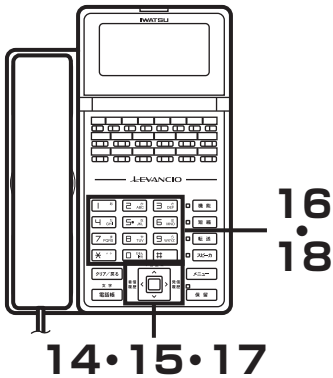
ダイヤル? 1
03XXXX1234

例：03XXXX1234

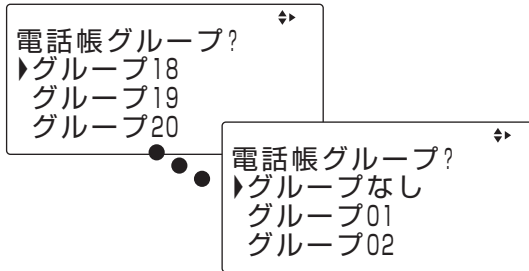
※制御コードの入力については、「文字の入力方法」(3-33ページ)を参照してください。

電話帳を登録する

(前ページの続き)



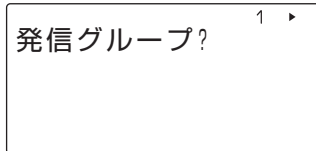
14 「決定」 ボタンを押します。
電話番号が確定します。電話帳グループ選択画面が表示されます。



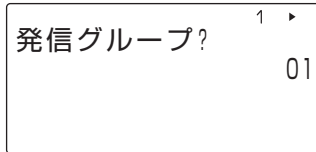
例：電話帳グループ2

15 上下ボタンで電話帳グループを選択し、「決定」 ボタンを押します。

外線発信グループ番号入力画面が表示されます。



16 発信グループ番号 (00~31) を入力します。



例：外線発信グループ1

17 「決定」 ボタンを押します。
着信音パターン番号入力画面が表示されます。



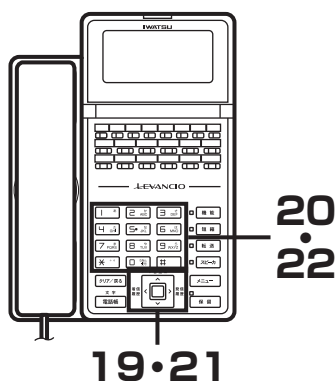
18 着信音パターン番号 (00~16) を入力します。



例：着信音パターン番号2

Note

- 登録操作を途中でキャンセルする場合は、いったん受話器を取り上げ、受話器を置いてください。
- 発信者番号毎転送グループ番号は、お買い求めの販売店にご確認ください。



19 「決定」 ボタンを押します。

短縮番号入力画面が表示されます。
自動的に登録候補が表示されます。

短縮番号?	1	00
-------	---	----

20 短縮番号の変更が必要な場合は、短縮番号を入力します。

短縮番号?	1	90
-------	---	----

Note

• 指定可能な短縮番号

種別	短縮番号 2桁	短縮番号 3桁	短縮番号 4桁	短縮番号 拡張4桁
システム短縮 ダイヤル	00~89	000~899	0000~0999	0000~4999
内線グループ 短縮ダイヤル	—	—	8000~8999	—
個別短縮 ダイヤル	90~99	900~919	900~919	900~919

• 短縮番号として、登録済みの番号を指定した場合は、以前に登録されていた内容が上書きされますのでご注意ください。

21 「決定」 ボタンを押します。

システム電話機とシステム漢字電話帳登録電話機は、発信者番号毎転送グループ番号入力画面が表示されます。

上記以外の電話機をお使いの場合は、手順（24）に進んでください。

転送グループ?	1 ▶
---------	-----

22 転送グループ番号（0~10）を入力します。

※ システム電話機とシステム漢字電話帳登録電話機以外の電話機をお使いの場合は、この画面は表示されません。

転送グループ?	1 ▶	1
---------	-----	---

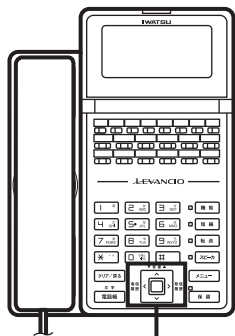
Note

- 発信者番号毎転送は、電話帳に登録された相手からの着信を、外部の転送先に自動転送する機能です。
- 発信者番号毎転送グループ番号は、お買い求めの販売店にご確認ください。
- 発信者番号毎転送の転送先の登録方法は、「電話機から転送先を登録する（発信者番号毎転送）（5-6ページ）」を参照してください。

（次ページへ続く）

電話帳を登録する

(前ページの続き)



23・24・
25-1・25-2

23 「決定」 ボタンを押します。

転送電話／着番号毎転送機能のモード選択画面が表示されます。

※ システム電話機とシステム漢字電話帳登録電話機以外の電話機をお使いの場合は、この画面は表示されません。

転送電話／
着番号毎転送
▶対象
非対象

24 上下ボタンで“対象”または“非対象”を選択し、「決定」ボタンを押します。

登録確認画面が表示されます。

登録しますか?
▶はい
いいえ

25-1

電話帳に登録する場合は、上下ボタンで“はい”を選択し、「決定」ボタンを押します。

登録完了画面が表示されます。

完了しました

手順 (26) に進んでください。

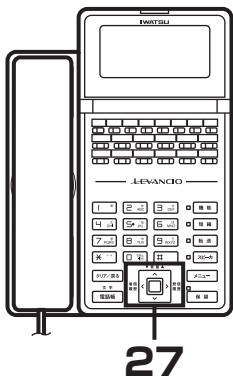
25-2

登録を取り消す場合は、上下ボタンで“いいえ”を選択し、「決定」ボタンを押します。

登録取り消し完了画面が表示されます。

取り消しました

手順 (26) に進んでください。



26 3秒後に継続確認画面が表示されます。

継続しますか?
▶はい
いいえ

27 上下ボタンで“はい”または“いいえ”を選択し、「決定」ボタンを押します。

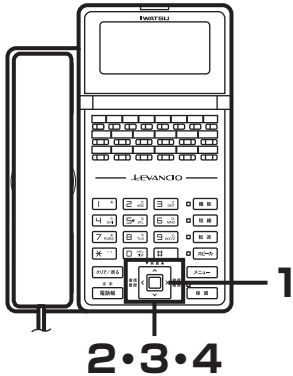
※登録を継続する場合は“はい”を選択します。

手順(4)に戻ります。

※登録を終了する場合は、“いいえ”を選択します。

電話帳を登録する

発信履歴から登録する



Note

- 発信履歴リストに表示される相手先は、電話帳に登録されている場合、その名前が表示されます。電話帳に登録されていない場合は、相手先の電話番号のみ表示されます。
- 既に電話帳に登録されている相手先は、電話帳に登録できません。

1 受話器を置いたまま、発信履歴ボタンを押します。
発信履歴リストが表示されます。

▶ 鈴木一郎	5/31
03XXXX1234	18:36
	5/31
03XXXX2222	10:03

Note

- 発信履歴に記録されている電話番号の桁数は、最大48桁です。
- 発信履歴リストの電話番号表示は、最大11桁です。

2 上下ボタンで登録する発信履歴を選択し、「決定」ボタンを押します。
発信履歴詳細が表示されます。

03XXXX2222
2013年 5月31日 10:03

3 「決定」ボタンを押します。
動作選択表示画面が表示されます。

▶ 電話帳へ登録
1件削除
全件削除
戻る

4 上下ボタンで“電話帳へ登録”を選択し、「決定」ボタンを押します。
電話帳の登録画面が表示されます。

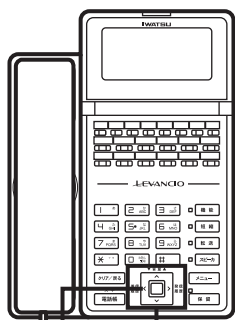
電話帳新規登録 ^あ 名前?
—

5 「新規に登録する」(3-15ページ)の手順(4)以降と同様に操作します。

Note

- 発信履歴の表示中に、30秒間ダイヤル操作がない場合は、発信履歴表示を終了します。なお、着信が発生した場合は、着信状態になります。
- 発信履歴の表示中に受話器を上げる、または外線発信を行うボタンを押すと、外線発信します。

着信履歴から登録する



1 2・3・4

Note

- 着信時にNTTから発信者名情報が通知された場合は、電話帳に相手先名称が登録されていても、通知された発信者名情報が優先されて着信履歴として表示されます。
- 既に電話帳に登録されている、または非通知理由を表示している相手先は、電話帳に登録できません。

1 受話器を置いたまま、着信履歴ボタンを押します。

着信履歴リストが表示されます。

▶鈴木一郎	5/31
未 03XXXX1234	18:30
	5/31
03XXXX2222	18:00

Note

- 着信履歴に登録されている電話番号桁数は、最大32桁です。
- 着信履歴リストの電話番号表示は、最大11桁です。

2 上下ボタンで登録する着信履歴を選択し、「決定」ボタンを押します。

着信履歴詳細が表示されます。

03XXXX2222
2013年 5月31日 18:00
応答

3 「決定」ボタンを押します。

動作選択表示画面が表示されます。

▶電話帳へ登録
1件削除
全件削除
戻る

4 上下ボタンで“電話帳へ登録”を選択し、「決定」ボタンを押します。

電話帳の登録画面が表示されます。

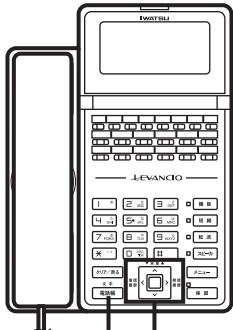
電話帳新規登録 ^あ 名前?
—

5 「新規に登録する」(3-15ページ)の手順(4)以降と同様に操作します。

Note

- 着信履歴の表示中に、30秒間ダイヤル操作がない場合は、着信履歴表示を終了します。なお、着信が発生した場合は、着信状態になります。
- 着信履歴の表示中に受話器を上げる、または外線発信を行うボタンを押すと、外線発信します。ただし、着信履歴が非通知で保存されている相手に対しては発信できません。
- 既に電話帳に登録されている、または非通知理由を表示している相手先は、電話帳に登録できません。

電話帳を登録する



1 2・3・4・5

Note

- 編集操作を途中でキャンセルする場合は、いったん受話器を取り上げ、受話器を置いてください。
- 登録中や検索中の画面で一定時間（30秒）操作を行わない場合は、電話機は空き状態になります。
- 何らかの理由で編集できない場合は、登録不可のメッセージが3秒間表示され、入力前の状態に戻ります。再度入力し直してください。

登録内容を編集する

ここでは、前回の検索が「読み仮名検索」であった場合を例として説明しています。

1 受話器を置いたまま、「電話帳」ボタンを押します。
読み仮名検索入力画面が表示されます。

読み仮名検索 ア

—

2 「決定」ボタンを押します。
五十音順に一覧表示されます。

▶岩崎通信機 ↓
03XXXX2222

佐藤
03XXXX3333

3 上下左右ボタンで登録された電話番号を選択し、「決定」ボタンを押します。
登録内容が表示されます。

SPD No. 0010
鈴木
03XXXX1111

4 「決定」ボタンを押しサブメニューを表示させます。
サブメニュー画面が表示されます。

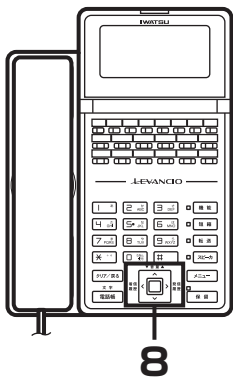
▶編集（参照）
削除

Note

- 一般電話機（システム電話機以外）の場合、システム電話帳に登録した電話番号を選択しても編集できません。

5 上下ボタンで“編集（参照）”を選択し、「決定」ボタンを押します。
名称の入力画面が表示されます。

6 電話帳の各項目を変更します。
※各項目には既存の値が入っています。必要に応じて変更してください。
※変更しない項目については、既存の値のまま「決定」ボタンを押してください。



7 継続確認画面が表示されます。

継続しますか?
▶はい
いいえ

8 上下ボタンで“はい”または“いいえ”を選択し、「決定」ボタンを押します。

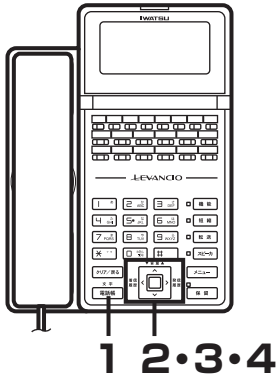
※ 編集を継続する場合は“はい”を選択します。

手順 (2) に戻ります。

※ 編集を終了する場合は、“いいえ”を選択します。

9 電話機は空き状態に戻ります。

電話帳を登録する


Note

- 編集操作を途中でキャンセルする場合は、いったん受話器を取り上げ、受話器を置いてください。
- 登録中や検索中の画面で一定時間（30秒）操作を行わない場合は、電話機は空き状態になります。

登録内容を削除する

ここでは、前回の検索が「50音訓検索」であった場合を例として説明しています。

1 受話器を置いたまま、「電話帳」ボタンを押します。

読み仮名検索入力画面が表示されます。

※ 前回の検索が、読み仮名検索以外の場合は、検索モード切り替え操作を行ってください。検索モード切り替え操作については、「電話帳を検索してかける（50音訓検索）」（4-13ページ）、「電話帳を検索してかける（電話帳グループ検索）」（4-15ページ）、「電話帳を検索してかける（短縮番号検索）」（4-16ページ）を参照してください。

読み仮名検索 ^ア

—

2 検索対象の文字列を入力します。

例) ス*キ

読み仮名検索 ^ア

ス*キ_

3 「決定」ボタンを押します。

50音訓一覧画面が表示されます。

※ 検索対象が存在しない場合は、「該当するデータがありません」と表示され、手順（1）の画面に戻ります。

▶鈴木 ^ア

03XXXX1111

鈴木一郎

03XXXX1234

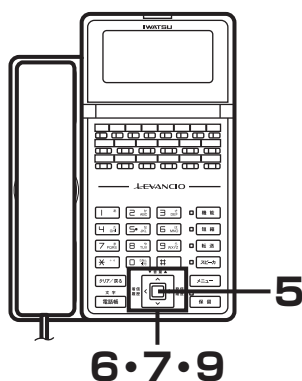
4 上下左右ボタンで登録された電話番号を選択し、「決定」ボタンを押します。

登録内容が表示されます。

SPD No. 0010

鈴木

03XXXX1111



- 5 「決定」ボタンを押しサブメニューを表示させます。**
サブメニュー画面が表示されます。

▶編集(参照)
削除

Note

- 一般電話機（システム電話機以外）の場合、システム電話帳に登録した電話番号を選択しても編集できません。

- 6 上下ボタンで“削除”を選択し、「決定」ボタンを押します。**

削除しますか？
▶はい
いいえ

- 7 上下ボタンで“はい”を選択し、「決定」ボタンを押します。**
削除が完了します。

- 8 3秒後に継続確認画面が表示されます。**

継続しますか？
▶はい
いいえ

- 9 上下ボタンで“はい”または“いいえ”を選択し、「決定」ボタンを押します。**

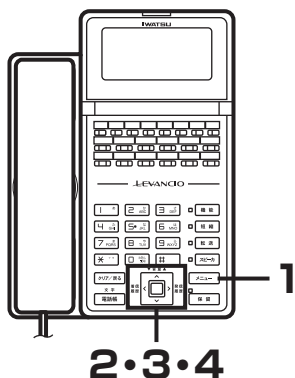
※登録を継続する場合は“はい”を選択します。

手順（1）に戻ります。

※登録を終了する場合は、“いいえ”を選択します。

電話帳を登録する

電話帳グループの名称を編集する



1 受話器を置いたまま、「メニュー」ボタンを押します。
メインメニュー画面が表示されます。

▶音量調整／画面調整

電話帳登録
ヘルプ表示
メニュー終了

▶不在転送設定
留守番／メール設定
鳴音種別設定
メニュー終了

2 上下ボタンで“電話帳登録”を選択し、「決定」ボタンを押します。

登録モード選択画面が表示されます。

登録モード選択

▶新規登録
編集／削除
グループ編集

3 上下ボタンで“グループ編集”を選択し、「決定」ボタンを押します。

電話帳グループ選択画面が表示されます。

電話帳グループ?

▶グループ19
グループ20

電話帳グループ?

▶グループ01
グループ02
グループ03

4 上下ボタンで電話帳グループを選択し、「決定」ボタンを押します。

電話帳グループ名称編集画面が表示されます。

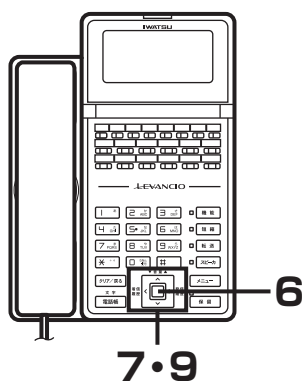
グループ02_ あ

5 グループ名を変更します。

※ひらがな・漢字は全角10文字、カタカナ・英数字は半角20文字まで入力できます。

※文字入力の詳細については、「文字の入力方法」(3-30ページ)を参照してください。

取引先_ あ



6 「決定」ボタンを押します。

電話帳グループ名称が確定し、登録確認画面が表示されます。

登録しますか？
▶はい
いいえ

7 上下ボタンで“はい”を選択し、「決定」ボタンを押します。

登録完了画面が表示されます。

※グループ名の変更を登録しない場合は、“いいえ”を選択してください。

完了しました

8 3秒後に継続確認画面が表示されます。

継続しますか？
▶はい
いいえ

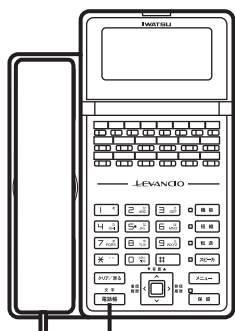
9 上下ボタンで“はい”または“いいえ”を選択し、「決定」ボタンを押します。

※登録を継続する場合は“はい”を選択します。

手順 (3) に戻ります。

※登録を終了する場合は、“いいえ”を選択します。

文字の入力方法



文字ボタン

入力モードを切り替える

文字入力中に文字ボタンを押すと入力モードが切り替わります。
ひらがな→カタカナ（半角）→英字記号（半角）→数字（半角）
<表示例>

名前? あ ひらがなモード

—

名前? ア カタカナモード

—

名前? A 英字記号モード

—

名前? 1 数字モード

—



Note

- 読み仮名の入力中は、ひらがなモードには切り替えられません。

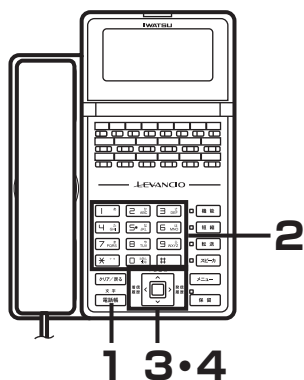
文字を入力する

Note

- 変換できる漢字は、JIS第1水準漢字、JIS第2水準漢字です。
- 文字入力が確定すると、カーソル位置は次の行に移動します。
- すでに確定した文字の上から違う文字を入力すると、カーソルの位置に挿入されます。
- 数字モードでは、ダイヤルボタンを押した時点で、入力が確定します。
- 変換前の文字は最大20文字まで入力できます。
21文字以上の文字列を登録する場合は、一度20文字以内で入力を確定し、再度文字を入力してください。

■ひらがなモードの場合

例：名前：鈴木一郎



1 文字が入力できる状態で、文字ボタンを押して入力モードを切り替えます。

この場合、ひらがなモードに切り替えます。

名前?	あ
—	

2 入力したい文字が割り当てられているボタンを押します。

すすき	あ
-----	---

例：すすき

- ①す : 「3」を3回押す
- ②す : 右ボタンを押して、右に1文字移動し、「3」を3回押す
- ③* (濁点) : 「*」を1回押す
- ④き : 「2」を2回押す

3 上下ボタンを押します。

カーソル位置までの変換候補が表示されます。

	あ	↕
「【鈴木】		
▶鈴木		
鈴木		

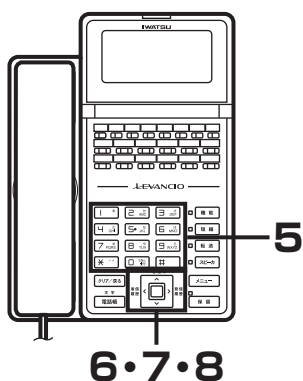
4 上下ボタンで目的の候補（“鈴木”）を選択し、「決定」ボタンを押します。

“鈴木”が確定します。

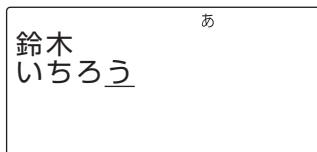
(次ページへ続く)

文字の入力方法

(前ページの続き)



5 入力したい文字が割り当てられているボタンを押します。



- 例：いちろう
- ①い：「1」を2回押す
 - ②ち：「4」を2回押す
 - ③ろ：「9」を5回押す
 - ④う：「1」を3回押す

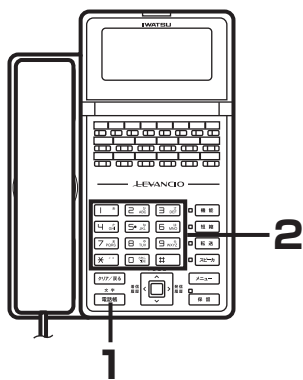
6 上下ボタンを押します。
カーソル位置までの変換候補が表示されます。

7 上下ボタンで目的の候補（“一郎”）を選択し、「決定」ボタンを押します。
“一郎”が確定します。

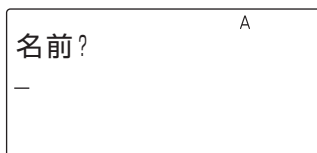
8 「決定」ボタンを押します。
“鈴木一郎”の入力が確定しました。

■英字記号モードの場合

例：IWATSU



1 文字が入力できる状態で、文字ボタンを押して入力モードを切り替えます。
この場合、英字記号モードに切り替えます。

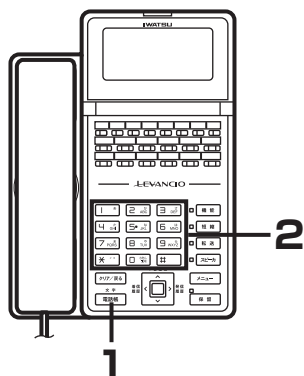


2 入力したい文字が割り当てられているボタンを押します。

- ①I：「4」を3回押す
- ②W：「9」を1回押す
- ③A：「2」を1回押す
- ④T：「8」を1回押す
- ⑤S：「7」を4回押す
- ⑥U：「8」を2回押す

■数字モードの場合

例：03XXXX1234



1 文字が入力できる状態で、文字ボタンを押して入力モードを切り替えます。

この場合、数字モードに切り替えます。

名前?	1
-	

2 入力したい文字が割り当てられているボタンを押します。

① 「0」 「3」 「X」 「X」 「X」 「X」 「1」 「2」 「3」 「4」

■制御コードの入力方法

制御コードは、電話番号2桁分に相当します。

制御コード	入力方法	ディスプレイ表示
ポーズ	「保留」ボタンを押し、続けて「1」～「9」ボタン（ポーズの秒数1～9秒）を押します。	-n ※ (n:1～9)
ダイヤルリバース (DP→PB)	「保留」ボタンを押し、続けて「＊」ボタンを押します。	T
ダイヤルリバース (PB→DP)	「保留」ボタンを押し、続けて「＃」ボタンを押します。	P
ロングフラッシュ	「フラッシュ」ボタン（または「保留」ボタンを押し、続けて「0」）を押します。	F
ネスティング短縮番号	「保留」「短縮」ボタンの順に押し、ネスティングする短縮番号をダイヤルします。	Snn ※ (nn：短縮番号)

Note

- ポーズ時間を設定すると、電話帳でかけるときにダイヤルとダイヤルの間に時間をあけて発信します。
- ダイヤルリバースは、電話帳でかけるときに、ダイヤル信号 (DP) とプッシュ信号 (PB) の切り替えを行います。電話回線がアナログ回線の場合のみ有効です。
- ネスティング短縮とは、発信ダイヤルの中に他の短縮に登録されている相手先ダイヤルを入れ込むことです。

例)

短縮90：03XXXXS91

短縮91：1234

短縮90で発信した場合に実際に送出されるダイヤルは、「03XXXX1234」です。

文字の入力方法

■入力モードごとのキー割り当て

ボタン	入力モード			
	ひらがなモード	カタカナモード	英字記号モード	数字モード
	あいうえおあいうえお	アイウエオ	未使用	1
	かきくけこ	カキケコ	ABCabc	2
	さしすせそ	サシセソ	DEFdef	3
	たちつてとっ	チツテト	GHIghi	4
	なにぬねの	ニアネノ	JKLjkl	5
	はひふへほ	ヒフヘホ	MNOmno	6
	まみむめも	マミメモ	PQRSpqrs	7
	やゆよやゆよ	ヤヨヤヨ	TUVtuv	8
	らりるれろ	ルルロ	WXYZwxyz	9
	わをんわ` ° -。、 ! ? 空白	ワヅ`-!? 空白	-&[]#*!?:/_\() 空白	0
	変換候補の選択中は、前ページの 変換候補に切り替えます	未使用	未使用	*
	変換候補の選択中は、次ページの 変換候補に切り替えます	未使用	未使用	#
文字ボタン 	カタカナモードに切り替えます	英字記号モードに切り替えます	数字モードに切り替えます	名称の入力中は、ひらがなモードに切り替えます。 読み仮名の入力中は、カタカナモードに切り替えます。
上ボタン 	入力した文字の変換候補を選択します。	半角/全角変換を選択します。		
下ボタン 				
右ボタン 	カーソルを右に移動します。 変換候補の選択中は、変換をキャンセルします。	カーソルを右に移動します。		
左ボタン 	カーソルを左に移動します。 変換候補の選択中は、変換をキャンセルします。	カーソルを左に移動します。		
「決定」ボタン 	入力した文字や選択した変換候補を確定します。	入力した文字を確定します。		名称の入力中は、入力した文字を確定します。
「クリア」ボタン、 「戻る」ボタン 	短く押すと、カーソル上の1文字を消去します。 1秒以上押すと、入力した全ての文字を消去します。 ひらがなモードで、変換候補の選択中は、変換をキャンセルします。			

液晶表示部の説明



Note

- 日、曜日、時刻はデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。お買い求めの販売店にお問い合わせください。
- ※時刻の修正は3-2ページの時刻調整で行えます。



Note

- 表示はダイヤル数字が右から左へ流れていきます。
- 21桁以上になると左（先にダイヤルしたもの）が見えなくなります。
- 短縮番号など、登録されている番号でかけるときも表示されます。

カレンダー／時刻表示

- 使用していないときに月日、時刻を表示します。

6月 1日(土)15:46
11

ダイヤルモニタ

- ダイヤルした番号が表示されます。

一般回線 03XXXX5678

内線相手番号表示

内線で着信

- 相手の内線番号および登録されている発信者氏名が表示されます。

※発信者氏名は、あらかじめデータ設定により、登録されている場合に表示されます。

内着 岩崎
12

転送で着信（不在・話中・未応答転送）

- 発信内線番号、および転送内線番号が表示されます。

内着 17 >11
12

会議通話中

- 会議に参加している内線番号が表示されます。

内線会議 13
15

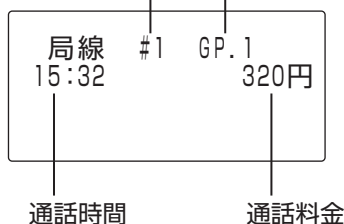
液晶表示部の説明

通話時間 / 料金表示

100分未満の外線通話時間が表示されます。

- 国内電話、国際電話、自動車電話、船舶電話、NCC（KDDI、日本テレコム）に対する外線通話料金が表示されます。

発信外線番号 外線グループ番号



Note

- 通話時間が100分を超えると00:00表示に戻ります。
- 通話料金が10万円を超える場合でも、表示は99,999円で止まります。
- 料金表示をするには、あらかじめデータ設定が必要です。設定については、お買い求めの販売店にお問い合わせください。
- 非課金ダイヤル（0120、114などの100番系など）をダイヤルしたときは、通話時間のみ表示します。

注意

- 表示される通話料金は、電話局の通話料金と異なることがあります。異なった場合でも、公式データとして電話局などに提出・申し立てすることはできません。

Note

- 通話料金を表示できないとき（ダイヤルした市外局番がない、システムで非課金対象としている電話番号など）は、通話時間のみ表示します。
- 複数の内線電話機に通話が転送されたときは、各内線電話機に通話料金を分配しますが、ディスプレイには通算の通話料金が表示されます。会議通話の場合も同様です。
- 複数外線会議を行なっているときは、通話料金を表示しません。

不在メッセージ表示

- 登録するとディスプレイに不在メッセージが表示されます。また、不在設定中に内線呼び出しをされると、相手の多機能電話機のディスプレイにも不在メッセージが表示されます。
- 登録できるメッセージは戻り時間、戻り日、会議終了時間、行き先電話番号の4種類です。

戻り時間

6月 1日(土)15:46
15:30 まで不在

戻り日

6月 1日(土)15:46
16日まで不在

会議終了時間

6月 1日(土)15:46
09:30 まで会議

行き先電話番号

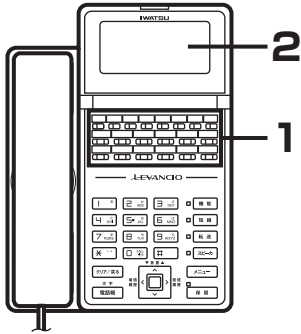
6月 1日(土)15:46
行き先>03XXXX1111



Note

- 登録方法は7-70ページをご参照ください。
- 消去方法は7-72ページをご参照ください。

液晶表示部の説明



Note

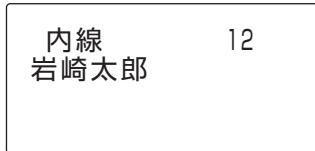
- 「表示切り替え」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。
- 電話機使用者の名前を表示するにはデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。お買い求めの販売店にお問い合わせください。

LCD表示切り替え

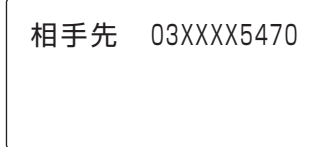
ディスプレイに表示する情報を切り替えることができます。

1 「表示切り替え」ボタン（または「機能」+「6」「3」ボタン）を押します。

例) 内線とお話中に外線着信を受けているときに表示切替操作をします。



2 ディスプレイに表示される情報が切り替わります。

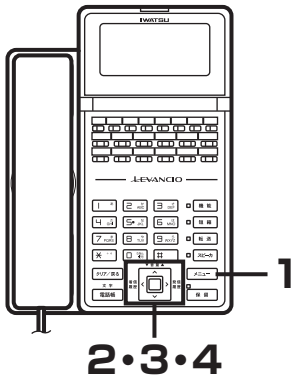


● LCD表示内容と表示レベルの関係

表示レベル	表示内容	
	1行	2行
6	電話帳ガイダンス表示	
5	メニュー表示、電話帳表示、発着信履歴表示、システム情報表示	
4	データ表示 ガイダンス表示 通話料金管理表示	データ表示 入力データ表示
3	局線発信表示 内線発信表示 呼状態表示	タイムコール着信表示 不在メッセージ
2	局線着信表示 内線着信表示	局線通話表示（通話時間） 内線通話表示
1	局線通話表示 {内線通話表示} 注1	局線着信表示 {内線着信表示} 注1
0	時計	状態表示

注1：相手電話機の名前の登録があるときのみ表示されます。

画面コントラストを調整する



1 受話器を置いた状態で「メニュー」ボタンを押します。
メインメニュー画面が表示されます。

▶音量調整／画面調整

電話帳登録
ヘルプ表示
メニュー終了

▶不在転送設定
留守番／メール設定
鳴音種別設定
メニュー終了

2 上下ボタンで“音量調整／画面調整”を選択し、「決定」ボタンを押します。

設定項目選択画面が表示されます。

設定項目選択

▶着信音量
画面コントラスト
戻る

設定項目選択

▶局線スピーカ音量
内線スピーカ音量
受話音量

3 上下ボタンで“画面コントラスト”を選択し、「決定」ボタンを押します。

画面コントラスト
5

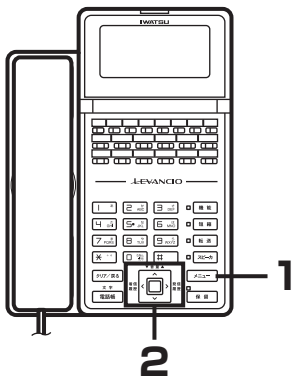
4 上下ボタンでコントラスト（0から15まで）を選択します。

ヘルプ表示

メニューオペレーションで機能の操作説明を表示することができます。

●多機能電話機のヘルプに収納されている項目

順	項目	順	項目	順	項目
1	メニュー操作	19	タイムコール登録	37	通話料金表示 (先月)
2	フラッシュ	20	タイムコール解除	38	グループ予算
3	ショートフラッシュ	21	モーニングコール登録	39	キー割当確認
4	ダイヤルリバース	22	モーニングコール解除	40	自内線番号表示
5	秘話解除	23	内線コールバック登録	41	自己保留
6	お断りきっかけ音	24	内線コールバック解除	42	電話帳登録
7	セーブナンバリダイヤル	25	電話機パスワードロック	43	迷惑電話防止登録
8	メモダイヤル	26	電話機パスワード解除	44	迷惑電話防止確認
9	トランクキューイング登録	27	音声案内	45	秘書応答着信音変更
10	トランクキューイング解除	28	マイクオン	46	鳴音種別設定
11	T.トランクキューイング登録	29	マイクオフ	47	システム情報表示
12	T.トランクキューイング解除	30	BGMオン		
13	マクロキーの登録	31	BGMオフ		
14	グループ内代理応答	32	LCD表示切替		
15	グループ外代理応答	33	内線呼出しモード切替		
16	個別代理応答	34	通話料金表示 (前回)		
17	パーク応答	35	通話料金表示 (本日)		
18	ミーティングミー応答	36	通話料金表示 (今月)		



1 受話器を置いた状態で「メニュー」ボタンを押します。
メインメニュー画面が表示されます。

▶音量調整 / 画面調整
電話帳登録
ヘルプ表示
メニュー終了

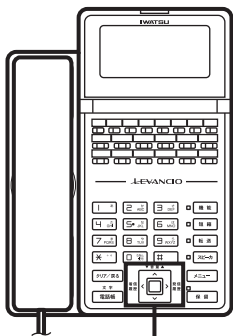
▶不在転送設定
留守番 / メール設定
鳴音種別設定
メニュー終了

2 上下ボタンで“ヘルプ表示”を選択し、「決定」ボタンを押します。
ヘルプ表示画面が表示されます。

ヘルプ
▶鳴音種別設定
システム情報表示
メニュー終了

ヘルプ
▶ダイヤルリバース
秘話解除
お断りきっかけ音

ヘルプ
▶メニュー操作
フラッシュ
ショートフラッシュ



3-4

3 上下ボタンで知りたい操作方法の項目を選択し、「決定」ボタンを押します。

例：ショートフラッシュを選択した場合

ショートフラッシュ
[機能]+[1]+[2]

4 説明画面が表示された状態で、上下ボタンを押すと、前/次の説明画面が表示されます。

フラッシュ
[機能]+[1]+[1]

※ 上ボタンを押した場合（前の説明画面）



ショートフラッシュ
[機能]+[1]+[2]

※ ショートフラッシュ説明画面



ダイヤルリバーズ
[機能]+[1]+[3]

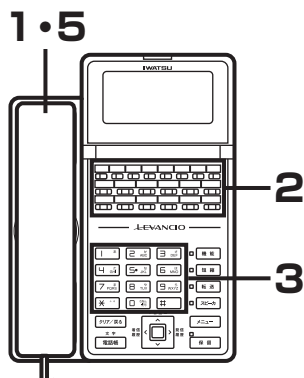
※ 下ボタンを押した場合（次の説明画面）

MEMO

4. 多機能電話機

基本操作編

外線へかける



Note

- 「外線」、「索線」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。
- 発信した外線に準じたキャリア名称を表示することができます。

受話器を上げてかける〈オフフックダイヤル〉

受話器を取り上げてから、外線に電話をかけます。

1 受話器を取り上げます。

Note

- 受話器を上げるだけで、空いている外線を自動捕捉することもできます。

2 「外線」 ボタンを押します。

「ツー」 という外線発信音が聞こえます。
「外線」 ボタンが緑色で点滅します。

局線 #2 GP.1
一般回線

Note

- 外線グループ内の全ての外線が使用中のときは、ディスプレイに「回線使用中」の表示が出ます。
- 外線グループ内の全ての外線が使用中のときは、受話器を取り上げると「ツー、ツー」という話中音が聞こえます。
- 「索線」ボタンを押して、使用する外線グループを指定することもできます。

3 相手の電話番号をダイヤルします。

ディスプレイに電話番号が表示されます。

※ ISDN回線、ひかり電話回線、IP電話回線のときは、最後に「#」ボタンを押します。

030570XXXX
一般回線

Note

- 構内交換機に接続されている場合は、相手の電話番号の前に、構内交換機の外線発信番号（例：「0」）をダイヤルする必要があります。
- ISDN回線を自動捕捉して、最後に「#」を押さなかったときは、約6秒後に自動的にダイヤルが送出されます。ダイヤルを送出するまでの時間は変更できます。

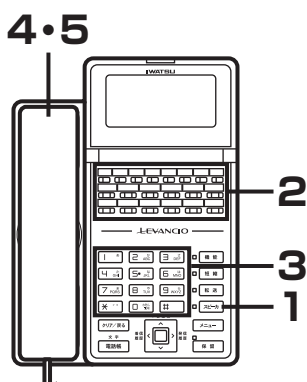
4 相手が応答したら、お話しします。

局線 #2 GP.1
0:05 9円

5 お話しが終了したら、受話器を置きます。

受話器を置いたままかけるとき〈オンフックダイヤル〉

受話器を置いたまま、外線に電話をかけます。



Note

- 「外線」、「索線」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

1 受話器を置いたまま、「スピーカ」ボタンを押します。

Note

- 「スピーカ」ボタンを押すだけで、空いている外線を自動捕捉することもできます。

2 「外線」ボタンを押します。

空いている外線を自動捕捉します。
「ツー」 という外線発信音が聞こえます。
「外線」ボタンが緑色で点滅します。

局線 #2 GP.1
一般回線

Note

- 外線グループ内の全ての外線が使用中のときは、ディスプレイに「回線使用中」の表示が出ます。
- 外線グループ内の全ての外線が使用中のときは、受話器を取り上げると「ツー、ツー」という話中音が聞こえます。
- 「索線」ボタンを押して、使用する外線グループを指定することもできます。

3 相手の電話番号をダイヤルします。

ディスプレイに電話番号が表示されます。
※ ISDN回線、ひかり電話回線、IP電話回線のときは、最後に「#」ボタンを押します。

030570XXXX
一般回線

Note

- 構内交換機に接続されている場合は、相手の電話番号の前に、構内交換機の外線発信番号（例：「0」）をダイヤルする必要があります。
- ISDN回線を自動捕捉して、最後に「#」を押さなかったときは、約6秒後に自動的にダイヤルが送出されます。ダイヤルを送出するまでの時間は変更できます。

4 相手が応答したら、受話器を取り上げてお話しします。

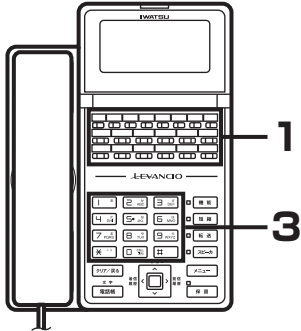
局線 #2 GP.1
0:05 9円

5 お話しが終了したら、受話器を置きます。

外線へかける

ダイヤル途中で電話番号を間違えたとき
〈ロングフラッシュ〉

受話器を戻さなくてもワンタッチで発信状態に戻すことができます。



- 1 ダイヤルの途中で「フラッシュ（フック）」ボタン（または「機能」+「1」「1」ボタン）を押します。

一般回線 03xxxx

- 2 発信状態に戻ります。
「ツーン」という外線発信音が聞こえます。

局線 #2 GP.1
一般回線

- 3 ダイヤルし直します。

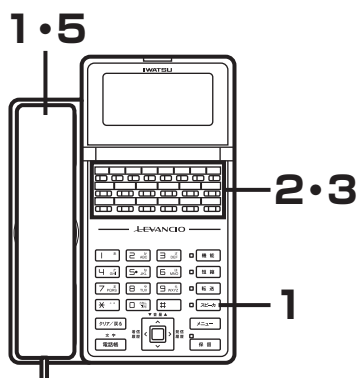
一般回線 030570XXXX

 **Note**

- 「フラッシュ（フック）」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。
- ロングフラッシュ機能を使用する場合、フラッシュ時間の調整が必要な場合があります。
- ロングフラッシュ機能は、以下の外線が発信する場合に使用できます。
アナログ回線
ISDN回線
ひかり電話

最後に電話した相手に再びかけ直すとき 〈ラストナンバリダイヤル〉

外線に電話をかけたときの最後の電話番号（1件）を記憶し、再び電話をかけるときに、その番号を簡単な操作で呼び出します。相手が出ないとき、または話中でかけ直すときに、同じ番号を再度ダイヤルしなくても自動的に呼び出すことができます。



Note

- 「再発信」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。

内線 11

2 空いている「外線」ボタンを押します。

局線 #2 GP.1
一般回線

3 「再発信」ボタン（または「短縮」 + 「#」ボタン）を押します。

最後にかけた相手の電話番号を自動発信します。

一般回線 030570XXXX

4 相手が応答したら、お話しします。

5 お話しが終了したら、受話器を置きます。

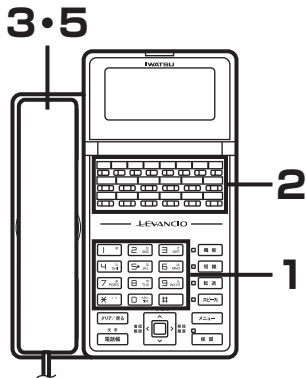
Note

- 転送後のダイヤル、および相手が応答しお話しを始めた後のダイヤルは、記憶されません。
- 記憶できるダイヤル桁数は、最大48桁です。

外線へかける

電話番号をディスプレイで確認してから電話をかける〈プリセットダイヤル〉

ダイヤルした電話番号をディスプレイで確認してから電話をかけることができます。



Note

- 「外線」、「索線」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

- 1 受話器を置いたまま、相手の電話番号をダイヤルします。ダイヤルした番号がディスプレイに表示されます（各桁の表示時間：10秒）。
※ダイヤルを訂正するには、ディスプレイにダイヤルした番号が表示されている間に、「機能」ボタンを押します。「機能」ボタンを押すごとに、末尾の数字が1文字ずつ消えます。
※「クリア」ボタンでは、ダイヤルを訂正することはできません。

6月 1日(土)15:46
11

Note

- 外線接続のための待ち時間を設定するには、「保留」ボタンを押した後、続けて該当する「1」～「9」ボタンを押します。外線に接続するときの待ち時間（1～9秒）を設定できます。

- 2 「外線」ボタンまたは「索線」ボタンを押します。

030570XXXX
11

Note

- 「索線」ボタンは、各外線グループ番号に対応して設けることのできるボタンです。「索線」ボタンを使用して外線へかけると、外線グループ内の空いている外線を自動捕捉することができます。

- 3 受話器を取り上げます。ディスプレイに表示している電話番号を自動発信します。

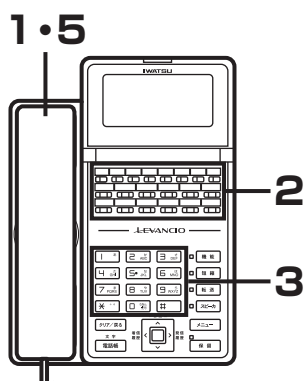
030570XXXX
一般回線

- 4 相手が応答したら、お話しします。

局線 #2 GP.1
11

- 5 お話しが終了したら、受話器を置きます。

短縮ダイヤルを利用する

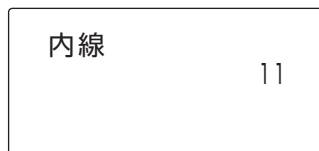


Note

- 短縮番号は、電話帳の情報として登録されています。「短縮」ボタンを押した後に、この短縮番号をダイヤルすると、電話帳の機能により相手に電話をかけることができます。

●かける方法

1 受話器を取り上げます。

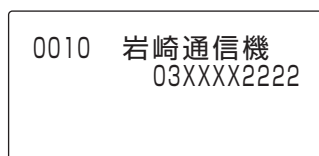


2 「短縮」ボタンを押します。 「短縮」ボタンが赤色で点灯します。



3 相手の短縮番号をダイヤルします。

短縮ダイヤルに登録されている電話番号を自動発信します。



Note

- アナログ回線に対して、短縮ダイヤルの発信を行なった場合、ダイヤルの送出中は「短縮」ボタンが赤色で点滅します。

4 相手が応答したら、お話しします。

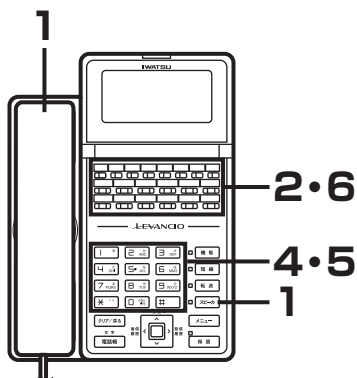
5 お話しが終了したら、受話器を置きます。

Note

- ダイヤルできる短縮番号は、以下のようになります。

種別	短縮番号 2桁	短縮番号 3桁	短縮番号 4桁	短縮番号 拡張4桁
システム短縮ダイヤル	00~89	000~899	0000~0999	0000~4999
内線グループ短縮ダイヤル	—	—	8000~8999	—
個別短縮ダイヤル	90~99	900~919	900~919	900~919

外線へかける


 **Note**

- 短縮番号は電話帳に登録されています。短縮番号の情報をディスプレイに表示させた後に、「短縮」ボタンを押すと、電話帳の機能により相手に電話をかけることができます。

● 相手先を確認してからかけるとき〈スクロール発信〉

1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。

内線 11

2 「短縮」ボタンを押します。

3 「*」ボタンを押します。

11

4 登録してある短縮番号をダイヤルします。
ディスプレイには登録されている電話番号と、相手先名が表示されます。

00 岩崎通信機
001:03XXXX2222

5 短縮番号が間違えていたら、「*」または「#」ボタンを押し、かけたい短縮番号を探します。

※「*」ボタンを押すと次の短縮番号の登録内容が、「#」ボタンを押すと1つ前の短縮番号の登録内容が表示されます。

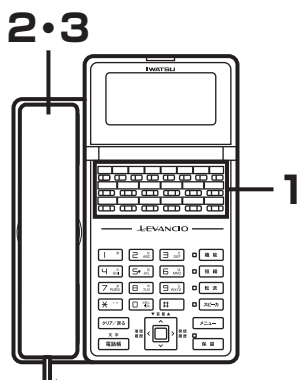
01 佐藤
001:03XXXX1111

6 「短縮」ボタンを押します。
登録されている電話番号がダイヤルされます。

01 佐藤
001:03XXXX1111

応答しない相手に何度もかけ直すとき 〈オートリピートダイヤル〉

呼び出した相手が不在または話中で応答しない場合に、一旦、受話器を戻して待機しておくだけで、一定時間ごとに自動的に再発信できます。



Note

- 「オートリピートダイヤル」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

- 1 相手が応答しない状態（呼び出し中または話中）で、「オートリピートダイヤル」ボタンを押します。
「オートリピートダイヤル」ボタンが赤色で点灯します。
登録が完了すると、現在使用中の外線が切断されます。

030570XXXX
11

- 2 受話器を戻して、待機しておきます。
登録したダイヤル宛にあらかじめ設定された周期で再発信します。

6月 1日(土)15:46
11

Note

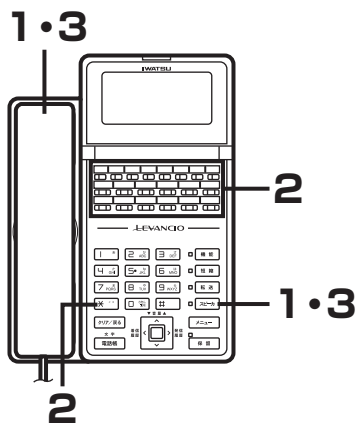
- 再発信による呼び出し中に、「スピーカ」ボタンを押すと、呼び出しを中止し、次の周期に移行します。

- 3 相手が応答したら、受話器を取り上げてお話しします。

Note

- 再発信するときは、登録したときの発信方法と同じ方法で外線を自動選択します。
- 再発信する周期は、初期値：120秒です。61秒周期にすることもできます。
- 再発信しても相手が応答しないときは、あらかじめ設定されたオートリピートダイヤル回数分、発信を繰り返します。
- 再発信に使用する外線が話中の場合でも、オートリピートダイヤル回数にカウントされます。

外線へかける


 **Note**

- 「オートリピートダイヤル」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

●オートリピートダイヤルの解除方法

- 1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。



- 2 「オートリピートダイヤル」、「*」ボタンの順に押します。
解除が完了すると、「プップッッ」という確認音が聞こえます。
「オートリピートダイヤル」ボタンが消灯します。
- 3 受話器を置くか「スピーカ」ボタンを押します。

電話帳に登録した電話番号にかける

電話帳から相手を検索して電話をかけることができます。また、電話帳に登録している相手の短縮番号をダイヤルして電話をかけることもできます。

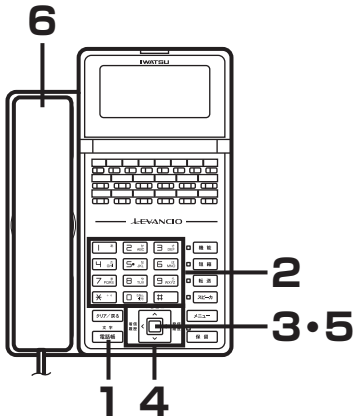
■検索モードと検索方法

検索モード		検索内容	検索条件の入力方法	参照ページ
読み仮名検索	読み仮名検索	電話帳に登録している読み仮名と前方一致で比較し、一致した相手を表示します。	• 検索する読み仮名を入力します。 • 最大20文字 例) “カワ” と入力した場合、“カワ” で始まる相手先を表示します。	4-12
	50音訓検索	電話帳に登録している読み仮名の1桁目の文字をキーに、50音順で表示します。文字の表示順は、記号→数字→アルファベット→カナの順になります。	入力不要です。	4-13
電話帳グループ検索		選択したグループに登録している相手先を表示します。	上下ボタンで検索するグループを選択します。	4-15
短縮番号検索		電話帳に登録している短縮番号と前方一致で比較し、一致した相手を表示します。	検索する短縮番号を入力します。 例) 短縮番号の桁数が4桁のケース “015” と入力した場合、“0150” ~ “0159” の相手先を全て表示します。	4-16
電話番号検索		電話帳に登録している電話番号と前方一致で比較し、一致した相手を表示します。	• 検索する電話番号を入力します。 • 先頭から最大10桁 例) “03” と入力した場合、“03” で始まる相手先を全て表示します。	4-18

Note

- 検索モード変更時、次回の電話帳検索画面では、前回変更の検索モードで表示されます。

外線へかける



Note

- 検索操作を途中でキャンセルする場合は、一度受話器を取り上げて戻してください。ただし、検索結果が表示されているときは、「戻る」ボタンを押してください。
- 「外線」、「索線」ボタンは、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

電話帳を検索してかける（読み仮名検索）

ここでは、前回の検索が、「読み仮名検索」であった場合を例として説明しています。

1 受話器を置いたまま、「電話帳」ボタンを押します。

読み仮名検索入力画面が表示されます。

※ 前回の検索が、読み仮名検索以外の場合は、検索モード切り替え操作を行ってください。検索モード切り替え操作については、「電話帳を検索してかける（50音訓検索）」（4-13ページ）、「電話帳を検索してかける（電話帳グループ検索）」（4-15ページ）、「電話帳を検索してかける（短縮番号検索）」（4-16ページ）を参照してください。

読み仮名検索 ア
—

2 検索対象の文字列を入力します。

例) ス*キ

読み仮名検索 ア
ス*キ_

3 「決定」ボタンを押します。

50音訓一覧画面が表示されます。

※ 検索対象が存在しない場合は、「該当するデータがありません」と表示され、手順（1）の画面に戻ります。

▶鈴木 ↑
03XXXX1111
鈴木一郎
03XXXX1234

4 上下ボタンで目的の電話帳を選択します。

※ 検索結果が1件の場合は、検索結果詳細画面が表示されます。

5 「決定」ボタンを押します。

検索結果詳細画面が表示されます。

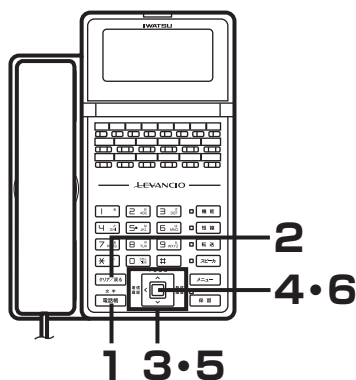
SPD No. 0010 ↑
鈴木
03XXXX1111

6 受話器を取り上げます。

相手先を呼び出します。

電話帳を検索してかける（50音訓検索）

ここでは、前回の検索が、「電話帳グループ検索」であった場合を例として説明しています。



Note

- 検索操作を途中でキャンセルする場合は、一度受話器を取り上げて戻してください。ただし、検索結果が表示されているときは、「戻る」ボタンを押してください。

1 受話器を置いたまま、「電話帳」ボタンを押します。

グループ検索
▶グループなし
グループ01
グループ02

2 「戻る」ボタンを押します。 検索モード選択画面が表示されます。

読み仮名検索
▶グループ検索
短縮番号検索
電話番号検索

3 上下ボタンで“読み仮名検索”を選択し、「決定」ボタンを押します。

読み仮名検索

4 「決定」ボタンを押します。 50音順に一覧表示されます。

▶岩崎通信機 03XXXX2222
佐藤 03XXXX3333

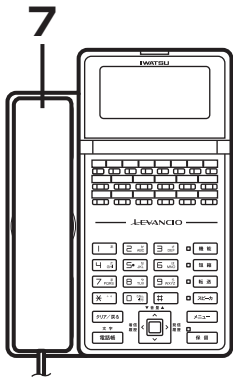
5 上下ボタンで目的の電話帳を選択します。 ※ 検索結果が1件の場合は、検索結果詳細画面が表示されます。

6 「決定」ボタンを押します。 検索結果詳細画面が表示されます。

SPD No. 0010
鈴木
03XXXX1111

外線へかける

(前ページの続き)

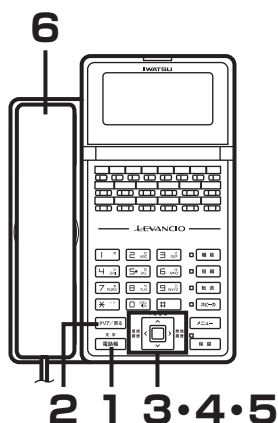


7 受話器を取り上げます。
相手先を呼び出します。



Note

- 「外線」、「索線」ボタンは、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。



電話帳を検索してかける（電話帳グループ検索）

ここでは、前回の検索が、「読み仮名検索」であった場合を例として説明しています。

1 受話器を置いたまま、「電話帳」ボタンを押します。

読み仮名検索 ア
—

2 「戻る」ボタンを押します。 検索モード選択画面が表示されます。

▶読み仮名検索
グループ検索
短縮番号検索
電話番号検索

3 上下ボタンで“グループ検索”を選択し、「決定」ボタンを押します。

グループ検索 ▲
▶グループなし
グループ01
グループ02

4 上下ボタンで検索するグループを選択し、「決定」ボタンを押します。

▶鈴木 ▲
03XXXX1111
鈴木一郎
03XXXX1234

5 上下ボタンで目的の電話帳を選択します。 ※ 検索結果が1件の場合は、検索結果詳細画面が表示されます。

鈴木 ▲
03XXXX1111
▶鈴木一郎
03XXXX1234

6 受話器を取り上げます。 相手先を呼び出します。

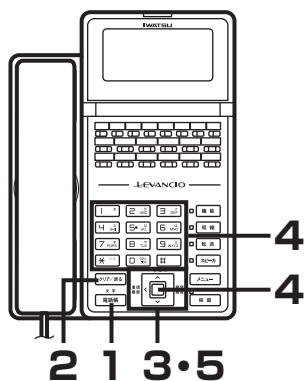
Note

- 検索操作を途中でキャンセルする場合は、一度受話器を取り上げて戻してください。ただし、検索結果が表示されているときは、「戻る」ボタンを押してください。
- 「外線」、「索線」ボタンは、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

外線へかける

電話帳を検索してかける（短縮番号検索）

ここでは、前回の検索が、「電話帳グループ検索」であった場合を例として説明しています。



Note

- 検索操作を途中でキャンセルする場合は、一度受話器を取り上げて戻してください。ただし、検索結果が表示されているときは、「戻る」ボタンを押してください。
- 「外線」、「索線」ボタンは、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

1 受話器を置いたまま、「電話帳」ボタンを押します。

グループ検索
▶グループなし
グループ01
グループ02

2 「戻る」ボタンを押します。
検索モード選択画面が表示されます。

読み仮名検索
▶グループ検索
短縮番号検索
電話番号検索

3 上下ボタンで“短縮番号検索”を選択し、「決定」ボタンを押します。

短縮番号入力画面が表示されます。

短縮番号検索 ¹

4 短縮番号を入力し、「決定」ボタンを押します。

※ 短縮番号の前半の一部を指定しても検索できます。

例) 短縮番号の桁数が2桁のケース

“1”と入力→“10”～“19”の範囲での、相手先を全て表示します。

短縮番号検索 ¹

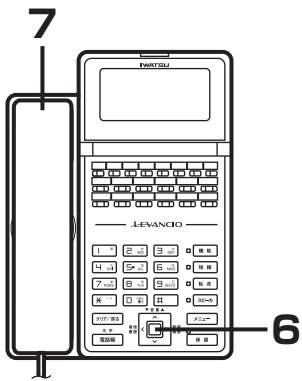
1

▶鈴木 03XXXX1111
鈴木一郎 03XXXX1234

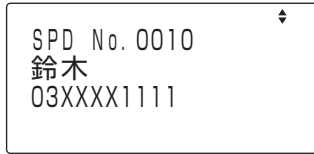
5 上下ボタンで目的の電話帳を選択します。

※ 手順(4)で、短縮番号を全桁指定時は、手順(5)は省略可能です。

▶鈴木 03XXXX1111
鈴木一郎 03XXXX1234



6 「決定」 ボタンを押します。

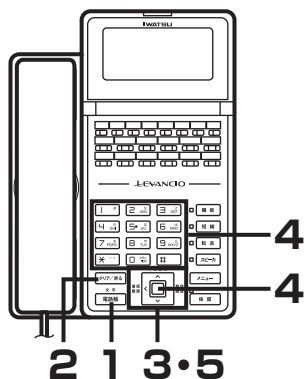


7 受話器を取り上げます。
相手先を呼び出します。

外線へかける

電話帳を検索してかける（電話番号検索）

ここでは、前回の検索が、「短縮番号検索」であった場合を例として説明しています。



Note

- 検索操作を途中でキャンセルする場合は、一度受話器を取り上げて戻してください。ただし、検索結果が表示されているときは、「戻る」ボタンを押してください。
- 「外線」、「外線」ボタンは、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

1 受話器を置いたまま、「電話帳」ボタンを押します。

短縮番号検索 ¹

2 「戻る」ボタンを押します。
検索モード選択画面が表示されます。

読み仮名検索
グループ検索
▶短縮番号検索
電話番号検索

3 上下ボタンで“電話番号検索”を選択し、「決定」ボタンを押します。

電話番号検索 ¹

4 電話番号を入力し、「決定」ボタンを押します。

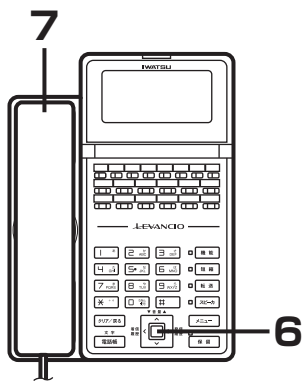
※ 電話番号は、最大10桁まで。

※ 電話番号の前半の一部を指定しても検索できます。

電話番号検索 ¹	03	▶	岩崎通信機	03XXXX2222
			佐藤	03XXXX3333

5 上下ボタンで目的の電話帳を選択します。

▶	岩崎通信機	03XXXX2222
	佐藤	03XXXX3333



6 「決定」 ボタンを押します。

SPD No. 0010
岩崎通信機
03XXXX2222

7 受話器を取り上げます。
相手先を呼び出します。

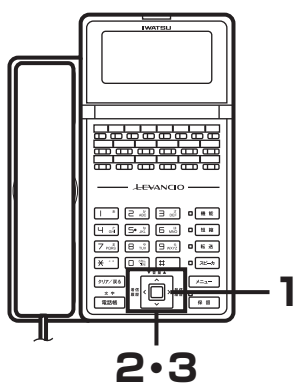
外線へかける

発信履歴／着信履歴からかける

発信履歴／着信履歴から相手を選んで、外線に電話をかけることができます。

発信履歴からかける

過去に発信した電話番号は、発信履歴として最新の20件を記録しています。発信履歴から相手を選んで、外線に電話をかけることができます。



 **Note**

- 発信履歴の電話番号は、1番号につき最大48桁まで記録されます。
- 「索線」、「ダイヤルイン」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

1 受話器を置いたまま、発信履歴ボタンを押します。

発信履歴リストが表示されます。

※ 発信履歴リストの表示中に、「戻る」ボタンを押すと、発信履歴リストの表示を終了します。

▶ 鈴木一郎	5/31
03XXXX1234	18:36
	5/31
03XXXX2222	10:03

※ 表示は、先頭より最大11桁になります。

2 上下ボタンを使い、発信履歴から相手を探します。

▶ 鈴木一郎	5/31
03XXXX1234	18:36
	5/31
03XXXX2222	10:03

3 「決定」ボタンを押し、受話器を取り上げます。または、そのまま、受話器を取り上げます。

選択した相手先の電話番号にダイヤルされます。

0001	鈴木一郎
	03XXXX1234

4 相手が応答したら、お話しします。

5 お話しが終了したら、受話器を置きます。

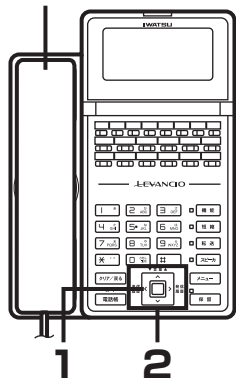
 **Note**

- 手順(3)は、以下の方法でも発信できます。
 - 「受話器を置いたままかけるとき〈オンフックダイヤル〉」(4-3ページ)
 - 「索線」ボタン、「索線番号」ボタン：「外線グループ発信」(7-3ページ)
 - 「ダイヤルイン」ボタン：「クイックオペレーション」(7-2ページ)

着信履歴からかける

過去に着信した電話番号は、着信履歴として最新の20件を記録しています。着信履歴から相手を選んで、外線に電話をかけることができます。

3・5



Note

- 「索線」、「ダイヤルイン」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

1 受話器を置いたまま、着信履歴ボタンを押します。

着信履歴リストが表示されます。

※ 着信履歴リストの表示中に、「戻る」ボタンを押すと、着信履歴リストの表示を終了します。

▶鈴木一郎	5/31
未 03XXXX1234	18:30
	5/31
03XXXX2222	15:46

Note

- 着信履歴に記憶されるダイヤル桁数は、最大32桁です。

2 上下ボタンを使い、着信履歴から相手を探します。

▶鈴木一郎	5/31
未 03XXXX1234	18:30
	5/31
03XXXX2222	15:46

3 受話器を取り上げます。

選択した相手先の電話番号にダイヤルされます。

4 相手が応答したら、お話しします。

5 お話しが終了したら、受話器を置きます。

Note

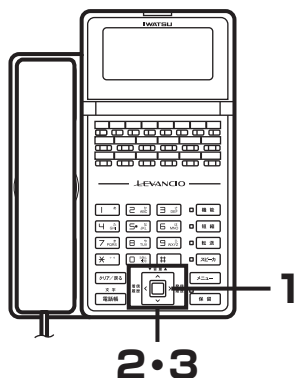
- 手順(3)は、以下の方法でも発信できます。
 - 「受話器を置いたままかけるとき〈オンフックダイヤル〉」(4-3ページ)
 - 「索線」ボタン、「索線番号」ボタン:「外線グループ発信」(7-3ページ)
 - 「ダイヤルイン」ボタン:「クイックオペレーション」(7-2ページ)
- 着信拒否(ドントディスターブ)中の着信は、着信履歴に記憶されません。
- 着信時にNTT等から発信者名情報が通知された場合は、電話帳に相手先名称が登録されていても、通知された発信者名情報を優先して着信履歴に表示します。
- 着信履歴に非通知で記憶されている相手に対しては、発信できません。
- 発信/着信履歴に表示される相手先は、電話帳に登録されていれば、その名前で表示します。登録されていない場合は、相手先の電話番号を表示します。
- 内線の発信/着信は、発信/着信履歴に蓄積されません。
- 着信履歴は、全ての電話機に履歴が残ります。なお、設定により応答した電話機にのみ履歴を残すこともできます。
- 設定にかかわらず、全ての電話機が応答しない着信履歴は、着信している電話機全てに蓄積されます。

外線へかける

発信履歴を操作する

発信履歴を表示する

外線を発信した履歴を最新の20件まで表示できます。



- 1** 受話器を置いたまま、発信履歴ボタンを押します。
発信履歴リストが表示されます。

▶鈴木一郎	5/31
03XXXX1234	18:36
	5/31
03XXXX2222	10:03

※ 発信履歴リストの表示中に、「戻る」ボタンを押すと、発信履歴リストの表示を終了します。

- 2** 上下ボタンで詳細表示する発信履歴を選択します。

▶鈴木一郎	5/31
03XXXX1234	18:36
	5/31
03XXXX2222	10:03

- 3** 「決定」ボタンを押します。

発信履歴詳細表示が表示されます。

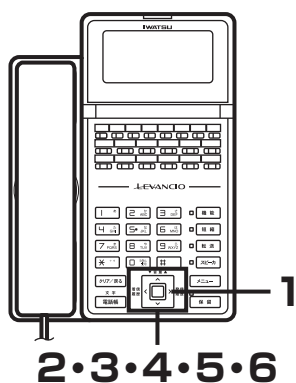
※ 発信履歴詳細表示中に、「戻る」ボタンを押すと、手順(2)の発信履歴リストの表示に戻ります。

鈴木一郎	↑
03XXXX1234	
2013年 5月31日 18:36	

 **Note**

- 発信履歴の中から任意の相手を選択し、電話帳に登録できます。「発信履歴から登録する」(3-22ページ)。
- 発信履歴は、1件または全件削除ができます。「発信履歴を削除する-1件ごとの削除」(4-23ページ)、「発信履歴を削除する-全件削除」(4-24ページ)。
- 発信履歴の表示中に、30秒間ダイヤル操作がない場合は、発信履歴表示を終了します。なお、着信が発生した場合は、着信状態となります。
- 発信履歴に記録される時刻は、相手が応答した時、または発信を途中で放棄した時の時刻となります。
- 発信履歴の表示中に受話器を取り上げる、または外線発信を行うボタンを押すと、外線発信します。
- 発信履歴に記録されるダイヤル桁数は、最大48桁です。
- 内線の発信は、発信履歴に蓄積されません。

発信履歴を削除する-1件ごとの削除



- 1** 受話器を置いたまま、発信履歴ボタンを押します。
発信履歴リストが表示されます。

▶鈴木一郎	5/31
03XXXX1234	18:36
	5/31
03XXXX2222	10:03

※ 発信履歴リストの表示中に、「戻る」ボタンを押すと、発信履歴リストの表示を終了します。

- 2** 上下ボタンで削除する発信履歴を選択します。

鈴木一郎	5/31
03XXXX1234	18:36
▶03XXXX2222	5/31
	10:03

- 3** 「決定」ボタンを押します。
発信履歴詳細画面が表示されます。

	↑
03XXXX2222	
2013年 5月31日 10:36	

- 4** 「決定」ボタンを押します。
動作選択表示画面が表示されます。

▶電話帳へ登録
1件削除
全件削除
戻る

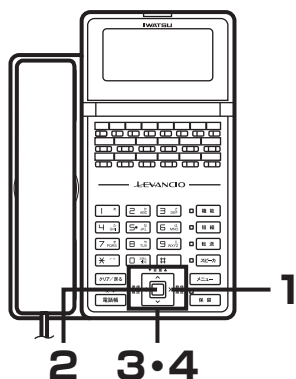
- 5** 上下ボタンで“1件削除”を選択し、「決定」ボタンを押します。
削除確認画面が表示されます。

▶取り消し
実行
終了
削除しますか?

- 6** 上下ボタンで“実行”を選択し、「決定」ボタンを押します。

取り消し
▶実行
終了
削除しました

外線へかける



発信履歴を削除する-全件削除

- 1** 受話器を置いたまま、発信履歴ボタンを押します。
発信履歴リストが表示されます。

▶鈴木一郎	5/31
03XXXX1234	18:36
	5/31
03XXXX2222	10:03

※ 発信履歴リストの表示中に、「戻る」ボタンを押すと、発信履歴リストの表示を終了します。

- 2** 「決定」ボタンを、2回押します。
発信履歴詳細画面が表示されます。

鈴木一郎	↑
03XXXX1234	
2013年 5月31日 18:36	

動作選択表示画面が表示されます。

▶1件削除
全件削除
戻る

- 3** 上下ボタンで“全件削除”を選択し、「決定」ボタンを押します。
削除確認画面が表示されます。

▶取り消し
実行
終了
全て削除しますか?

- 4** 上下ボタンで“実行”を選択し、「決定」ボタンを押します。
削除完了画面が表示されます。

取り消し
▶実行
終了
削除しました

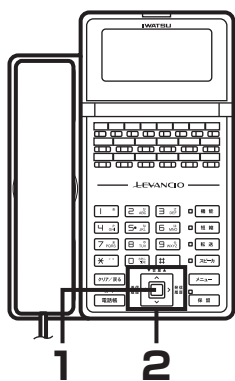
着信履歴を操作する

外線に着信した履歴を最新の20件まで表示できます。

Note

- 着信履歴の中から任意の相手を選択し、電話帳に登録できます。「着信履歴から登録する」(3-23ページ)。
- 着信履歴は、1件または全件削除ができます。「着信履歴を削除する-1件ごとの削除」(4-27ページ)、「着信履歴を削除する-全件削除」(4-29ページ)。
- ドントディスタープ中の着信は、着信履歴に蓄積されません。
- 着信履歴の表示中に、30秒間ダイヤル操作がない場合は、着信履歴表示を終了します。なお、着信が発生した場合は、着信状態になります。
- 転送機能が設定されているときの着信に対する着信履歴は、転送モードにより異なります。
 - 即時不在転送モード：転送先が蓄積されます。
 - 未応答転送モード：転送元、転送先ともに蓄積されます。
- 着信履歴は、全ての電話機に履歴が残ります。なお、設定により応答した電話機にのみ履歴を残すこともできます。
- 着信履歴に記録されるタイムスタンプは、着信に回答した時、または着信を途中で放棄した時になります。
- 着信履歴の表示中に受話器を取り上げる、または外線発信を行うボタンを押すと、外線発信します。ただし、着信履歴が非通知で保存されている相手に対しては発信できません。
- 着信履歴に記録されるダイヤル桁数は、最大32桁です。
- 着信時にNTT等から発信者名情報が通知された場合は、電話帳に相手先名称が登録されていても、通知された発信者名情報を優先して着信履歴に表示します。
- 内線の着信は、着信履歴に蓄積されません。

着信履歴を表示する



- 1 受話器を置いたまま、着信履歴ボタンを押します。
着信履歴リストが表示されます。

▶鈴木一郎	5/31
未 03XXXX1234	18:30
	5/31
03XXXX2222	18:00

※ 着信履歴リストの表示中に、「戻る」ボタンを押すと、着信履歴リストの表示を終了します。

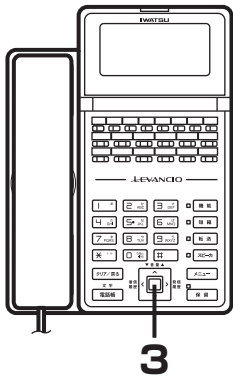
- 2 上下ボタンで詳細表示する着信履歴を選択します。

▶鈴木一郎	5/31
未 03XXXX1234	18:30
	5/31
03XXXX2222	18:00

(次ページへ続く)

外線へかける

(前ページの続き)



3 「決定」ボタンを押します。

着信履歴詳細表示が表示されます。

※ 着信履歴詳細表示中に、「戻る」ボタンを押すと、手順 (2) の着信履歴リストの表示に戻ります。

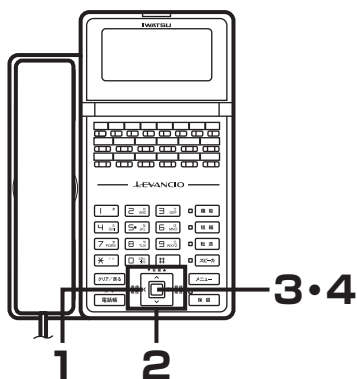
鈴木一郎
03XXXX1234
2013年 5月31日 18:30
未応答

Note

- 着信履歴の中から任意の相手を選択し、電話帳に登録できます。「着信履歴から登録する」(3-23ページ)を参照してください。
- 着信履歴は、1件ごとまたは全件削除ができます。「着信履歴を削除する-1件ごとの削除」(4-27ページ)、「着信履歴を削除する-全件削除」(4-29ページ)を参照してください。
- 相手先が不明な着信の履歴表示

非通知理由	着信履歴リスト表示時	着信履歴詳細表示時
ユーザ拒否	非通知	非通知 (プライバシー)
サービス提供不可	非通知	非通知 (表示圏外)
公衆電話発信	非通知	非通知 (公衆電話)
サービス競合	非通知	非通知 (表示圏外)

着信履歴を削除する-1件ごとの削除



- 1** 受話器を置いたまま、着信履歴ボタンを押します。
着信履歴リストが表示されます。

▶鈴木一郎	5/31
未 03XXXX1234	18:30
	5/31
03XXXX2222	18:00

※ 着信履歴リストの表示中に、「戻る」ボタンを押すと、着信履歴リストの表示を終了します。

- 2** 上下ボタンで削除する着信履歴を選択します。

▶鈴木一郎	5/31
未 03XXXX1234	18:30
	5/31
03XXXX2222	18:00

- 3** 「決定」ボタンを押します。
着信履歴詳細画面が表示されます。

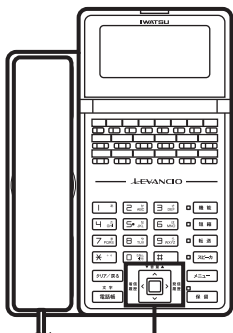
鈴木一郎	↑
03XXXX1234	
2013年 5月31日	18:30
未応答	

- 4** 「決定」ボタンを押します。
動作選択表示画面が表示されます。

▶1件削除
全件削除
戻る

外線へかける

(前ページの続き)



5・6

5 上下ボタンで“1件削除”を選択し、「決定」ボタンを押します。

削除確認画面が表示されます。

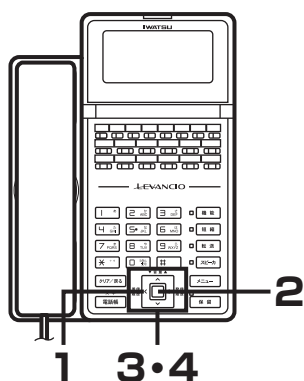
▶取り消し
実行
終了
削除しますか?

6 上下ボタンで“実行”を選択し、「決定」ボタンを押します。

削除確認画面が表示されます。

取り消し
▶実行
終了
削除しました

着信履歴を削除する-全件削除



- 1** 受話器を置いたまま、着信履歴ボタンを押します。
着信履歴リストが表示されます。

▶鈴木一郎	5/31
未 03XXXX1234	18:30
	5/31
03XXXX2222	18:00

※ 着信履歴リストの表示中に、「戻る」ボタンを押すと、着信履歴リストの表示を終了します。

- 2** 「決定」ボタンを、2回押します。
着信履歴詳細画面が表示されます。

鈴木一郎	↑
03XXXX1234	
2013年 5月31日 18:30	
未応答	

動作選択表示画面が表示されます。

▶1件削除
全件削除
戻る

- 3** 上下ボタンで“全件削除”を選択し、「決定」ボタンを押します。
削除確認画面が表示されます。

▶取り消し
実行
終了
全て削除しますか?

- 4** 上下ボタンで“実行”を選択し、「決定」ボタンを押します。
削除確認画面が表示されます。

取り消し
▶実行
終了
削除しました

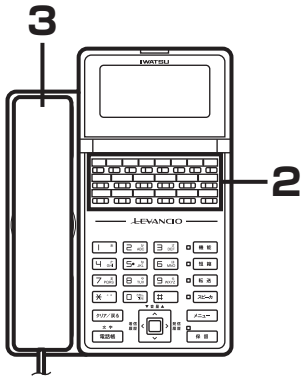
外線へかける

さらに便利な使い方

- 応答しない相手に何度もかけ直すことができます。〈オートリピートダイヤル〉 4-9ページ
- 受話器を持たないでお話しいできます。〈外線ハンズフリー通話〉 7-11ページ
- 受話器を上げるだけで外線を捕捉できます。〈空外線自動捕捉〉 7-5ページ
- 市外にかける電話を規制できます。〈市外発信規制／市外発信クラス切替え〉 12-3ページ
- 3人または4人でお話しいすることができます。〈外線会議通話〉／〈複数外線会議通話〉／〈外線間会議通話〉／〈内線会議通話〉 7-46、7-48、7-50、7-51ページ
- お話しい中の外線に割り込んで、3人でお話しいすることができます。 7-55ページ
- 外線とお話しい中に他の人を割り込ませて、3人でお話しいすることができます。〈秘話解除〉 7-73ページ
- 外線とお話しい中に、通話内容を他の電話機から聞くことができます。 7-54ページ
- ダイヤル回線でプッシュ信号が使えます。〈ダイヤルリバース〉 7-4ページ
- 外線とお話しい中に、ダイヤル操作をしてダイヤルを記憶しておくことができます。〈メモダイヤル〉 7-58ページ
- 外線に電話をかけることを禁止することができます。〈電話機パスワード／市外発信規制〉 7-61ページ

外線を受ける

受話器を取り上げてから、外線に応答します。



Note

- 「外線応答グループ」、「ダイヤルイン応答」および「ダイヤルイングループ」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

1 着信音が鳴ります。

着信している「外線」ボタンと着信ランプが、赤色で点滅します。
※ 着信音を止めている場合でも、「外線」ボタンは点滅します。

相手先 鈴木一郎
03XXXX1234

2 赤色で点滅している「外線」ボタンを押します。

Note

- 「外線」ボタンの代わりに、着信により点滅している、「外線応答グループ」、「ダイヤルイン応答」および「ダイヤルイングループ」ボタンにより応答することもできます。
- 「外線」ボタンを押さなくても受話器を上げて自動応答することができます。

3 受話器を取り上げてお話しします。

相手先 鈴木一郎
0:02

Note

- お話中に他の外線に着信があったときに、「プルプルプル」という小さな着信音を鳴らすことができます。

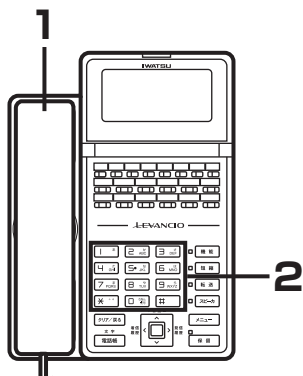
さらに便利な使い方

- 発信者番号ごとに着信音を指定できます。 3-18ページ
- 外線ごとに鳴音する電話機を指定できます。 8-38ページ
- 電話機ごとに着信音を変更できます。 3-3ページ
- 昼間と夜間の着信先を変更できます。 8-41ページ
- 着信に応答できないときに、メッセージを流してお待ちいただくことができます。
〈自動おまたせメッセージ〉 8-25ページ
- 着信に応答できないときに、話中音で応答することができます。 8-26ページ
- 発信者番号が非通知の着信に、メッセージで応答することができます。 8-29ページ
- 発信者番号が通知された着信（着信拒否したい着信）に、メッセージで応答することができます。 8-30ページ
- 外出先から内線呼び出すことができます。 8-22ページ
- 外線からの着信に、音声案内で応答することができます。 8-43ページ

内線へかける

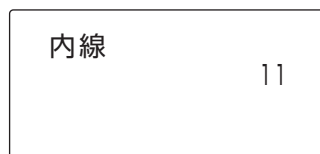
受話器を上げてかける〈オフフックダイヤル〉

受話器を取り上げてから、内線に電話をかけます。



1 受話器を取り上げます。

「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます

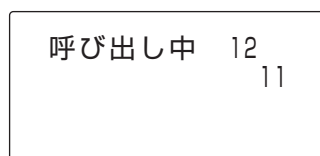


Note

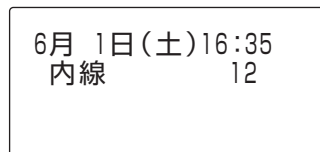
- 内線発信音が聞こえるのは20秒間です。その間に相手の内線番号をダイヤルしないと、警告音が鳴り内線発信ができなくなります。

2 相手の内線番号をダイヤルします。

ディスプレイに内線番号が表示されます。



3 相手とつながり、お話しができます。

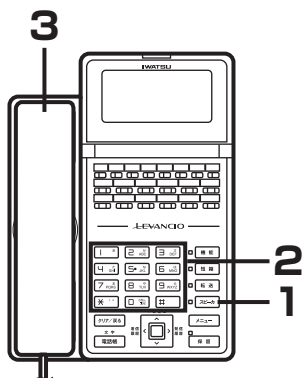


Note

- 電話機の受話器を上げたときは、以下の優先順位で、設定された機能が働きます。
 - 着信自動応答
 - 外線自動発信
 - 外線自動捕捉
 - 内線ホットライン
- 内線の自動捕捉が設定されていない電話機では、受話器を上げたときに無音状態となります。ただし、他の機能が有効となっているときは除きます。無音状態となった場合は、「内線」ボタンを押してください。
- 内線に電話をかけ直す場合、受話器を上げたままの状態から「フラッシュ」ボタンを押します。発信音が聞こえ、相手の内線番号をダイヤルすることができます。

受話器を置いたままかけるとき〈オンフックダイヤル〉

受話器を置いたまま、内線に電話をかけます。



1 「スピーカ」ボタンを押します。

内線 11

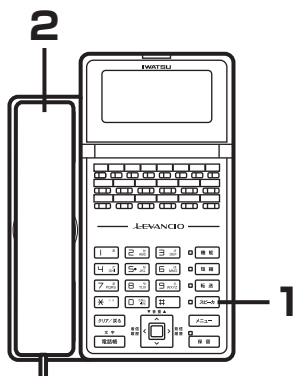
2 相手の内線番号をダイヤルします。 ディスプレイに内線番号が表示されます。

呼び出し中 12
11

3 相手の声がスピーカから聞こえたら、受話器を取り上げお話しします。

6月 1日(土)16:35
内線 12

●相手の声をスピーカで聞く



1 お話し中に、「スピーカ」ボタンを押します。

6月 1日(土)16:35
内線 12



Note

- スピーカの音量は、「音量」ボタンで調整します。

2 受話器を置きます。

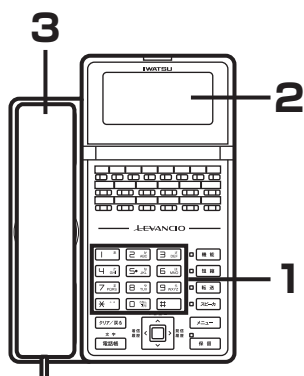
相手の声がスピーカから聞こえます。

※受話器を取り上げると、スピーカがオフとなり受話器でのお話しに戻ります。

内線へかける

電話番号をディスプレイで確認してから電話をかける〈プリセットダイヤル〉

ディスプレイでダイヤル番号を確認してから電話する方法です。



1 受話器を置いた状態で、相手の内線番号をダイヤルします。

Note

- 各桁の表示時間は10秒です。10秒以内に次の操作を行わない場合、入力したダイヤルは無効になります。

2 ディスプレイにダイヤルした番号が表示されます。

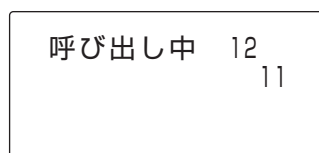
※ダイヤルが間違えている場合は

- 1.訂正箇所まで「機能」ボタンを押して戻ります。
(「機能」ボタンを押すたびに、末尾の番号が消えます)
- 2.ダイヤルし直します。
- 3 「内線」ボタンを押します。

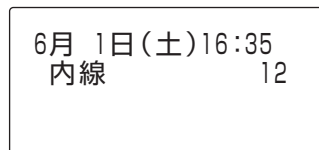


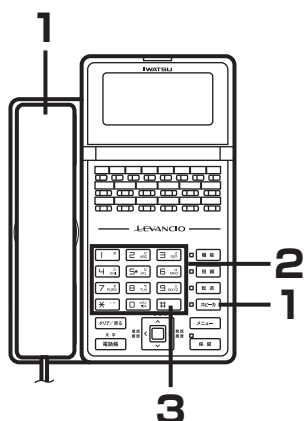
3 受話器を取り上げます。

ディスプレイに表示されている番号が自動的にダイヤルされます。



4 相手とつながったら、お話しします。





内線呼び出し、呼び出しモード変更（トーン／音声）

相手を呼び出し中に、呼び出し方法（トーン呼び出し／音声呼び出し）を切替えることができます。

- 1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。
「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。

内線 11

- 2 相手の内線番号（1～4桁）をダイヤルします。
※ワンタッチで発信できる「DSS」ボタンに内線番号を登録できます。

- 3 声で呼び出す場合は、「#」ボタンを押します。
※受話器で「〇〇さん」のように呼びかけます。
※「#」をもう1度押すとトーン着信呼び出しになります。

呼び出し中 12
11

- 4 相手が応答したら、お話しします。
※受話器を置いた状態の場合は、取り上げてお話しします。

6月 1日(土)16:35
内線 12

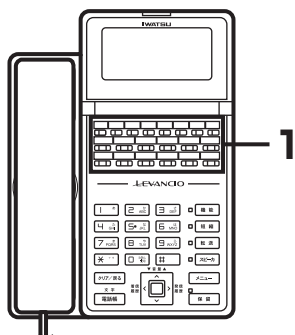
Note

- 電話機の内線番号状態は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。
- 外線着信時でも内線を優先して使用したい場合には、「内線」ボタンを押して使用することができます。
- 内線着信を音声着信、トーン着信のどちらかに指定することができます。詳しくはお買い求めの販売店にお問い合わせください。
- 「DSS」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。
- 「#」を押すごとに音声呼び出しとトーン着信を切り替えることができます。
- 単独電話機を呼び出す場合は、トーン呼び出しのみになります。

内線へかける

ダイヤル途中で内線番号を間違えたとき〈ロングフラッシュ〉

受話器を戻さなくてもワンタッチで発信状態に戻すことができます。

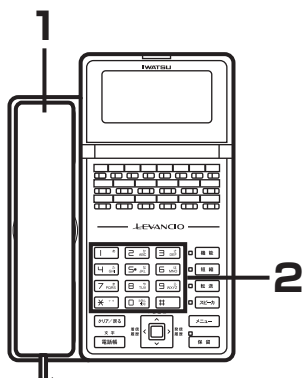


- 1 そのままの状態です「フラッシュ」ボタン（または「機能」 + 「1」「1」ボタン）を押します。
- 2 発信状態に戻ります。
「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。
- 3 ダイヤルし直します。

Note

- 「フラッシュ」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

呼び出したい部署の空いている電話機を呼び出すとき〈内線代表呼び出し〉



Note

- 「内線代表グループ」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

- 1 受話器を取り上げます。
「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。

内線	11
----	----

- 2 相手の内線グループ（部署など）の代表番号（1～4桁）をダイヤルします。

※内線グループごとの代表番号はデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。お買い求めの販売店にお問い合わせください。

呼び出し中	7201
	11

Note

- グループ内の電話機を呼び出せない場合は、「ツー、ツー、ツー」という話中音が聞こえます。
- 代表番号はシステムで設定します。設定内容の確認または設定を変更する際は、お買い求めの販売店にご相談ください。
- グループごとに設定されている代表番号をダイヤルする代わりに、「内線代表グループ」ボタンを押しても同じ操作ができます。

- 3 内線グループ内の空いている電話機を呼び出します。

- 4 お話しします。

6月 1日(土)16:35
内線 12

Note

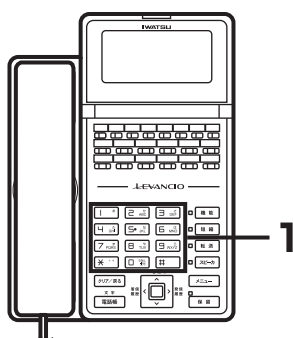
- 外線とお話中に再度同じグループのボタンを押すと、お話し中の外線を転送保留にした後、呼び出します。
- 内線代表呼び出しは、トーン呼び出しになります。呼び出し中に、音声呼び出しに切り替えるともできます。「内線呼び出し、呼び出しモード変更（トーン／音声）」（4-35ページ）を参照してください。
- 呼び出した電話機が応答しない場合、一定時間（初期値：10秒）経過後に、次の電話機に呼び出し先が変更されます。ただし、音声呼び出しに切替わった場合は、呼び出し先の変更は行われません。

内線へかける

呼び出した相手の応答がなく、続けて別の内線呼び出すとき〈クリアコール／シフトコール〉

呼び出した相手が不在または話中で応答しない場合に、受話器を上げたまま、他の内線番号の呼び出しに切替えることができます。〈クリアコール〉と〈シフトコール〉の機能は、どちらか1つを設定できます。

● 呼び出し中の内線番号をクリアし、別の内線番号を呼び出す〈クリアコール〉



 **Note**

- クリアコールまたはシフトコールは、データ設定により、あらかじめ登録が必要です。お買い求めの販売店にお問い合わせください。
- クリアコールとシフトコールは両方を登録することはできません。

1 呼び出し中または話中のときに、別の内線番号をダイヤルします。

呼び出し中の内線番号の呼び出しを終了し、ダイヤルした別の内線番号を呼び出します。

呼び出し中 13
11

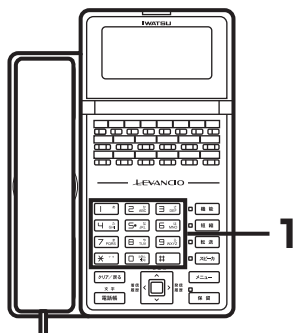
2 相手が応答したら、お話しします。

6月 1日(土)16:35
内線 12

 **Note**

- クリアコールは、呼び出した相手が以下の状態のときにも行えます。
 - 警告音が聞こえるとき
 - ドントディスターブ音が聞こえるとき
 - 話中呼び出し音が聞こえるとき
 - 音声呼び出しを行っているとき

● 呼び出し中の内線番号の末尾1桁を変更し、別の内線番号を呼び出す
〈シフトコール〉



1 呼び出し中または話中のときに、別の内線番号の末尾1桁をダイヤルします。

呼び出し中の内線番号の呼び出しを終了し、ダイヤルした別の内線番号（最初に呼び出した内線番号と末尾1桁違いの内線番号）を呼び出します。

呼び出し中 13
11

2 相手が応答したら、お話しします。

6月 1日(土)16:35
内線 12

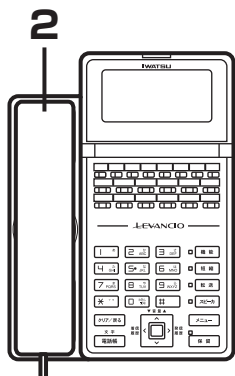
Note

- シフトコールは、呼び出した相手が以下の状態のときにも行えます。
 - ドントディスターブ音が聞こえるとき
 - 話中呼び出し音が聞こえるとき
 - 音声呼び出しを行っているとき

さらに便利な使い方

- 呼び出したい部署の空いている電話機を、自動選択して呼び出すことができます。〈内線代表呼び出し〉 … 4-37ページ
- 呼び出したい部署の全ての電話機を、呼び出すことができます。〈グループ呼び出し〉 … 7-15ページ
- 複数の電話機（外部スピーカも含む）に対して、音声呼び出しで呼び出すことができます。〈一斉呼び出し〉 … 7-16ページ
- 受話器を上げるだけで特定の電話機を呼び出すことができます。〈内線ホットライン〉 … 7-14ページ
- 内線をワンタッチで呼び出すことができます。〈DSS〉 … 7-18ページ
- 呼び出した相手が応答しないときに、受話器を上げたまま、別の内線を呼び出すことができます。〈クリアコール〉 / 〈シフトコール〉 … 4-38ページ
- 呼び出した相手が話中のときに、お話しが終了したことを通知音で知ることができます。〈コールバック〉 … 7-20ページ
- 呼び出した相手が応答しないときに、強制的に呼び出すことができます。〈オーバーライド〉 … 7-19ページ
- 3人または4人の内線同士でお話しすることができます。〈内線会議通話〉 … 7-51ページ
- 内線とお話中に、通話内容を他の電話機から聞くことができます。 … 7-54ページ
- 呼び出した相手が応答しないときに、折り返し連絡が欲しい旨のメッセージを伝えることができます。〈メッセージウェイト〉 … 7-67ページ

内線を受ける

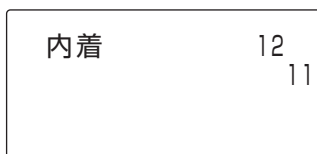

Note

- 呼び出しモードが着信側で、かつ空き状態のときは、自分の呼び出され方（トーン呼び出し／音声呼び出し）を自由に切替えることができます。
- 内線呼び出しがあると、ディスプレイは着信表示になり、応答すると内線通話表示になります。

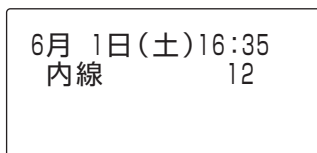
受話器を取り上げて受ける〈内線自動応答〉

受話器を取り上げてから、内線に応答します。

- 1** 「トゥルトルトルトル」という呼出音が鳴ります。
「内線」ボタンと着信ランプが、赤色で点滅します。



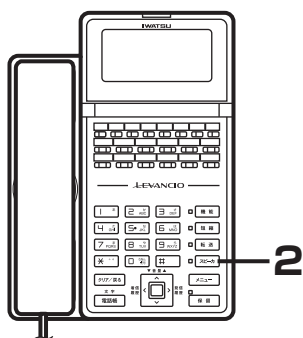
- 2** 受話器を取り上げます。


Note

- 受話器を取り上げる代わりに、「スピーカ」ボタンを押して応答することもできます。

- 3** お話しします。

受話器を上げずに受ける〈内線ハンズフリー通話〉


Note

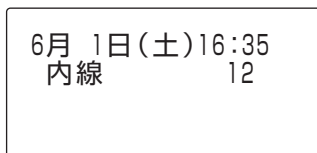
- 「内線」ボタンを押さないと応答できない設定もできます。お買い求めの販売店にお問い合わせください。
- 「マイク」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

- 1** 「トゥルトルトルトル」という呼出音が鳴ります。
着信している「内線」ボタンと着信ランプが、赤色で点滅します。

- 2** 「スピーカ」ボタンを押します。

※ あらかじめマイクをONにしておいてください。マイクのON操作は、「マイク」ボタン（または「機能」＋「6」「1」ボタン）を押します。

※ マイクをOFFにするには、もう一度「マイク」ボタン（または、「機能」＋「0」「6」「1」ボタン）を押します。



- 3** お話しします。

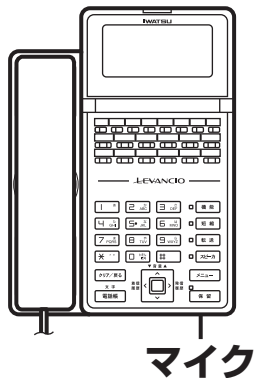
Note

- 相手側の周囲、または自分側の周囲の騒音が大きいときは、マイクが音声をひろいにくくなり通話が途切れることがあります。このときは、受話器を上げてお話ししてください。
- マイクがオフのときは、受話器を使用してお話ししてください。受話器を上げてお話し中は、ハンズフリー通話にできません。
- ハンズフリー通話のときは、電話機との距離が50 cmを越えないようにしてください。マイクが声をひろいにくくなります。

音声呼び出しに受話器をとらずに答える 〈内線ハンズフリー応答〉

他の内線電話機から音声呼び出しされたときに、受話器を上げずに、ハンズフリー応答ができます。

手が離せないときでも、受話器を上げずに応答、お話しができます。



1 音声呼び出しが聞こえたら、マイクに向かってお話しします。

※あらかじめマイクをONにしておいてください。マイクのON操作は、「マイク」ボタン（または「機能」+「6」「1」ボタン）を押します。

※マイクをOFFにするには、もう一度「マイク」ボタン（または、「機能」+「0」「6」「1」ボタン）を押します。

内着	12
	11



Note

- ハンズフリー通話のときは、電話機との距離が50 cmを越えないようにしてください。マイクが声をひろいにくくなります。
- 相手側の周囲、または自分側の周囲の騒音が大きいときは、通話が途切れることがあります。そのような場合は、受話器を取り上げてお話ししてください。

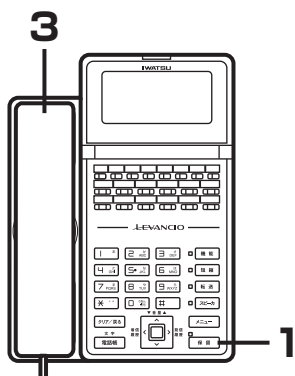
さらに便利な使い方

- 他の電話機で着信しているときに、代わりに応答することができます。〈着信代理応答〉 …… 7-24ページ
- 電話に出られないときに、着信を拒否することができます。〈ドント・ディスターブ〉 …… 7-53ページ
- 電話に出られないときに、不在理由を表示することができます。〈不在メッセージ〉 …… 7-70ページ
- 内線からの着信に、音声案内で応答することができます。 …… 8-43ページ

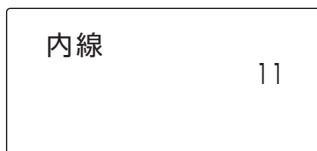
保留・転送する

外線を保留する／再応答する

●外線の保留〈外線保留〉



1 外線とお話中に「保留」ボタンを押します。



2 保留状態になります。

「外線」ボタンが緑色でゆっくり点滅します。

※他の電話機では「外線」ボタンが赤色でゆっくり点滅します。

3 受話器を置きます。

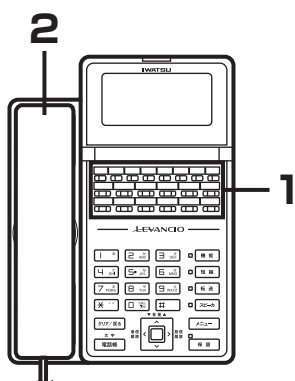
保留中は受話器を置いても外線はつながっています。また、相手には保留音のみが聞こえます。

※保留警報機能がデータ設定により、あらかじめ登録されている場合は、保留状態が登録時間を超えると「ブブブブ」という外線保留警報が鳴り、ディスプレイにリコール表示されます。登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

Note

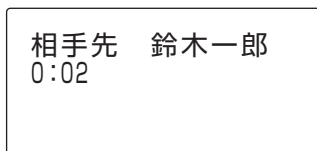
- データ設定により、保留警報時に複数の電話機に警報を鳴らすことができます。
- 外線とお話中に、「一斉」、「ページンググループ」、「ページング呼び出し」ボタンを押すと、自動的に保留状態（共通保留）になります。システム電話機の場合は、自動的に保留状態（転送保留）になります。
- 外線を保留したまま一定時間が経過した場合、保留警報が鳴ります。
- 「一斉」、「ページンググループ」、「ページング呼び出し」ボタンは、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

●保留していた外線への応答〈保留外線応答〉



1 保留中の「外線」ボタンを押します。

「外線」ボタンが緑色で、点灯中に2回消える表示を繰り返します。



2 受話器を取り上げます。

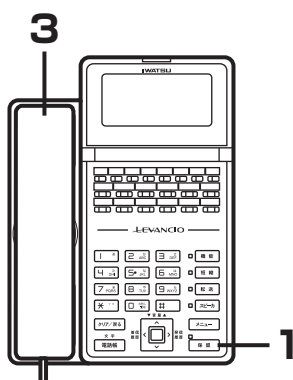
3 お話しします。

内線を保留する／再応答する

内線通話を、他の電話機から応答できない保留状態にすることができます。

Note

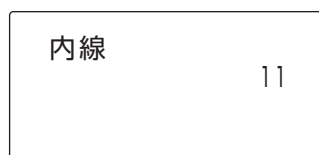
- 保留できる内線通話は、1つだけです。
- システムは、内線通話の保留に対して保留警報の監視を行いません。



●内線の保留〈内線保留〉

1 内線とお話中に「保留」ボタンを押します。

※会議通話中（3人で通話中）でも保留できます。



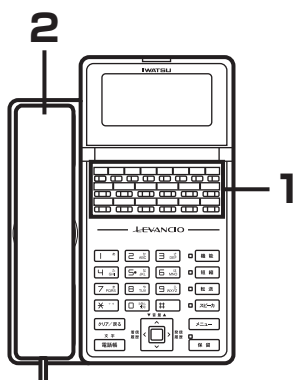
Note

- お話中の内線を保留すると、相手には保留音が聞こえます。
- 内線自動捕捉が設定されている場合は、内線を保留した時点で内線が自動捕捉されます。
- 既に別の内線通話を転送保留している場合は、内線保留操作を行っても無効になります。

2 保留状態になります。

保留中は受話器を置いても内線はつながっています。また、相手には保留音のみが聞こえます。

3 受話器を置きます。

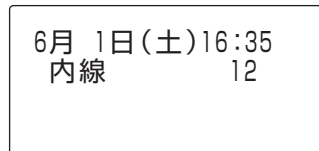


●内線の保留応答〈内線応答〉

1 「内線」ボタンを押します。

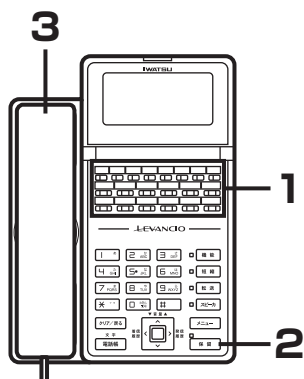
保留中の「内線」ボタンが赤色で、点灯中に2回消える表示を繰り返します。

2 受話器を取り上げます。



3 お話しします。

保留・転送する



保留した外線を他の人が受けないようにする〈外線自己保留〉

1 外線とお話中に「機能」ボタンを押します。

通話中は、「外線」ボタンが緑色で点滅します。

相手先 鈴木一郎
0:02

2 「保留」ボタンを押します。

「外線」ボタンの緑色の点滅が、ゆっくりになります。

※ 自己保留した外線は、他の電話機では「外線」ボタンが赤色で点灯し、応答できません。

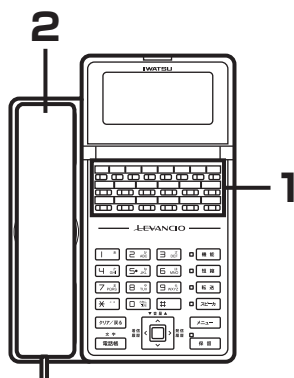
内線 11

3 受話器を置きます。

保留中は受話器を置いても外線はつながっています。また、相手には保留音のみが聞こえます。

※ 自己保留制限時間と保留警報機能がデータ設定により、あらかじめ登録されている場合は、保留状態が設定時間を超えると「ブブブブ」という外線保留警報が鳴ります。その後、共通保留となり、他の電話機による応答が可能となります。

「外線」ボタンを選択せずに自動的に応答する方法〈保留外線自動応答〉



1 「保留外線自動応答」ボタンを押します。

最後に保留した外線が自動的に捕捉されます。

※ 保留中の外線がある場合は、最後に保留した外線より優先されます。

2 受話器を取り上げます。

3 お話しします。



Note

・「保留外線自動応答」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

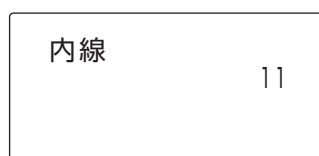
近くのひとに外線を転送する

お話し中の外線を保留状態（共通保留）にします。他の電話機からも応答できるため、近くの人に電話を代わってもらうときなど、声をかけるだけで済みます。

● 外線を保留する

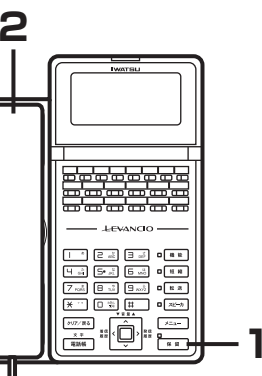
1 お話し中に、「保留」ボタンを押します。

お話し中の外線が保留状態となります。
「外線」ボタンが緑色で点滅します。



Note

- 保留操作を行うと、他の電話機の外線ランプは赤色に点滅します。
- 保留を行った電話機の「外線」または「索線」ボタンは、緑色で点滅します。



Note

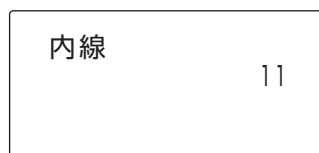
- 「索線」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

2 受話器を置きます。

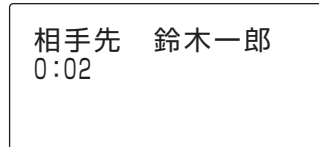
3 呼び出したい人に口頭で電話が入っていることを伝えます。

● 保留中の外線に応答する

1 受話器を取り上げます。



2 保留中の「外線」ボタンを押します。

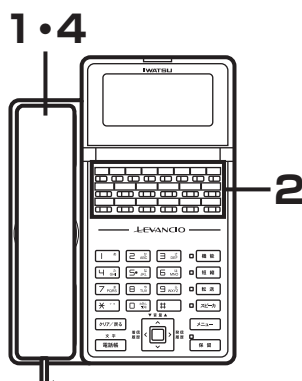


3 お話しします。

4 お話しが終了したら、受話器を置きます。

Note

- 外線とお話し中に、「一斉」、「ページンググループ」、「ページング呼び出し」ボタンを押すと、自動的に保留状態になります。
- 外線を保留したまま一定時間が経過した場合、保留警報が鳴ります。



Note

- 「一斉」、「ページンググループ」、「ページング呼び出し」ボタンは、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

保留・転送する

特定のひとに外線転送する〈自動転送／キャンプオン〉

お話中の外線転送し他の電話機を呼び出して、その保留した外線転送し相手へ転送します。

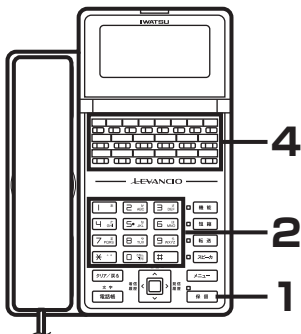
保留状態には、以下の状態があります。

- 共通保留
お話し中の外線転送し他の電話機からも応答できる保留状態にします。
- 転送保留
お話し中の外線転送し転送を前提とした保留状態にします。保留した外線は、他の電話機からは応答できません。

転送方法には、以下の方法があります。

- 自動転送
他の電話機へ転送するときに、転送先の相手へ応答してから転送します。
- キャンプオン
他の電話機へ転送するときに、転送先の相手へ呼び出し中、または話中であっても強制的に転送します。

● 共通保留後に転送（自動転送）する

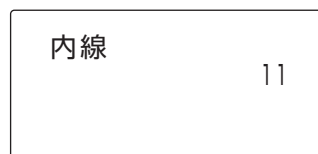


Note

- 「接続」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

1 お話し中に、「保留」ボタンを押します。

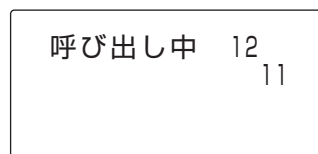
お話し中の外線が保留状態となり、「外線」ボタンが緑色で点滅します。



Note

- 「外線」ボタン（フレキシブルボタン）に、外線自動保留機能が設定されている場合は、「保留」ボタンの代わりに「外線」ボタンを押しても同じ操作ができます。

2 転送先の内線番号をダイヤルします。



3 転送先の相手へ応答したら、電話が入っていることを伝えます。

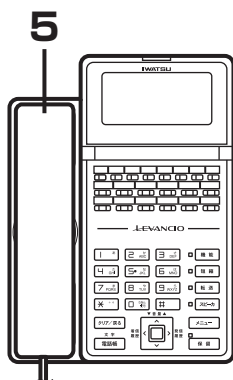
応答しない場合は、「外線」ボタンを押すと、保留した外線とのお話しに戻ります。

4 「接続」ボタンを押します。

保留した外線と呼び出した相手へ通話状態になります。

Note

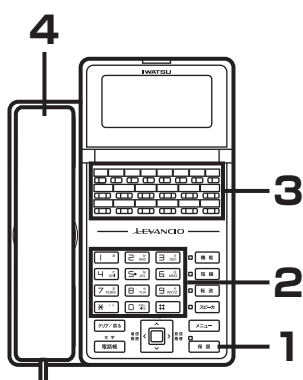
- 「接続」ボタンの代わりに、受話器を戻して外線の自動転送を行うオンフック転送もできます。



5 受話器を置きます。

Note

- ・〈ドアホン呼び出し〉、〈一斉呼び出し〉、〈グループ呼び出し〉、および〈ページング呼び出し〉中に、外線を転送することはできません。
- ・転送する外線は、転送操作を行う電話機が共通保留した外線の中で、1番新しい保留外線（最新保留外線）です。自己保留した外線が、最新保留外線であれば、自己保留中の外線が自動転送されます。
- ・外線を保留したまま一定時間が経過した場合、保留警報が鳴ります。



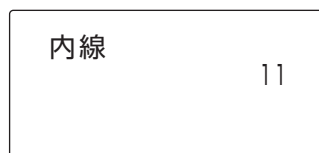
Note

- ・「接続」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

● 共通保留後に転送（キャンプオン）する

1 お話中に、「保留」ボタンを押します。

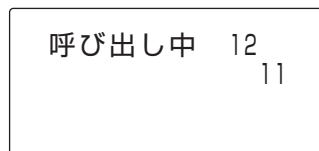
お話し中の外線が保留状態となり、「外線」ボタンが緑色で点滅します。



Note

- ・「内線」ボタンに、外線自動保留機能が設定されている場合は、「保留」ボタンの代わりに「内線」ボタンを押しても同じ操作ができます。
- ・「保留」ボタンまたは「内線」ボタンを押して外線を保留し、受話器を戻すことでキャンプオン転送することもできます。

2 転送先の内線番号をダイヤルします。



3 「接続」ボタンを押します。

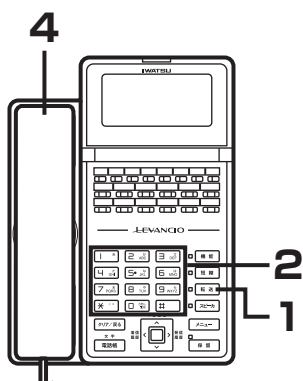
呼び出した内線電話機にキャンプオン転送されます。

4 受話器を置きます。

Note

- ・共通保留した外線を、他の外線へ転送することはできません。
- ・キャンプオンの対象となる外線は、自分の電話機で共通保留または自己保留した保留外線の中で、1番新しい保留外線（最新保留外線）です。
- ・〈ドアホン呼び出し〉、〈一斉呼び出し〉、〈グループ呼び出し〉、および〈ページング呼び出し〉中に、外線を転送することはできません。
- ・外線会議のお話しも、キャンプオン転送することができます。
- ・外線を保留したまま一定時間（初期値：180秒）が経過した場合、保留警報が鳴ります。

保留・転送する



 **Note**

- 「内線代表」、「DSS」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

● 転送保留後に転送（自動転送）する

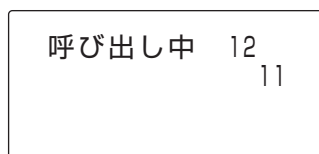
- 1** お話し中に、「転送」ボタンを押します。
お話し中の外線が保留状態となり、「外線」ボタンが緑色に点滅します。また、「ツツツツ」という第2ダイヤルトーンが聞こえます。



 **Note**

- 「内線代表」、「DSS」ボタンが設定してある場合は、お話し中に、「内線代表」ボタンか「DSS」ボタンを押すだけで、お話し中の外線を転送保留し、転送先を呼び出すことができます。

- 2** 転送先の内線番号をダイヤルします。



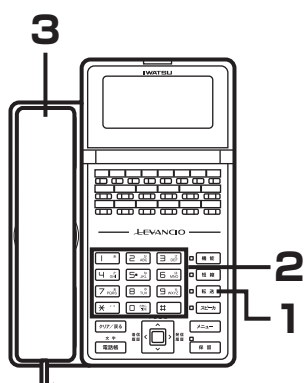
- 3** 転送先の相手が応答したら、電話が入っていることを伝えます。

応答しない場合は、「転送」ボタンを押すと、保留した外線とのお話しに戻ります。

- 4** 受話器を置きます。
保留した外線と呼び出した相手が通話状態になります。

 **Note**

- 転送保留中の外線には、「転送」ボタンを押すと応答できません。
- 〈ドアホン呼び出し〉、〈一斉呼び出し〉、〈グループ呼び出し〉、および〈ページング呼び出し〉中に、外線を転送することはできません。



Note

- 「内線代表」、 「DSS」 ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

● 転送保留後に転送（キャンプオン）する

1 お話し中に、「転送」 ボタンを押します。

お話し中の外線が保留状態となり、「外線」 ボタンが緑色に点滅します。また、「ツツツツ」 という第2ダイヤルトーンが聞こえます。

内線 11

Note

- 「内線代表」、 「DSS」 ボタンが設定してある場合は、お話し中に、「内線代表」 ボタンか 「DSS」 ボタンを押すだけで、お話し中の外線を転送保留し、転送先を呼び出すことができます。

2 転送先の内線番号をダイヤルします。

呼び出し中 12
11

3 受話器を置きます。

Note

- 転送保留中の外線には、「転送」 ボタンを押すと応答できます。
- 外線会議のお話しも、キャンプオン転送することができます。
- 転送保留した外線を、他の外線へ転送することはできません。
- キャンプオンにより着信中の電話機には、以下の方法で他の電話機からも応答できます。
 - 「外線」 ボタンが設定されている場合は、「外線」 ボタンを押します。
 - 「外線」 ボタンが設定されていない場合は、着信代理応答と同じ操作で応答できます。「着信している電話機を他の電話機で応答する〈着信代理応答〉」(7-24ページ)を参照してください。
- 〈ドアホン呼び出し〉、〈一斉呼び出し〉、〈グループ呼び出し〉、および 〈ページング呼び出し〉 中に、外線を転送することはできません。

保留・転送する

外線の保留状態が続いた場合に保留警報を鳴らす

外線を保留したまま一定時間（初期値：180秒）が経過した場合、保留警報を鳴らすことができます。保留し忘れを防止することができます。

保留警報を鳴らせるのは、以下の保留状態が対象です。

- 共通保留：「外線を保留する／再応答する」（4-42ページ）
- 自己保留：「保留した外線を他の人が受けないようにする〈外線自己保留〉」（4-44ページ）
- パーク保留：「外線／内線を特定ボタンに保留する／再応答する〈個別パーク保留〉〈グループパーク保留〉」（7-28ページ）



Note

- 保留警報を行うには、保留警報を鳴らすまでの移行時間の設定が必要です。
- 保留警報の移行時間が経過した場合、保留を行った電話機がお話中のときは、保留警報が鳴ります。
- 保留警報が鳴ると、保留中の外線に対する保留音が止まり、保留中の相手に呼び出し音を鳴らすか、保留音を継続して鳴らすかを選択できます。
- 外線会議通話の保留は、保留警報が鳴りません。

内線を転送する〈自動転送／キャンプオン〉

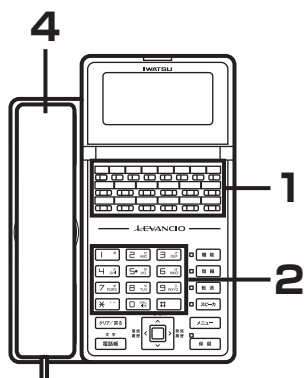
お話中の内線を保留し他の電話機を呼び出して、その保留した内線を呼び出した相手に転送します。

保留した内線は、転送保留状態になるため、他の電話機からは応答できません。

転送方法には、以下の方法があります。

- 自動転送
他の電話機に転送するときに、転送先の相手が応答してから転送します。
- キャンプオン
他の電話機に転送するときに、転送先の相手を呼び出し中、または話中であっても強制的に転送します。

● 転送（自動転送）する



1 お話中に、「転送」ボタンを押します。

内線	11
----	----

2 転送先の内線番号をダイヤルします。

呼び出し中	15
	11

3 転送先の相手が応答したら、電話が入っていることを伝えます。

※ 転送先が応答しない場合は、「転送」ボタンを押すと、保留した内線とのお話しに戻ります。

6月 1日(土)16:35
内線 15

4 受話器を置きます。

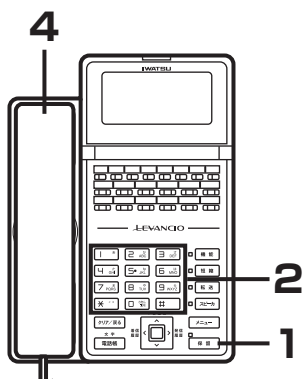
保留した内線と呼び出した相手が通話状態になります。



Note

- ドアホン呼び出し中、一斉呼び出し中、グループ呼び出し中、およびページング呼び出し中には、内線通話を転送できません。

保留・転送する



●「保留」ボタンを押して転送（自動転送）する

- 1** お話し中に、「保留」ボタンを押します。
お話し中の内線が保留状態となり、「内線」ボタンが緑色で点滅します。
「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。

内線 11

- 2** 転送先の内線番号をダイヤルします。

呼び出し中 15
11

- 3** 転送先の相手が応答したら、電話が入っていることを伝えます。

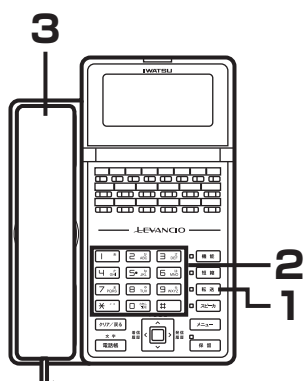
※ 転送先が応答しない場合は、一旦受話器を置いて呼び出しを中断した後に受話器を取り上げて「内線」ボタンを押すと、保留した内線とのお話しに戻ります。

6月 1日(土)16:35
内線 15

- 4** 受話器を置きます。
保留した内線と呼び出した相手が通話状態になります。

**Note**

- 内線会議のお話しも、自動転送することができます。
- <ドアホン呼び出し>、<一斉呼び出し>、<グループ呼び出し>、および<ページング呼び出し>中には、内線通話を転送できません。
- 本機能を行うためにはあらかじめデータ設定が必要です。



● 転送（キャンプオン）する

- 1 お話し中に、「転送」ボタンを押します。**
お話し中の内線が保留状態となり、「転送」ボタンが赤色で点滅します。「ツツツツツ」という第2ダイヤルトーンが聞こえます。

内線 11

- 2 転送先の内線番号をダイヤルします。**
相手が応答する前に、「転送」ボタンを押すと、保留した内線とのお話しに戻ります。

呼び出し中 15
11

- 3 受話器を置きます。**
転送先の電話機：保留中の内線が着信します。保留中の内線からの着信音が聞こえます。
保留中の内線：保留音が転送先の電話に対する呼出音に替わります。



Note

- キャンプオン着信の鳴音は、トーン呼び出しのみです。
- 内線会議のお話しも、キャンプオン転送することができます。
- <ドアホン呼び出し>、<一斉呼び出し>、<グループ呼び出し>、および<ページング呼び出し>中には、キャンプオン着信できません。
- 外線とのお話し中にその外線を他の内線電話機へ転送したとき、転送先の内線電話機が呼び出し中、または話中でも強制的に転送することをキャンプオン転送といいます。

さらに便利な使い方

- 外線／内線を特定ボタンに保留することができます。〈パーク保留〉…………… 7-28ページ
- 離席時にかかってきた電話を転送することができます。〈不在転送〉…………… 5-36、5-43ページ

MEMO

5. 外線転送 (転送電話)

機能編

転送電話概要

LEVANCIO-Sでは、NTT等の付加サービス（ボイスワープ・フレックスホン着信転送）の契約をしなくても、転送機能を使用することができます。

ただし、ご使用には、着信した回線とは別に、転送発信用の回線が必要になります。

また、着信があったときに、着信指定された電話機への鳴音と転送先の呼び出しを同時（一斉）に行う一斉呼び出し〈3WAYコール〉を使用することもできます。

自動転送

	一般着信	着番号毎転送	発信者番号毎転送	不在転送
適用回線	アナログ回線、ISDN回線、IP回線			
転送対象	<ul style="list-style-type: none"> 一般着信 	<ul style="list-style-type: none"> ダイヤルイン着信 	<ul style="list-style-type: none"> 一般着信（発信番号通知） 	<ul style="list-style-type: none"> 内線着信 ダイヤルイン個別着信 DISA着信
操作ボタン	<ul style="list-style-type: none"> 「転送電話登録」ボタン 「転送電話」ボタン 	<ul style="list-style-type: none"> 「ダイヤルイン転送登録」ボタン 「ダイヤルイン転送」ボタン 	<ul style="list-style-type: none"> 「発番号転送登録」ボタン 「発番号転送」ボタン 	<ul style="list-style-type: none"> 「不在転送」ボタン
転送モード	<ul style="list-style-type: none"> 即時転送 未応答転送 			<ul style="list-style-type: none"> 即時転送 話中・未応答転送 未応答転送
転送先登録	最大2カ所			最大3カ所 (外線は最大2カ所)
一斉呼び出し (3WAYコール)	可			不可
外線からの設定変更	可 ※サブアドレス通知により設定します。			不可



Note

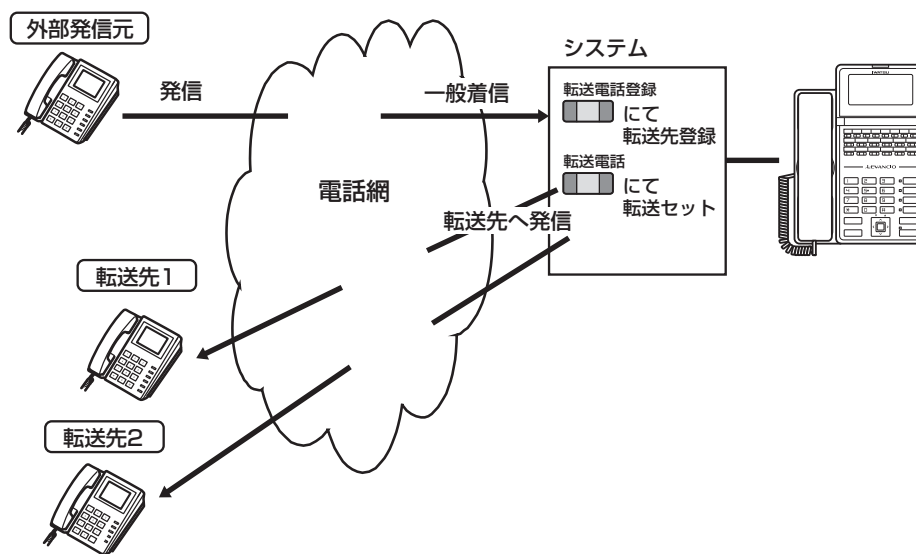
- 転送電話（一般着信、着番号毎転送、発信者番号毎転送）を動作させるには、着信指定（外線ごとに着信する電話機の指定）をする必要があります。

●一般着信

あらかじめ、ある外線に着信があったときの転送先電話番号を転送先ボックスに設定しておくことで、その外線に着信があったときに、転送先ボックスに設定された転送先を呼び出して、外線着信を転送することができます。

転送するには、転送電話のグループ番号（1～4）と転送先ボックス番号（0～9）を設定する必要があります。1つの転送電話のグループに設定できる転送先ボックスは1つです。また、1つの転送先ボックスに設定できる転送先電話番号は2つです。

転送電話の開始／停止、転送先ボックスの設定／変更は、サブアドレス通知が可能な電話機から行うことができます。

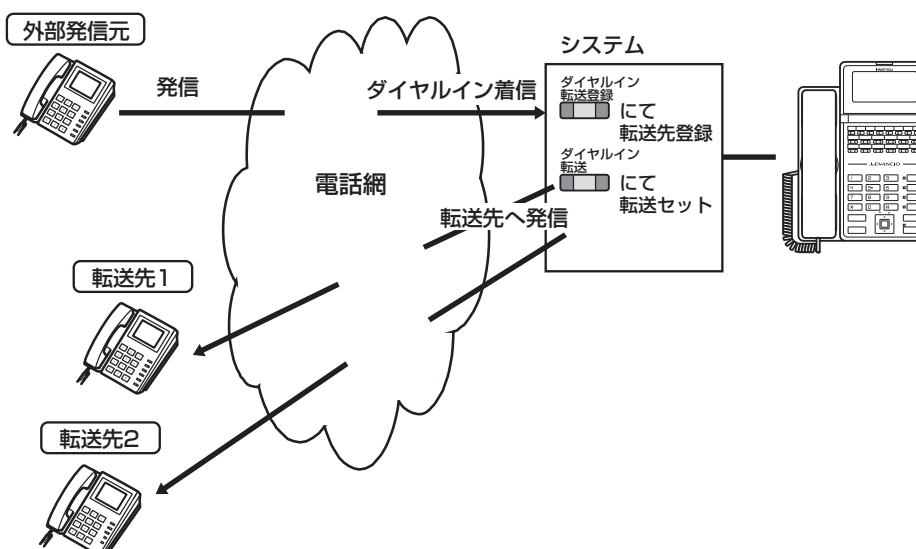


●着番号毎転送（NTTダイヤルイン／i・ナンバー）

あらかじめ、ダイヤルイン着信があったときの転送先電話番号を、着番号ごとに転送先ボックスに設定しておくことで、ダイヤルイン着信を転送することができます。

転送するには、着番号転送のグループ番号（1～100）と転送先ボックス番号（0～99）を設定する必要があります。1つの転送先ボックスに設定できる転送先電話番号は2つです。

転送電話の開始／停止、転送先ボックスの設定／変更は、サブアドレス通知が可能な電話機から行うことができます。



転送電話概要

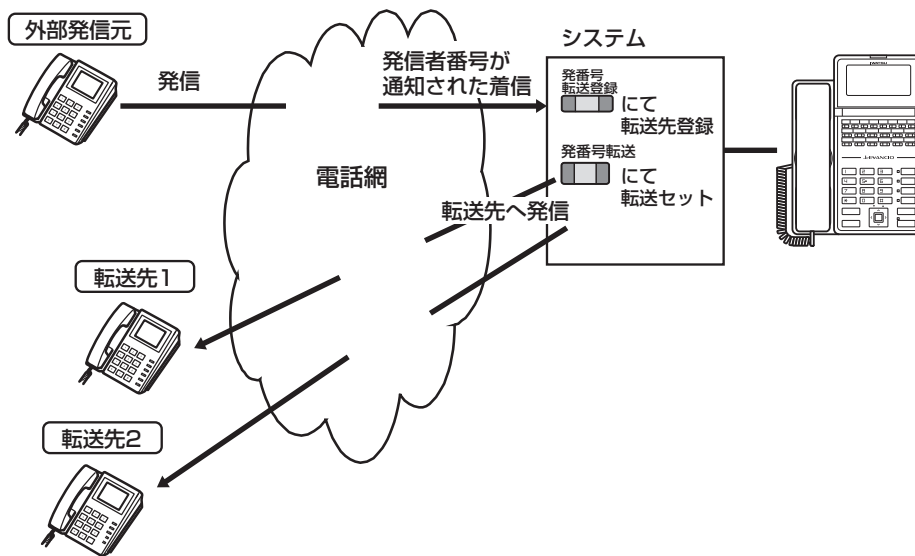
● 発信者番号毎転送（VIP転送）

あらかじめ、発信者番号が通知された着信の転送先電話番号を、発信者番号ごとに転送先ボックスに設定しておくことで、発信者番号が通知された着信を転送することができます。

転送するには、発信者番号転送のグループ番号（1～10）と転送先ボックス番号（0～9）を設定する必要があります。

1つの転送先ボックスに設定できる転送先ダイヤル番号は2つです。

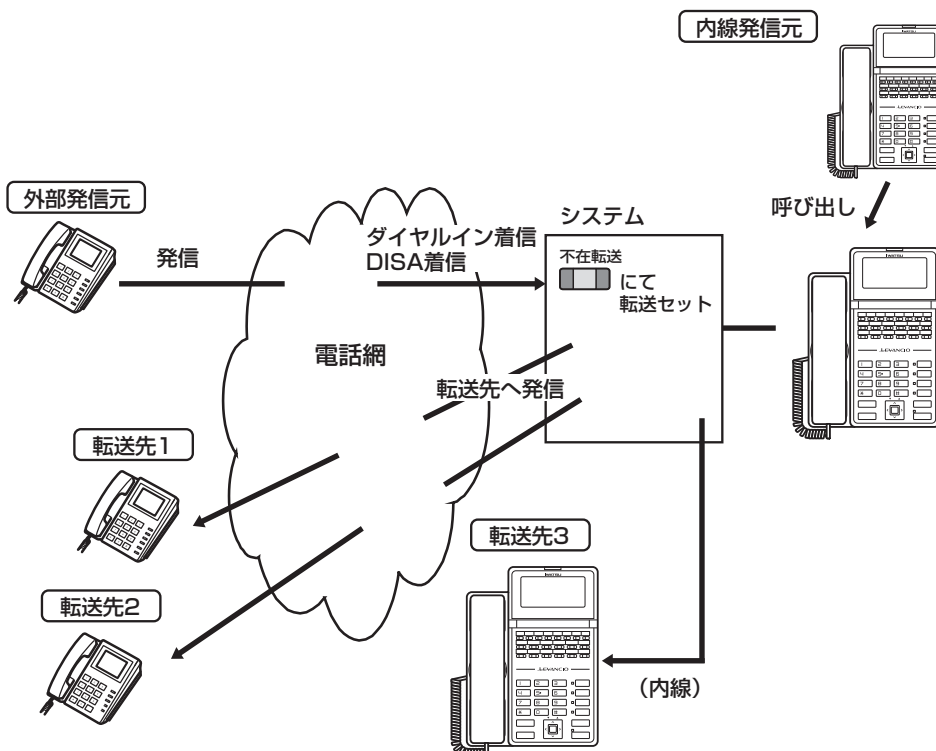
転送電話の開始／停止、転送先ボックスの設定／変更は、サブアドレス通知が可能な電話機から行うこともできます。



● 個別着信の不在転送

あらかじめ多機能電話機に転送先を設定しておくことで、不在転送を登録した多機能電話機に内線着信・ダイヤルイン着信・DISA 着信があったときに、設定された転送先へ不在転送をすることができます。

転送先は、最大3カ所（うち、外線は最大2カ所）まで設定することができます。



自動転送 一斉呼び出し〈3WAYコール〉

外線に着信があったときに、着信指定された電話機への鳴音と転送先の呼び出しを同時（一斉）に行うことができます。

一斉呼び出し〈3WAYコール〉を行うには、転送移行時間の登録時に99秒を設定します。

手動転送

外線とお話中に、別の外線を使用して転送用の外線を呼び出した後、お話し中の外線と転送用の外線を接続して転送することができます。



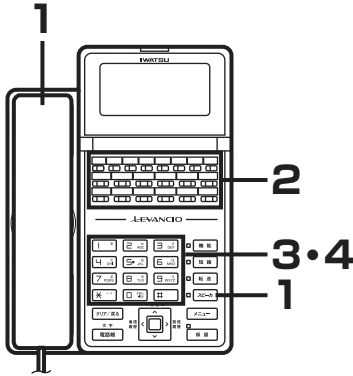
Note

- アナログ回線の場合、転送電話を終話しても即時、回線を切断できない場合があります。この場合、あらかじめ登録した終話条件により回線を切断します。

自動転送（一般・着番号毎・発信者番号毎転送）

電話機から転送先を登録する

● 転送先を登録する（一般着信）



Note

・「転送電話登録」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。

内線	11
----	----

2 「転送電話登録」ボタンを押します。
「転送電話登録」ボタンが赤色で点滅します。

転送先ボックス

3 転送先のボックス番号（0～9）を入力します。

第1転送先	ボックス 1
-------	--------

4 第1転送先の電話番号（48桁以内）を押します。

※ 短縮ダイヤルの場合は、「短縮」ボタンを押し、続けて転送先の短縮番号をダイヤルします。

※ 相手の電話番号の他にポーズ（休止）時間を秒単位（1～9）で設定することもできます。「保留」ボタンを押し、続けて秒数に該当する「1」～「9」の数字ボタンを押します。

● 電話番号の場合

第1転送先	ボックス 1
	03XXXX1234

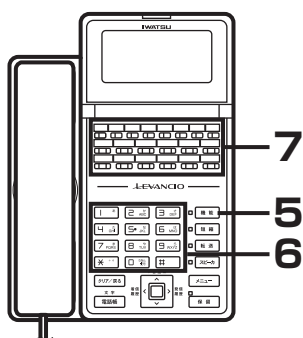
● 短縮番号の場合

第1転送先	ボックス 1
短縮	:0001

※ 第2転送先の登録を省略する場合は、手順（7）に進みます。

Note

- ・登録時に使用できる短縮番号は、共通短縮ダイヤルのみです。
- ・短縮番号の桁数に応じて、登録できる共通短縮ダイヤルが異なります。
 - 短縮番号が2桁の場合：00～89
 - 短縮番号が3桁の場合：00～899
 - 短縮番号が4桁の場合：0000～0999
 - 短縮番号が拡張4桁の場合：0000～4999



5 「機能」ボタンを押します。

第2転送先 ホックス 1

6 第2転送先の電話番号（48桁以内）を押します。

※短縮ダイヤルの場合は、「短縮」ボタンを押し、続けて転送先の短縮番号をダイヤルします。

※相手の電話番号の他にポーズ（休止）時間を秒単位（1～9）で設定することもできます。「保留」ボタンを押し、続けて秒数に該当する「1」～「9」の数字ボタンを押します。

●電話番号の場合

第2転送先 ホックス 1
03XXXX2222

●短縮番号の場合

第2転送先 ホックス 1
短縮：0002

7 「転送電話登録」ボタンを押します。

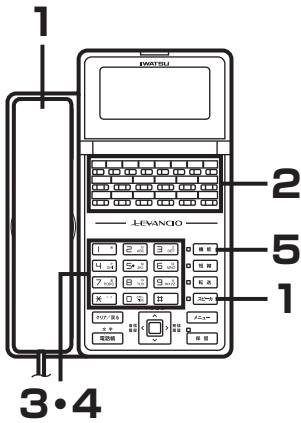
登録が完了すると、「ブップブッ」という確認音が聞こえます。「転送電話登録」ボタンが消灯します。

8 受話器を置くか「スピーカ」ボタンを押します。

Note

- 第1転送先に転送できない場合は、第2転送先に転送します。第2転送先にも転送できない場合は、一般着信になります。

自動転送（一般・着番号毎・発信者番号毎転送）



Note
 ・「ダイヤルイン転送登録」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

● 転送先を登録する（着番号毎転送）

1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。

内線 11

2 「ダイヤルイン転送登録」ボタンを押します。
 「ダイヤルイン転送登録」ボタンが赤色で点滅します。

転送先ボックス

3 転送先のボックス番号（00～99）を入力します。

第1転送先 ボックス01

4 第1転送先の電話番号（48桁以内）を入力します。
 ※短縮ダイヤルの場合は、「短縮」ボタンを押し、続けて転送先の短縮番号をダイヤルします。
 ※相手の電話番号の他にポーズ（休止）時間を秒単位（1～9）で設定することもできます。「保留」ボタンを押し、続けて秒数に該当する「1」～「9」の数字ボタンを押します。

● 電話番号の場合

第1転送先 ボックス01
03XXXX1234

● 短縮番号の場合

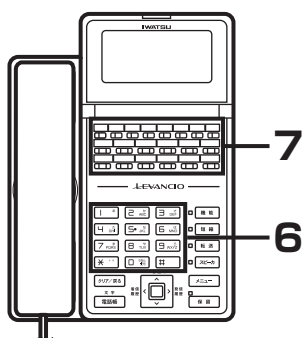
第1転送先 ボックス01
短縮：0001

※第2転送先の登録を省略する場合は、手順（7）に進みます。

Note
 ・登録時に使用できる短縮番号は、共通短縮ダイヤルのみです。
 ・短縮番号の桁数に応じて、登録できる共通短縮ダイヤルが異なります。
 - 短縮番号が2桁の場合：00～89
 - 短縮番号が3桁の場合：00～899
 - 短縮番号が4桁の場合：0000～0999
 - 短縮番号が拡張4桁の場合：0000～4999

5 「機能」ボタンを押します。

第2転送先 ボックス01



6 第2転送先の電話番号（48桁以内）を入力します。

※短縮ダイヤルの場合、「短縮」ボタンを押し、続けて転送先の短縮番号をダイヤルします。

※相手の電話番号の他にポーズ（休止）時間を秒単位（1～9）で設定することもできます。「保留」ボタンを押し、続けて秒数に該当する「1」～「9」の数字ボタンを押します。

●電話番号の場合

第2転送先 ホックス01
 03XXXX2222

●短縮番号の場合

第2転送先 ホックス01
短縮：0002

7 「ダイヤルイン転送登録」ボタンを押します。

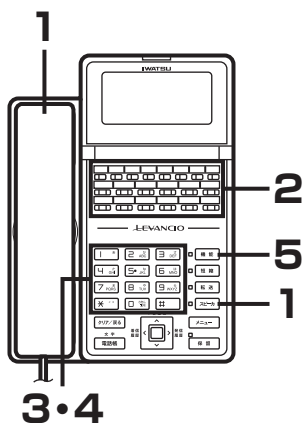
登録が完了すると、「ブップッ」という確認音が聞こえます。「ダイヤルイン転送登録」ボタンが消灯します。

8 受話器を置くか「スピーカ」ボタンを押します。

Note

- 第1転送先に転送できない場合は、第2転送先に転送します。第2転送先にも転送できない場合は、一般着信になります。

自動転送（一般・着番号毎・発信者番号毎転送）



 **Note**

- 「発番号転送登録」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

● 転送先を登録する（発信者番号毎転送）

1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。

内線 11

2 「発番号転送登録」ボタンを押します。

「発番号転送登録」ボタンが赤色で点滅します。

転送先ボックス

3 転送先のボックス番号（0～9）を入力します。

第1転送先 ボックス 1

4 第1転送先の電話番号（48桁以内）を入力します。

※ 短縮ダイヤルの場合は、「短縮」ボタンを押し、続けて転送先の短縮番号をダイヤルします。

※ 相手の電話番号の他にポーズ（休止）時間を秒単位（1～9）で設定することもできます。「保留」ボタンを押し、続けて秒数に該当する「1」～「9」の数字ボタンを押します。

● 電話番号の場合

第1転送先 ボックス 1
03XXXX1234

● 短縮番号の場合

第1転送先 ボックス 1
短縮：0001

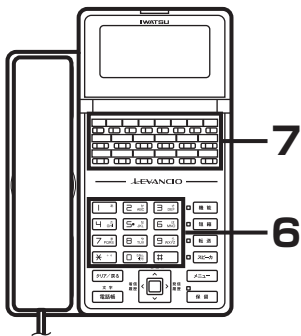
※ 第2転送先の登録を省略する場合は、手順（7）に進みます。

 **Note**

- 登録時に使用できる短縮番号は、共通短縮ダイヤルのみです。
- 短縮番号の桁数に応じて、登録できる共通短縮ダイヤルが異なります。
 - 短縮番号が2桁の場合：00～89
 - 短縮番号が3桁の場合：00～899
 - 短縮番号が4桁の場合：0000～0999
 - 短縮番号が拡張4桁の場合：0000～4999

5 「機能」ボタンを押します。

第2転送先 ボックス 1



6 第2転送先の電話番号（48桁以内）を入力します。

※ 短縮ダイヤルの場合、「短縮」ボタンを押し、続けて転送先の短縮番号を入力します。

※ 相手の電話番号の他にポーズ（休止）時間を秒単位（1～9）で設定することもできます。「保留」ボタンを押し、続けて秒数に該当する「1」～「9」の数字ボタンを押します。

● 電話番号の場合

第2転送先 ホックス 1
 03XXXX2222

● 短縮番号の場合

第2転送先 ホックス 1
短縮 : 0002

7 「発番号転送登録」ボタンを押します。

登録が完了すると、「ブップッッ」という確認音が聞こえます。「発番号転送登録」ボタンが消灯します。

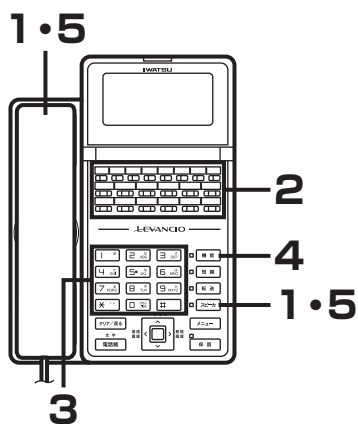
8 受話器を置くか「スピーカ」ボタンを押します。

Note

- 第1転送先に転送できない場合は、第2転送先に転送します。第2転送先にも転送できない場合は、一般着信になります。

自動転送（一般・着番号毎・発信者番号毎転送）

電話機から転送先を確認する



 **Note**

- 「転送電話登録」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

● 転送先を確認する（一般着信）

1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。

内線 11

2 「転送電話登録」ボタンを押します。
「転送電話登録」ボタンが赤色で点滅します。

転送先ボックス

3 転送先のボックス番号（0～9）を押します。

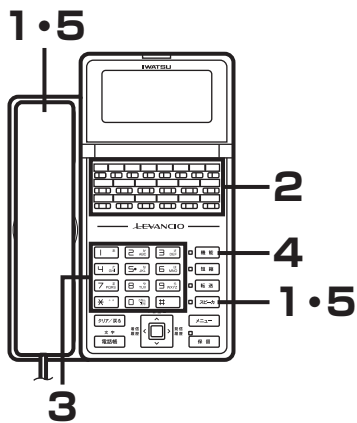
第1転送先 ボックス 1
03XXXX1234

※ 第2転送先の確認を省略する場合は、手順（5）に進みます。

4 「機能」ボタンを押します。
登録している第2転送先がディスプレイに表示されます。

第2転送先 ボックス 1
03XXXX2222

5 受話器を置くか「スピーカ」ボタンを押します。



Note

•「ダイヤルイン転送登録」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

●転送先を確認する（着番号毎転送）

1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。

内線 11

2 「ダイヤルイン転送登録」ボタンを押します。
「ダイヤルイン転送登録」ボタンが赤色で点滅します。

転送先ボックス

3 転送先のボックス番号（00～99）を押します。

第1転送先 ボックス01
03XXXX1234

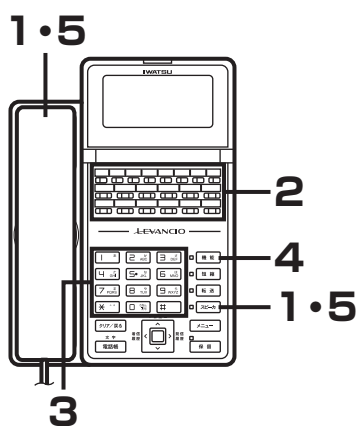
※ 第2転送先の確認を省略する場合は、手順（5）に進みます。

4 「機能」ボタンを押します。
登録している第2転送先がディスプレイに表示されます。

第2転送先 ボックス01
03XXXX2222

5 受話器を置くか「スピーカ」ボタンを押します。

自動転送（一般・着番号毎・発信者番号毎転送）



 **Note**

- 「発番号転送登録」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

● 転送先を確認する（発信者番号毎転送）

1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。

内線 11

2 「発番号転送登録」ボタンを押します。
「発番号転送登録」ボタンが赤色で点滅します。

転送先ボックス

3 転送先のボックス番号（0～9）を押します。

第1転送先 ボックス 1
03XXXX1234

※ 第2転送先の確認を省略する場合は、手順（5）に進みます。

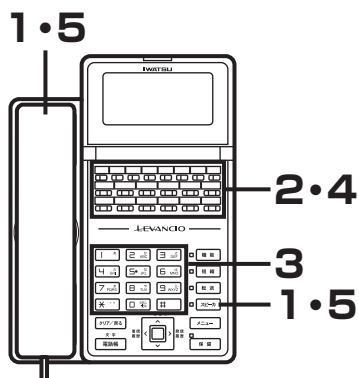
4 「機能」ボタンを押します。
登録している第2転送先がディスプレイに表示されます。

第2転送先 ボックス 1
03XXXX2222

5 受話器を置くか「スピーカ」ボタンを押します。

電話機から転送先ボックスを割り付ける

● 転送先ボックスを割り付ける (一般着信)



Note

- 「転送電話」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。

内線	11
----	----

2 転送先ボックスを割り付ける転送電話グループの「転送電話」ボタンを押します。

※ 現在割り付けられている、転送先ボックス番号と、第1転送先の電話番号または短縮番号が表示されます。

転送先ボックス 03XXXX1234	1
-----------------------	---

3 転送先に割り付けるボックス番号 (0~9) を押します。

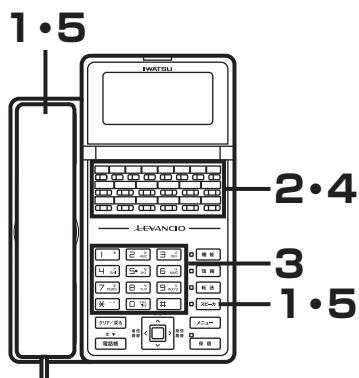
転送先ボックス 03XXXX2222	2
-----------------------	---

4 「転送電話」ボタンを押します。

割り付けが完了すると、「プップップ」という確認音が聞こえます。「転送電話」ボタンが赤色で点灯し、転送機能がオンになります。

5 受話器を置くか「スピーカ」ボタンを押します。

自動転送（一般・着番号毎・発信者番号毎転送）



 **Note**

•「ダイヤルイン転送」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

● 転送先ボックスを割り付ける（着信番号毎転送）

1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。

内線	11
----	----

2 転送先ボックスを割り付ける転送電話グループの「ダイヤルイン転送」ボタンを押します。

※ 現在割り付けられている、転送先ボックス番号と、第1転送先の電話番号または短縮番号が表示されます。

転送先ボックス	01
03XXXX1234	

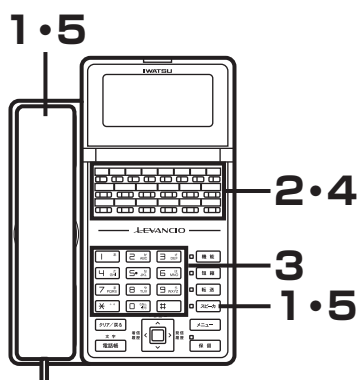
3 転送先に割り付けるボックス番号(00~99)を入力します。

転送先ボックス	02
03XXXX2222	

4 「ダイヤルイン転送」ボタンを押します。

割り付けが完了すると、「プップッ」という確認音が聞こえます。「ダイヤルイン転送」ボタンが赤色で点灯し、転送機能がオンになります。

5 受話器を置くか「スピーカ」ボタンを押します。



Note

- 「発番号転送」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

● 転送先ボックスを割り付ける (発信者番号毎転送)

1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。

内線	11
----	----

2 転送先ボックスを割り付ける転送電話グループの「発番号転送」ボタンを押します。

※ 現在割り付けられている、転送先ボックス番号と、第1転送先の電話番号または短縮番号が表示されます。

転送先ボックス 03XXXX1234	1
-----------------------	---

3 転送先に割り付けるボックス番号 (0~9) を入力します。

転送先ボックス 03XXXX2222	2
-----------------------	---

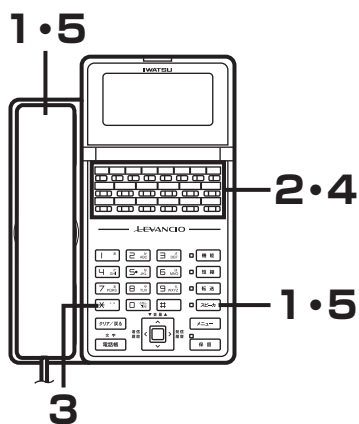
4 「発番号転送」ボタンを押します。
割り付けが完了すると、「プップッ」 という確認音が聞こえます。
「発番号転送」ボタンが赤色で点灯し、転送機能がオンになります。

5 受話器を置くか「スピーカ」ボタンを押します。

自動転送（一般・着番号毎・発信者番号毎転送）

電話機から転送先ボックスを解除する

● 転送先ボックスを解除する（一般発信）



 **Note**

- 「転送電話」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。

内線	11
----	----

2 転送先ボックスを解除する転送電話グループの「転送電話」ボタンを押します。

※ 現在割り付けられている、転送先ボックス番号と、第1転送先の電話番号または短縮番号が表示されます。

転送先ボックス	1
03XXXX1234	

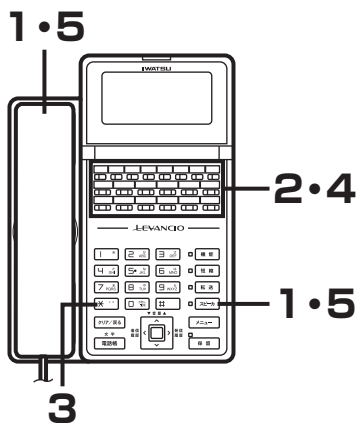
3 「*」ボタンを押します。

転送先ボックス	*
---------	---

4 「転送電話」ボタンを押します。

割り付けの解除が完了すると、「プッププッ」という確認音が聞こえます。「転送電話」ボタンが消灯し、転送機能がオフになります。

5 受話器を置くか「スピーカ」ボタンを押します。



Note

- 「ダイアルイン転送」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

● 転送先ボックスを解除する（着番号毎転送）

1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。

内線	11
----	----

2 転送先ボックスを解除する転送電話グループの「ダイアルイン転送」ボタンを押します。

※ 現在割り付けられている、転送先ボックス番号と、第1転送先の電話番号または短縮番号が表示されます。

転送先ボックス	01
03XXXX1234	

3 「*」ボタンを押します。

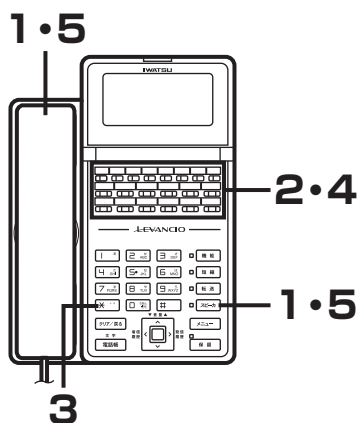
転送先ボックス	*
---------	---

4 「ダイアルイン転送」ボタンを押します。

割り付けの解除が完了すると、「プッププッ」という確認音が聞こえます。「ダイアルイン転送」ボタンが消灯し、転送機能がオフになります。

5 受話器を置くか「スピーカ」ボタンを押します。

自動転送（一般・着番号毎・発信者番号毎転送）



 **Note**

- 「発番号転送」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

● 転送先ボックスを解除する（発信者番号転送）

1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。

内線	11
----	----

2 転送先ボックスを解除する転送電話グループの「発番号転送」ボタンを押します。

※ 現在割り付けられている、転送先ボックス番号と、第1転送先の電話番号または短縮番号が表示されます。

転送先ボックス	1
03XXXX1234	

3 「*」ボタンを押します。

転送先ボックス	*
---------	---

4 「発番号転送」ボタンを押します。

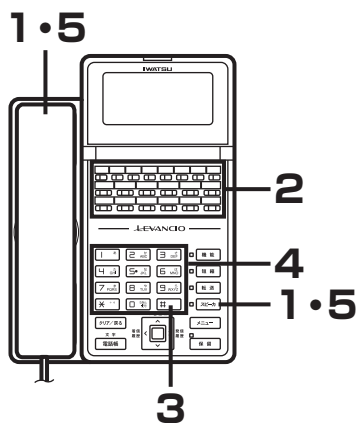
割り付けの解除が完了すると、「プッププッ」という確認音が聞こえます。「発番号転送」ボタンが消灯し、転送機能がオフになります。

5 受話器を置くか「スピーカ」ボタンを押します。

電話機から転送移行時間を登録する

● 電話機から転送移行時間を登録する（一般着信）

ここでは、「転送電話」ボタンが赤色点灯中で転送機能がオンであった場合を例として説明しています。



Note

- 「転送電話」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。
- 第1転送先から第2転送先（または一般着信）、第2転送先から一般着信に移行する時間は、取り付け時に設定します。

1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。

内線 11

2 移行時間を登録する転送電話グループの「転送電話」ボタンを押します。

※ 現在割り付けられている、転送先ボックス番号と、第1転送先の電話番号または短縮番号が表示されます。

転送先ボックス 1
03XXXX1234

3 「#」ボタンを押します。

※ 現在割り付けられている、転送先ボックス番号と、移行時間が表示されます。

転送移行時間 ボックス 1
20

4 移行時間（00～99秒）を入力します。

入力が完了すると、「ブッブッ」 という確認音が聞こえます。

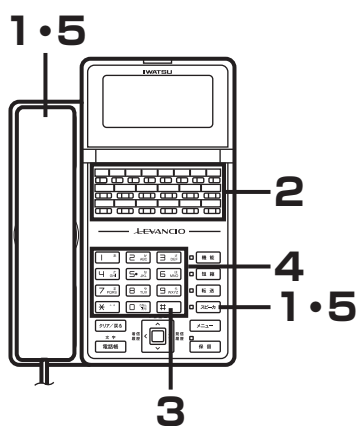
転送移行時間 ボックス 1
30

Note

- 転送移行時間は、第1転送先に転送するまでの間、電話機に着信させる時間です。
 - 0秒を設定した場合:電話機には着信せず、即時に転送します。
 - 99秒を設定した場合:指定した電話機への着信と第1転送先、第2転送先への転送を同時に行います。（一斉呼び出し）

5 受話器を置くか「スピーカ」ボタンを押します。

自動転送（一般・着番号毎・発信者番号毎転送）



 **Note**

- 「ダイヤルイン転送」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。
- 第1転送先から第2転送先（または一般着信）、第2転送先から一般着信に移行する時間は、取り付け時に設定します。

● 転送移行時間を登録する（着番号毎転送）

ここでは、「ダイヤルイン転送」ボタンが赤色点灯中で転送機能がオンであった場合を例として説明しています。

1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。

内線 11

2 移行時間を登録する転送電話グループの「ダイヤルイン転送」ボタンを押します。

※ 現在割り付けられている、転送先ボックス番号と、第1転送先の電話番号または短縮番号が表示されます。

転送先ボックス 01
03XXXX1234

3 「#」ボタンを押します。

※ 現在割り付けられている、転送先ボックス番号と、移行時間が表示されます。

転送移行時間 ボックス01
20

4 移行時間（00～99秒）を入力します。

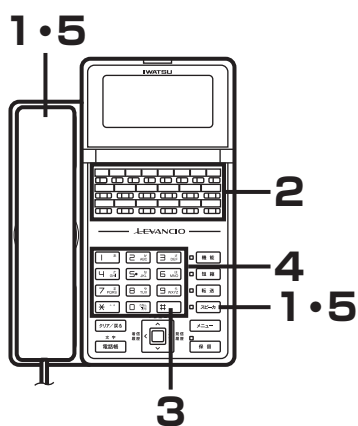
入力が完了すると、「ブブブブッ」という確認音が聞こえます。

転送移行時間 ボックス01
30

 **Note**

- 転送移行時間は、第1転送先に転送するまでの間、電話機に着信させる時間です。
 - 0秒を設定した場合:電話機には着信せず、即時に転送します。
 - 99秒を設定した場合:指定した電話機への着信と第1転送先、第2転送先への転送を同時に行います。（一斉呼び出し）

5 受話器を置くか「スピーカ」ボタンを押します。



Note

- 「発番号転送」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。
- 第1転送先から第2転送先（または一般着信）、第2転送先から一般着信に移行する時間は、取り付け時に設定します。

● 転送移行時間を登録する（発信者番号毎転送）

ここでは、「発番号転送」ボタンが赤色点灯中で転送機能がオンであった場合を例として説明しています。

1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。

内線 11

2 移行時間を登録する転送電話グループの「発番号転送」ボタンを押します。

※ 現在割り付けられている、転送先ボックス番号と、第1転送先の電話番号または短縮番号が表示されます。

転送先ボックス 1
03XXXX1234

3 「#」ボタンを押します。

※ 現在割り付けられている、転送先ボックス番号と、移行時間が表示されます。

転送移行時間 ボックス 1
20

4 移行時間（00～99秒）を入力します。

入力が完了すると、「ブブブブ」 という確認音が聞こえます。

転送移行時間 ボックス 1
30

Note

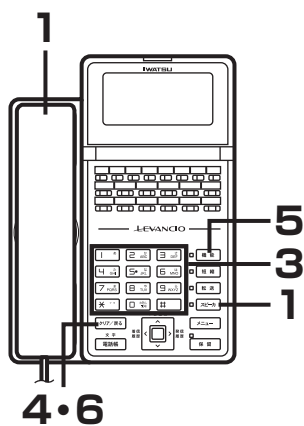
- 転送移行時間は、第1転送先に転送するまでの間、電話機に着信させる時間です。
 - 0秒を設定した場合：電話機には着信せず、即時に転送します。
 - 99秒を設定した場合：指定した電話機への着信と第1転送先、第2転送先への転送を同時に行います。（一斉呼び出し）

5 受話器を置くか「スピーカ」ボタンを押します。

自動転送（一般・着番号毎・発信者番号毎転送）

電話機から転送先を取り消す

● 転送先を取り消す（一般着信）


Note

・「転送電話登録」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。

内線 11

2 「転送電話登録」ボタンを押します。
「転送電話登録」ボタンが赤色で点滅します。

転送先ボックス

3 ボックス番号（0～9）を押します。

第1転送先 ボックス 1
03XXXX1234

4 「クリア」ボタンを押します。
第1転送先の電話番号や短縮番号が消去されます。

第1転送先 ボックス 1

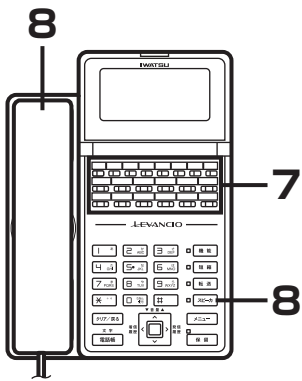
※ 第2転送先を消去しない場合は、手順（7）に進みます。

5 「機能」ボタンを押します。

第2転送先 ボックス 1
03XXXX2222

6 「クリア」ボタンを押します。
第2転送先の電話番号、短縮番号が消去されます。

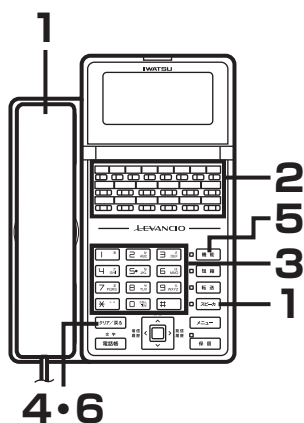
第2転送先 ボックス 1



7 「転送電話登録」 ボタンを押します。
取り消しが完了すると、「ブツブツ」 という確認音が聞こえます。
「転送電話登録」 ボタンが消灯します。

8 受話器を置くか「スピーカ」 ボタンを押します。

自動転送（一般・着番号毎・発信者番号毎転送）



Note

•「ダイヤルイン転送登録」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

● 転送先を取り消す（着番号毎転送）

1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。

内線 11

2 「ダイヤルイン転送登録」ボタンを押します。
「ダイヤルイン転送登録」ボタンが赤色で点滅します。

転送先ボックス

3 ボックス番号（00～99）を押します。

第1転送先 ボックス01
03XXXX1234

4 「クリア」ボタンを押します。
第1転送先の電話番号や短縮番号が消去されます。

第1転送先 ボックス01

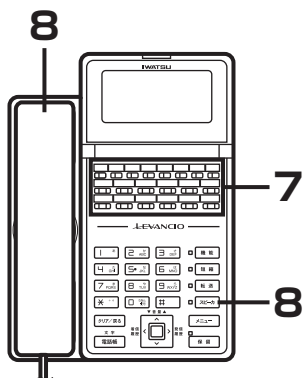
※ 第2転送先を消去しない場合は、手順（7）に進みます。

5 「機能」ボタンを押します。

第2転送先 ボックス01
03XXXX2222

6 「クリア」ボタンを押します。
第2転送先の電話番号、短縮番号が消去されます。

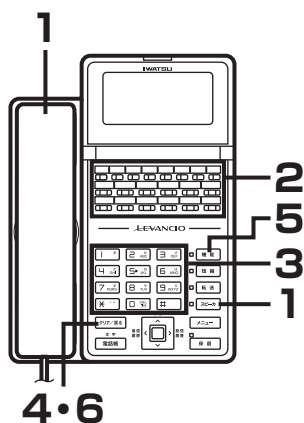
第2転送先 ボックス01



7 「ダイヤルイン転送登録」ボタンを押します。
取り消しが完了すると、「ブツブツ」という確認音が聞こえます。
「ダイヤルイン転送登録」ボタンが消灯します。

8 受話器を置くか「スピーカ」ボタンを押します。

自動転送（一般・着番号毎・発信者番号毎転送）



 **Note**

- 「発信者転送登録」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

● 転送先を取り消す（発信者番号転送）

1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。

内線 11

2 「発信者転送登録」ボタンを押します。

「発信者転送登録」ボタンが赤色で点滅します。

転送先ボックス

3 ボックス番号（0～9）を押します。

第1転送先 ボックス1
03XXXX1234

4 「クリア」ボタンを押します。

第1転送先の電話番号や短縮番号が消去されます。

第1転送先 ボックス1

※ 第2転送先を消去しない場合は、手順（7）に進みます。

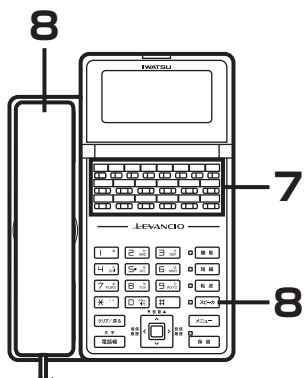
5 「機能」ボタンを押します。

第2転送先 ボックス1
03XXXX2222

6 「クリア」ボタンを押します。

第2転送先の電話番号、短縮番号が消去されます。

第2転送先 ボックス1



7 「発番号転送登録」ボタンを押します。
取り消しが完了すると、「ブツブツ」という確認音が聞こえます。
「発番号転送登録」ボタンが消灯します。

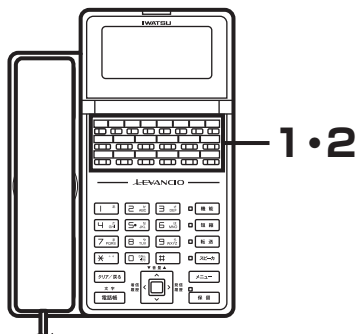
8 受話器を置くか「スピーカ」ボタンを押します。

自動転送（一般・着番号毎・発信者番号毎転送）

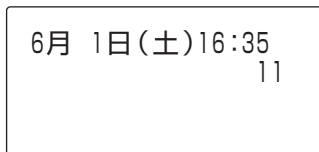
電話機から転送電話をオン／オフする

転送先が登録されている状態で、転送電話のオン（転送する）／オフ（転送しない）を切替えることができます。

● 転送電話をオン／オフする（一般着信）



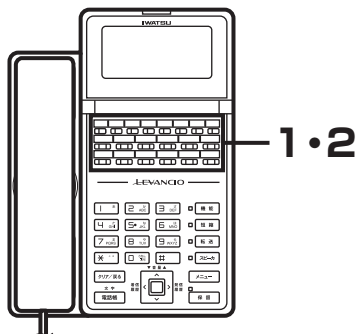
- 1 受話器を置いたまま「転送電話」ボタンを押します。
転送電話がオフになり、「転送電話」ボタンが消灯します。



- 2 再び「転送電話」ボタンを押します。
転送電話がオンになり、「転送電話」ボタンが赤色で点灯します。

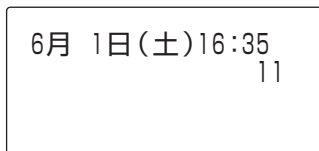
Note

- 「転送電話」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。
- 転送先ボックスの割り付けを解除している場合は、転送電話はオンになりません。



● 転送電話をオン／オフする（着番号毎転送）

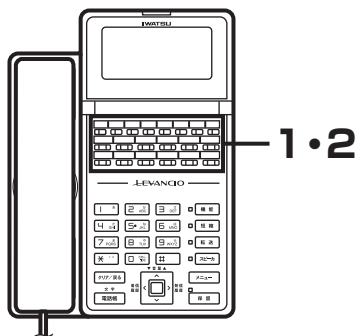
- 1 受話器を置いたまま「ダイヤルイン転送」ボタンを押します。
転送電話がオフになり、「ダイヤルイン転送」ボタンが消灯します。



- 2 再び「ダイヤルイン転送」ボタンを押します。
転送電話がオンになり、「ダイヤルイン転送」ボタンが赤色で点灯します。

Note

- 「ダイヤルイン転送」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。
- 転送先ボックスの割り付けを解除している場合は、転送電話はオンになりません。



● 転送電話をオン／オフする（発信者番号毎転送）

- 1 受話器を置いたまま「発番号転送」ボタンを押します。
転送電話がオフになり、「ダイヤルイン転送」ボタンが消灯します。

6月 1日(土)16:35
11

- 2 再び「発番号転送」ボタンを押します。
転送電話がオンになり、「発番号転送」ボタンが赤色で点灯します。

Note

- 「発番号転送」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。
- 転送先ボックスの割り付けを解除している場合は、転送電話はオンになりません。

自動転送（一般・着番号毎・発信者番号毎転送）

外出先から転送電話をオン／オフする

●転送電話をオン／オフする（一般着信）

 Note

- 「リモート特番」はデータ設定によりあらかじめ設定が必要です。
- リモート特番の初期値は、94に設定されています。

1 外出先のサブアドレス発信ができる電話機から、転送登録されている電話番号を押します。

システムに収容された回線の電話番号をダイヤルします。

2 「サブアドレス」ボタン（電話機によって異なります）を押します。

3 「リモート特番」を入力します。

4 「0」ボタンまたは「1」ボタンを押します。

●オフにする場合 → 「0」ボタン

●オンにする場合 → 「1」ボタン

5 転送電話グループ番号（1～4）を押します。

6 「発信」ボタン（電話機によって異なります）を押します。

呼び出し音が聞こえます。

※設定が失敗した場合は、話中音が聞こえます。

 Note

- 転送ボックスの割り付けを解除している場合は、転送電話はオンにはなりません。

●転送電話をオン／オフする（着番号毎転送）

 Note

- 「リモート特番」はデータ設定によりあらかじめ設定が必要です。
- リモート特番の初期値は、94に設定されています。

1 外出先のサブアドレス発信ができる電話機から、転送登録されている電話番号を押します。

2 「サブアドレス」ボタン（電話機によって異なります）を押します。

3 「リモート特番」を入力します。

4 「0」ボタンまたは「1」ボタンを押します。

●オフにする場合 → 「0」ボタン

●オンにする場合 → 「1」ボタン

5 「発信」ボタン（電話機によって異なります）を押します。

呼び出し音が聞こえます。

※設定が失敗した場合は、話中音が聞こえます。

 Note

- 転送ボックスの割り付けを解除している場合は、転送電話はオンにはなりません。

● 転送電話をオン／オフする（発信者番号毎転送）**Note**

• 「発番号毎転送リモート特番」はデータ設定によりあらかじめ設定が必要です。

- 1** 外出先のサブアドレス発信ができる電話機から、転送登録されている電話番号を押します。
システムに収容された回線の電話番号をダイヤルします。
- 2** 「サブアドレス」ボタン（電話機によって異なります）を押します。
- 3** 「発番号毎転送リモート特番」を入力します。
- 4** 「0」ボタンまたは「1」ボタンを押します。
 - オフにする場合 → 「0」ボタン
 - オンにする場合 → 「1」ボタン
- 5** 発番号転送グループ番号（01～10）を押します。
- 6** 「発信」ボタン（電話機によって異なります）を押します。
呼び出し音が聞こえます。
※ 設定が失敗した場合は、話中音が聞こえます。

**Note**

• 転送ボックスの割り付けを解除している場合は、転送電話はオンにはなりません。

自動転送（一般・着番号毎・発信者番号毎転送）

外出先から転送ボックスを割り付ける

● 転送ボックスを割り付ける（一般着信）

Note

- 「リモート特番」はデータ設定によりあらかじめ設定が必要です。
- リモート特番の初期値は、94に設定されています。

- 1 外出先のサブアドレス発信ができる電話機から、転送登録されている電話番号を押します。
システムに収容された回線の電話番号をダイヤルします。
- 2 「サブアドレス」ボタン（電話機によって異なります）を押します。
- 3 「リモート特番」を入力します。
- 4 「2」ボタンを押します。
- 5 発番号転送電話グループ番号（1～4）を押します。
- 6 発番号転送先ボックス番号（0～9）を押します。
- 7 「発信」ボタン（電話機によって異なります）を押します。
呼び出し音が聞こえます。
※ 設定が失敗した場合は、話中音が聞こえます。番号をご確認の上、再度（1）～（7）を行ってください。

● 転送ボックスを割り付ける（着番号毎転送）

Note

- 「リモート特番」はデータ設定によりあらかじめ設定が必要です。
- リモート特番の初期値は、94に設定されています。

- 1 外出先のサブアドレス発信ができる電話機から、転送登録されている電話番号を押します。
システムに収容された回線の電話番号をダイヤルします。
- 2 「サブアドレス」ボタン（電話機によって異なります）を押します。
- 3 「リモート特番」を入力します。
- 4 「2」ボタンを押します。
- 5 転送先ボックス番号（00～99）を押します。
- 6 「発信」ボタン（電話機によって異なります）を押します。
呼び出し音が聞こえます。
※ 設定が失敗した場合は、話中音が聞こえます。番号をご確認の上、再度（1）～（7）を行ってください。

**Note**

•「発番号毎転送リモート特番」はデータ設定によりあらかじめ設定が必要です。

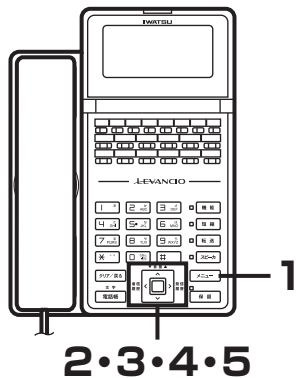
● 転送ボックスを割り付ける (発信者番号毎転送)

- 1** 外出先のサブアドレス発信ができる電話機から、転送登録されている電話番号を押します。
- 2** 「サブアドレス」ボタン (電話機によって異なります) を押します。
- 3** 「発番号毎転送リモート特番」を押します。
- 4** 「2」ボタンを押します。
- 5** 発番号転送グループ番号 (01~10) を押します。
- 6** 発番号転送先ボックス番号 (0~9) を押します。
- 7** 「発信」ボタン (電話機によって異なります) を押します。
呼び出し音が聞こえます。
※ 設定が失敗した場合は、話中音が聞こえます。再度手順 (1) ~ (7) を行い、他の転送ボックスを割り付けてください。

不在転送先を外線に転送する〈不在転送-ルート方式〉

「メニュー」ボタン操作で転送先を登録／取り消す

●転送先を登録する



- 1 受話器を置いた状態で「メニュー」ボタンまたは「決定」ボタンを押します。

▶音量調整／画面調整

電話帳登録
ヘルプ表示
メニュー終了

▶不在転送設定
留守番／メール設定
鳴音種別設定
メニュー終了

- 2 上下ボタンで“不在転送設定”を選択し、「決定」ボタンを押します。

不在転送／解除選択画面が表示されます。

不在転送／解除選択

▶不在転送設定
不在転送解除設定
戻る

- 3 上下ボタンで“不在転送設定”を選択し、「決定」ボタンを押します。

ルート選択画面が表示されます。

ルート選択

▶ルート1
ルート2
戻る

- 4 上下ボタンで目的のルートを選択し、「決定」ボタンを押します。

転送モード選択画面が表示されます。

転送モード選択

▶未応答転送
戻る

転送モード選択

▶即時転送
話中・未応答転送
内線へ転送

- 5 上下ボタンで不在転送モードを選択し、「決定」ボタンを押します。

転送先選択画面が表示されます。

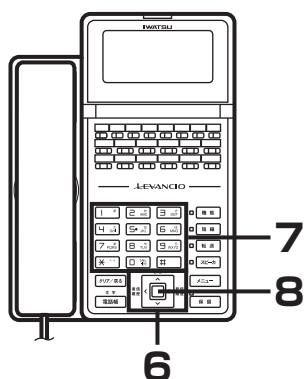
転送先選択

▶戻る

転送先選択

▶内線番号
短縮番号

11



6 上下ボタンで“内線番号”または“短縮番号”を選択し、「決定」ボタンを押します。

転送先入力画面が表示されます。

●内線番号の場合

内線番号を入力
してください¹
11

●短縮番号の場合

短縮番号を入力
してください¹
98

7 転送先の内線電話または短縮番号を入力します。

●内線番号の場合

内線番号を入力
してください
12

●短縮番号の場合

短縮番号を入力
してください
97



Note

- 短縮番号を登録する場合、電話帳登録（共通・個別短縮ダイヤル登録）により、短縮ダイヤルの登録が必要です。

8 「決定」ボタンを押します。

設定完了画面が表示され、3秒後にメインメニュー画面に戻ります。

※設定できなかった場合は、設定不完了画面が表示され、3秒後に転送先番号入力画面に戻ります。

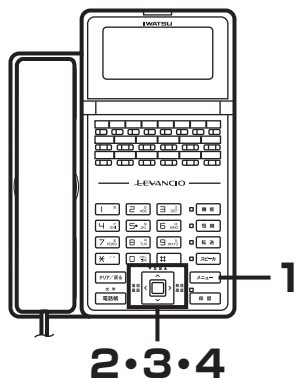
●内線番号の場合

登録しました
内線 > 12

●短縮番号の場合

登録しました
短縮 > 97

不在転送先を外線に転送する〈不在転送-ルート方式〉



● 転送先を取り消す

1 受話器を置いた状態で「メニュー」ボタンを押します。

▶音量調整／画面調整

電話帳登録
ヘルプ表示
メニュー終了

▶不在転送設定
留守番／メール設定
鳴音種別設定
メニュー終了

2 上下ボタンで“不在転送設定”を選択し、「決定」ボタンを押します。

不在転送／解除選択画面が表示されます。

不在転送／解除選択

▶不在転送設定
不在転送解除設定
戻る

3 上下ボタンで“不在転送解除設定”を選択し、「決定」ボタンを押します。

ルート解除画面が表示されます。

ルート解除

▶戻る

ルート解除

▶ルート1
ルート2
全ルート

4 上下ボタンで解除するルートを選択し、「決定」ボタンを押します。

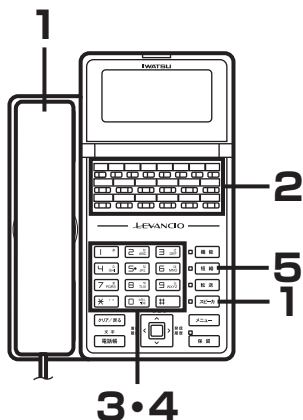
設定完了画面が表示され、3秒後にメインメニュー画面に戻ります。

※設定できなかった場合は、設定不完了画面が表示され、3秒後にルート解除画面に戻ります。

解除しました

Note

- 不在転送方式が“単一方式”の場合、ルート1のみ設定が有効となります。設定内容や設定変更については、お買い求めの販売店にお問い合わせください。



Note

- 「不在転送」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。
- ルート3は取り付け時の設定で登録します。
- ルート3は内線専用です。

転送先を登録する

1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。

内線 11

2 「不在転送」ボタンを押します。

「不在転送」ボタンが赤色で点滅します。
不在転送ルート選択画面が表示されます。

不在転送ルート [1/2]
[*]解除 [#]その他

3 ルート番号 (1または2) を入力します。

- ルート1 → 「1」ボタン
- ルート2 → 「2」ボタン

不在転送モード選択画面が表示されます。

不在転送モード [1, 2, 3]
[*]解除

Note

- ルート2を登録した場合は、ルート1も登録が必要です。

4 転送モード (1~3) を入力します。

- 即時転送モード → 「1」ボタン
- 話中・未応答転送モード → 「2」ボタン
- 未応答転送モード → 「3」ボタン

転送先設定画面が表示されます。

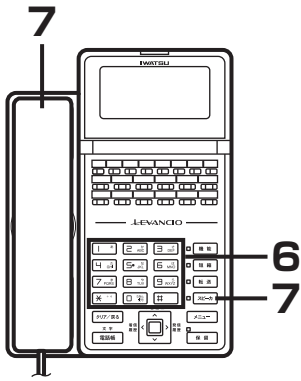
即時転送先

5 「短縮」ボタンを押します。

発信先 短縮 : 11

不在転送先を外線に転送する〈不在転送-ルート方式〉

(前ページの続き)



6 転送先の短縮番号を入力します。

登録が完了すると、「ブッブッッ」という確認音が聞こえます。

「不在転送」ボタンが赤色で点灯または点滅します。

※ 転送先が登録できない場合は、警告音が聞こえます。

※ 別のルートの登録を行う場合は、再度手順（1）から操作してください。

7 受話器を置くか「スピーカ」ボタンを押します。

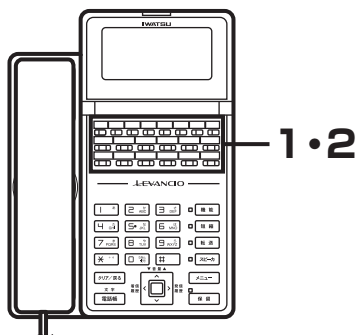


Note

- 転送先として外線の電話番号を登録後、電話機の市外発信クラスが外線発信禁止になった場合は、外線への不在転送はできません。

不在転送をオン／オフする

転送先が登録されている状態で、不在転送のオン（転送する）／オフ（転送しない）を切替えることができます。



Note

- 「不在転送」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

- 1 受話器を置いたまま「不在転送」ボタンを押します。
転送電話がオフになり、「不在転送」ボタンが消灯します。

6月 1日(土)16:35
11

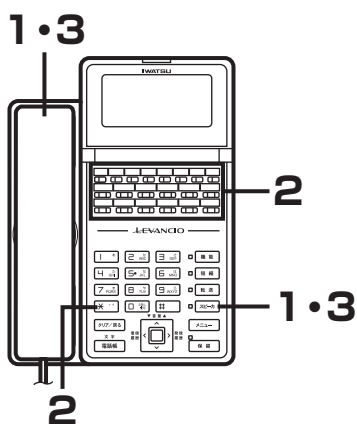
- 2 再び「不在転送」ボタンを押します。
転送電話がオンになり、「不在転送」ボタンが赤色で点灯または点滅します。

転送先を一括して取り消す

登録している転送先（転送ダイヤル）が消去されます。

Note

- この操作を行うと、登録しているルート番号1とルート番号2の転送先（転送ダイヤル）が消去されます。消去された後にこの機能を使用するには、再度、転送先の登録が必要となります。
- ルート番号3の登録を取り消すには、設定を変更する必要があります。



Note

- 「不在転送」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

- 1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。

内線
11

- 2 「不在転送」、「*」ボタンを押します。
取り消しが完了すると、「プッププッ」という確認音が聞こえ、「不在転送」ボタンが消灯します。

6月 1日(土)16:35
11

- 3 受話器を置くか「スピーカ」ボタンを押します。

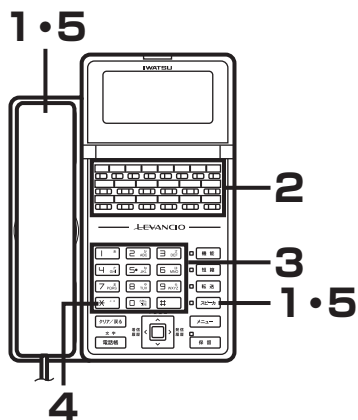
不在転送先を外線に転送する〈不在転送-ルート方式〉

転送先をルートごとに取り消す

登録している転送先（転送ダイヤル）が消去されます。

 **Note**

- この操作を行うと、登録している転送先（転送ダイヤル）が消去されます。消去された後にこの機能を使用するには、再度、転送先の登録が必要となります。


 **Note**

- 「不在転送」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。

内線 11

2 「不在転送」ボタンを押します。

「不在転送」ボタンが赤色で点滅します。
不在転送ルート選択画面が表示されます。

不在転送ルート [1/2]
[*]解除 [#]その他

3 ルート番号（1または2）を押します。

- ルート1 → 「1」ボタン
- ルート2 → 「2」ボタン

不在転送モード選択画面が表示されます。

不在転送モード [1, 2, 3]
[*]解除

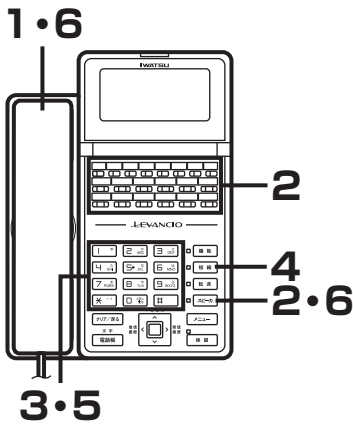
4 「*」ボタンを押します。

取り消しが完了すると、「プップッ」という確認音が聞こえます。
※ ルート1が取り消された場合、「不在転送」が消灯します。

6月 1日(土) 16:35
11

5 受話器を置くか「スピーカ」ボタンを押します。

不在転送先を外線に転送する〈不在転送-単一方式〉



Note

- ・「不在転送」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

転送先を登録する

- 1** 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。

内線
11

- 2** 「不在転送」ボタンを押します。
「不在転送」ボタンが赤色で点滅します。
不在転送モード選択画面が表示されます。

不在転送モード1 [1, 2, 3]
[*]解除 [#]その他

- 3** 転送モード（1～3）を入力します。
- 即時転送モード → 「1」ボタン
 - 話中・未応答転送モード → 「2」ボタン
 - 未応答転送モード → 「3」ボタン
- 転送先設定画面が表示されます。

即時転送先

- 4** 「短縮」ボタンを押します。

発信先 短縮：
11

- 5** 転送先の短縮番号を押します。
登録が完了すると、「ブツブツ」という確認音が聞こえ、「不在転送」ボタンが赤色で点灯または点滅します。
※ 転送先が登録できない場合は、「ツーツ、ツーツ、ツーツ」という警告音が聞こえます。

0004
11

Note

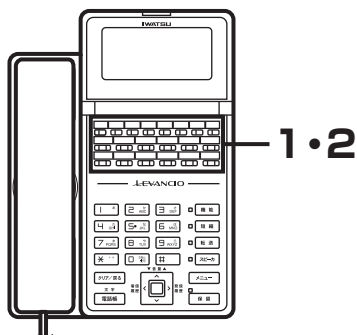
- ・転送先として外線の電話番号を登録後、電話機の市外発信クラスが外線発信禁止になった場合は、外線への不在転送はできません。

- 6** 受話器を置くか「スピーカ」ボタンを押します。

不在転送先を外線に転送する〈不在転送-単一方式〉

不在転送をオン／オフする

転送先が登録されている状態で、不在転送のオン（転送する）／オフ（転送しない）を切替えることができます。



- 1 受話器を置いたまま「不在転送」ボタンを押します。
転送電話がオフになり、「不在転送」ボタンが消灯します。

6月 1日(土)16:35
11

- 2 再び「不在転送」ボタンを押します。
転送電話がオンになり、「不在転送」ボタンが赤色で点灯または点滅します。

Note

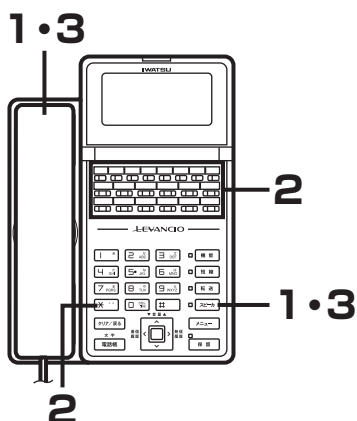
- 「不在転送」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

転送先を取り消す

登録している転送先（転送ダイヤル）が消去されます。

Note

- この操作を行うと、登録している転送先（転送ダイヤル）が消去されます。消去された後にこの機能を使用するには、再度、転送先の登録が必要となります。



- 1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。

内線
11

- 2 「不在転送」、「*」ボタンを押します。
取り消しが完了すると、「プップップ」 という確認音が聞こえ、「不在転送」ボタンが消灯します。

6月 1日(土)16:35
11

Note

- 「不在転送」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

- 3 受話器を置くか「スピーカ」ボタンを押します。

固定不在転送

あらかじめ登録している電話機に、着信を自動的に転送することができます。

Note

- 転送先の電話機はデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。
- 不在転送、話中／未応答転送、未応答転送の3種類の転送モードがあります。データ設定により、あらかじめ登録が必要です。
- 「不在転送」ボタンを使った登録を一時休止および解除した場合、固定不在転送で設定された転送先と転送モードに戻ります。

転送電話アナウンス

自動転送が行われているときは、転送先の相手に対して転送電話であることを通知するメッセージを流すことができます。

メッセージには、次の2種類があります。

● 固定メッセージ

システムにあらかじめ登録されているメッセージです。
「転送電話です。」

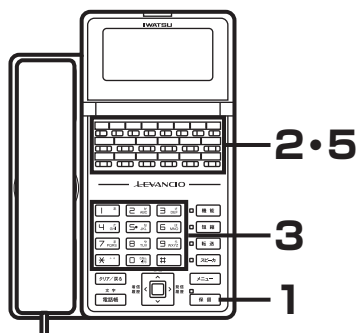
● 可変メッセージ

任意に録音したメッセージです。
可変メッセージの録音方法は、「音声案内」（8-43ページ）を参照してください。

Note

- 可変メッセージが優先して流れます。可変メッセージが録音されていない場合は、固定メッセージが流れます。

手動転送


 **Note**

- 「接続」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

外線への手動転送〈外線間会議 接続キー〉

局線との通話をいったん保留して、別の局線にて発信通話を行い、その局線と保留中の通話を接続することができます。

- 1 通話の状態ですべて「保留」ボタンを押します。
「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。

内線	11
----	----

- 2 空いている「外線」ボタンを押します。

局線#2	GP.1	11
------	------	----

- 3 呼び出す相手の電話番号をダイヤルします。

03XXXX1234	11
------------	----

- 4 相手が応答した際、電話を転送する旨を伝えます。

局線#2	GP.1	9円
0:05		

- 5 相手応答の状態ですべて「接続」ボタンを押します。
保留した外線と呼び出した相手が通話状態になります。

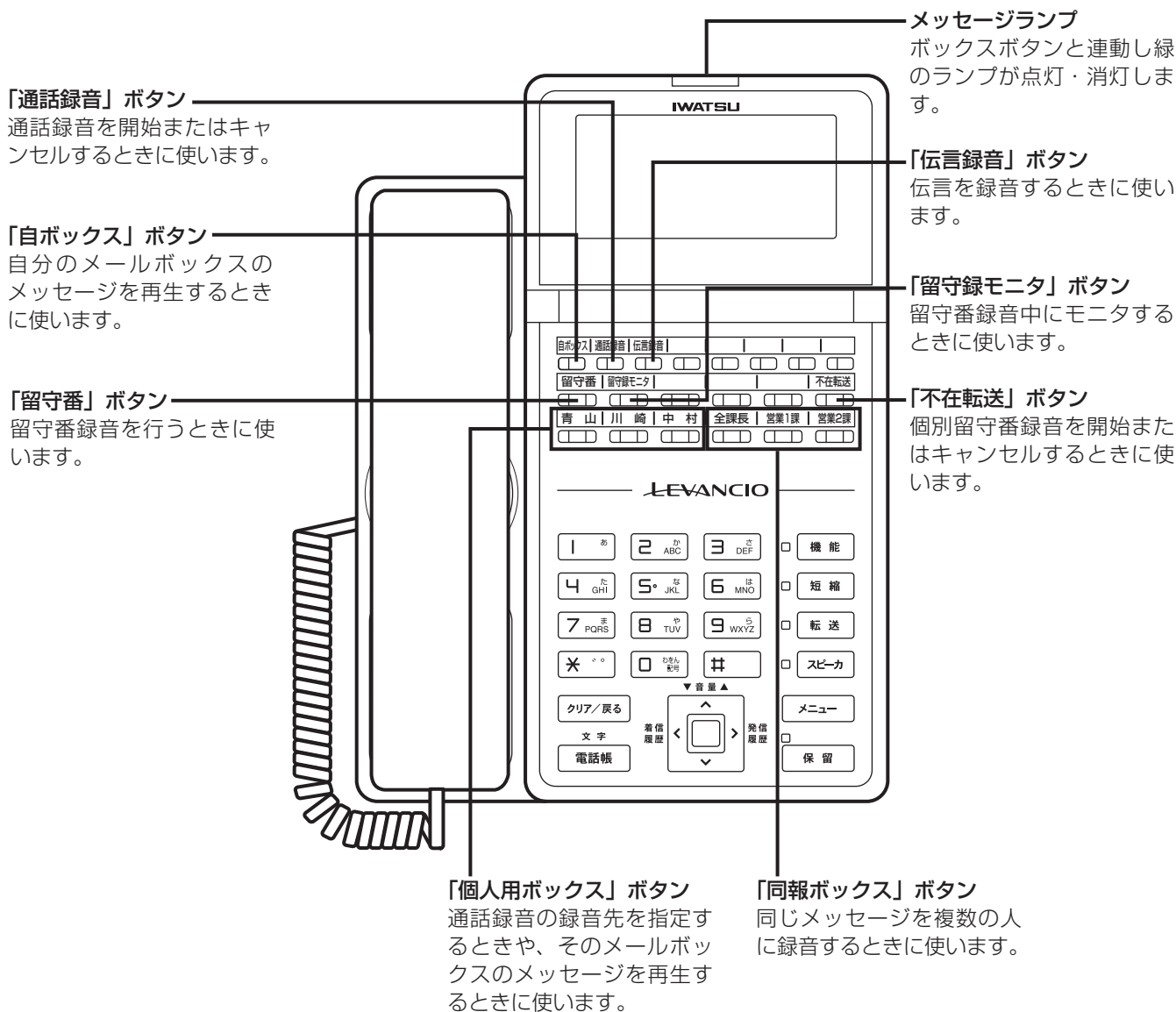
6月 1日(土)16:35	11
---------------	----

6. ボイスメール

機能編

多機能電話機における設定例

多機能電話機のフレキシブルボタンにボイスメール用のボタンを設定することにより、ボイスメールの機能を活用することができます。



Note

- ボイスメール用ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。
- メッセージランプのボックスボタンとの連動は、設定によります。詳しくはお買い求めの販売店にお問い合わせください。
- ボイスメール機能およびメッセージ機能は、コンパクトフラッシュを使用しています。コンパクトフラッシュには書き込み、消去回数による寿命があります。一般的な使用頻度では7年程度を想定しています。このため、ご使用頻度が多い場合には、早めの交換が必要になる場合があります。交換および、費用につきましては、お買い求めの販売店または、弊社販売担当にお尋ねください。なお、交換する際、コンパクトフラッシュカード内にあるお客様のデータは保存されません。

表示一覧

■フレキシブルボタンのランプ表示

ボタン	ランプ	状態
「自ボックス」ボタン	点灯（赤）	ボックスに聞いていない録音がある
	点滅（赤）	保存先ボックスに指定されている
	消灯	ボックスに聞いていない録音がない
「通話録音」ボタン	点滅（赤）	通話録音中
	消灯	通話録音停止中
「伝言録音」ボタン	点滅（赤）	伝言録音中
	消灯	伝言録音停止中
「個人用ボックス」ボタン	点灯（赤）	ボックスに聞いていない録音がある
	点滅（赤）	保存先ボックスに指定されている
	消灯	ボックスに聞いていない録音がない
「留守番」ボタン	点灯（赤）	留守番機能が開始している状態
	点滅（赤）	留守番機能がスケジュールで動作している状態
	消灯	留守番機能が解除された状態
「留守録モニタ」ボタン	点滅（赤）	留守録モニタ中、着信
	点滅（緑）	留守録モニタ中
	消灯	留守録モニタ停止中
「不在転送」ボタン 注1	点灯（赤）	即時転送モード
	点滅（赤）	話中・未応答転送モード
	点滅（赤）、消灯を繰り返す	未応答転送モード
	消灯	不在転送OFF

注1：データ設定で固定不在転送が登録されているときは点灯しません。

■ディスプレイ表示

状態	表示内容	備考
全使用中	ボイスメール接続回線ビジー	ボイスメールの全チャンネルが使用中になったとき、待機中の端末に表示されます。

 Note

注意

- 相手に無断で通話録音することは、プライバシーの侵害にあたる場合があります。通話録音機能は、通話している相手にお知らせしたうえで、ご使用ください。
- 録音された内容を第三者が無断で聞くことは、法に触れる可能性があるのでご注意ください。
- 本製品の故障、誤動作、不具合、または停電などの外部要因によって、通信（通話、録音、通話料金管理、FAX 通信、データ通信、その他のサービスの利用など）の機会を逸脱したために生じた損害、およびこの取扱説明書に記載された内容に従わなかったことに起因する損害、故障につきましては、当社は一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- 録音容量の空きがない等の場合、録音できないことがあります。
- 通話の音量が小さい場合など、各種録音が途中で終了することがあります。
- 外出先への呼び出し機能は、発信できる回線がない等で、呼び出せない場合があります。
- システムが自動メンテナンスをしている間は、再生に時間がかかることがあります。
- システムが輻輳状態である場合に正常に録音、再生ができないことがあります。

「メニュー」ボタン操作で留守番電話の設定をする

「メニュー」ボタンの留守番／メール設定メニューで、個別ボックス、グループボックス、同報ボックスの留守番動作に関する設定ができます。

各ボックスのボックス番号およびパスワードについては、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

留守録機能を動作させるためには、あらかじめ設定が必要です。

		設定項目名		参照ページ
個別ボックス	留守番設定	応答メッセージ選択	応答メッセージ1	6-6
			応答メッセージ2	
			応答メッセージ3	
			応答専用メッセージ1	
			応答専用メッセージ2	
		留守録モニタ動作		6-8
		留守録自動発報	呼出先ダイヤル	6-9
			動作モード	6-10
			発報時刻1	6-11
			発報時刻2	
	発報時刻3			
	発報時刻4			
	お知らせメール	お知らせメール	6-16	
		送信先Eメールアドレス選択	6-20	
		送信先Eメールアドレス登録	6-18	
メッセージ自動消去	消去除外ボックス	6-13		
	消去対象属性条件	6-14		
パスワード変更	再生パスワード	6-38		
	設定パスワード	6-40		
グループボックス	留守番設定	応答メッセージ選択	応答メッセージ1	6-6
			応答メッセージ2	
			応答メッセージ3	
			応答専用メッセージ1	
			応答専用メッセージ2	
		留守録モニタ動作		6-8
		留守録自動発報	呼出先ダイヤル	6-9
			動作モード	6-10
			発報時刻1	6-11
			発報時刻2	
	発報時刻3			
	発報時刻4			
	お知らせメール	お知らせメール	6-16	
		送信先Eメールアドレス選択	6-20	
		送信先Eメールアドレス登録	6-18	
メッセージ自動消去	消去除外ボックス	6-13		
	消去対象属性条件	6-14		
パスワード変更	再生パスワード	6-38		
	設定パスワード	6-40		

設定項目名			参照ページ
同報ボックス	所属ボックス設定	所属ボックス1	6-42
		所属ボックス2	
		所属ボックス3	
		⋮	
		所属ボックス14	
		所属ボックス15	
		所属ボックス16	

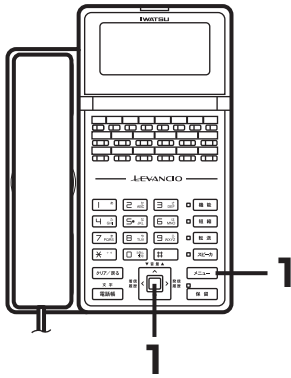
 **Note**

- お買い求め時の設定（初期値）は、以下になります。

ボックス	ボックス番号	再生パスワード（暗証番号）	設定パスワード（暗証番号）
個別ボックス	11～58	0011～0058	1111
グループボックス	59～70	0059～0070	1111

「メニュー」ボタン操作で留守番電話の設定をする

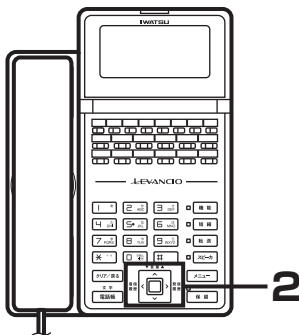
留守録応答メッセージを選択する



- 1** 受話器を置いた状態で「メニュー」ボタンまたは「決定」ボタンを押します。
メインメニュー画面が表示されます。

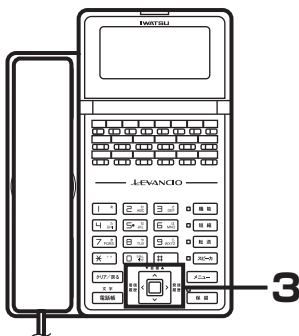
▶音量調整／画面調整
電話帳登録
ヘルプ表示
メニュー終了

▶不在転送設定
留守番／メール設定
鳴音種別設定
メニュー終了



- 2** 上下ボタンで“留守番／メール設定”を選択し、「決定」ボタンを押します。
留守番／メール設定画面が表示されます。

留守番／メール設定
▶個別ボックス
同報ボックス
グループボックス



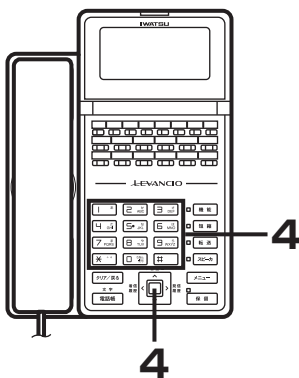
- 3** 上下ボタンでボックス種別を選択し、「決定」ボタンを押します。

ボックス番号入力画面が表示されます。

※ 個別留守番電話の場合は、“個別ボックス”を選択する。

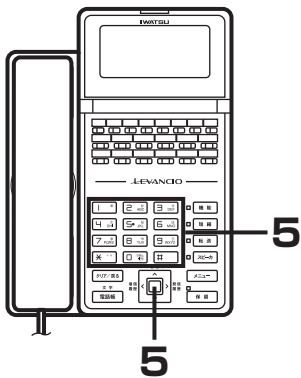
※ グループ留守番の場合は、“グループボックス”を選択する。

ボックス番号? ¹



- 4** ボックス番号を入力し、「決定」ボタンを押します。
パスワード入力画面が表示されます。

パスワード?

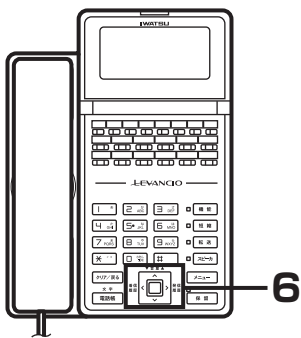


5 設定パスワード（暗証番号）を入力し、「決定」ボタンを押します。

〈例〉グループボックスを選択した場合

グループボックス設定画面が表示されます。

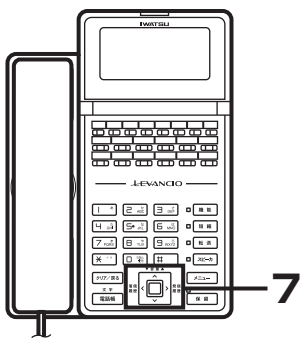
グループボックス設定
 ▶留守番設定
 メッセージ自動消去
 パスワード変更



6 上下ボタンで“留守番設定”を選択し、「決定」ボタンを押します。

留守番設定画面が表示されます。

留守番設定
 ▶応答メッセージ選択
 留守録モニタ動作
 メッセージ1

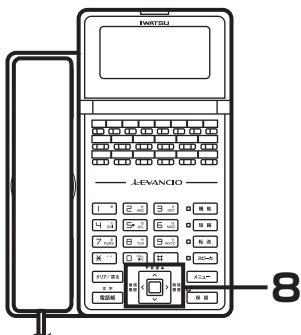


7 上下ボタンで“応答メッセージ選択”を選択し、「決定」ボタンを押します。

応答メッセージ選択画面が表示されます。

応答メッセージ選択
 ▶応答専用メッセージ1
 応答専用メッセージ2
 戻る

応答メッセージ選択
 ▶応答メッセージ1
 応答メッセージ2
 応答メッセージ3



8 上下ボタンで応答メッセージを選択し、「決定」ボタンを押します。

設定完了画面が表示され、3秒後に留守番設定画面に戻ります。

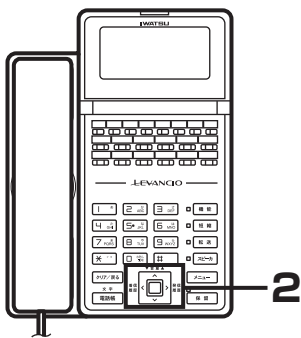
※設定できなかった場合は、設定不完了画面が表示され、3秒後に応答メッセージ選択画面に戻ります。

「メニュー」ボタン操作で留守番電話の設定をする

留守録モニタ開始方法を選択する

- 1** 「留守録応答メッセージを選択する」(6-6ページ)の手順(1)～(6)と同様に操作します。
留守番設定画面が表示されます。

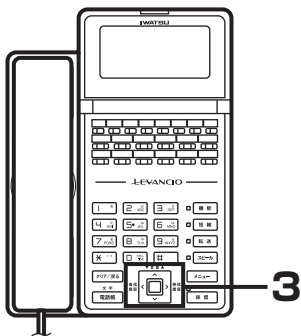
留守番設定
 ▶ 応答メッセージ選択
 留守録モニタ動作
 メッセージ1



- 2** 上下ボタンで“留守録モニタ動作”を選択し、「決定」ボタンを押します。
留守録モニタ動作設定画面が表示されます。

留守録モニタ動作設定
 ▶ 戻る

留守録モニタ動作設定
 ▶ 不可
 自動
 手動



- 3** 上下ボタンで留守録モニタ動作を選択し、「決定」ボタンを押します。

設定完了画面が表示され、3秒後に留守番設定画面に戻ります。

※ 設定できなかった場合は、設定不完了画面が表示され、3秒後に留守録モニタ動作設定画面に戻ります。

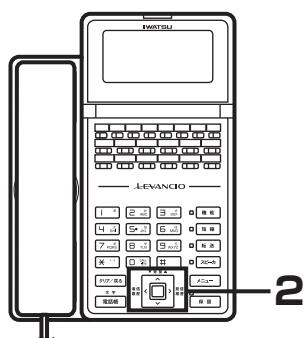
留守録自動発報先ダイヤルを設定する

1 「留守録応答メッセージを選択する」(6-6ページ)の手順(1)～(6)と同様の操作を行います。

留守番設定画面が表示されます。

留守番設定
▶留守録自動発報
お知らせメール

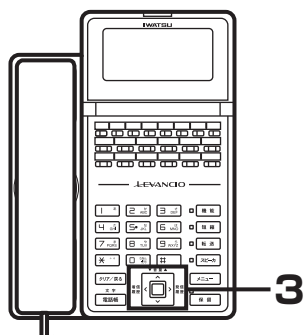
留守番設定
▶応答メッセージ選択
留守録モニタ動作
メッセージ1



2 上下ボタンで“留守録自動発報”を選択し、「決定」ボタンを押します。

留守録自動発報設定画面が表示されます。

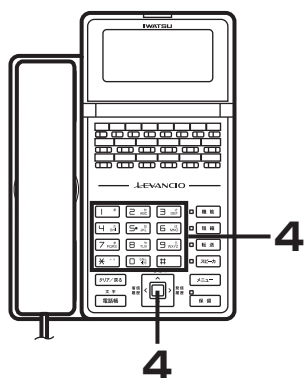
留守録自動発報設定
▶呼出先ダイヤル
動作モード
03XXXX1234



3 上下ボタンで“呼出先ダイヤル”を選択し、「決定」ボタンを押します。

呼出先ダイヤル設定画面が表示されます。

呼出先ダイヤル? ¹



4 呼出先の電話番号をダイヤルし、「決定」ボタンを押します。

- 内線を呼出先とする場合
→呼出先の内線番号を登録します。
- 外線を呼出先とする場合
→外線アクセス番号または外線グループアクセス番号と、呼出先の電話番号を登録します。
※外線アクセス番号または外線グループアクセス番号の後に、ポーズ時間の登録(「保留」ボタンを押した後、ポーズ時間(1～9秒)を押します)が必要な場合があります。

設定完了画面が表示され、3秒後に留守録自動発報設定画面に戻ります。

※設定できなかった場合は、設定不完了画面が表示され、3秒後に呼出先ダイヤル設定に戻ります。

Note

- 呼び出し先の電話番号をなしに設定することはできません。

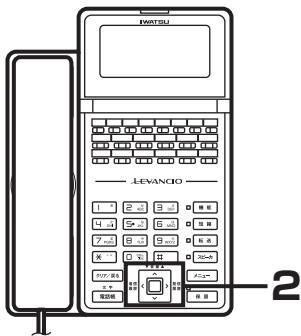
「メニュー」ボタン操作で留守番電話の設定をする

留守録自動発報タイミングを設定する

- 1** 「留守録応答メッセージを選択する」(6-6ページ)の手順(1)～(6)と同様の操作を行います。
留守番設定画面が表示されます。

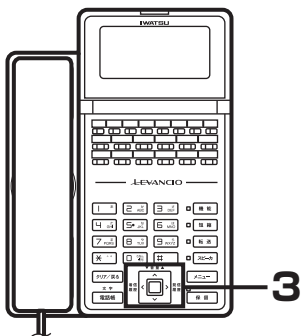
留守番設定
▶留守録自動発報
お知らせメール

留守番設定
▶応答メッセージ選択
留守録モニタ動作
メッセージ]



- 2** 上下ボタンで“留守録自動発報”を選択し、「決定」ボタンを押します。
留守録自動発報設定画面が表示されます。

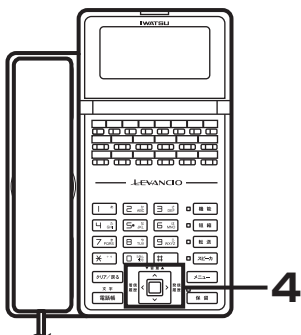
留守録自動発報設定
▶呼出先ダイヤル
動作モード



- 3** 上下ボタンで“動作モード”を選択し、「決定」ボタンを押します。
動作モード設定画面が表示されます。

動作モード設定
▶戻る

動作モード設定
▶発報しない
定刻
定刻&即時



- 4** 上下ボタンで動作モードを選択し、「決定」ボタンを押します。
設定完了画面が表示され、3秒後に留守録自動発報設定画面に戻ります。
※設定できなかった場合は、設定完了画面が表示され、3秒後に動作モード設定画面に戻ります。

発報時刻を設定する

1 「留守録応答メッセージを選択する」(6-6ページ)の手順(1)～(6)と同様の操作を行います。

留守番設定画面が表示されます。

留守番設定
▶留守録自動発報
お知らせメール

留守番設定
▶応答メッセージ選択
留守録モニタ動作
メッセージ1

2 上下ボタンで“留守録自動発報”を選択し、「決定」ボタンを押します。

留守録自動発報設定画面が表示されます。

留守録自動発報設定
▶発報時刻3
発報時刻4

留守録自動発報設定
▶発報時刻1
発報時刻2

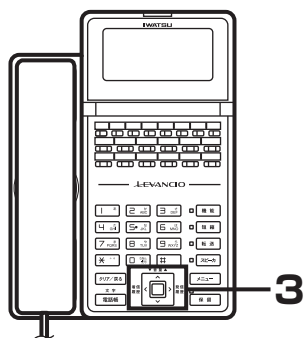
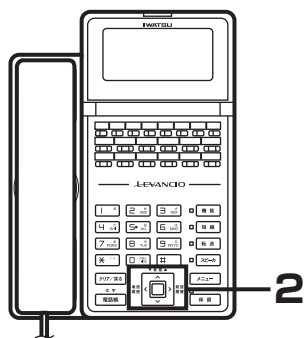
留守録自動発報設定
▶呼出先ダイヤル
動作モード

3 上下ボタンで“発報時刻1”～“発報時刻4”から設定する発報時刻を選択し、「決定」ボタンを押します。

発報時刻設定画面が表示されます。

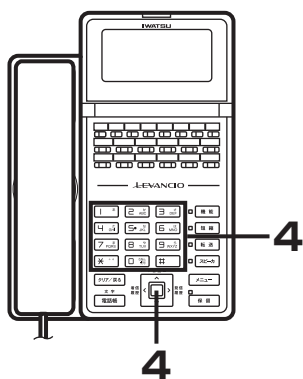
発報時刻

:



「メニュー」ボタン操作で留守番電話の設定をする

(前ページの続き)



4 24時間表記で発報時刻（数字4桁）を入力し、「決定」ボタンを押します。

〈例〉午後3時30分の場合は、「1」「5」「3」「0」ボタンを押します。

設定が完了した場合は、設定完了画面が表示され、3秒後に留守録自動発報設定画面に戻ります。

※設定できなかった場合は、設定不完了画面が表示され、3秒後に発報時刻設定画面に戻ります。

Note

- 発報時刻をなしに設定することはできません。

メッセージ自動消去動作を設定する

Note

- この機能を利用するには、ボックス種別の選択にて個別ボックスまたは留守番ボックスを指定する必要があります。

1 「留守録応答メッセージを選択する」(6-6ページ) の手順(1)～(5)と同様の操作を行います。

〈例〉グループボックスを選択した場合
グループボックス設定画面が表示されます。

グループボックス設定
▶戻る

グループボックス設定
▶留守番設定
▶メッセージ自動消去
▶パスワード変更

2 上下ボタンで“メッセージ自動消去”を選択し、「決定」ボタンを押します。

メッセージ自動消去設定画面が表示されます。

メッセージ自動消去
▶消去対象属性条件
戻る
既読メール

メッセージ自動消去
▶消去除外ボックス
戻る
除外しない

3 上下ボタンで“消去除外ボックス”を選択し、「決定」ボタンを押します。

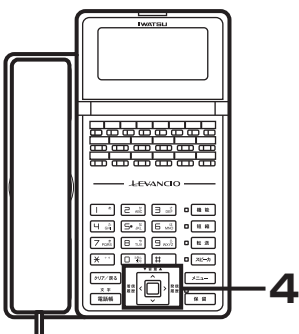
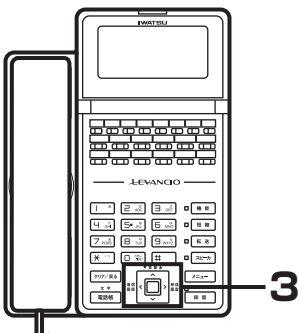
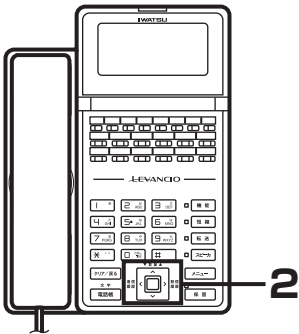
消去除外ボックス設定画面が表示されます。

消去除外ボックス設定
▶除外ボックスとする
▶除外ボックスとしない
戻る

4 上下ボタンで“除外ボックスとする”または“除外ボックスとしない”を選択し、「決定」ボタンを押します。

設定完了画面が表示され、3秒後にメッセージ自動消去設定画面に戻ります。

※設定できなかった場合は、設定不完了画面が表示され、3秒後に消去除外ボックス設定画面に戻ります。



「メニュー」ボタン操作で留守番電話の設定をする

自動消去対象条件を設定する

Note

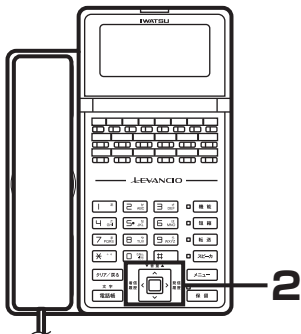
- この機能を利用するには、ボックス種別の選択にて個別ボックスまたは留守番グループボックスを指定する必要があります。

1 「留守録応答メッセージを選択する」(6-6ページ)の手順(1)～(5)と同様の操作を行います。

〈例〉グループボックスを選択した場合
グループボックス設定画面が表示されます。

グループボックス設定
▶戻る

グループボックス設定
▶留守番設定
メッセージ自動消去
パスワード変更

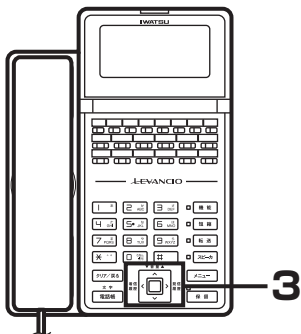


2 上下ボタンで“メッセージ自動消去”を選択し、「決定」ボタンを押します。

メッセージ自動消去設定画面が表示されます。

メッセージ自動消去
▶消去対象属性条件
戻る
既読メール

メッセージ自動消去
▶消去除外ボックス
戻る
除外しない

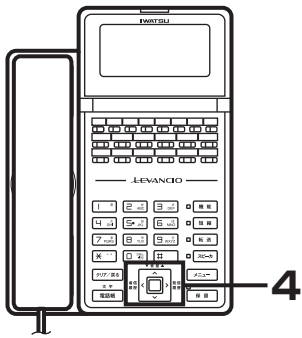


3 上下ボタンで“消去対象属性条件”を選択し、「決定」ボタンを押します。

消去対象属性条件設定画面が表示されます。

消去対象属性条件
▶全メール
戻る

消去対象属性条件
▶既読メール
保護以外
未読メール以外



4 上下ボタンで消去対象の属性条件を選択し、「決定」ボタンを押します。

設定完了画面が表示され、3秒後にメッセージ自動消去設定画面に戻ります。

※ 設定できなかった場合は、設定不完了画面が表示され、3秒後に消去対象属性条件設定画面に戻ります。

登録しました
保護以外

「メニュー」ボタン操作で留守番電話の設定をする

録音お知らせメールの動作モードを設定する

Note

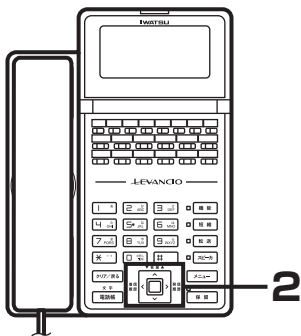
- この機能を利用するには、ボックス種別の選択にて個別ボックスまたは留守番グループボックスを指定する必要があります。

- 1 「留守録応答メッセージを選択する」(6-6ページ)の手順(1)～(6)と同様の操作を行います。
留守録設定画面が表示されます。

留守番設定
▶戻る

留守番設定
▶留守録自動発報
お知らせメール

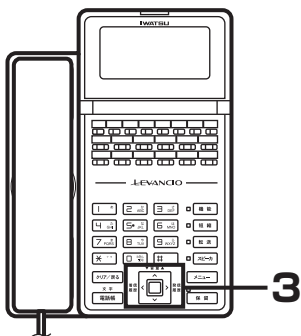
留守番設定
▶応答メッセージ選択
留守録モニタ動作
メッセージ1



- 2 上下ボタンで“お知らせメール”を選択し、「決定」ボタンを押します。
お知らせメール設定画面が表示されます。

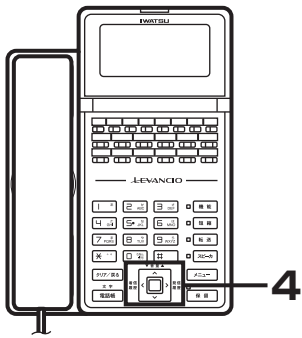
お知らせメール設定
▶送信先Eメールアドレス登録
戻る
登録なし

お知らせメール設定
▶お知らせメール
送信先Eメールアドレス選択
する



- 3 上下ボタンで“お知らせメール”を選択し、「決定」ボタンを押します。
お知らせメール画面が表示されます。

お知らせメール
▶する
しない



- 4** 上下ボタンで“する”を選択し、「決定」ボタンを押します。
動作モードが確定し、お知らせメール設定画面に戻ります。
※“しない”を選択した場合は、変更した設定がキャンセルされ、お知らせメール設定画面に戻ります。

お知らせメール
登録しました

「メニュー」ボタン操作で留守番電話の設定をする

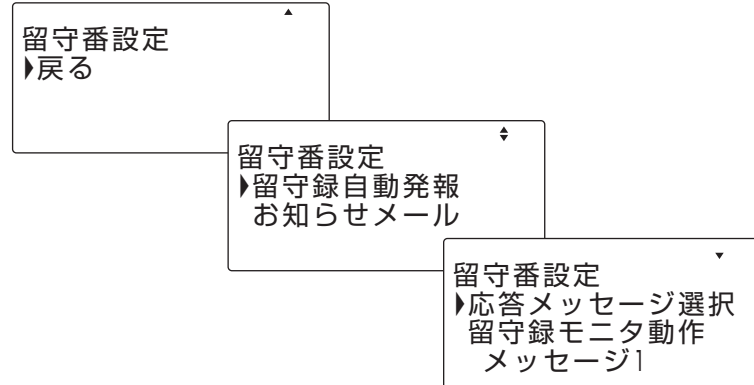
録音お知らせメールの宛先Eメールアドレスを設定する

Note

- この機能を利用するには、ボックス種別の選択にて個別ボックスまたは留守番グループボックスを指定する必要があります。
- 録音お知らせメールを送信するには、「録音お知らせメール送信先を選択する」(6-20ページ)により、「送信する」に設定する必要があります。

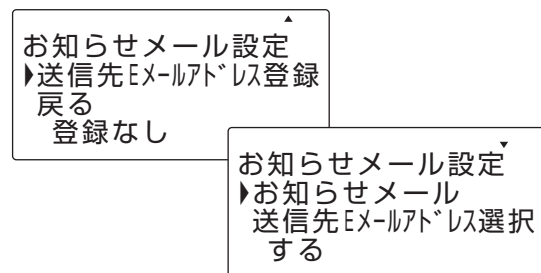
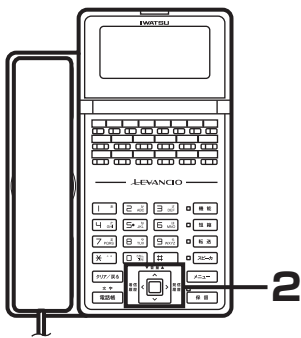
1 「留守録応答メッセージを選択する」(6-6ページ)の手順(1)～(6)と同様の操作を行います。

留守録設定画面が表示されます。



2 上下ボタンで“お知らせメール”を選択し、「決定」ボタンを押します。

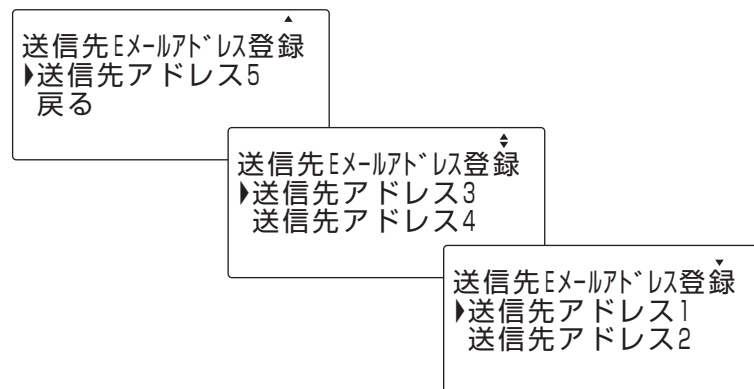
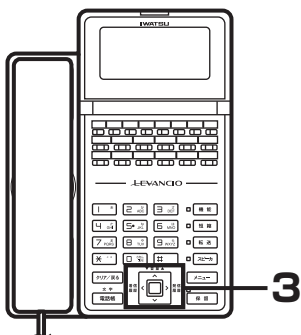
お知らせメール設定画面が表示されます。

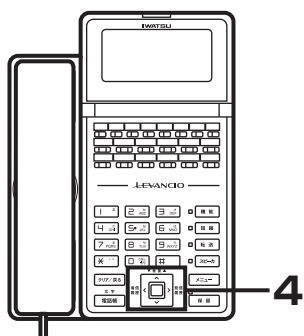


3 上下ボタンで“送信先Eメールアドレス登録”を選択し、「決定」ボタンを押します。

送信先Eメールアドレス登録画面が表示されます。

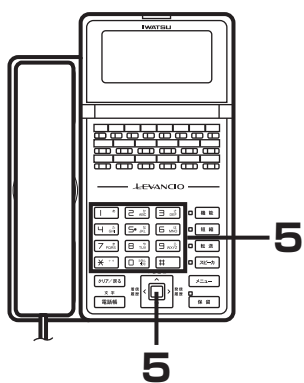
メール登録選択画面が表示されます。





4 上下ボタンで1~5のいずれかを選択し、「決定」ボタンを押します。

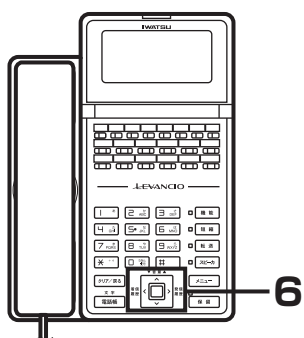
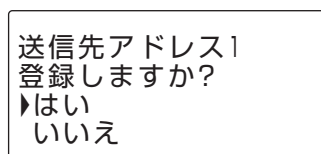
文字入力画面が表示されます。



5 宛先メールアドレスを文字入力し、「決定」ボタンを押します。

※ 半角英数字を最大64文字入力できます。

※ 入力方法については、「文字の入力方法」(3-30ページ)を参照してください。



6 上下ボタンで“はい”を選択し、「決定」ボタンを押します。

宛先メールアドレスが確定し、送信先メールアドレス登録画面に戻ります。

※ “いいえ”を選択した場合は、変更した設定がキャンセルされ、送信先メールアドレス登録画面に戻ります。

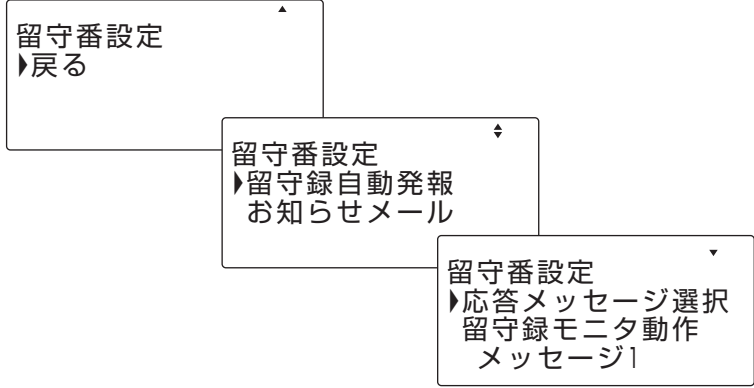
「メニュー」ボタン操作で留守番電話の設定をする

録音お知らせメール送信先を選択する

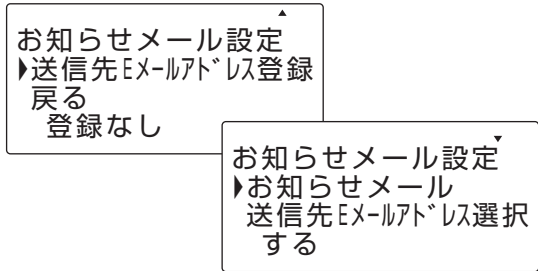
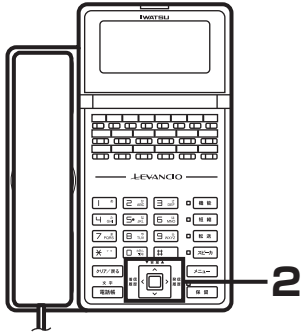
Note

- この機能を利用するには、ボックス種別の選択にて個別ボックスまたは留守番ボックスを指定する必要があります。

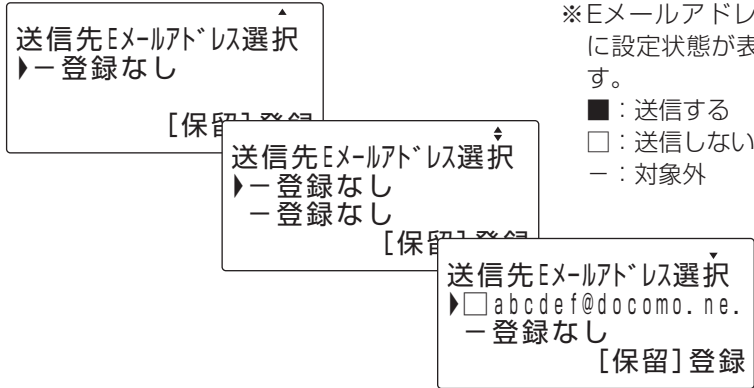
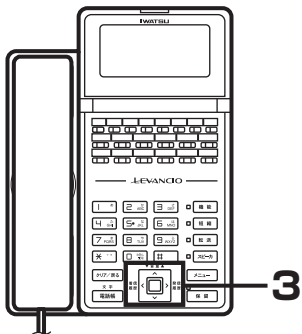
1 「留守録応答メッセージを選択する」(6-6ページ)の手順手順(1)～(6)と同様の操作を行います。留守録設定画面が表示されます。



2 上下ボタンで“お知らせメール”を選択し、「決定」ボタンを押します。お知らせメール設定画面が表示されます。

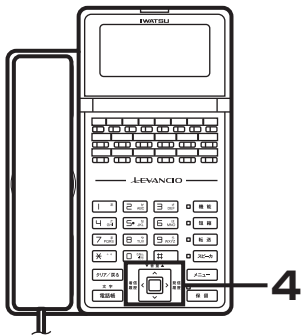


3 上下ボタンで“送信先Eメールアドレス選択”を選択し、「決定」ボタンを押します。宛先Eメールアドレス選択画面が表示されます。



※Eメールアドレスの左横に設定状態が表示されます。

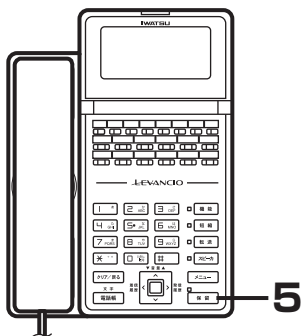
- : 送信する
- : 送信しない
- : 対象外



4 上下ボタンでEメールアドレスを選択し、「決定」ボタンを押します。

※「決定」ボタンを押すごとに、送信する／しないが切り替わります。
 ※Eメールアドレスごとに送信する／しないを設定できます。

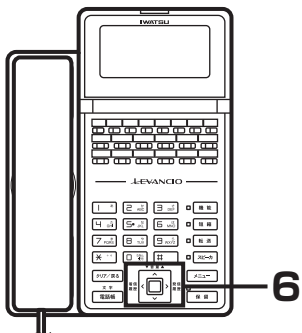
送信先Eメールアドレス選択
 ▶■ abcdef@docomo.ne.
 - 登録なし
 [保留] 登録



5 「保留」ボタンを押します。

登録確認画面が表示されます。

送信先Eメールアドレス選択
 登録しますか?
 ▶はい
 いいえ



6 上下ボタンで“はい”を選択し、「決定」ボタンを押します。

送信先Eメールアドレスが確定し、お知らせメール設定画面に戻ります。

※“いいえ”を選択した場合は、変更した設定がキャンセルされ、お知らせメール設定画面に戻ります。

「メニュー」ボタン操作で留守番電話の設定をする

留守番スケジュールのスケジュールを登録する

Note

- この機能を利用するには、ボックス種別の選択にて留守番グループボックスを指定する必要があります。
- 手動で留守番機能が開始された場合、グループ留守番スケジュールは無効になります。

会社や店舗の業務スケジュールにあわせて、曜日ごとに留守番機能を自動で開始／停止できます。

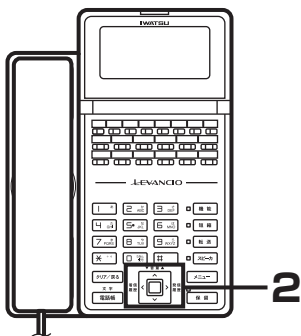
グループごとに留守番機能を設定するため、部署単位で異なるスケジュールを設定することもできます。

グループ留守番スケジュールの設定は、メニューオペレーションの留守番／メール設定メニューで行います。

1 受話器を置いた状態で「メニュー」ボタンを押します。
メインメニュー画面が表示されます。

▼
不在転送設定
留守番／メール設定
鳴音種別設定
メニュー終了

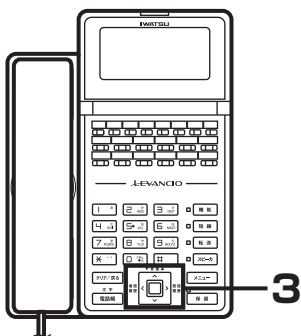
▲
音量調整／画面調整
電話帳登録
ヘルプ表示
メニュー終了



2 上下ボタンで“留守番／メール設定”を選択し、「決定」ボタンを押します。
留守番／メール設定画面が表示されます。

▲
留守番／メール設定
留守番スケジュール
メール基本情報
戻る

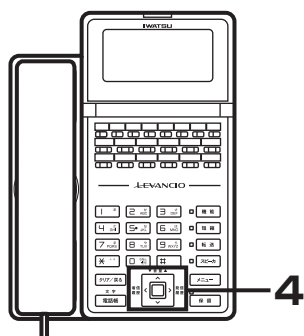
▼
留守番／メール設定
個別ボックス
同報ボックス
グループボックス



3 上下ボタンで“留守番スケジュール”を選択し、「決定」ボタンを押します。
留守番スケジュール画面が表示されます。

▲
留守番スケジュール
戻る

▼
留守番スケジュール
スケジュール登録
スケジュール特定日設定
スケジュール即時適用



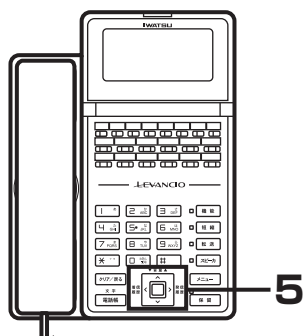
4 上下ボタンで“スケジュール登録”を選択し、「決定」ボタンを押します。

留守番スケジュール
▶戻る

留守番スケジュール
▶留守番10
留守番11
留守番12

留守番スケジュール
▶留守番4
留守番5
留守番6

留守番スケジュール
▶留守番1
留守番2
留守番3



5 上下ボタンで留守番グループを選択し、「決定」ボタンを押します。

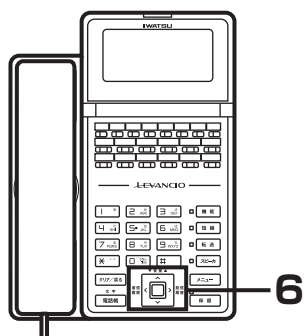
スケジュール・留守番画面が表示されます。

スケジュール-留守番1
▶留守番1以外へ北へ
戻る

スケジュール-留守番1
▶日曜日
特定日1
特定日2

スケジュール-留守番1
▶木曜日
金曜日
土曜日

スケジュール-留守番1
▶月曜日
火曜日
水曜日



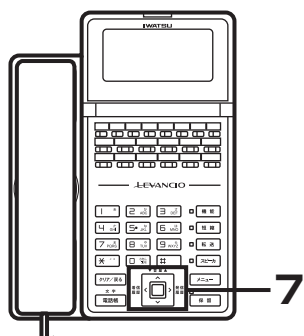
6 上下ボタンで曜日または特定日を選択し、「決定」ボタンを押します。

留守番・曜日画面が表示されます。

留守番1-月曜日
▶月曜日以外へ北へ
戻る

留守番1-月曜日
▶タイマ3 登録なし
タイマ4 登録なし
M1: 応答

留守番1-月曜日
▶タイマ1 登録なし
タイマ2 登録なし
M1: 応答メッセージ1



7 上下ボタンでタイマ（1～4）を選択し、「決定」ボタンを押します。

留守番1-月-タイマ1
▶編集
消去
戻る

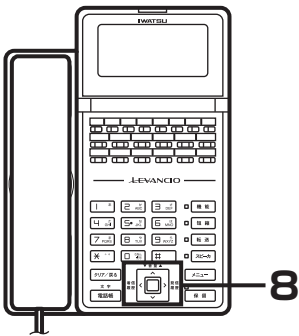
Note

- タイマ設定の消去方法については、「タイマの設定を消去する」(6-26ページ)を参照してください。

(次ページへ続く)

「メニュー」ボタン操作で留守番電話の設定をする

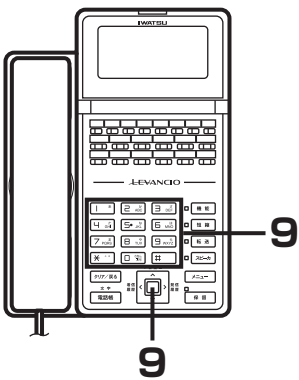
(前ページの続き)



8 上下ボタンで“編集”を選択し、「決定」ボタンを押します。

留1-月-タイマ1-時間/24H
00:00~24:00
タイマ4 登録なし

留1-月-タイマ1-時間/24H
00:00~24:00
タイマ2 00:00~09:0 M3
タイマ3 00:00~09:0 M2

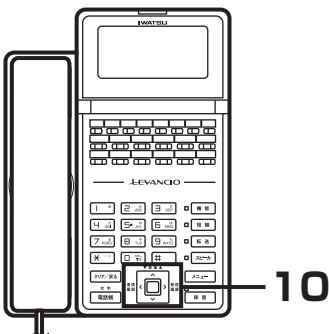


9 24時間表記で開始時間と停止時間（数字4桁）を入力し、「決定」ボタンを押します。

〈例〉午後3時30分から午後6時00分の場合は、「1」「5」「3」「0」「1」「8」「0」「0」を押します。

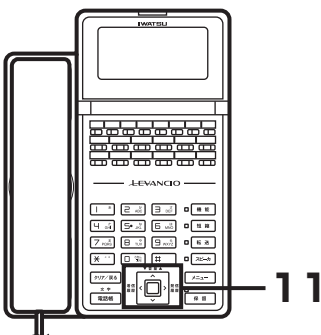
留1-月-タイマ1-メッセージ
▶M4: 応答専用メッセージ1
M5: 応答専用メッセージ2
戻る

留1-月-タイマ1-メッセージ
▶M1: 応答メッセージ1
M2: 応答メッセージ2
M3: 応答メッセージ3



10 上下ボタンで応答メッセージ（M1～M5）を選択し、「決定」ボタンを押します。

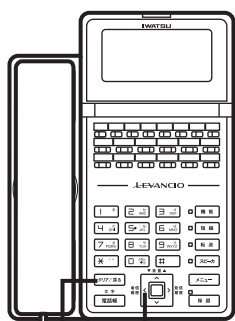
留守番1-月-タイマ1
登録しますか?
▶はい
いいえ



11 上下ボタンで“はい”を選択し、「決定」ボタンを押します。
タイマの登録が完了します。

留守番1-月曜日
▶タイマ1 15:30-18:00 M4
タイマ2 登録なし
M1: 応答メッセージ1

12 手順(7)～(11)を繰り返し、残りのタイマを設定します。

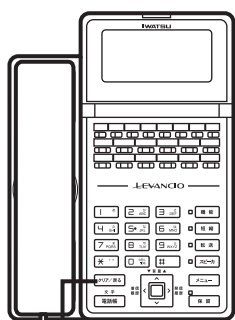


13 13

13 左ボタンまたは「戻る」ボタンを押します。

スケジュール・留守番画面に戻ります。

スケジュール留守番1
 ▶月曜日
 火曜日
 水曜日



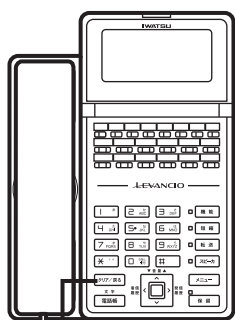
15

14 手順(6)～(13)を繰り返し、その他の曜日、特定日を設定します。

※曜日、特定日1、特定日2の設定をコピーすることができます(6-27ページ)。

15 「戻る」ボタンを押します。

留守番スケジュール
 ▶留守番1
 留守番2
 留守番3



17

16 手順(5)～(15)を繰り返し、その他の留守番グループを設定します。

※留守番グループの設定をコピーすることができます(6-29ページ)

17 「戻る」ボタンを押します。

留守番スケジュール
 ▶スケジュール登録
 スケジュール特定日設定
 スケジュール即時適用

※留守番スケジュールを即時適用する場合は、「留守番スケジュールのスケジュール即時適用範囲を指定する」(6-37ページ)の手順(2)～(3)と同様に操作してください。

「メニュー」ボタン操作で留守番電話の設定をする

● タイマの設定を消去する

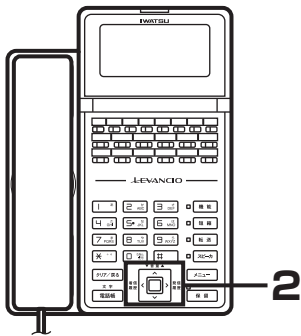
1 「留守番スケジュールのスケジュールを登録する」(6-22 ページ) の手順 (1) ~ (6) と同様の操作を行います。

留守番・曜日画面が表示されます。

留守番1-月曜日
▶月曜日以外へ北へ
戻る

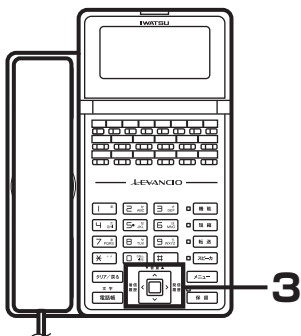
留守番1-月曜日
▶タイマ3 登録なし
タイマ4 登録なし

留守番1-月曜日
▶タイマ1 01:01-01:02 M1
タイマ2 登録なし
M1: 応答メッセージ1



2 上下ボタンで消去するタイマ (1~4) を選択し、「決定」ボタンを押します。

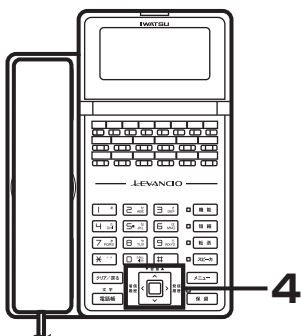
留守番1-月-タイマ1
▶編集
消去
戻る



3 上下ボタンで“消去”を選択し、「決定」ボタンを押します。

消去確認画面が表示されます。

留守番1-月-タイマ1
消去しますか?
▶はい
いいえ



4 上下ボタンで“はい”を選択し、「決定」ボタンを押します。

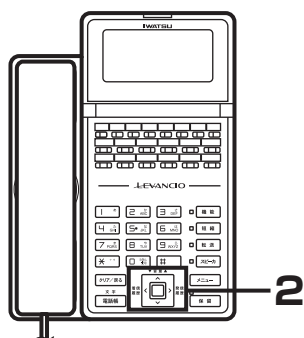
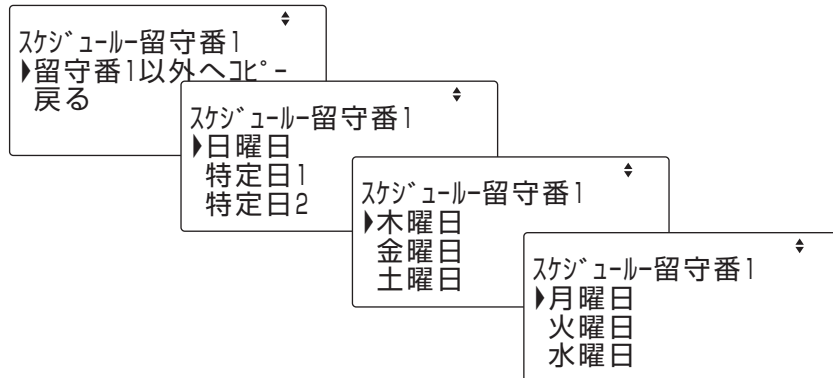
タイマの設定が消去され、設定完了画面が表示され、3秒後に留守番・曜日画面に戻ります。

留守番1-月-タイマ1
消去しました

● 曜日・特定日の設定をコピーする

1 「留守番スケジュールのスケジュールを登録する」(6-22 ページ) の手順 (1) ~ (5) と同様の操作を行います。

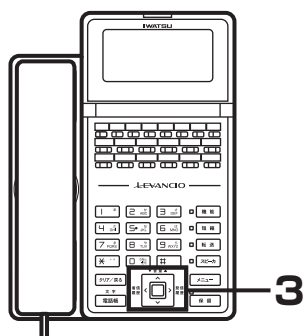
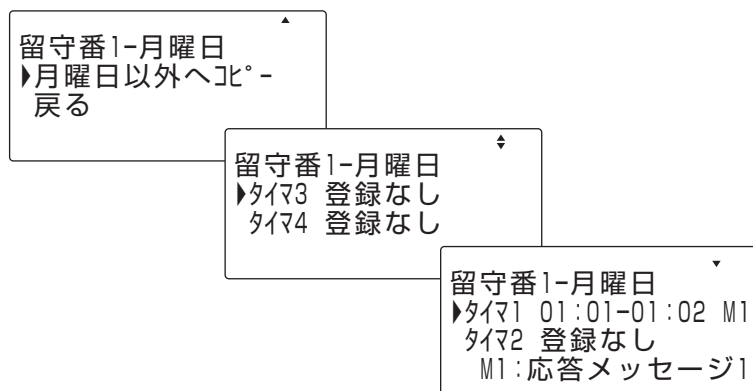
スケジュール・留守番画面が表示されます。



2 上下ボタンでコピー元とする曜日または特定日を選択し、「決定」ボタンを押します。

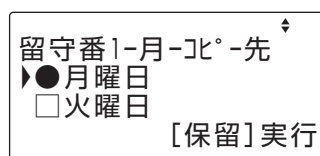
留守番・曜日画面が表示されます。

〈例〉留守番1の月曜日の設定をコピーする場合



3 上下ボタンで“月曜以外へコピー”を選択し、「決定」ボタンを押します。

留守番-曜日-コピー画面が表示されます。



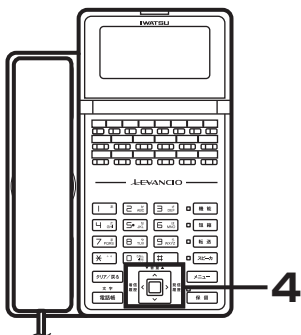
※ 曜日や特定日の左横に設定状態が表示されます。

- : コピーする
- : コピーしない
- : コピー元

(次ページへ続く)

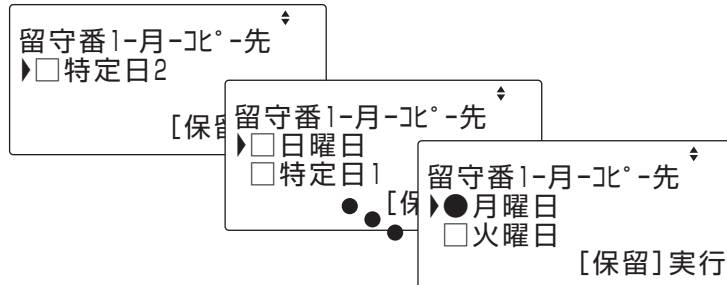
「メニュー」ボタン操作で留守番電話の設定をする

(前ページの続き)



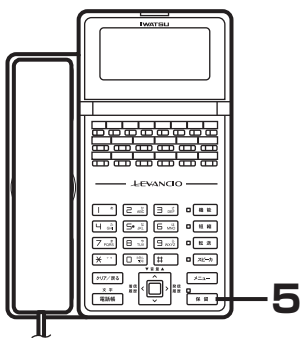
4 コピー先の曜日または特定日を選択し、「決定」ボタンを押します。

※「決定」ボタンを押すごとに、コピーする／しないが切り替わります。
 ※曜日、特定日ごとにコピーする／しないを設定できます。



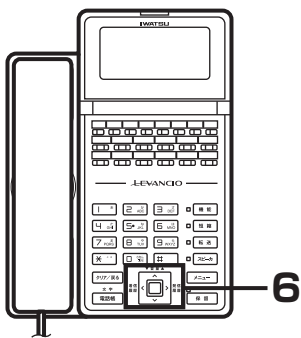
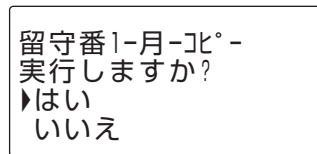
※ 曜日や特定日の左横に設定状態が表示されます。

- ：コピーする
- ：コピーしない
- ：コピー元



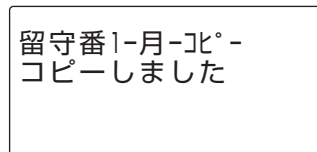
5 「保留」ボタンを押します。

実行確認画面が表示されます。



6 上下ボタンで“はい”を選択し、「決定」ボタンを押します。

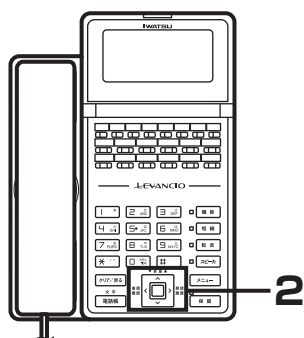
コピーが完了し、スケジュール・留守番画面に戻ります。
 ※“いいえ”とした場合は、コピーがキャンセルされ、留守番スケジュールに戻ります。



●留守番グループの設定をコピーする

1 「留守番スケジュールのスケジュールを登録する」(6-22 ページ) の手順 (1) ~ (4) と同様の操作を行います。

留守番スケジュール
 ▶留守番1
 留守番2
 留守番3



2 上下ボタンでコピー元とする留守番グループを選択し、「決定」ボタンを押します。

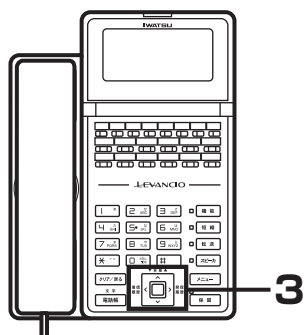
スケジュール・留守番画面が表示されます。

スケジュール-留守番1
 ▶留守番1以外へコピー
 戻る

スケジュール-留守番1
 ▶日曜日
 特定日1
 特定日2

スケジュール-留守番1
 ▶木曜日
 金曜日
 土曜日

スケジュール-留守番1
 ▶月曜日
 火曜日
 水曜日



3 上下ボタンで“留守番1以外へコピー”を選択し、「決定」ボタンを押します。

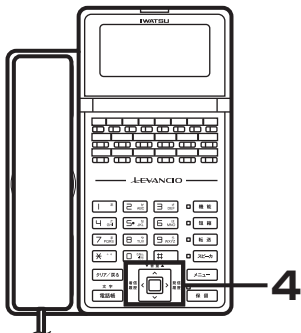
留守番-曜日-コピー画面が表示されます。

〈例〉留守番1の設定をコピーする場合

留守番1-月-北°-先
 ▶●留守番1
 □留守番2
 [保留]実行

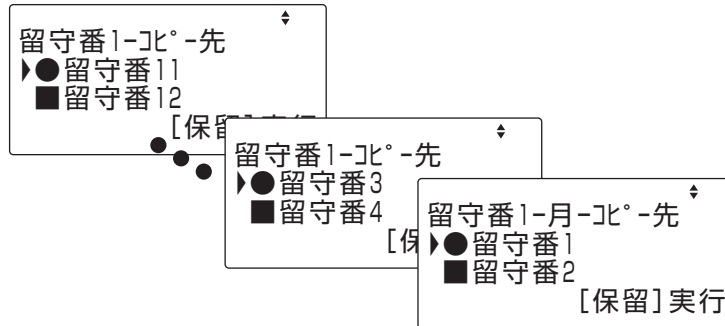
「メニュー」ボタン操作で留守番電話の設定をする

(前ページの続き)



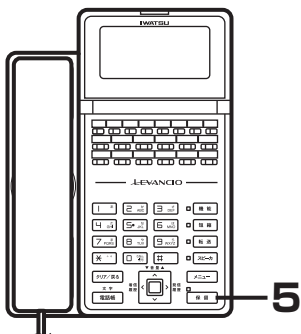
4 コピー先の留守番グループを選択し、「決定」ボタンを押します。

※「決定」ボタンを押すごとに、コピーする／しないが切り替わります。
 ※留守番グループごとにコピーする／しないを設定できます。



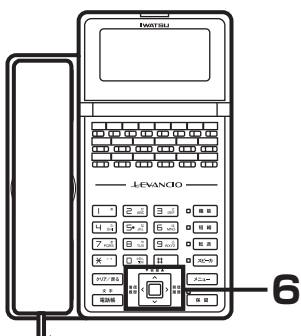
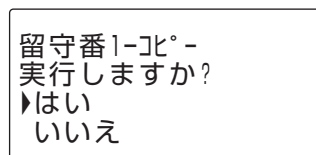
※ 曜日や特定日の左横に設定状態が表示されます。

- ：コピーする
- ：コピーしない
- ：コピー元



5 「保留」ボタンを押します。

実行確認画面が表示されます。



6 上下ボタンで「はい」を選択し、「決定」ボタンを押します。

コピーが完了し、留守番スケジュール画面に戻ります。

※「いいえ」とした場合は、コピーがキャンセルされ、留守番スケジュールに戻ります。

留守番スケジュールのスケジュール特定日を設定する

祝日などの特別な日（特定日）には、曜日とは別の留守番スケジュールを設定することができます。特定日の留守番スケジュールを設定するには、あらかじめ特定日を特定日に登録しておく必要があります。

特定日はその目的に合わせて、2種類（特定日1または特定日2）を設定することができます。

特定日の登録内容は、全グループ共通で使用します。

特定日を登録・変更する



Note

- 特定日は、特定日1、特定日2それぞれに最大50日登録できます。

- 1 「留守番スケジュールのスケジュールを登録する」（6-22ページ）の手順（1）～（3）と同様の操作を行います。留守番スケジュール画面が表示されます。

留守番スケジュール
▶戻る

留守番スケジュール
▶スケジュール登録
スケジュール特定日設定
スケジュール即時適用

- 2 上下ボタンで“スケジュール特定日設定”を選択し、「決定」ボタンを押します。

スケジュール特定日設定画面が表示されます。

スケジュール特定日設定
▶特定日1
特定日2
戻る

- 3 上下ボタンで“特定日1”または“特定日2”を選択し、「決定」ボタンを押します。

特定日画面が表示されます。

- 1件も登録されていない場合

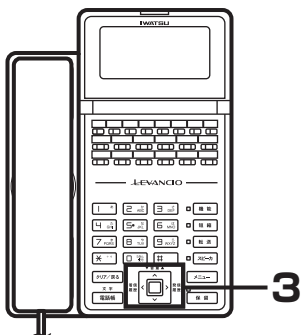
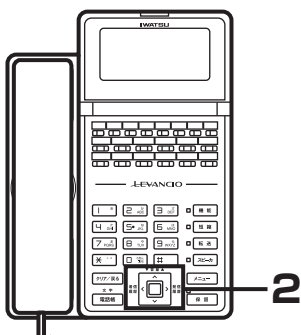
特定日1
登録なし
[保留]新規登録

※ 手順（4-1）へ

- 登録されている場合

特定日1
▶01月01日
[保留]新規登録

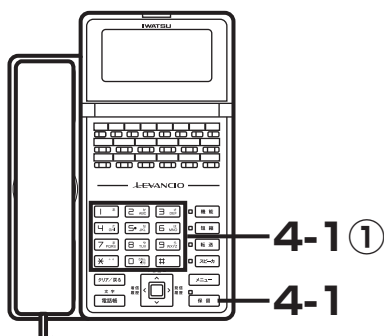
※ 手順（4-2）へ



（次ページへ続く）

「メニュー」ボタン操作で留守番電話の設定をする

(前ページの続き)



4-1

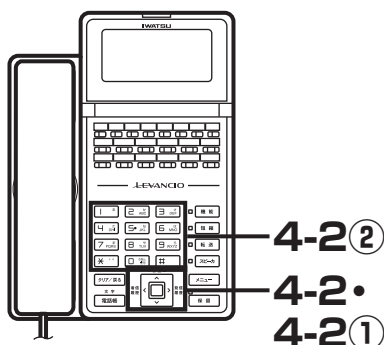
新規登録する場合は、「保留」ボタンを押します。
特定日入力画面が表示されます。

特定日1-登録	1	
	月	日

- ① 特定日（数字4桁）を入力し、「決定」ボタンを押します。
特定日が登録され特定日画面に戻ります。
〈例〉1月1日を新規登録する場合は、「0」「1」「0」「1」ボタンを押します。

特定日1
▶01月01日
[保留]新規登録

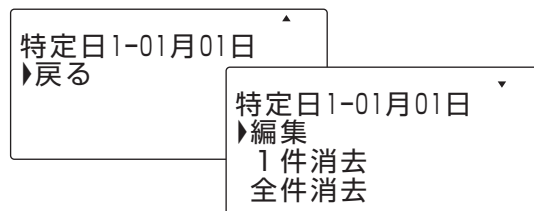
- ② 続けて他の特定日を登録する場合は、手順（4-1）を繰り返します。



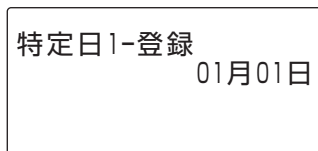
4-2

編集する場合は、上下ボタンで編集する特定日を選択し、「決定」ボタンを押します。

特定日画面が表示されます。

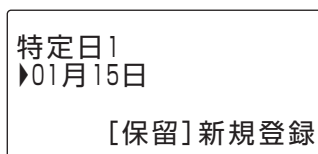


- ① 上下ボタンで“編集”を選択し、「決定」ボタンを押します。
特定日画面が表示されます。

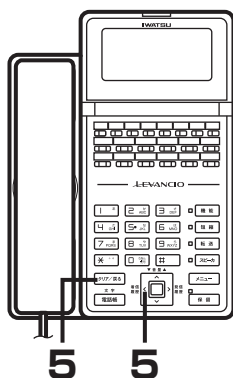


- ② 特定日（数字4桁）を入力し、「決定」ボタンを押します。
特定日が変更され特定日画面に戻ります。

〈例〉1月15日に変更する場合は、「0」「1」「1」「5」ボタンを押します。



- ③ 続けて他の特定日を編集する場合は、手順（4-2）を繰り返します。



- ⑤ 左ボタンまたは「戻る」ボタンを押します。
スケジュール特定日設定画面に戻ります。

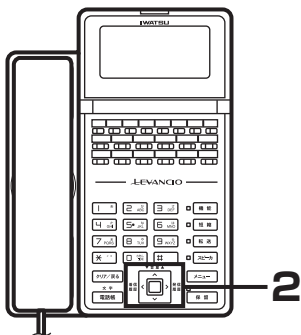
「メニュー」ボタン操作で留守番電話の設定をする

特定日を削除する-1件消去、全件消去

- 1** 「留守番スケジュールのスケジュールを登録する」(6-22ページ)の手順(1)～(3)と同様の操作を行います。
留守番スケジュール画面が表示されます。

留守番スケジュール
▶戻る

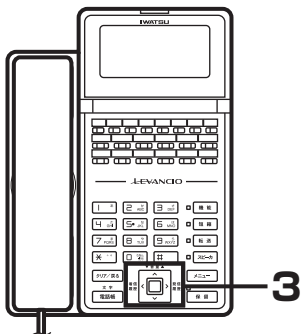
留守番スケジュール
▶スケジュール登録
スケジュール特定日設定
スケジュール即時適用



- 2** 上下ボタンで“スケジュール特定日設定”を選択し、「決定」ボタンを押します。

スケジュール特定日設定画面が表示されます。

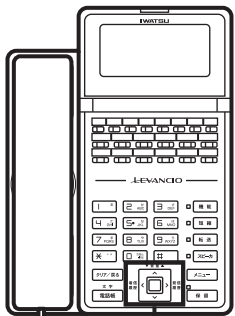
スケジュール特定日設定
▶特定日1
特定日2
戻る



- 3** 上下ボタンで“特定日1”または“特定日2”を選択し、「決定」ボタンを押します。

特定日画面が表示されます。

特定日1
▶01月01日
04月02日
[保留]新規登録



4-1・4-1①・
4-1②

4-1

1件消去する場合は、上下ボタンで削除する特定日を選択し、「決定」ボタンを押します。

特定日1-04月02日
▶戻る

特定日1-04月02日
▶編集
1件消去
全件消去

- ① 上下ボタンで“1件消去”を選択し、「決定」ボタンを押します。

特定日1-04月02日
消去しますか？
▶はい
いいえ

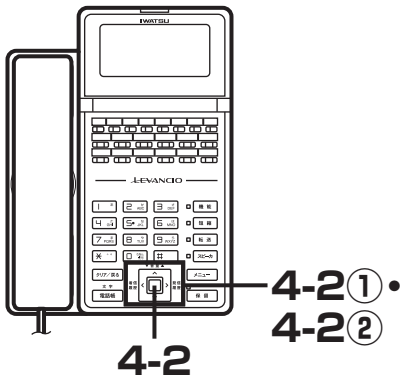
- ② 上下ボタンで“はい”を選択し、「決定」ボタンを押します。
1件削除されます。

特定日1
▶01月01日
[保留]新規登録

- ③ 続けて他の特定日を削除する場合は、手順（4-1）を繰り返します。

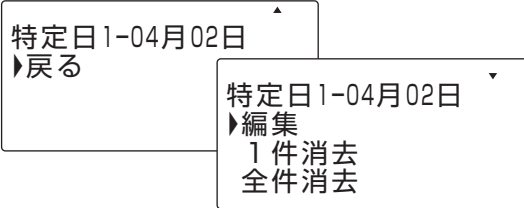
「メニュー」ボタン操作で留守番電話の設定をする

(前ページの続き)

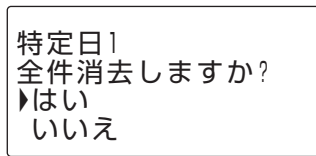


4-2

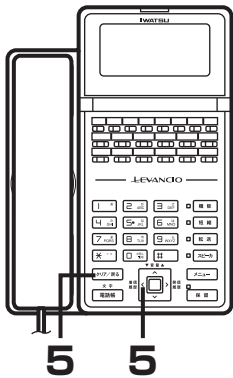
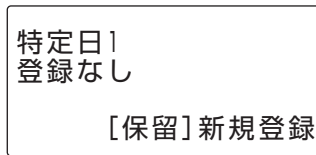
全件消去する場合は、「決定」ボタンを押します。



- ① 上下ボタンで“全件消去”を選択し、「決定」ボタンを押します。



- ② 上下ボタンで“はい”を選択し、「決定」ボタンを押します。全件削除されます。



- 5 左ボタンまたは「戻る」ボタンを押します。スケジュール特定日設定画面に戻ります。

留守番スケジュールのスケジュール即時適用範囲を指定する

Note

- この機能を利用するには、ボックス種別の選択にて留守番ボックスを指定する必要があります。

- 1 「留守番スケジュールのスケジュールを登録する」(6-22 ページ) の手順 (1) ~ (3) と同様の操作を行います。留守番スケジュール画面が表示されます。

留守番スケジュール
▶戻る

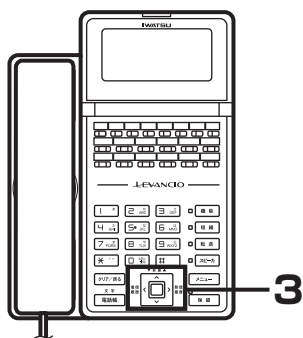
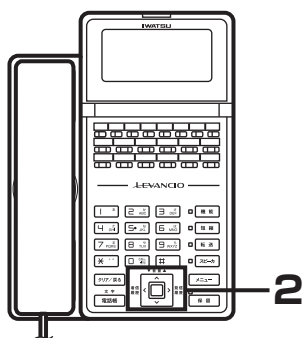
留守番スケジュール
▶スケジュール登録
スケジュール特定日設定
スケジュール即時適用

- 2 上下ボタンで“スケジュール即時適用”を選択し、「決定」ボタンを押します。適用確認画面が表示されます。

設定したスケジュール
を適用しますか?
▶はい
いいえ

- 3 上下ボタンで“はい”を選択し、「決定」ボタンを押します。現在時刻にあったグループ留守番スケジュールが適用になります。

設定したスケジュール
を適用しました



「メニュー」ボタン操作で留守番電話の設定をする

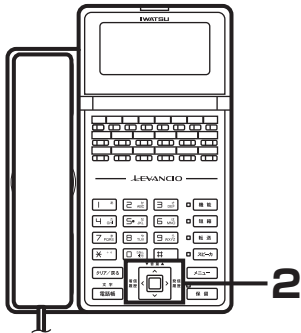
再生パスワード（暗証番号）を変更する

1 「留守録応答メッセージを選択する」(6-6ページ)の手順(1)～(5)と同様の操作を行います。

例 グループボックスを選択した場合グループボックス設定画面が表示されます。

グループボックス設定
▶戻る

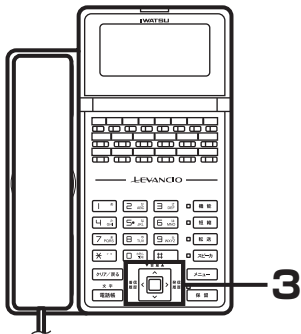
グループボックス設定
▶留守番設定
メッセージ自動消去
パスワード変更



2 上下ボタンで“パスワード変更”を選択し、「決定」ボタンを押します。

パスワード変更画面が表示されます。

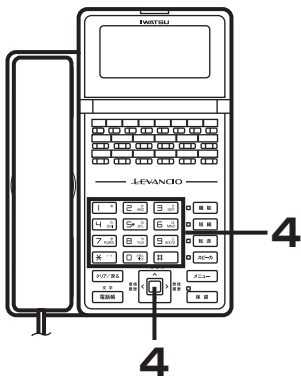
パスワード変更
▶再生パスワード
設定パスワード
戻る



3 上下ボタンで“再生パスワード”を選択し、「決定」ボタンを押します。

再生パスワード（暗証番号）変更画面が表示されます。

再生パスワード変更¹

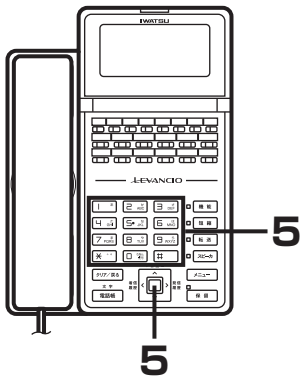


4 新しい再生パスワード（暗証番号）を入力し、「決定」ボタンを押します。

再生パスワード（暗証番号）再入力画面が表示されます。

※再生パスワード 数字4桁

再生パスワード変更¹
再入力



5 手順(4)で入力したものと同一再生パスワード(暗証番号)を入力し、「決定」ボタンを押します。

設定完了画面が表示され、3秒後にパスワード変更画面に戻ります。

※ 設定できなかった場合は、設定完了画面が表示され、3秒後に再生パスワード(暗証番号)変更画面に戻ります。

「メニュー」ボタン操作で留守番電話の設定をする

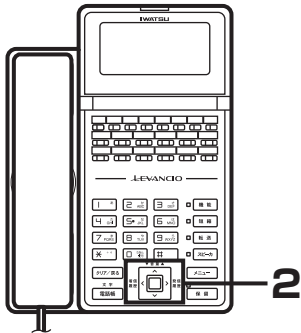
設定パスワード（暗証番号）を変更する

1 「留守録応答メッセージを選択する」(6-6ページ)の手順(1)～(5)と同様の操作を行います。

〈例〉グループボックスを選択した場合
グループボックス設定画面が表示されます。

グループボックス設定
▶戻る

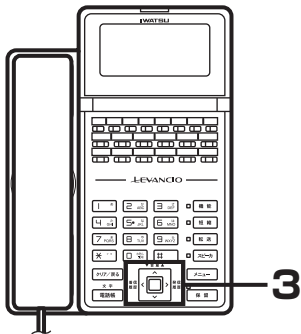
グループボックス設定
▶留守番設定
メッセージ自動消去
パスワード変更



2 上下ボタンで“パスワード変更”を選択し、「決定」ボタンを押します。

パスワード変更画面が表示されます。

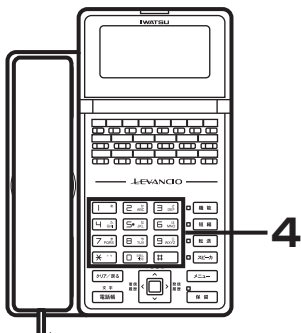
パスワード変更¹
▶再生パスワード
設定パスワード
戻る



3 上下ボタンで“設定パスワード”を選択し、「決定」ボタンを押します。

設定パスワード（暗証番号）変更画面が表示されます。

設定パスワード変更¹

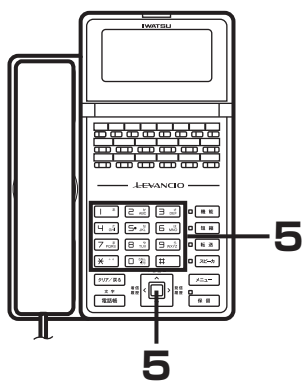


4 新しい設定パスワード（暗証番号）を入力し、「決定」ボタンを押します。

設定パスワード（暗証番号）再入力画面が表示されます。

※ 設定パスワード 数字4桁

設定パスワード変更¹
再入力 ****



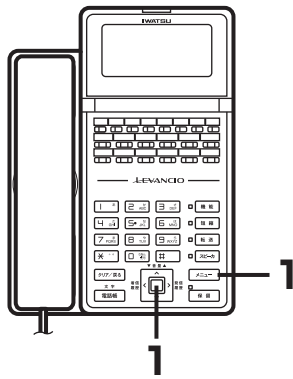
5 手順(4)で入力したものと同一設定パスワード(暗証番号)を入力し、「決定」ボタンを押します。

設定完了画面が表示され、3秒後にパスワード変更画面に戻ります。

※ 設定できなかった場合は、設定不完了画面が表示され、3秒後に設定パスワード(暗証番号)変更画面に戻ります。

「メニュー」ボタン操作で留守番電話の設定をする

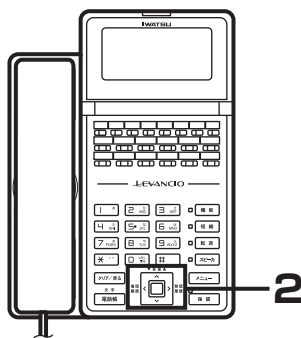
同報ボックスを変更する



- 1** 受話器を置いた状態で「メニュー」ボタンまたは「決定」ボタンを押します。
メインメニュー画面が表示されます。

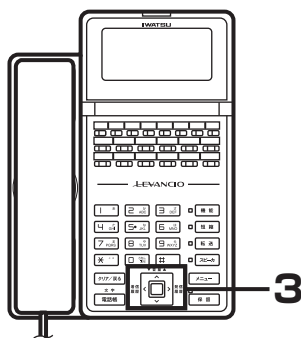
▶音量調整／画面調整
電話帳登録
ヘルプ表示
メニュー終了

▶不在転送設定
留守番／メール設定
鳴音種別設定
メニュー終了



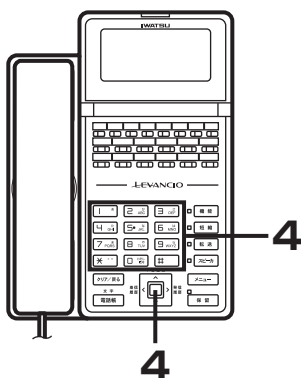
- 2** 上下ボタンで“留守番／メール設定”を選択し、「決定」ボタンを押します。
留守番／メール設定画面が表示されます。

留守番／メール設定
▶個別ボックス
同報ボックス
グループボックス



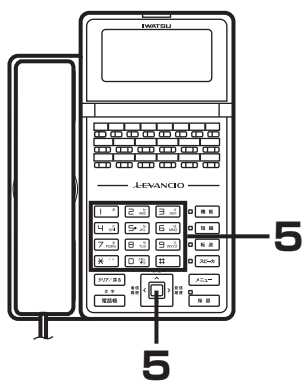
- 3** 上下ボタンで“同報ボックス”を選択し、「決定」ボタンを押します。
ボックス番号入力画面が表示されます。

ボックス番号？



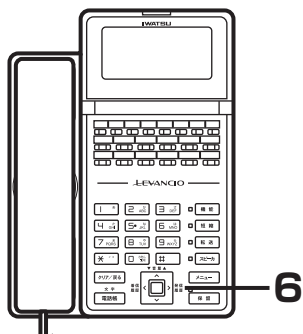
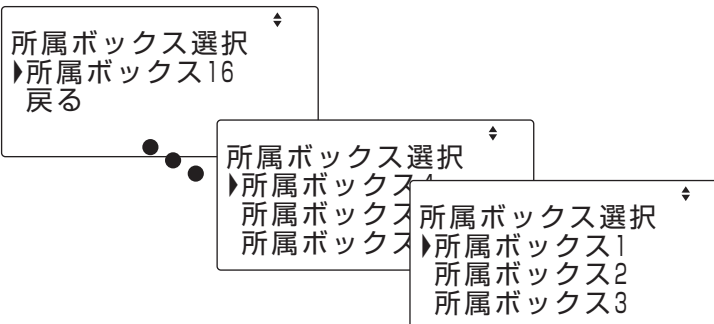
- 4** ボックス番号を入力し、「決定」ボタンを押します。
パスワード入力画面が表示されます。

パスワード？



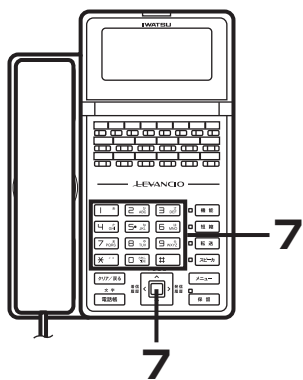
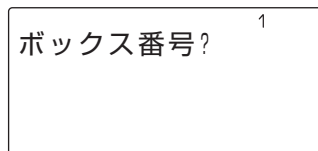
5 設定パスワード（暗証番号）を入力し、「決定」ボタンを押します。

所属ボックス選択画面が表示されます。



6 上下ボタンで所属ボックスを選択し、「決定」ボタンを押します。

ボックス番号入力画面が表示されます。



7 ボックス番号を入力し、「決定」ボタンを押します。

所属ボックス選択画面に戻ります。

※設定できなかった場合は、設定不完了画面が表示され、3秒後に所属ボックス選択画面に戻ります。

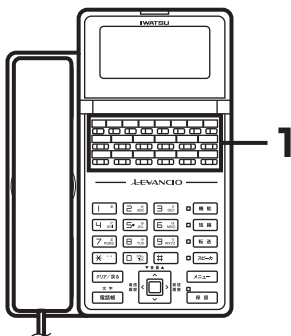
留守番電話

グループ留守番録音を開始／終了する

システム内の電話機を複数の留守番グループに分けている場合、留守番グループごとに留守番機能の開始／終了（解除）および応答メッセージを設定できます。

留守番機能を開始すると、外線着信時にボイスメールが自動応答し、事前に録音された応答メッセージを流します。また、電話をかけてきた人の用件を指定ボックスに録音できます。

●グループ留守番録音を開始する



1 「留守番」ボタンが消灯しているときに、受話器を置いた状態で、「留守番」ボタンを押します。

電話機のスピーカから現在の応答メッセージが流れ、「留守番」ボタンが赤色で点灯し、留守番機能の状態となります。

※「留守番」ボタンを押すごとに、留守／留守解除が切り替わります。

※LCD画面の1行目に、現在の応答メッセージ番号が表示されます。

応答メッセージ 1

11

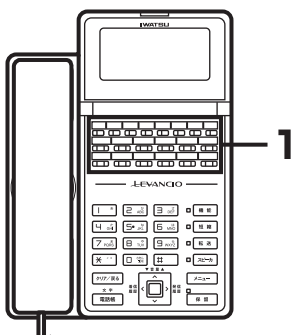
Note

- 「留守番」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。
- 応答メッセージの設定は、「応答メッセージを選択する」(6-63ページ)を参照してください。

Note

- 以下の場合、留守番機能は開始しません。
 - 留守録用ボックスの録音件数が500件に達している
 - 録音メモリ残量が不足している
- この場合、いったん、聞き終わって不要になった録音内容を消去（「録音された内容を消去する」(6-55ページ)）してから、あらためて留守番機能の開始操作をしてください。データ設定により古いメッセージから自動消去することも可能です。

●グループ留守番録音を解除する



1 「留守番」ボタンが赤色で点灯しているときに、受話器を置いた状態で、「留守番」ボタンを押します。

留守番機能が解除となり、「留守番」ボタンが消灯し、留守録されたメッセージの有無を知らせるガイダンスが電話機のスピーカから自動的にアナウンスされます。

留守録されたメッセージの再生を行うことができます。

※「留守番」ボタンを押すごとに、留守／留守解除が切り替わります。

Note

- 「留守番」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

●グループ留守番録音された用件を再生する

録音された用件は、留守番グループに対応する留守番用の「ボックス」ボタンを押して再生します。

再生方法の詳細については、「録音された内容を再生する」(6-53ページ)を参照してください。



Note

- 「ボックス」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。
- グループ留守番録音は、外線着信（ダイヤルイン着信、i-ナンバー着信、外線着信（郡着））が対象です。
 - ダイヤルイン着信の内線番号呼びや着サブアドレスなどの個別の電話機が指定される着信は、個別着信になります。
 - DISA着信はグループ留守番録音の対象外です。
- 各留守番グループに対応する留守番用ボックスは、あらかじめ設定が必要です。
- 留守番グループごとに、着信から留守録動作に移行するまでの時間を指定できます。
- 留守番グループは最大12グループまでです。
- 複数の電話機に同じ「留守番」ボタンが割り当てられている場合、同じ留守番グループの「留守番」ボタンに開始／終了状態が反映されます。
- ボイスメールのチャンネルがビジーの場合、留守番機能の開始／解除の操作は無効となります。

留守番電話

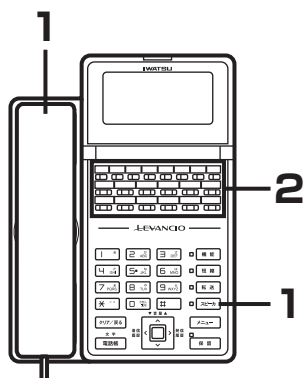
個別留守番録音（電話機ごと）を開始／終了する

電話機への着信をボイスメールに不在転送し、留守番電話としての応答メッセージを流した後、電話をかけてきた人の用件を指定ボックスに録音することができます

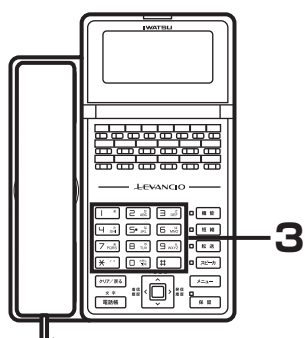
 Note

- 個別留守番録音をご利用になるには、あらかじめシステムで不在転送を使用できる設定にしておく必要があります。
- 録音された内容は、電話機ごとにあらかじめ録音されている留守録優先ボックスに保存されます。ただし、留守録優先ボックスがあらかじめ登録されていない場合には、電話機対応ボックスに保存されます。
- 応答メッセージは、録音先のボックスに録音しておいてください。（「応答メッセージを録音する」（6-59ページ））留守番機能で使われる応答メッセージは、あらかじめボックスごとに設定することもできます。
- 録音ボックスの録音メモリ残量が不足している場合は、応答専用メッセージが流れた後、お話が切断されます。
- 録音メモリ残量なしなどで録音が終了した場合、録音が終了した時点までの録音内容がボックスに保存されます。
- 録音可能時間は、1件当たり最大約180分。システム全体で最大約120時間です。

個別留守番録音を開始する-ルート方式の場合



1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。



2 「不在転送」ボタンを押します。
「不在転送」ボタンが赤色で点滅します。
不在転送ルート指定画面が表示されます。

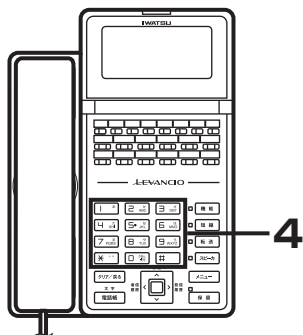
不在転送ルート [1/2]
[*]解除 [#]その他

3 指定したい不在転送ルートに該当するダイヤルボタン（1または2）を押します。

不在転送モード指定画面が表示されます。
※ 不在転送ルートには次の2つがあります。

- ルート1 → 「1」ボタン
- ルート2 → 「2」ボタン

不在転送モード1 [1, 2, 3]
[*]解除

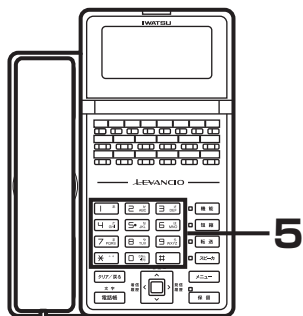


4 指定したい転送モードに該当するダイヤルボタン（1～3）を押します

※ 転送モードには次の3種類があります。

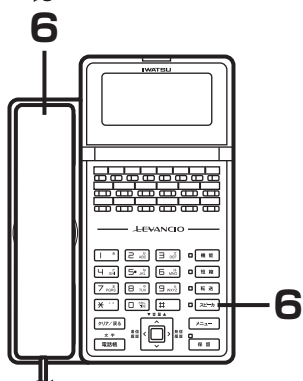
- 即時転送モード → 「1」ボタン
- 話中・未応答転送モード → 「2」ボタン
- 未応答転送モード → 「3」ボタン

即時転送先



5 ボイスメールのアクセス番号をダイヤルします。 「ブップッ」という確認音が聞こえ、「不在転送」ボタンが赤色で点灯または点滅します。

50
11



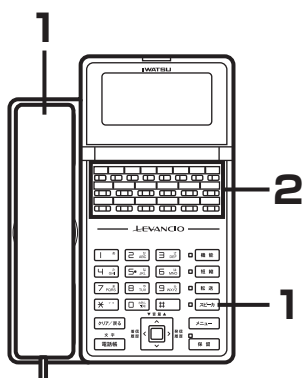
6 受話器を置くか「スピーカ」ボタンを押します。

Note

- 「不在転送」ボタンは、データ設定によりあらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。
- ボイスメールのアクセス番号は、あらかじめ設定する必要があります。
- 転送モードの設定が必要になります。

留守番電話

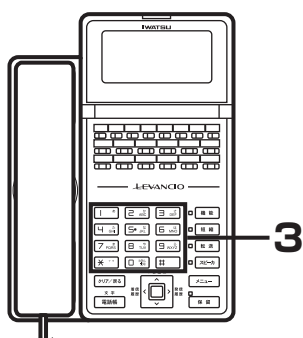
個別留守番録音を開始する-単一方式の場合



1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。

2 「不在転送」ボタンを押します。
「不在転送」ボタンが赤色で点滅します。
不在転送モード指定画面が表示されます。

不在転送モード*1 [1, 2, 3]
[*]解除

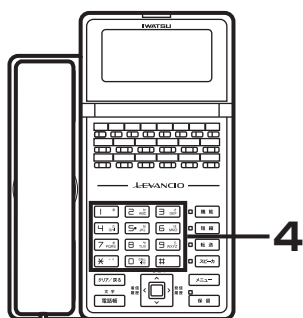


3 指定したい転送モードに該当するダイヤルボタン（1～3）を押します

※ 転送モードには次の3種類があります。

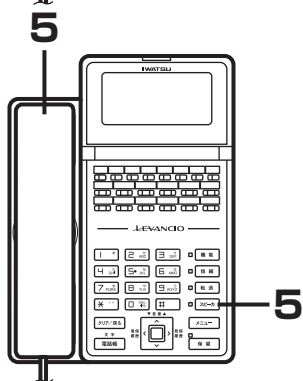
- 即時転送モード → 「1」ボタン
- 話中・未応答転送モード → 「2」ボタン
- 未応答転送モード → 「3」ボタン

即時転送先



4 ボイスメールのアクセス番号をダイヤルします。
「プップッ」という確認音が聞こえ、「不在転送」ボタンが赤色で点灯または点滅します。

50
11

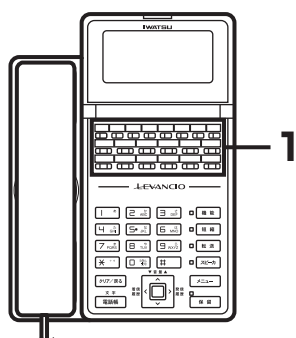


5 受話器を置くか「スピーカ」ボタンを押します。

 Note

- 「不在転送」ボタンは、データ設定によりあらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。
- ボイスメールのアクセス番号は、あらかじめ設定する必要があります。
- 転送モードの設定が必要になります。

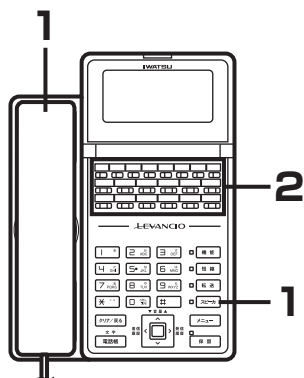
個別留守番録音を解除する



- 1 「不在転送」ボタンを押します。
「不在転送」ボタンが消灯します。

6月 1日(土)16:35
11

個別留守番録音された用件を再生する



- 1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。

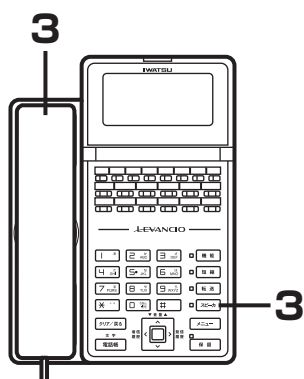
内線
11

- 2 録音先ボックスの「ボックス」ボタンを押します。
ボックスに暗証番号（再生パスワード）が設定されている場合は、「暗証番号をダイヤルしてください」というガイダンスが流れます。ガイダンスに従って、再生パスワードを入力してください。

再生中 佐藤
2013-06-01 13:00

Note

- 「ボックス」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。



- 3 メッセージを聞き終わったら、受話器を置くか「スピーカ」ボタンを押します。

留守番電話

ボイスメールにスライド着信する

外線着信時に、一定時間内に応答しない場合、自動的にボイスメールに接続することができます。ボイスメールに接続後は、リモート操作ガイダンスがアナウンスされます。

これにより、留守番電話をセットし忘れても、ボイスメールで応答できます。

また、外部から伝言の再生などを行えるようになります。



Note

- データ設定で、スライド着信先にボイスメールを指定する必要があります。
- スライド着信に移行するまでの時間は、あらかじめデータ設定が必要です。
- スライド着信先に電話機も設定されている場合、その電話機が個別留守番録音を開始している場合は、ボイスメールへのスライド着信が優先されます。

留守録中に相手の声をモニタする〈留守録モニタ〉

留守番録音中に、スピーカで録音内容をモニタできます。居留守などをしているときにかけてきた相手の声を確認できます。

Note

- 留守録モニタ動作設定は、「留守録モニタ開始方法を選択する」(6-8ページ)を参照してください。

●留守録モニタの開始動作が自動の場合

留守録モニタが自動的に開始され「留守録モニタ」ボタンが緑色で点滅します。

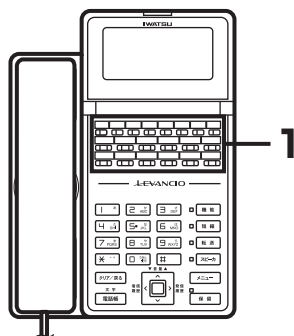
留守録モニタ中は、スピーカ受話状態になります(そのまま受話器を取り上げれば、スピーカから受話器に切り替わります。)

Note

- 留守録モニタ中に「留守録モニタ」ボタンを押すと、ピー音が出てお話しできます。
- 「留守録モニタ」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

●留守録モニタの開始動作が手動の場合

着信すると、留守録開始音(ポッ)が鳴り、「留守録モニタ」ボタンが赤色で点滅します。



1 留守番録音中に、「留守録モニタ」ボタンを押します。

留守録モニタが開始され、「留守録モニタ」ボタンが緑色で点滅します。留守録モニタ中は、スピーカ受話状態になります(そのまま受話器を取り上げれば、スピーカから受話器に切り替わります)。

モニタ 11

Note

- 「留守録モニタ」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。
- 電話機が使用中の場合、留守録開始音は鳴りません。

Note

- 留守録モニタ中に受話器を上げると、留守録モニタ中の音声を受話器から聞こえます(留守録モニタは継続しています)
- 留守録モニタ中に受話器を戻すと、留守録モニタは終了し、「留守録モニタ」ボタンが赤色で点滅します。留守録は継続しています。
- 留守録モニタ中に「留守録モニタ」ボタンを押すと、ピー音がでて受話器を上げるとお話しできます。留守録は終了し、その時点までの録音内容を所定のボックスに保存します。
- 1台の電話機で複数のモニタは行えません。
- 1つの留守録を複数の電話機でモニタすることはできません。
- 留守録モニタの開始動作が「自動」に設定されていても、留守録モニタを行う電話機がすでにスピーカオンまたはオフフックの場合は、留守録モニタは開始されません。

伝言が録音されたら自動的に知らせる〈呼び出し〉

伝言が録音されると、あらかじめ設定しておいた相手を自動的に呼び出すことができます。自動的に呼び出しを行う動作モードには、以下があります。いずれか1つを選択できます。

- 発報なし : 呼び出ししません。
- 定刻発報モード : あらかじめ指定した時刻に自動的に呼び出します。
1日に最大4つの時刻を指定できます。
- 定刻+即時発報モード : あらかじめ指定した時刻と着信メッセージが保存されたときに自動的に呼び出します。

1 外出先の電話機で着信したボイスメールからの呼び出しに 応答します。

「この電話は伝言センターからおかけしております。暗証番号をダイヤルしてください」というガイダンスが流れます。

2 ボックスの暗証番号（再生パスワード）をダイヤルします。

入力した暗証番号（再生パスワード）が間違っていると、入力エラーのガイダンスが流れます。正しく入力しなおしてください。なお、ガイダンスが流れている間は入力できません。

3 伝言を聞きます。

4 伝言を聞き終わったら、お話を終了します。



Note

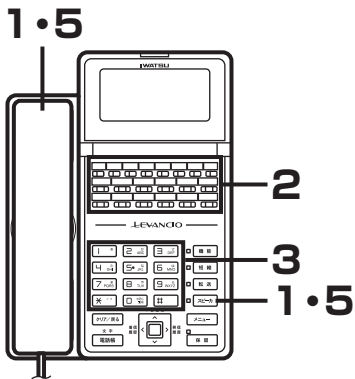
- ボイスメールからの呼び出しに応答しないときは、あらかじめ設定されたリトライ回数、周期で再発信を繰り返します。

録音内容再生

録音された内容を再生する

留守番電話に残された伝言を聞きます。

聞いていない伝言があるときには、そのボックスの「ボックス」ボタンが赤色で点灯します。



 **Note**

- 「ボックス」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。
- 同報ボックスは再生できません。
- 未再生の伝言がなくなると、「ボックス」ボタンは消灯します。
- 発信者番号が通知された相手からの伝言が録音されている場合は、伝言の再生中に、発信者番号をディスプレイに表示します。また、発信者番号が電話帳に登録されている場合は、電話帳に登録している登録名称も表示します。
- 録音内容の再生は、静かな環境でご利用ください。

1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。

2 伝言を聞くボックスの「ボックス」ボタンを押します。

ボイスメールアクセス

3 ボックスの暗証番号（再生パスワード）をダイヤルします。ボックスに暗証番号（再生パスワード）が設定されている場合は、「暗証番号をダイヤルしてください」というガイダンスに従って、暗証番号（再生パスワード）を入力してください。
※録音されている伝言が再生されます。

4 伝言を聞きます。先頭の伝言を再生する前に、未再生の伝言の件数がアナウンスされます。

※複数の伝言が録音されている場合は、連続して再生されます。

※再生中の操作については、「録音内容再生中の操作一覧」(6-54)を参照してください。

再生中 佐藤
2013-06-01 13:00

5 伝言を聞き終わったら、受話器を置くか「スピーカ」ボタンを押します。

全ての伝言を再生し終わり未再生の伝言がなくなると、「ボックス」ボタンは消灯します。

録音内容再生

■録音内容再生中の操作一覧

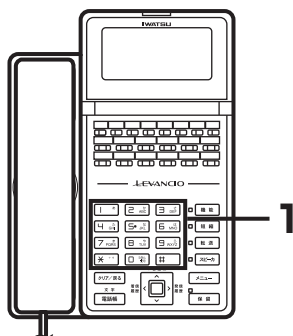
録音内容再生中には、次の操作を行えます。

ダイヤル	再生中機能
「1」	複数の録音内容がある場合、1つ前の録音内容を再生します
「2」	再生中の録音内容を繰り返し再生します
「3」	再生を中止し、次の録音内容を再生します
「4」	再生中の録音内容を倍速再生します
「5」	再生中の録音内容を消去します
「6」	(なし)
「7」	再生中の録音内容を数秒間巻き戻して再生します
「8」	再生中の録音内容を数秒間早送りして再生します
「9」	再生中の録音内容を保存します
「0」	ボイスメールの操作ガイダンスを読み上げます
「#」 「#」	再生を終了します
「ボックス」 ボタンまたは「6」 「1」	指定ボックスへメッセージを転送します
「*」 「*」 「1」	ボックス内の全ての録音内容が消去されます

録音された内容を消去する

聞き終わった伝言を消去します。

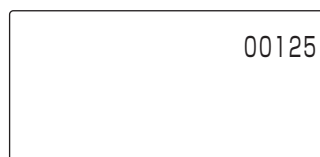
● 1件消去する



1 伝言の再生中に、「5」ボタンを押します。

再生中の伝言が消去されます。

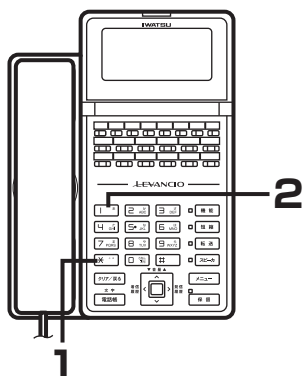
消去すると、次の伝言の再生が始まります。次の未再生の伝言がない場合は、保存メッセージがあれば、続けて保存メッセージの再生を行います。



Note

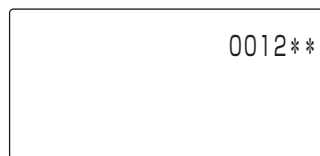
- 消去した伝言を復活させる方法はありません。間違いのないように、慎重に操作してください。
- 未再生の伝言がなくなると、「ボックス」ボタンは消灯します。

● 全件消去する



1 伝言の再生中に、「*」 「*」 ボタンを押します。

確認のガイダンスが流れます。



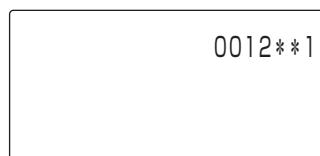
2 「1」ボタンを押します。

ボックス内の全ての伝言が消去されます。

伝言の再生は終了します。

未再生の伝言がなくなり、「ボックス」ボタンは消灯します。

※ 「2」ボタンを押すか、何も操作しなかった場合は、全件消去の操作はキャンセルされます。次の伝言の再生が開始されます。



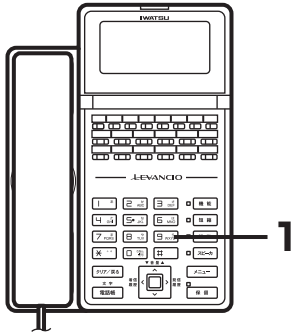
Note

- 消去した伝言を復活させる方法はありません。間違いのないように、慎重に操作してください。

録音内容再生

録音された内容を保存する

伝言を保存しておくこともできます。

**1** 伝言の再生中に、「9」ボタンを押します。

再生中の伝言が保存されます。

保存すると、次の伝言の再生が始まります。次の未再生の伝言がない場合は、保存メッセージがあれば、続けて保存メッセージの再生を行います。

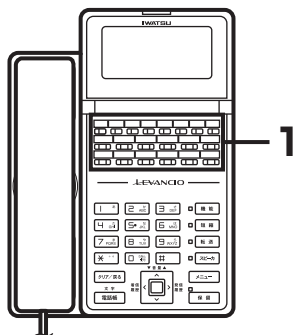
00129

 **Note**

- 保存された伝言も、既定の日数（初期値：30日）が経過すると自動的に消去するように設定することもできます。

録音された伝言を転送する〈振り分け〉

録音されている伝言を、他のボックスに転送します。
グループ留守番電話のボックスに録音されている内容を、個別留守番電話のボックスに転送することもできます。



Note

- 「ボックス」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

1 伝言の再生中に、転送先のボックスの「ボックス」ボタンを押します。

転送先のボックスの「ボックス」ボタンが赤色で点灯します。
転送すると、次の伝言の再生が始まります。次の未再生の伝言がない場合は、伝言の再生は終了します。

※「6」「1」ボタン+転送先ボックスの番号+「#」ボタンを押しても同じ操作ができます。

※転送の操作は、次の伝言の再生が始まる前までは可能です。

再生中 佐藤
2013-06-01 13:00
振り分け: 12

Note

- 録音されている伝言を同報ボックスに転送することもできます。同報ボックスに転送すると、設定されている同報先ボックスに転送されます。この方法は、1件の伝言を複数のボックスに転送するときに使用できます。
- 同報ボックスを使うためには、あらかじめ同報ボックスに同報先のボックスを設定しておく必要があります。
- 「同報ボックス1」～「同報ボックス4」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。
- 転送先の同報ボックスは、「同報ボックス1」～「同報ボックス4」を使用できます。
- 転送先に無効なボックスを指定した場合や、同報先が指定されていない同報ボックスを指定した場合、ボックス番号がない旨のガイダンスが聞こえます。
- 録音メモリが満杯等で転送先のボックスに保存できない場合には、録音できない旨のガイダンスが聞こえます。
- 転送先が同報ボックスの場合で、全ての同報先ボックスで録音メモリが満杯等で転送先のボックスに伝言を保存できない場合には、録音できない旨のガイダンスが聞こえます。
- 転送先が同報ボックスの場合で、転送する1件の伝言の録音時間が50分を超える場合、同報ボックスへの転送はできません。録音できない旨のガイダンスが聞こえます。個別に転送先のボックスを指定して転送してください。

再生時の暗証番号について〈再生パスワード〉

ボックスに暗証番号（再生パスワード）を設定して、ボックス使用者以外が再生することを防ぐことができます。暗証番号（再生パスワード）を設定すると、ボックスの内容を再生するときに、暗証番号（再生パスワード）の入力が必要になります。入力された暗証番号（再生パスワード）が間違っていると、ボックスの再生はキャンセルされます。

Note

- 入力した暗証番号（再生パスワード）が間違っていると、ガイダンスが流れます。ガイダンスに従って暗証番号（再生パスワード）を入力しなおしてください。なお、ガイダンスが流れている間は、入力できません。

応答メッセージ

留守番電話（グループ／個別）でボイスメールが着信に回答したときに流すメッセージです。

応答メッセージには、あらかじめボイスメールで用意している共通応答メッセージとユーザが録音できる応答メッセージとがあります。

■共通応答メッセージ

あらかじめボイスメールで用意されている共通の応答メッセージです、新たに回答メッセージが録音されていない場合は、この共通応答メッセージが流れます。

共通応答メッセージは次のとおりです。

応答メッセージ番号	種類	音声ガイダンス内容
1	応答メッセージ1	「本日の業務は終了しました。ご用件のある方はピーツという発信音のあとにメッセージをお話してください。」
2	応答メッセージ2	「只今、席を外しています。ご用件のある方はピーツという発信音のあとにメッセージをお話してください。」
3	応答メッセージ3	「只今、外出しています。ご用件のある方はピーツという発信音のあとにメッセージをお話してください。」
4	応答専用メッセージ1 [※]	「只今、留守にしております。恐れ入りますが後ほどおかけ直してください。」
5	応答専用メッセージ2 [※]	「本日の業務は、終了いたしました。恐れ入りますが、就業時間におかけ直してください。」

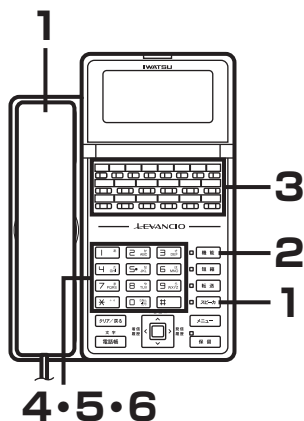
注：応答専用メッセージ1、2は応答専用です。メッセージ録音しない場合に使用するものです。

Note

- 共通応答メッセージは消去できません。同一番号に回答メッセージを録音すると、その録音内容が優先されます。しかし、録音した回答メッセージを消去すると、ふたたび共通応答メッセージが流れます。
- ボイスメールの全てのチャンネルがビジーの場合は、応答メッセージの録音／再生／消去の操作はできません。

応答メッセージを録音する

共通応答メッセージとは別に、留守番電話（グループ／個別）でボイスメールが着信に反応したときに流すメッセージを録音することができます。



Note

- 「ボックス」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。
- 同報ボックスには録音できません。
- あらかじめ録音開始音の設定が必要です。

1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。

※「スピーカ」ボタンを押した場合は、応答メッセージを録音する際に、受話器を上げて録音してください。

2 「機能」ボタンを押します。

「機能」ボタンが赤色で点滅します。

3 応答メッセージを録音するボックスの「ボックス」ボタンを押します。

「暗証番号をダイヤルしてください。」のガイダンスが流れます。該当のボックスボタンが赤色で点灯します。

ボイスメールアクセス

4 暗証番号（設定パスワード）をダイヤルします。

「留守番応答のメッセージ番号をダイヤルしてください。」のガイダンスが流れます。

5 留守番応答のメッセージ番号（1～5）をダイヤルします。

「録音は「1」、再生は「2」、消去は「3」をダイヤルしてください。」のガイダンスが流れます。

11111

6 「1」ボタンを押します。

「録音を開始します。ピーという発信音の後にメッセージをお話してください。録音の終了は、「#」をダイヤルしてください。」のガイダンスが流れます。開始音（ピー）の後に録音が始まります。

111111

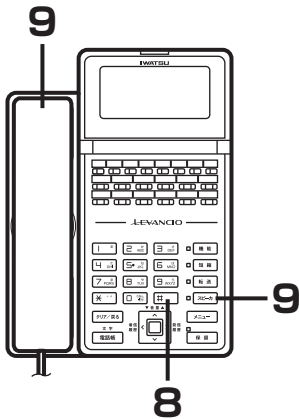
7 応答メッセージを話します。

ボイスメールアクセス

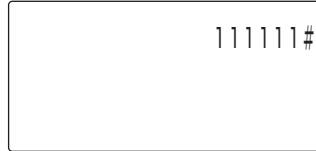
（次ページへ続く）

応答メッセージ

(前ページの続き)



- 8** 応答メッセージを話し終わったら、「#」ボタンを押します。
「録音を終了しました。」のガイダンスが流れます。
録音を終了した後、手順(5)のガイダンスが再度流れます。



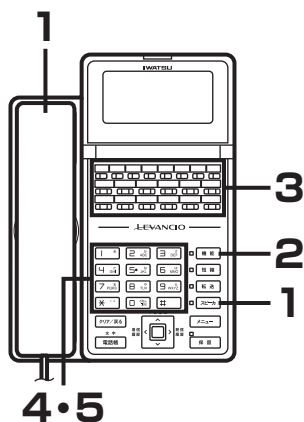
- 9** 受話器を置くか「スピーカ」ボタンを押します。
該当のボックスボタンが消灯します。

 **Note**

- 入力した暗証番号(設定パスワード)が間違っていると、入力エラーのガイダンスが流れます。正しく入力しなおしてください。なお、ガイダンスが流れている間は入力できません。
- 応答メッセージの録音上限時間は1分です。それを超えると録音は中止され、その時点までの録音が保存されます。

応答メッセージを再生／消去する

登録された応答メッセージを再生、消去することができます。



Note

- 「ボックス」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。

2 「機能」ボタンを押します。
「機能」ボタンが赤色で点滅します。

3 応答メッセージを再生または消去するボックスの「ボックス」ボタンを押します。
「暗証番号をダイヤルしてください。」のガイダンスが流れます。
該当のボックスボタンが赤色で点灯します。

ボイスメールアクセス

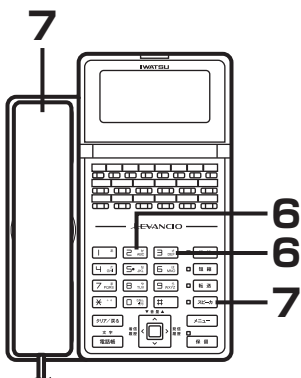
4 暗証番号（設定パスワード）をダイヤルします。
「留守番応答のメッセージ番号をダイヤルしてください。」のガイダンスが流れます。

5 留守番応答のメッセージ番号（1～5）をダイヤルします。
「録音は「1」、再生は「2」、消去は「3」をダイヤルしてください。」のガイダンスが流れます。

11111

応答メッセージ

(前ページの続き)

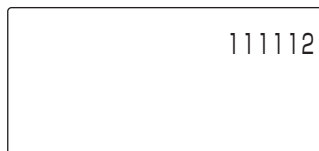


6 録音されたメッセージを聞くとときは「2」ボタン、消去するときは「3」ボタンを押します。

●「2」を押したときは

→録音されたメッセージが再生されます。

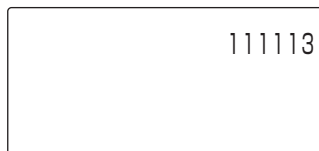
メッセージが再生された後、手順（5）のガイダンスが流れます。



●「3」を押したときは

→「もう一度、「3」を押すと消去します。」のガイダンスが流れるので、再度、「3」を押してください。

「メッセージを消去しました。」のガイダンスが流れ、メッセージが消去されます。メッセージが消去された後、手順（5）のガイダンスが流れます。



7 受話器を置くか「スピーカ」ボタンを押します。

該当のボックスボタンが消灯します。

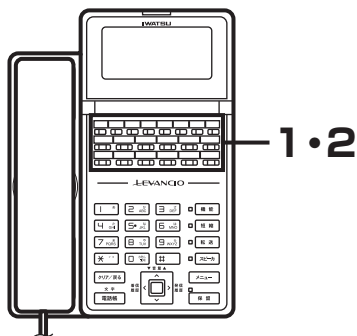


Note

- 入力した暗証番号（設定パスワード）が間違っていると、入力エラーのガイダンスが流れます。正しく入力しなおしてください。なお、ガイダンスが流れている間は入力できません。

応答メッセージを選択する

グループ留守番電話機の応答メッセージを、ユーザが録音したメッセージまたは共通応答メッセージの合計5種類のメッセージから選択できます。



Note

- 「留守番」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。
- 応答メッセージの選択は、留守機能が解除されている状態で操作してください。

1 留守番電話グループに属する電話機で、受話器を置いたまま、「留守番」ボタンを押します。

応答メッセージが流れます。

「留守番」ボタンが赤色で点灯します。

応答メッセージ 1 11

2 希望の応答メッセージが再生されるまで、繰り返し「留守番」ボタンを押します。

●希望の応答メッセージが再生されたら

その応答メッセージが終わるまで待ちます。

再生が終わるとメッセージが選ばれます。

応答メッセージ 2 11

Note

- ボイスメールの全てのチャンネルがビジーの場合は、操作できません。
- グループ留守番電話の応答メッセージの切り替えは、その留守番電話グループに属する電話機から操作してください。
- 留守番電話グループに属する電話機から応答メッセージの切替えを行っているときには、他の電話機から留守番電話の開始/終了の操作はできません。
- 応答メッセージの選択は、次に応答メッセージが切替えられるまで有効です。グループ留守番電話を開始しても変化しません。
- 「メニュー」ボタンの操作でも同様の設定が行えます。（「留守録応答メッセージを選択する」(6-6ページ)）

外部（外出先）から録音内容再生／録音する〈リモート〉

留守番電話に残された伝言を、外出先などから操作して聞くことができます。

録音された内容を外出先から再生する

●ボイスメールに直接着信する場合

ボイスメールに着信が行われる電話番号を発信して、ボイスメールへ直接着信させます。



Note

- 暗証番号（再生パスワード）が設定されている場合は、暗証番号（再生パスワード）の入力が必要です。

1 外出先の電話機から、ボイスメールに着信する電話番号にダイヤルします。

「メッセージの再生は「1」、伝言録音は「2」、留守録の操作は「3」、終了は「#」をダイヤルしてください。」というボイスメールのガイダンスが流れます。

2 「1」をダイヤルします。

「メッセージを再生するボックス番号をダイヤルし、最後に「#」をダイヤルしてください。」というガイダンスが流れます。

3 ガイダンスに従って、ボックス番号と「#」をダイヤルします。

「暗証番号をダイヤルしてください」のガイダンスが流れます。

4 暗証番号（再生パスワード）をダイヤルします。

録音されている伝言が再生されます。

5 伝言を聞きます。

6 伝言を聞き終わったら、お話を終了します。

●ボイスメールにスライド着信する場合



Note

- ボイスメールにスライド着信する設定が必要です。
- 暗証番号（再生パスワード）が設定されている場合は、暗証番号（再生パスワード）の入力が必要です。

1 外出先の電話機から、ボイスメールにスライド着信する電話番号にダイヤルします。

「メッセージの再生は「1」、伝言録音は「2」、留守録の操作は「3」、終了は「#」をダイヤルしてください。」というボイスメールのガイダンスが流れます。

2 ガイダンスが聞こえたら、「1」をダイヤルします。

「メッセージの再生するボックス番号をダイヤルし、最後に「#」をダイヤルしてください。」というガイダンスが流れます。

3 ガイダンスに従って、ボックス番号と「#」をダイヤルします。

「暗証番号をダイヤルしてください」のガイダンスが流れます。

4 暗証番号（再生パスワード）をダイヤルします。

録音されている伝言が再生されます。

5 伝言を聞きます。

6 伝言を聞き終わったら、お話を終了します。

**Note**

- 暗証番号（再生パスワード）が設定されている場合は、暗証番号（再生パスワード）の入力が必要です。

●留守番電話が応答する場合

- 1 外出先の電話機から、留守番電話に着信する電話番号にダイヤルします。**
応答メッセージが流れます。
- 2 応答メッセージが聞こえているうちに、「#」「#」をダイヤルし、続けて暗証番号（留守番応答アクセスパスワード）をダイヤルします。**
「メッセージの再生は「1」、伝言録音は「2」、留守録の操作は「3」、終了は「#」をダイヤルしてください。」というボイスメールのガイダンスが流れます。
- 3 ガイダンスが聞こえたら「1」をダイヤルします。**
「メッセージを再生するボックス番号をダイヤルし、最後に「#」をダイヤルしてください。」というガイダンスが流れます。
- 4 ガイダンスに従って、ボックス番号と「#」をダイヤルします。**
「暗証番号をダイヤルしてください」のガイダンスが流れます。
- 5 暗証番号（再生パスワード）をダイヤルします。**
録音されている伝言が再生されます。
- 6 伝言を聞きます。**
- 7 伝言を聞き終わったら、お話しを終了します。**

●ボイスメールからの呼び出しに応答する場合

- 1 外出先の電話機で、着信したボイスメールからの呼び出しに応答します。**
「この電話は伝言センターからおかけしています。」というガイダンスが流れます。
- 2 ボックスの暗証番号（再生パスワード）をダイヤルします。**
録音されている伝言が再生されます。
- 3 伝言を聞きます。**
- 4 伝言を聞き終わったら、お話しを終了します。**

**Note**

- ガイダンスが流れた後に規定時間なにも操作しないと、自動的に通話は切断されます。
- DISA外線からボイスメールの内線代表番号をダイヤルすると、ボイスメールを直接呼び出せます。
- 外線からの操作は、プッシュ信号で送られます。プッシュ信号を送出できない電話機からは操作できません。

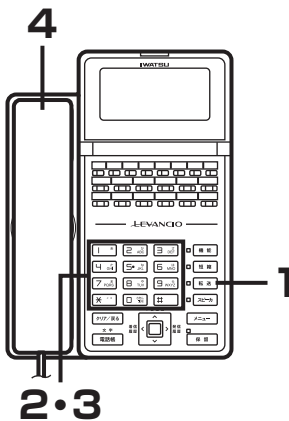
外部（外出先）から録音内容再生／録音する〈リモート〉

録音された内容を外出先から再生する〈取次再生〉

留守番電話に残された伝言を、内線電話を操作してもらって聞くことができます。

●内線電話機での操作

外線からの着信に応答します。



- 1 外線とお話し中に、「転送」ボタンを押します。
[転送] ボタンが点滅し、「ツツツツツ」という第2ダイヤルトーンが聞こえます。
- 2 「順次再生特番」（初期値「*」「0」）を押します。
- 3 ボックス番号をダイヤルします。
- 4 操作を促すガイダンスが聞こえたら、受話器を置きます。
お話し中の外線をボイスメールに接続します。

 **Note**

- 内線電話機での取り次ぎ操作時に、ボイスメールのチャンネルが話中の場合、受話器を戻すとキャンブオン（呼び出し待ち）状態になります。また、「転送」ボタンを押すと、外線とお話できます。

 **Note**

- 外線からの操作は、プッシュ信号で送られます。プッシュ信号を送出できない電話機からは操作できません。

●外部の電話機での操作

- 1 ボイスメールに接続されたら、ガイダンスに従って、暗証番号（再生パスワード）をダイヤルします。
- 2 ガイダンスに従って操作します。
録音されている伝言が再生されます。
- 3 伝言を聞きます。
- 4 伝言を聞き終わったら、お話を終了します。

外出先から留守番電話をオン／オフする

留守番電話をセットし忘れたときなど、外出先から留守番電話機能をオン／オフすることができます。

また、伝言の録音先ボックスを変更することもできます。

●留守番電話をオン（開始）する



Note

- 外線からの操作は、プッシュ信号で送られます。プッシュ信号を送出できない電話機からは操作できません。

1 外出先の電話機から、ボイスメールにスライド着信する電話番号にダイヤルします。

「メッセージの再生は「1」、伝言録音は「2」、留守録の操作は「3」、終了は「#」をダイヤルしてください。」というボイスメールのガイダンスが流れます。

2 ガイダンスが聞こえたら、「3」をダイヤルします。

「留守録の操作を開始します。ボックス番号をダイヤルし、最後に「#」をダイヤルしてください」というガイダンスが流れます。

3 ガイダンスが聞こえたら、ボックス番号と「#」をダイヤルします。

「暗証番号をダイヤルしてください」というガイダンスが流れます。

※ ボックス番号には、留守番グループボックス番号を指定する必要があります。

4 ガイダンスが聞こえたら、暗証番号（設定パスワード）をダイヤルします。

「メッセージ番号をダイヤルしてください」というガイダンスが流れます。

5 ガイダンスが聞こえたら、留守番応答のメッセージ番号（1～5）をダイヤルします。

6 応答メッセージが聞こえたら、お話しを終了します。

※ お話を終了しないでいると、再び手順（2）のリモート操作ガイダンスが流れます。

この状態で、引き続き、伝言の再生等の操作を行うことができます。



Note

- ボックス番号はお買い求めの販売店にお問い合わせください。
- 入力したボックス番号がエラーの場合、ガイダンスが流れます。ガイダンスが流れている間は、何も入力できません。
- お買い求め時の暗証番号（設定パスワード）は1111が設定されています。詳細については、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

外部（外出先）から録音内容再生／録音する〈リモート〉



Note

- 外線からの操作は、プッシュ信号で送られます。プッシュ信号を送出できない電話機からは操作できません。

●留守番電話をオフ（解除）する

- 1 外出先の電話機から、留守番電話に着信する電話番号にダイヤルします。**
- 2 応答メッセージが聞こえているうちに、「#」「#」をダイヤルし、続けて暗証番号（設定パスワード）をダイヤルします。**
「メッセージの再生は「1」、伝言録音は「2」、留守録の操作は「3」、終了は「#」をダイヤルしてください。」というボイスメールのガイダンスが流れます。
- 3 ガイダンスが聞こえたら、「3」をダイヤルします。留守録の操作を開始します。**
「留守録の操作を開始します。ボックス番号をダイヤルし、最後に「#」をダイヤルしてください。」というガイダンスが流れます。
- 4 ガイダンスが聞こえたら、ボックス番号と「#」をダイヤルします。**
「暗証番号をダイヤルしてください。」というガイダンスが流れます。
- 5 ガイダンスが聞こえたら、暗証番号（設定パスワード）をダイヤルします。**
「メッセージ番号をダイヤルしてください。」というガイダンスが流れます。
- 6 ガイダンスが聞こえたら、「0」をダイヤルします。**
「解除しました。」というガイダンスが流れます。
- 7 ガイダンスが聞こえたら、お話しを終了します。**



Note

- ボックス番号は、お買い求めの販売店にご確認ください。
- グループ留守番電話機能がオフの状態でも、着信に一定時間応答しないときは、自動的に留守番電話に着信するように設定されている必要があります。
- お買い求め時の暗証番号（設定パスワード）は1111が設定されています。詳細については、お買い求めの販売店にお問い合わせください。
- すでに留守番電話機能がオンに設定されているときに、上記の手順（6）で「0」の代わりに、留守番応答のメッセージ番号（1～5）を押すと、応答メッセージを切替えることができます。

外出先から伝言を録音する〈リモート伝言録音〉

Note

- 外線からの操作は、プッシュ信号で送られます。プッシュ信号を送出できない電話機からは操作できません。

- 1 外出先の電話機から、ボイスメールにスライド着信する電話番号にダイヤルします。**
「メッセージの再生は「1」、伝言録音は「2」、留守録の操作は「3」、終了は「#」をダイヤルしてください。」というボイスメールのガイダンスが流れます。
- 2 ガイダンスが聞こえたら、「2」をダイヤルします。**
- 3 録音先のボックス番号と「#」をダイヤルします。**
- 4 メッセージを話します。**
※録音の終了は、「#」をダイヤルしてください。もう一度録音する場合は、「*」をダイヤルしてください。
- 5 お話を終了します。**

Note

- 入力したボックス番号がエラーの場合、ガイダンスが流れます。ガイダンスが流れている間は、何も入力できません。
- グループ留守番電話機能がオフの状態でも、着信に一定時間応答しないときは、自動的に留守番電話に着信するように設定されている必要があります。

通話録音

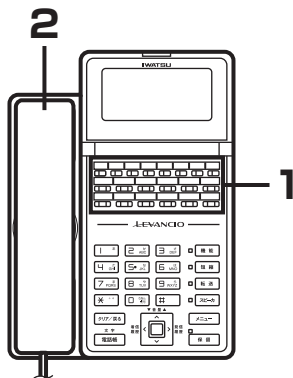
外線通話を録音して、メッセージボックスに保存しておくことができます。
録音は、お話し中のいつでも開始できます。

お話しを手動で録音する

● 録音先ボックスが自動指定されている場合

録音内容は、自動的に自ボックスに保存されます。

通話中に他の「ボックス」ボタンを押すと、そのボックスに保存されます。(「録音した通話の保存先を変更する」(6-74ページ))



1 お話し中に、「通話録音」ボタンを押します。

録音が始まり、「通話録音」ボタンと保存先ボックスの「ボックス」ボタンが赤色で点滅します。

※お話し中に録音をいったん終了するときには、点滅している「ボックス」ボタンを押します。再び「通話録音」ボタンを押すと、新たに通話録音が始まります。

相手先 佐藤
0:03

Note

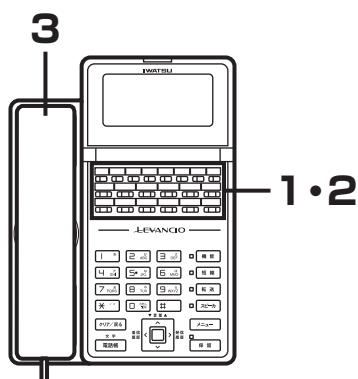
- 通話録音を開始すると、録音開始音が聞こえます。あらかじめデータ設定が必要です。
- 「通話録音」、「ボックス」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

2 お話しが終了したら、受話器を置きます。

録音は自動的に終了し、「通話録音」ボタンが消灯します。

また、保存先ボックスの「ボックス」ボタンが赤色で点灯します。

録音した通話は、点灯しているボックスに保存されています。



Note

- 「通話録音」、「ボックス」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。
- 通話録音を開始すると、録音開始音が聞こえます。

●録音先ボックスが自動指定されていない場合

通話録音終了時、保存先ボックスの「ボックス」ボタンを押さないと録音内容は保存されません。

- 1 お話し中に、「通話録音」ボタンを押します。
録音が始まり、「通話録音」ボタンが赤色で点滅します。

相手先 佐藤
0:03

- 2 通話録音中に、保存先ボックスの「ボックス」ボタンを押します。

保存先ボックスの「ボックス」ボタンが赤色で点滅します。

※保存先ボックスの「ボックス」ボタンを押さずに受話器を置いた場合、録音内容は消去されます。

※お話し中に録音をいったん終了するときには、点滅している「ボックス」ボタンを押します。再び「通話録音」ボタンを押すと、新たに通話録音が始まります。

- 3 お話しが終了したら、受話器を置きます。

録音内容がボックスに保存され、「通話録音」ボタンが消灯します。

また、保存先ボックスの「ボックス」ボタンは赤色で点灯します。

録音した通話は、点灯しているボックスに保存されています。

Note

- 受話器を戻してお話しを終了したとき、または「ボックス」ボタンを押したとき以外に、次の場合に通話録音は終了します。
(その時点までの通話は、「ボックス」ボタンに録音されています。)
- お話しが切断されたとき
- お話しを保留したとき
※保留後、再び通話録音する場合、再度「通話録音」ボタンを押します。保留前の録音とは別に保存されます。
- 録音可能時間に達したとき（録音終了音が聞こえます）
※録音開始音・終了音の有無はデータ設定に依存します。
- 録音メモリ残量がなくなったとき（録音終了音が聞こえます）
- 次の場合は、通話録音できません。
 - 録音するボックスの録音件数が500件に達している
 - 録音するボックスの録音メモリ残量が不足している
 - 内線とお話し中の場合
 - 4者会議通話中の場合
 - 録音通話チャンネルが全て使用中の場合
- 録音した通話を再生するときは、「通話録音された内容を再生する」(6-75ページ)を参照してください。
- 通話録音中に、録音先のボックスを変更することもできます。（「録音した通話の保存先を変更する」(6-74ページ)）
- 録音した通話を他のボックスに転送することもできます。（「通話録音された内容を転送する〈振り分け〉」(6-78ページ)）
- 通話中に録音を中止し、それまでに録音された通話を消去することもできます。（「通話録音を中止する」(6-74ページ)）
- 単独電話機では、通話録音（手動・自動ともに）できません。

通話録音

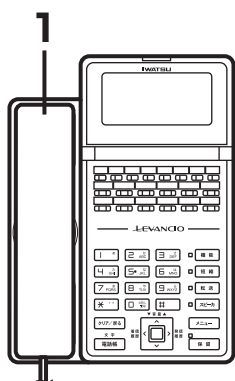
お話しを自動で録音する

外線通話を録音して、メッセージボックスに保存しておくことができます。録音は、かかってきた電話に応答するだけで、自動的に開始できます。

●録音先ボックスが自動指定されている場合

録音内容は、自動的に自ボックスに保存されます。

通話中に他の保存先ボックスの「ボックス」ボタンを押すとそのボックスに保存されます。(「録音した通話の保存先を変更する」(6-74ページ))


 **Note**

- 「通話録音」、「ボックス」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

1 着信中に、受話器を取り上げます。

録音が始まり、「通話録音」ボタンと保存先ボックスの「ボックス」ボタンが赤色で点滅します。

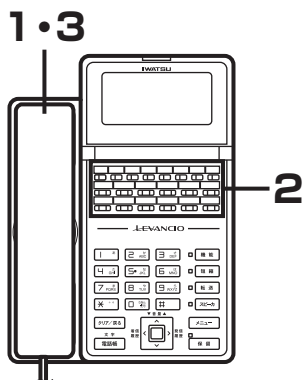
※お話し中に録音をいったん終了するときには、点滅している「ボックス」ボタンを押します。再び「通話録音」ボタンを押すと、新たに通話録音が始まります。

相手先 佐藤
0:03

2 お話しが終了したら、受話器を置きます。

録音は自動的に終了し、「通話録音」ボタンが消灯します。また、保存先ボックスの「ボックス」ボタンが赤色で点灯します。

録音した通話は、点灯しているボックスに保存されています。



Note

- 「通話録音」、「ボックス」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。
- 通話録音を開始すると、録音開始音が聞こえます。あらかじめデータ設定が必要です。

●録音先ボックスが自動指定されていない場合

通話録音終了時、保存先ボックスの「ボックス」ボタンを押さないと録音内容は保存されません。

1 着信中に、受話器を取り上げます。

録音が始まり、「通話録音」ボタンが赤色で点滅します。

相手先 佐藤
0:03

2 通話録音中に、保存先ボックスの「ボックス」ボタンを押します。

保存先ボックスの「ボックス」ボタンが赤色で点滅します。

※保存先ボックスの「ボックス」ボタンを押さずに受話器を置いた場合、録音内容は消去されます。

※お話し中に録音をいったん終了するときには、点滅している「ボックス」ボタンを押します。再び「通話録音」ボタンを押すと、新たに通話録音が始まります。

3 お話しが終了したら、受話器を置きます。

録音内容がボックスに保存され、「通話録音」ボタンが消灯します。

また、保存先ボックスの「ボックス」ボタンは赤色で点灯します。

録音した通話は、点灯しているボックスに保存されています。

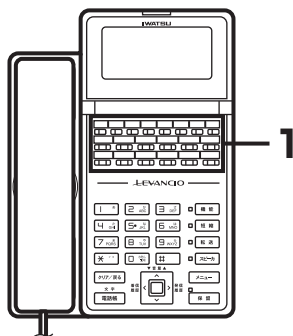
Note

- 受話器を戻してお話を終了したとき、または「ボックス」ボタンを押したとき以外に、次の場合に通話録音は終了します。
(その時点までの通話は、「ボックス」ボタンに録音されています。)
- お話しが切断されたとき
- お話を保留したとき
※保留後、再び通話録音する場合、再度「通話録音」ボタンを押します。保留前の録音とは別に保存されます。
- 録音可能時間に達したとき（録音終了音が聞こえます）
※録音開始音・終了音の有無はデータ設定に依存します。
- 録音メモリ残量がなくなったとき（録音終了音が聞こえます）
- 次の場合は、通話録音できません。
 - 録音するボックスの録音件数が500件に達している
 - 録音するボックスの録音メモリ残量が不足している
 - 内線とお話し中の場合
 - 4者会議通話中の場合
 - 録音通話チャンネルが全て使用中の場合
- 録音した通話を再生するときは、「通話録音された内容を再生する」(6-75ページ)を参照してください。
- 通話録音中に、録音先のボックスを変更することもできます。（「録音した通話の保存先を変更する」(6-74ページ)）
- 録音した通話を他のボックスに転送することもできます。（「通話録音された内容を転送する、〈振り分け〉」(6-78ページ)）
- 通話中に録音を中止し、それまでに録音された通話を消去することもできます。（「通話録音を中止する」(6-74ページ)）
- 単独電話機では、通話録音（手動・自動ともに）できません。

通話録音

録音した通話の保存先を変更する

必要に応じて、通話の録音を保存するボックスを変更できます。
通常、通話の録音は、ご使用の電話機に対応したボックスに保存されます。



1 通話録音中に、保存先ボックスの「ボックス」ボタンを押します。

保存先を変更すると、始めに保存先に指定されていたボックスは消灯し、新たに保存先として指定したボックスが赤色で点滅します。

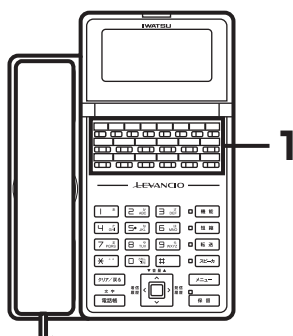
相手先 佐藤
0:03

Note

- 保存先のボックスは、通話録音中に何回でも変更できます。通話の録音は、複数回変更した場合には、最後に押した「ボックス」ボタンのボックスに保存されます。
- 保存先を同報ボックスにすることもできます。
- 「ボックス」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。
- 録音メモリ残量の不足等で指定したボックス（同報ボックスを含む）に保存できない場合、通話の録音はご使用の電話機用のボックスに保存されます。

通話録音を中止する

録音が不要な通話だった場合には、録音を中止できます。
中止すると、それまでの録音は消去されます。



1 通話録音中に、「通話録音」ボタンを押します。

録音が中止され、「通話録音」ボタン、「ボックス」ボタンが消灯します。

相手先 佐藤
0:03

Note

- 通話録音を中止した後、再び「通話録音」を押すと、新たに通話録音が始まります。（「お話しを手動で録音する」（6-70ページ）、「お話しを自動で録音する」（6-72ページ））

Note

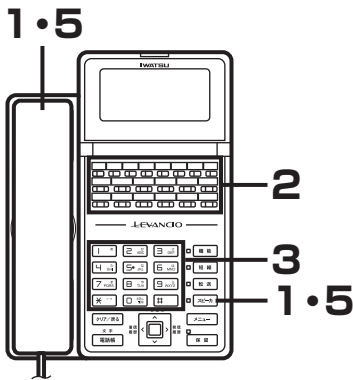
- 「通話録音」、「ボックス」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

通話録音の再生

通話録音された内容を再生する

通話録音の内容を聞きます。

聞いていない録音内容があるときには、そのボックスの「ボックス」ボタンが赤色で点灯します。



1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。

2 録音内容を聞くボックスの「ボックス」ボタンを押します。
該当のボックスボタンが赤点灯します。

ボイスメールアクセス

3 ボックスの暗証番号（再生パスワード）をダイヤルします。
ボックスに暗証番号（再生パスワード）が設定されている場合は、「暗証番号をダイヤルしてください」というガイダンスに従って、暗証番号（再生パスワード）を入力してください。
※録音されている録音内容が再生されます。

4 録音内容を聞きます。
先頭の録音内容を再生する前に、未再生の録音件数がアナウンスされます。
※複数の通話が録音されている場合は、連続して再生されます。
※再生中の操作については、「通話録音内容再生中の操作一覧」（6-76ページ）を参照してください。

再生中 佐藤
2013-06-01 13:00

5 録音内容を聞き終わったら、受話器を置くか「スピーカ」ボタンを押します。

全ての通話を再生し終わり未再生の録音がなくなると、「ボックス」ボタンは消灯します。

Note

- 「ボックス」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。
- 同報ボックスは再生できません。
- 未再生の通話なくなると、「ボックス」ボタンは消灯します。
- 発信者番号が通知された相手からの通話が録音された場合は、録音内容の再生中に、発信者番号をディスプレイに表示します。また、発信者番号が電話帳に登録されている場合は、電話帳に登録している登録名称も表示します。
- 単独電話機の場合、内線ダイヤルトーンからボイスメールアクセス番号をダイヤルし、ボイスメールの音声案内に従って行ってください。
- 録音内容の再生は、静かな環境でご利用ください。

通話録音の再生

■通話録音内容再生中の操作一覧

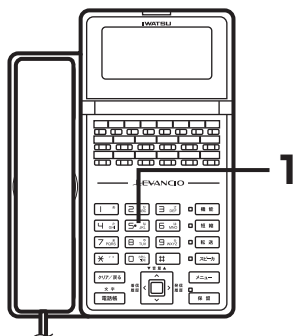
通話録音内容再生中には、次の操作を行えます。

ダイヤル	再生中機能
「1」	複数の録音内容がある場合、1つ前の録音内容を再生します
「2」	再生中の録音内容を繰り返し再生します
「3」	再生を中止し、次の録音内容を再生します
「4」	再生中の録音内容を倍速再生します
「5」	再生中の録音内容を消去します
「6」	(なし)
「7」	再生中の録音内容を数秒間巻き戻して再生します
「8」	再生中の録音内容を数秒間早送りして再生します
「9」	再生中の録音内容を保存します
「0」	ボイスメールの操作ガイダンスを読み上げます
「#」 「#」	再生を終了します
「ボックス」 ボタンまたは「6」 「1」	指定ボックスへメッセージを転送します
「*」 「*」 「1」	ボックス内の全ての録音内容が消去されます

通話録音された内容を消去する

聞き終わった伝言を消去します。

● 1件消去する



1 通話録音の再生中に、「5」ボタンを押します。

再生中の伝言が消去されます。

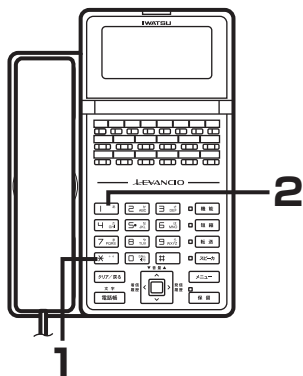
消去すると、次の録音内容の再生が始まります。次の未再生の録音がない場合は、保存メッセージがあれば、続けて保存メッセージの再生を行います。



Note

- 消去した録音内容を復活させる方法はありません。間違いのないように、慎重に操作してください。
- 未再生の伝言がなくなると、「ボックス」ボタンは消灯します。
- 同じボックスを他の電話機でも再生している場合は、伝言の消去ができない場合があります。

● 全件消去する



1 通話録音の再生中に、「*」 「*」 ボタンを押します。

確認のガイダンスが流れます。



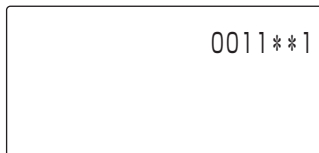
2 「1」ボタンを押します。

ボックス内の全ての録音内容が消去されます。

録音の再生は終了します。

未再生の録音内容がなくなると、「ボックス」ボタンは消灯します。

※「2」ボタンを押すか、何も操作しなかった場合は、全件消去の操作はキャンセルされます。次の録音内容の再生が開始されます。



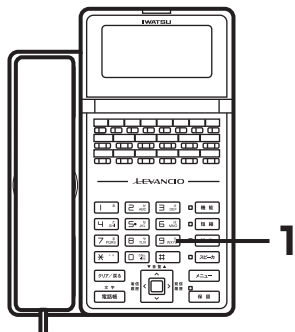
Note

- 消去した録音内容を復活させる方法はありません。間違いのないように、慎重に操作してください。
- 同じボックスを他の電話機でも再生している場合は、伝言の消去ができない場合があります。

通話録音の再生

通話録音された内容を保存する

録音内容を保存しておくこともできます。



- 1 通話録音の再生中に、「9」ボタンを押します。
再生中の録音内容が保存されます。
保存すると、次の録音内容の再生が始まります。次の未再生の録音内容がない場合は、保存メッセージがあれば、続けて保存メッセージの再生を行います。

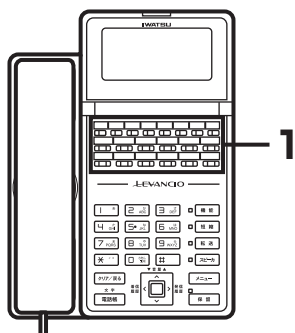


Note

- 保存された録音内容も、既定の日数（初期値：30日）が経過すると自動的に消去するように設定することができます。

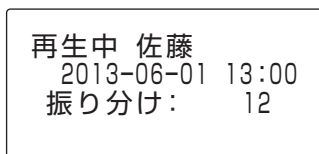
通話録音された内容を転送する〈振り分け〉

録音されている内容を、他のボックスに転送します。
グループ留守番電話のボックスに録音されている内容を、個別留守番電話のボックスに転送することもできます。



- 1 通話録音の再生中に、転送先のボックスの「ボックス」ボタンを押します。

転送先のボックスの「ボックス」ボタンが赤色で点灯します。
転送すると、次の録音内容の再生が始まります。未再生の録音内容がない場合は、再生済みの録音内容を再生します。
※「6」「1」ボタン+転送先ボックスの番号+「#」ボタンを押しても同じ操作ができます。
※転送の操作は、次の録音内容の再生が始まる前までは可能です。



Note

- 「ボックス」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

Note

- 録音されている内容を同報ボックスに転送することもできます。同報ボックスに転送すると、設定されている同報先ボックスに転送されます。この方法は、1件の録音内容を複数のボックスに転送するときに使用できます。
- 同報ボックスを使うためには、あらかじめ同報ボックスに同報先のボックスを設定しておく必要があります。
- 「同報ボックス1」～「同報ボックス4」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。
- 転送先の同報ボックスは、「同報ボックス1」～「同報ボックス4」を使用できます。
- 転送先に無効なボックスを指定した場合や、同報先が指定されていない同報ボックスを指定した場合、ボックス番号がない旨のガイダンスが聞こえます。
- 録音メモリが満杯等で転送先のボックスに保存できない場合には、録音できない旨のガイダンスが聞こえます。
- 転送先が同報ボックスの場合で、全ての同報先ボックスで録音メモリが満杯等で転送先のボックスに伝言を保存できない場合には、録音できない旨のガイダンスが聞こえます。
- 転送先のボックスに同報ボックスを指定した場合、同報ボックスボタンは点灯せず、同報ボックスに所属しているボックスボタンが点灯します。

再生時の暗証番号について〈再生パスワード〉

ボックスに暗証番号（再生パスワード）を設定して、ボックス使用者以外が再生することを防ぐことができます。暗証番号（再生パスワード）を設定すると、ボックスの内容を再生するときに、暗証番号（再生パスワード）の入力が必要になります。入力された暗証番号（再生パスワード）が間違っていると、ボックスの再生はキャンセルされます。



Note

- 入力した暗証番号（再生パスワード）が間違っていると、ガイダンスが流れます。ガイダンスに従って暗証番号（再生パスワード）を入力しなおしてください。なお、ガイダンスが流れている間は、入力できません。

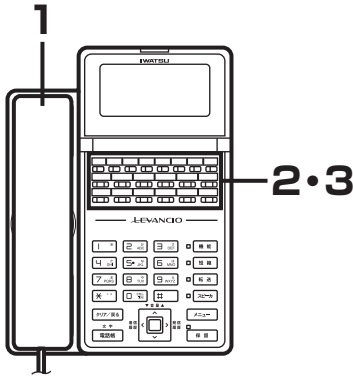
伝言録音機能

指定したボックスにメッセージを録音できます。

また、同報ボックスに録音すると、メッセージは、その同報ボックスの宛先として設定されているボックスの全てに保存されます。

同報ボックスは、同一のメッセージを複数のボックスに録音したいときに便利です。

メッセージを指定ボックス／同報ボックスに録音する〈伝言録音／同報録音〉



Note

- 「伝言録音」、「ボックス」、「同報ボックス」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

1 受話器を取り上げます。

2 「伝言録音」ボタンを押します。
“メールボックスNo.”と表示されます。

メールボックス No. 11

3 伝言を保存するボックスの「ボックス」ボタンを押します。
「伝言録音」ボタンが赤色で点滅します。

※メッセージを同報する場合は、「同報ボックス」ボタンを押します。

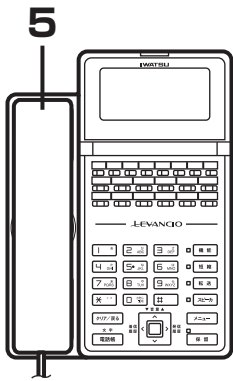
※「ボックス」ボタンのかわりに、ボックス番号+「#」ボタンを押しても同じ操作ができます。

ボイスメールアクセス

4 メッセージを話します。

Note

- 録音中に録音メモリ残量がなくなったときには、その時点でメッセージ録音を終了します。それまでのメッセージは録音されています。



5 受話器を置きます。

録音は自動的に終了し、「伝言録音」ボタンが消灯します。また、保存先ボックスの「ボックス」ボタンは赤色で点灯します。

録音したメッセージは、点灯しているボックスに保存されています。

6月 1日(土)16:35
11

Note

- メッセージの録音中は、録音先のボックスを変更できません。
- 同報ボックスを使うためには、あらかじめ同報ボックスに同報先のボックスを設定しておく必要があります。
- 録音中に録音メモリ残量がなくなったときには、その時点でメッセージ録音を終了します。それまでのメッセージは録音されています。
- 次の場合は、メッセージ録音できません。
 - 録音するボックスの録音件数が500件に達している
 - 録音するボックスの録音メモリ残量が不足している
 - 内線とお話し中の場合
 - 4者会議通話中の場合
 - 録音通話チャンネルが全て使用中の場合
- 録音した通話を再生するときは、「通話録音された内容を再生する」(6-75ページ)を参照してください。
- 保存先に同報ボックスを指定した場合、同報ボックスボタンは点灯せず、同報ボックスに所属しているボックスボタンが点灯します。

録音お知らせメール

留守番録音、通話録音、伝言録音によりメッセージが録音されると、自動的に携帯電話等にメールが送信されますので、外出先等で自分宛てのメッセージがあることを知ることができます。

録音お知らせメールを送信する

留守番録音、通話録音、伝言録音によりメッセージが録音されると自動でお知らせメールを送信することができます。



Note

- あらかじめデータ設定が必要です。

録音お知らせメールを受信する

1 携帯電話等でEメールを開きます。

2 以下の内容を知ることができます。

●留守番録音・通話録音の場合（携帯電話の表示例）

件名： 録音お知らせメール 留守番録音

本文：



Note

- アクセス先・コメントはあらかじめデータ設定が必要です。

メールBOX 11に留守番録音が入っています。

岩崎通信機 ←

電話帳に登録された発信者名称

03****4567 ←

発信者番号

5月30日10時00分 ←

録音日時

・録音時間：1分10秒

・アクセス先

03****5678 ←

折り返し電話番号1

03****5687 ←

折り返し電話番号2

・新着：計10件 ←

メール送付時点での未読件数

2013年度目標：お客様が笑顔になるような対応を心がけよう ←

コメント

●伝言録音の場合（携帯電話の表示例）

件名： 録音お知らせメール 伝言録音

本文：



Note

- アクセス先・コメントはあらかじめデータ設定が必要です。

メールBOX 11に伝言録音が入っています。

5月30日10時00分 ←

録音日時

・録音時間：1分10秒

・アクセス先

03****5678 ←

折り返し電話番号1

03****5687 ←

折り返し電話番号2

・新着：計10件 ←

メール送付時点での未読件数

2013年度目標：お客様が笑顔になるような対応を心がけよう ←

コメント

MEMO

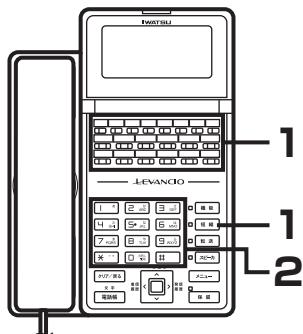
7. 多機能電話機

応用操作／応用機能編

外線発信関連

電話をかけるときの操作を省略できます。

簡単に発信操作をする〈クイックオペレーション〉



Note

- 各ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

1 該当するボタンを押します。

スピーカから発信音が聞こえます。

- 外線を指定する場合
→ 「外線」 ボタンを押します。
- 空いている外線を自動捕捉する場合
→ 「索線」 ボタンを押します。
- 内線にかける場合
→ 「内線」 ボタンを押します。
- 短縮ダイヤルする場合
→ 「短縮」 ボタンを押します。
- ダイヤルインボタンから外線へ発信する場合
→ 「ダイヤルイン」 ボタンを押します。
- 空いているダイヤルイン外線を自動捕捉する場合
→ 「索線ダイヤルイン」 ボタンを押します。

2 相手の電話番号または内線番号をダイヤルします。

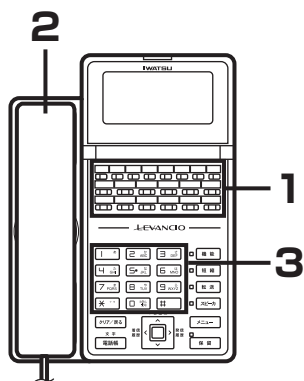
※ 短縮の場合は、短縮番号をダイヤルします。

※ 「DSS」、「内線代表」、「セーブナンバー」、「再発信」 ボタンを押した場合は、自動的にダイヤルされます。

外線グループ発信

グループ（部署ごとなどで決められた発信外線）の中から空いている外線を自動的に探すことができます。

●「索線番号」ボタンによる方法



Note

- 「索線番号」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

- 1 使用するグループの「索線番号」ボタンを押します。**
空いている外線を捕捉すると、スピーカから「ツー」という外線発信音が聞こえます。
※グループ内のすべての外線が使用中の場合は、「ツー、ツー、ツー」という話中音が聞こえます。この場合は、しばらく待って再び、「索線番号」ボタンを押してください。

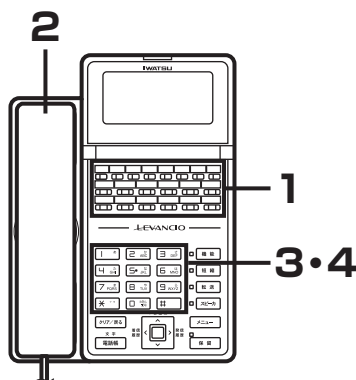
- 2 受話器を取り上げます。**

- 3 相手の電話番号をダイヤルします。**
※ISDN回線、ひかり電話回線、IP電話回線のときは、最後に「#」ボタンを押します。

局線 #2	GP.1
一般回線	

- 4 お話しします。**

●「索線」ボタンによる方法



Note

- 「索線」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。
- 外線グループ番号は、データ設定により、あらかじめ登録が必要です。登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

- 1 「索線」ボタンを押します。**
スピーカから「ツツツツツ」という発信音が聞こえます。

- 2 受話器を取り上げます。**

- 3 使用する外線グループ番号をダイヤルします。**
空いている外線を捕捉すると、「ツー」という外線発信音が聞こえます。
※外線グループ番号とは、グループ分けされている複数の外線全体に割り当てられる番号のことです。

局線 #2	GP.1
一般回線	

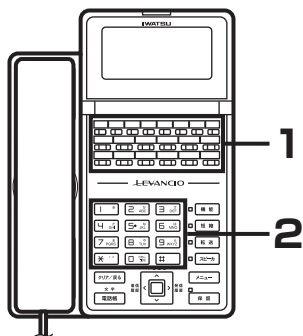
- 4 相手の電話番号をダイヤルします。**
※ISDN回線、ひかり電話回線、IP電話回線のときは、最後に「#」ボタンを押します。

- 5 お話しします。**

外線発信関連

ダイヤル回線でプッシュ信号を送る〈ダイヤルリバース〉

アナログ回線（ダイヤル式）に送出するダイヤル信号をプッシュ信号に切替えます。



1 外線と通話の状態ですら「ダイヤルリバース」ボタン（または「機能」 + 「1」「3」）を押します。

「ダイヤルリバース」ボタンが赤色で点灯します。

※ 再びこの操作を行うと回転ダイヤル信号に戻ります。

局線#2	GP.1
0:05	9円

2 ダイヤルボタンを押すと、プッシュ信号が出ます。

Note

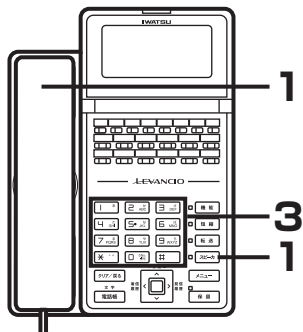
- 「ダイヤルリバース」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

Note

- データ設定により、あらかじめ自動ダイヤルリバースモードに登録しておく、自動的にプッシュ信号に替わります。お買い求めの販売店にお問い合わせください。
- ダイヤルリバース機能は、回線がダイヤル式のときのみ使用できます。
- PBX、CES（ビル電話）の外線着信のときには、自動ダイヤルリバースはできません。
- ISDN回線と通話しているとき、「ダイヤルリバース」ボタンで以下の動作を切り替えることができます。
プッシュ信号送出（消灯中）
キーパッドファシリティ送出（赤色点灯中）

受話器を上げるだけで外線を捕捉する〈空外線自動捕捉〉

受話器を取り上げるだけで、自動的に空いている外線を探すことができます。



Note

- 空外線自動捕捉機能を使用する場合は、電話機ごとに使用する外線アクセス番号、または外線グループアクセス番号の登録があらかじめ必要です。登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。

内線 11

2 空いている外線が自動的に捕捉されます。

「ツー」 という外線発信音が聞こえます。

※ すべての外線が使用中の場合は、「ツー、ツー、ツー」という話中音が聞こえます。

また、ディスプレイには「回線使用中」と表示されます。

局線#2 GP.1
一般回線

3 相手の電話番号をダイヤルします。

※ ISDN回線、ひかり電話回線、IP電話回線のときは、最後に「#」ボタンを押します。

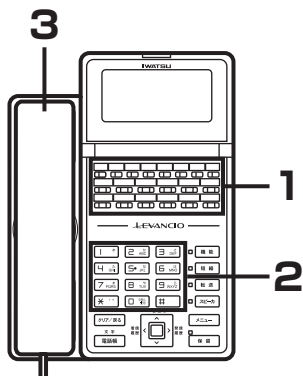
一般回線 03XXXX1234

外線発信関連

指定時間後に外線を予約する〈タイムドランクキューイング〉

指定時間後に外線を使用する予約ができます。

●外線時間予約方法



 **Note**

- タイムドランクキューイングは、電話機ごとに1つしかできません。
- 「タイムドランクキューイング」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

- 1 電話をかけた相手がお話し中または応答しないとき、そのままの状態ですべて「タイムドランクキューイング」ボタン（または「機能」+「2」「4」ボタン）を押します。
「タイムドランクキューイング」ボタンが赤色で点滅します。

一般回線

- 2 ダイヤルボタンを押し、何分後に外線を予約するかを入力します。（1～9分）

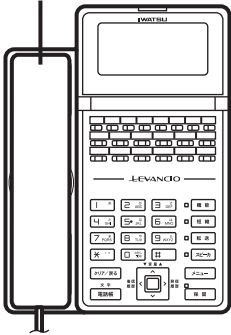
※予約が完了すると、「ブップップ」 という確認音が聞こえます。
「タイムドランクキューイング」ボタンが赤色で点灯します。

- 3 受話器を置きます。

 **Note**

- 1台の内線電話機で予約できる外線は1つです。タイムドランクキューイング、ドランクキューイング、オフフックドランクキューイングは同時に使用できません、最新の予約のみが有効になります。
- 複数の電話機が同一外線の予約をしている場合には、データ設定により、あらかじめ登録されている電話機の優先順に、外線の空きが通知されます。登録内容は、お問い合わせください。

2・4



●コールバックに应答する

1 コールバック予約時間の経過後、通知音が鳴ります。

コールバック #1
11

Note

- コールバック予約時間を経過したとき、予約した外線が使用中の場合は、予約した外線が空いた時点で通知音が鳴ります。このときの動作は、「トランクキューイング (7-8ページ)」を参照してください。
- 通知音が鳴ったら、一定時間に受話器を取り上げる操作がないと、予約は解除されます。

2 受話器を取り上げます。

予約したときに登録した相手の電話番号を自動発信します。

一般回線 035370****

3 相手が应答したら、お話しします。

局線#1 GP.1
0:05 9円

4 お話しが終了したら、受話器を置きます。

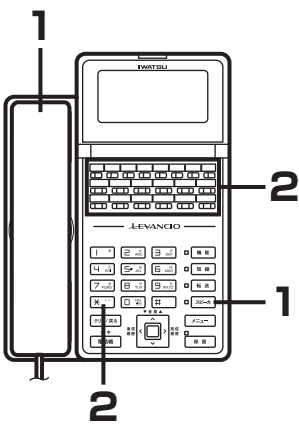
●外線時間予約の解除方法

1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。 「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。

内線 11

2 「タイムドトランクキューイング」、「*」ボタンの順（または「機能」+「0」「2」「4」ボタン）に押します。

※解除が完了すると、「プッププツ」という確認音が聞こえます。

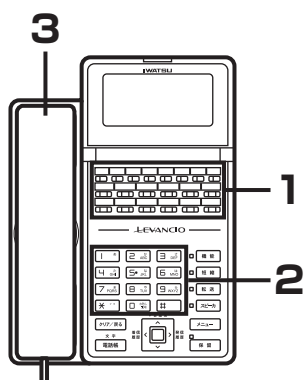


外線発信関連

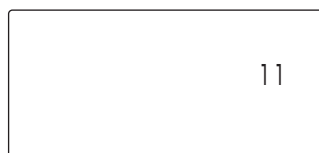
使用中の外線が空きになったことをお知らせする〈トランクキューイング〉

指定した外線が使用中または外線グループ内の全ての外線が使用中のときに予約登録を行い、その後外線が空いたときにお知らせします。

● 外線予約方法



- 1 話中音またはウェイティングトーンが聞こえる状態で、「トランクキューイング」ボタン（または「機能」＋「2」「3」ボタン）を押します。
「トランクキューイング」ボタンが赤色で点滅します。また、「ツツツツ」という第2ダイヤルトーンが聞こえます。

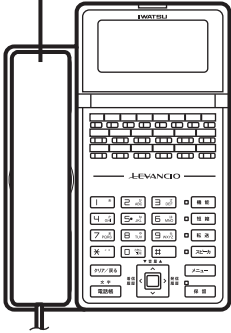


Note

- 「トランクキューイング」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。
- トランクキューイングは、電話機ごとに1つしかできません。
- 1台の内線電話機で予約できる外線は1つです。タイムドトランクキューイング、トランクキューイング、オフフックトランクキューイングは同時に使用できません、最新の予約のみが有効になります。

- 2 相手の電話番号をダイヤルします。
「トランクキューイング」ボタンが消灯します。
- 3 受話器を置きます。
「トランクキューイング」ボタンが赤色で点灯します。

2・4



●コールバックに应答する

1 予約した外線が空くと、通知音が鳴ります。

コールバック #2
11

Note

- 通知音が鳴ったら、一定時間に受話器を取り上げる操作がないと、予約は解除されます。

2 受話器を取り上げます。

予約したときに登録した相手の電話番号を自動発信します。

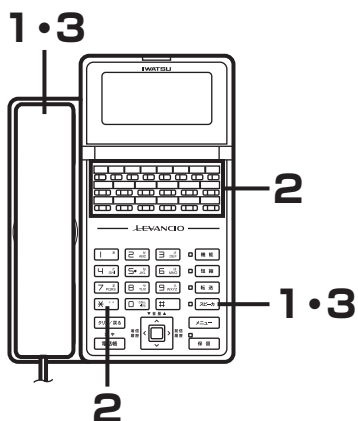
一般回線 035370****

3 相手が应答したら、お話しします。

局線#1 GP.1
0:05 9円

4 お話しが終了したら、受話器を置きます。

外線発信関連


 **Note**

- 「トランクキューイング」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

●外線予約の解除方法

- 1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。
「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。



- 2 「トランクキューイング」、[*] ボタンの順（または「機能」+ 「0」「2」「3」ボタン）に押します。

解除が完了すると、「プッププッ」という確認音が聞こえます。
「トランクキューイング」ボタンが消灯します。

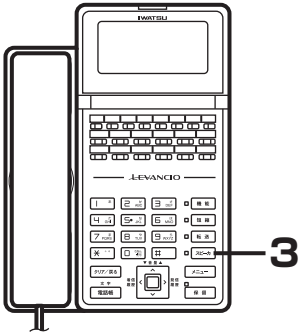
- 3 受話器を置くか「スピーカ」ボタンを押します。

 **Note**

- お知らせ音が鳴ったら、あらかじめ登録してある時間内に応答してください。
- トランクキューイングは、電話機ごとに1つしかできません。
- 複数の電話機が同一外線の予約をしている場合は、データ設定により、あらかじめ登録されている電話機の優先順に、外線の空きが通知されます。登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

受話器を持たないでお話する〈外線ハンズフリー通話〉

●外線ハンズフリー通話を行う（発信）



Note

- 「マイク」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

1 受話器を置いたまま、外線を捕捉して相手の電話番号をダイヤルします。

※あらかじめマイクをONにしておいてください。マイクのON操作は、「マイク」ボタン（または「機能」 + 「6」「1」ボタン）を押します。

※マイクをOFFにするには、もう一度「マイク」ボタン（または、「機能」 + 「0」「6」「1」ボタン）を押します。

03XXXX1234
一般回線

Note

- マイクがオンになると、「マイク」ボタンが赤色で点灯します
- マイクがオフになると、「マイク」ボタンが消灯します。

2 マイクに向かってお話しします。

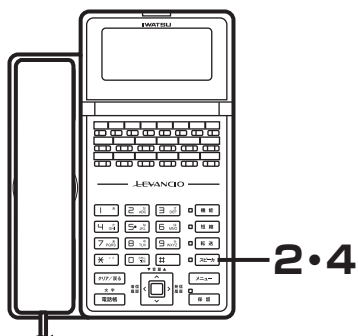
局線#2 GP.1
0:05 9円

3 お話しが終わったら、「スピーカ」ボタンを押します。

Note

- ハンズフリー通話のときは、電話機との距離が50 cmを越えないようにしてください。マイクが声をひろいにくくなります。
- 相手側の周囲、または自分側の周囲の騒音が大きいときは、通話が途切れることがあります。そのような場合は、受話器を取り上げてお話ししてください。

外線発信関連



●外線ハンズフリー通話を行う（着信）

- 1 着信音が鳴ります。
- 2 受話器を置いたまま、「スピーカ」ボタンを押します。
「スピーカ」ボタンが赤色で点滅します。

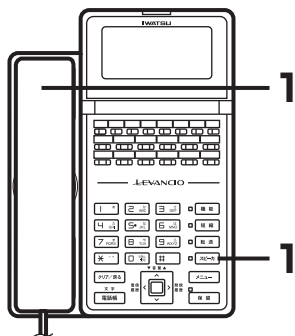
相手先 鈴木一郎
0:02
- 3 マイクに向かってお話しします。
- 4 お話しが終わったら、「スピーカ」ボタンを押します。

Note

- ハンズフリー通話のときは、電話機との距離が50 cmを越えないようにしてください。マイクが声をひろいにくなります。
- 相手側の周囲、または自分側の周囲の騒音が大きいときは、通話が途切れることがあります。そのような場合は、受話器を取り上げてお話ししてください。

外線自動発信

ダイヤルを押さずに特定の相手に自動発信するように設定することができます。



1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。

2 自動的に局線を捕捉し個別短縮番号（99）に登録されている電話番号が自動的にダイヤルされます。

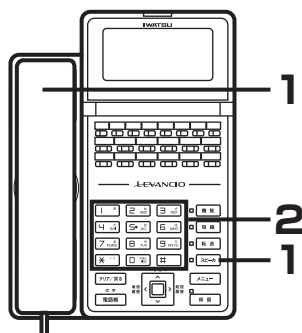
Note

- 外線自動発信を行うには、あらかじめデータ設定による電話機ごとの設定が必要です。お買い求めの販売店にお問い合わせください。
- 短縮桁数2桁の場合は個別短縮番号99になります。3桁、4桁または拡張4桁の場合は個別短縮番号919になります。

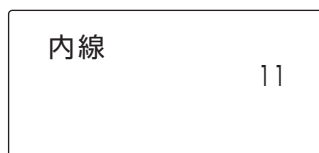
内線発信関連

受話器を上げるだけで内線を捕捉する〈内線自動捕捉〉

空いている内線を自動的に捕捉することができます。



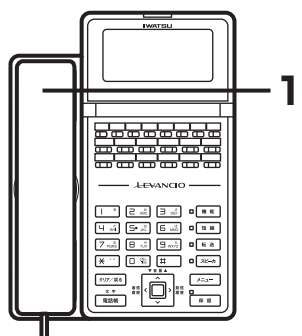
- 1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。
「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。



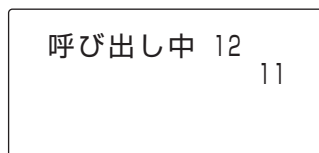
- 2 内線番号をダイヤルします。

受話器を上げるだけで特定の内線電話機を呼び出す〈内線ホットライン〉

受話器を取り上げるだけで特定の内線電話機を呼び出すことができます。



- 1 受話器を取り上げます。



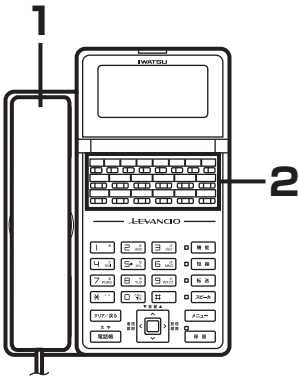
- 2 データ設定された内線番号を自動的に呼び出します。

Note

- 内線ホットライン機能を使用するには、データ設定により、あらかじめ登録が必要です。呼び出し先には、内線番号、代表呼び出し番号、一斉呼び出し番号、グループ呼び出し番号、ページング呼び出し番号が設定できません。
- 以下の機能は、内線ホットラインより優先されます。
 - 着信自動応答
 - 外線自動発信
 - 外線自動捕捉

呼び出したい部署の電話を一齐に呼び出す 〈グループ呼び出し〉

グループ内の全ての電話機を呼び出します。

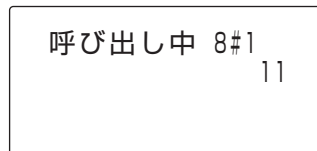


1 受話器を取り上げます。



2 呼び出したいグループの「ページンググループ」ボタンを押します。

予告音が聞こえます。



Note

- グループ呼び出しの開始時、呼び出し先に予告音を送出されます。予告音を止める、または変更するには、あらかじめ設定が必要です。

Note

- 「ページンググループ」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。
- ページンググループの代わりに、グループごとに設定されている呼び出し番号をダイヤルして呼び出すこともできます。

3 お話しします。

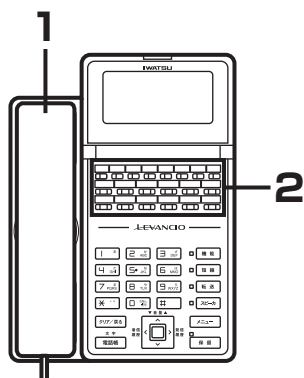
Note

- 外線とお話中に、「ページンググループ」ボタンを押すと、お話し中の外線を共通保留にした後、呼び出します。また、システム電話機の場合は、転送保留にした後、呼び出します。
- グループ呼び出しは、音声呼び出しになります。トーン呼び出しによる呼び出しもできます。
- グループ呼び出しには、以下の電話機が応答できます。
 - 音声呼び出しの場合：最初にミー・ミー応答した電話機のみ
「外部スピーカからの呼び出しに電話機で応答する〈ミー・ミー応答〉(11-15ページ)
 - トーン呼び出しの場合：最初に受話器を取り上げて応答した電話機のみ
- 以下の電話機は、鳴音しません。
 - 不在転送が設定されている
 - ドントディスターブが設定されている
 - 不在メッセージが設定されている
 - 強制解放されている
- グループ呼び出し開始時の予告音は、ページング呼び出し開始時の予告音と同じです。

内線発信関連

すべての電話機を一斉に呼び出す〈一斉呼び出し〉

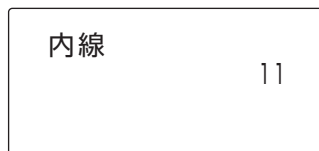
複数の電話機と外部スピーカを音声呼び出しします。



 **Note**

- 「一斉」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。
- 外部スピーカを呼び出すには、外部スピーカ、アンプが必要です。

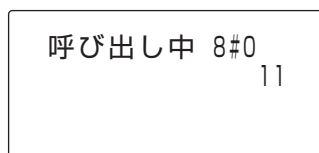
1 受話器を取り上げます。



2 「一斉」ボタン（または、一斉呼び出し番号:「8」「#」「0」）を押します。

予告音が聞こえます。

呼び出し先に予告音を送出されます。



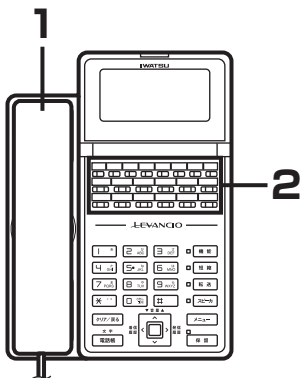
 **Note**

- 一斉呼び出しの開始時、呼び出し先に予告音を送出されます。予告音を止める、または変更するには、あらかじめ設定が必要です。

3 お話しします。

 **Note**

- 外線とお話し中に、「一斉」ボタンを押すと、お話し中の外線を共通保留にした後、呼び出します。また、システム電話機の場合は、転送保留にした後、呼び出します。
- 以下の電話機は、鳴音しません。
 - 不在転送が設定されている
 - ドントディスターブが設定されている
 - 不在メッセージが設定されている
 - 強制解放されている
- 予告音は、ページング呼び出し開始時の予告音と同じです。
- 一斉呼び出しには、最初にミート・ミー応答で応答した電話機のみ応答できます。「外部スピーカからの呼び出しに電話機で応答する〈ミート・ミー応答〉」(11-15ページ)を参照してください。



Note

- 「一斉呼び出し」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。
- 外部スピーカを呼び出すには、外部スピーカ、アンプが必要です。

●「一斉呼び出し」ボタンで呼び出す
ボタンを押している間音声呼び出しができます。

1 受話器を取り上げます。

内線 11

2 「一斉呼び出し」ボタンを押したまま、お話しします。
予告音が聞こえます。

呼び出し中 8#0 11

Note

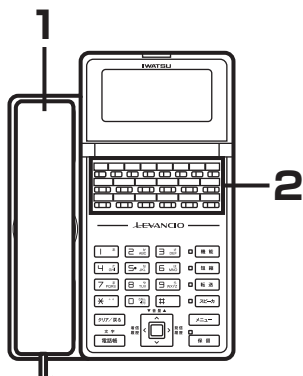
- 予告音を止める、または予告音を変更することができます。

3 お話しが終わったら、「一斉呼び出し」ボタンから手を離します。

Note

- 外線とお話中に、「一斉呼び出し」ボタンを押すと、お話し中の外線を共通保留にした後、呼び出します。ただし、簡易中継台の場合は、お話し中の外線を転送保留にした後、呼び出しますが、受話器を置くとリコール着信となります。
- 以下の電話機は、鳴音しません。
 - 不在転送が設定されている
 - ドントディスターブが設定されている
 - 不在メッセージが設定されている
 - 強制解放されている
- 予告音は、ページング呼び出し開始時の予告音と同じです。
- 一斉呼び出しには、最初にミート・ミー応答で応答した電話機のみ応答できます。「外部スピーカからの呼び出しに電話機で応答する〈ミート・ミー応答〉」(11-15ページ)を参照してください。

内線発信関連



 **Note**

- 「DSS」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。
- 外部スピーカを呼び出すには、外部スピーカ、アンプが必要です。

内線をワンタッチで呼び出す〈DSS〉

1 受話器を取り上げます。

内線 11

2 相手の「DSS」ボタンを押します。

DSSに設定されている内線を呼び出します。

呼び出し中 12
11

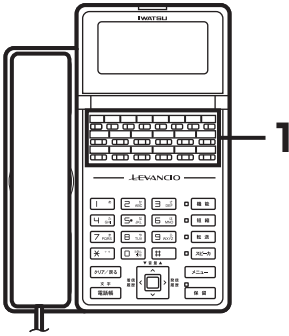
3 お話しします。

 **Note**

- 「DSS」ボタンのランプ表示
 - ドントディスタープ中または不在転送中のとき：点滅（赤）
 - 通話中のとき：点灯（赤）
 - 空き状態のとき：消灯
- ただし、システム電話機の「DSS」ボタンは、該当する電話機が呼び出されている時も赤色で点灯します。

応答しない内線電話機を強制的に呼び出すとき 〈オーバーライド〉

応答しない内線電話機（着信拒否、通話中）を強制的に呼び出すことができます。この機能はオーバーライド可のデータ設定をされた電話機か、フレキシブルボタンに「オーバーライド」ボタンを登録した電話機で利用できます。



1 呼び出し先が通話中の場合「オーバーライド」ボタンを押します。

相手の電話機には、割り込み音が聞こえます。

※あらかじめオーバーライド可のデータ設定をしている電話機では、この操作は必要ありません。

話中呼び出し 12
11

Note

- 「オーバーライド」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

2 相手が通話中でも呼び出しを行います。

Note

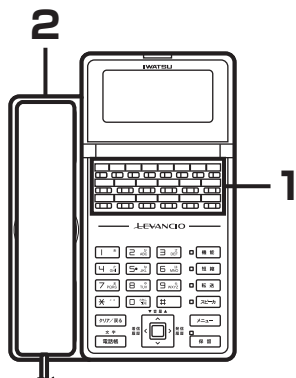
- 話中呼び出し禁止の電話機に対しても、オーバーライドは有効です。
- オーバーライド可能な電話機からの呼び出しが着信中に、他のオーバーライド可能な電話機から呼び出しを行った場合、後から呼び出した電話機には話中音が聞こえます。
- 以下の場合、オーバーライドは無効になります。
 - 操作規制が設定されている電話機に対する呼び出し
 - お話中のドアホンに対する呼び出し

内線発信関連

呼び出した相手が話中のときお話しが終了したことを知らせる〈コールバック〉

通話中の内線通話が終了したことをお知らせします。

● 設定方法



1 内線の相手が通話中または着信拒否をしている場合に、その状態で「内線コールバック」ボタン（または「機能」+「4」「3」ボタン）を押します。

※「内線コールバック」ボタンが、赤色に点灯します。また、設定が完了すると、「ブップブップ」という確認音が聞こえます。

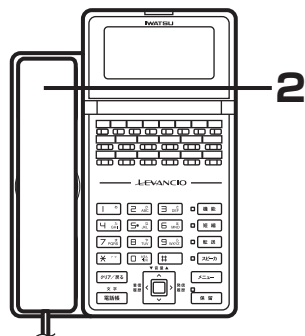
6月 1日(土)16:35
11

2 受話器を置きます。

📌 Note

- 「内線コールバック」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。
- コールバックを設定できる相手は1ヶ所です。

● 呼び返しがきたら



1 内線コールバック音が鳴ります。

内線コールバック 12
11

2 受話器を取り上げます。

「ブルルルル」という呼出音に切り替わります。

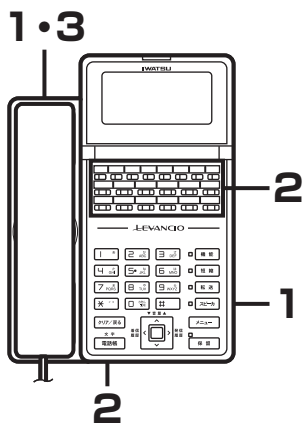
※データ設定により、あらかじめ登録された時間内に応答しないときは取り消されます。

呼び出し中 12
11

3 相手とつながったら、お話しします。

📌 Note

- 相手がドントディスターブ中にコールバックを設定した場合、ドントディスターブが解除された時点で、コールバックを行います。
- 以下の場合、コールバックは無効になります。
 - 通知音が鳴っている間に応答しないとき
 - コールバック通知時に、内線着信よりも優先順位の高い呼び出しで話中状態のとき



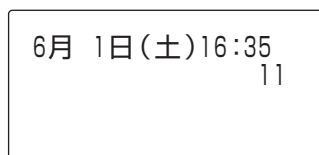
●解除方法

1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。
「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。



2 「内線コールバック」、「*」ボタンの順（または「機能」+「0」「4」「3」ボタン）に押します。

※「内線コールバック」ボタンが消灯します。また、解除が完了すると、「プッププ」
という確認音が聞こえます。



3 受話器を置くか「スピーカ」ボタンを押します。



Note

- 「内線コールバック」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

着信関連

通話中に着信があったとき〈話中着信〉

通話中に他の外線に着信があったときに、「プルプルプル」という小さな着信音を鳴らすことができます。

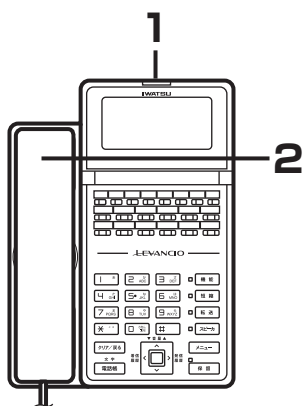


Note

- 話中着信データ設定されていない電話機では、通話中の着信音は鳴りません。
- FAX端末に対しては、話中着信のデータ設定は、行わないようにしてください。

受話器を上げるだけで自動的に外線に应答する 〈外線着信自動应答〉

受話器を取り上げるだけで、自動的にかかってきた外線に应答することができます。



- 1 着信音が鳴ります。**
「トゥルトゥルトゥル」という呼出音が鳴ります。
着信している「外線」ボタンと着信ランプが、赤色で点滅します。
- 2 受話器を取り上げます。**
- 3 お話しします。**

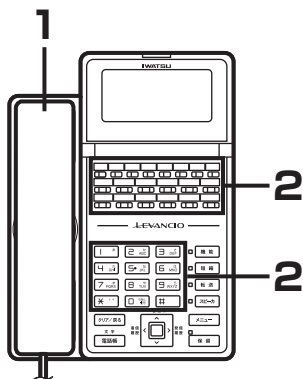
Note

- 複数の外線に対して外線着信自動应答機能が設定されているときには、应答の優先順位は着信順となります。
- 受話器を取り上げる代わりに、「スピーカ」ボタンを押して应答することもできます。

着信関連

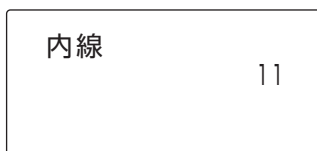
着信している電話機を他の電話機で応答する
(着信代理応答)

着信鳴音している電話機の人が不在でも、他の電話機から代理応答することができます。


 **Note**

- あらかじめ外線応答規制に登録されている外線には代理応答できません。登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。
- 代理応答を行う場合は、あらかじめ代理応答できるグループを登録する必要があります。登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。
- 「グループ内代理応答」、「グループ外代理応答」、「個別代理応答」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

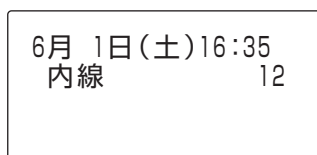
1 受話器を取り上げます。



2 応答する着信により、以下の操作を行います。

● グループ内への着信の場合

→ 「グループ内代理応答」ボタン (または「機能」 + 「3」「1」ボタン) を押します。



● 他の外線代理応答グループ (部署など) への着信の場合

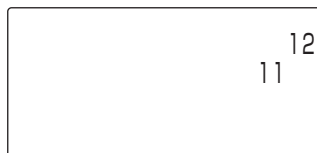
→ 「グループ外代理応答」ボタン (または「機能」 + 「3」「2」ボタン) と、応答したい3桁のグループ番号を押します。

※ 「グループ外代理応答n」ボタンが割り当てられている場合は、「グループ外代理応答n」ボタンを押します。



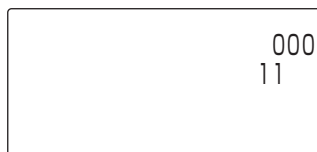
● 着信している電話機の内線番号を指定して応答する場合

→ 「個別代理応答」ボタン (または「機能」 + 「3」「3」ボタン) と、着信している電話機の内線番号を押します。



● 全ての外線代理応答グループへの着信に応答する場合

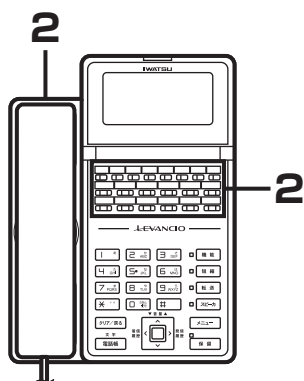
→ 「グループ外代理応答」ボタン (または「機能」 + 「3」「2」ボタン) と、「0」「0」「0」ボタンを押します。



3 お話しします。

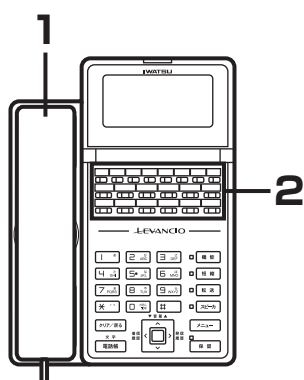
秘書応答

設定された他の電話機（例えば上司の電話機）にかかってきた着信に応答することができます。この機能は、あらかじめデータ設定された電話機で利用できます。



Note

- 「秘書応答」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。
- リコール着信、ページング呼び出し、内線音声呼び出しなどは、秘書応答着信の対象外となります。



Note

- 「秘書応答」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

● 他の内線電話機への着信に応答する場合

1 「秘書応答」ボタンが緑色に点滅し、秘書応答着信音が鳴ります。

※ ランプが高速点滅のときは外線着信、低速点滅のときは内線着信です。

6月 1日(土)16:35
11

2 受話器を取り上げ「秘書応答」ボタンを押します。

相手先 03XXXX1234
0:40

3 お話しします。

● 設定された他の内線電話機の呼び出し

1 受話器を取り上げます。

内線
11

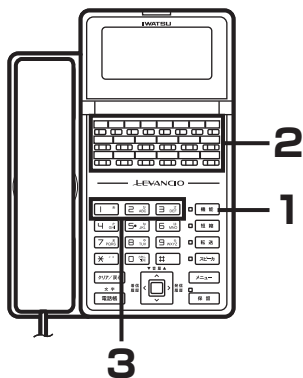
2 「秘書応答」ボタンを押します。

呼び出し中 12
11

3 相手が応答したら、お話しできます。

※ 呼び出す電話機は、着信に応答する電話機（例えば上司の電話機）と同じです。

着信関連



● 秘書応答着信音のモードの変更

1 受話器を置いた状態で「機能」ボタンを押します。

2 「秘書応答」ボタンを押します。
現在の秘書応答着信音のモードが、ランプとディスプレイで表示されます。

内線12 無鳴音
11

内線12 即時鳴音
11

内線12 遅延鳴音
11

3 設定したいモードに該当するダイヤルボタン（1～3）を押します。

秘書応答着信音のモード即時鳴音、遅延鳴音、無鳴音の3種類があります。

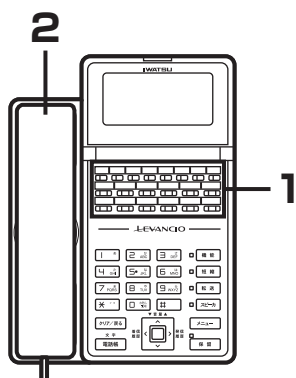
- 即時鳴音 → 「1」ボタン
- 遅延鳴音 → 「2」ボタン
- 無鳴音 → 「3」ボタン

**Note**

- 「秘書応答」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。
- 遅延鳴音するまでの時間（秒）は、データ設定により、あらかじめ登録が必要です。

外線着信グループ応答

他の電話機にかかってきた外線にワンタッチで応答できます。



1 赤色で点滅している「外線応答グループ」ボタンを押します。

2 受話器を取り上げます。

3 お話しします。

Note

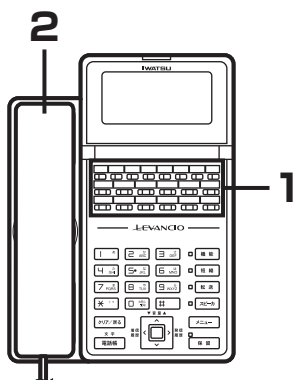
- 応答する電話機の「外線応答グループ」ボタンに割り当てられていない外線には、応答できません。
- 「外線応答グループ」ボタンに複数の着信がある場合は、先着順の応答となります。
- 「外線応答グループ」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

保留・転送関連

外線 / 内線を特定ボタンに保留する / 再応答する
〈個別パーク保留〉〈グループパーク保留〉

お話し中の外線 / 内線を特定ボタンに保留します（パーク保留）。
パーク保留には、個別パーク保留とグループパーク保留があります。

- 個別パーク保留
お話し中の外線 / 内線を電話機固有のボタンに保留します（電話機に1個だけ持てます）。
自己保留となるため、誤って他の人が応答することを防げます。
- グループパーク保留
お話し中の外線をシステム共通のボタンにグループ分けして保留します（システムに最大30個持てます）。お話し中の保留をグループ分けできるため、電話の取次ぎがスムーズに行えます。
- グループパークに保留する

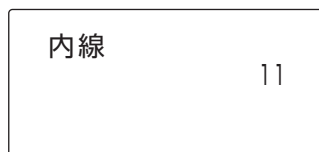


Note

- 「グループパーク」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。
- 内線をグループパークに保留することもできます。

1 外線とお話し中に、保留する「グループパーク」ボタンを押します。

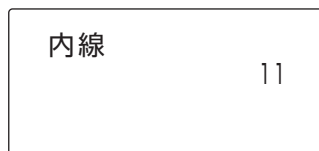
お話し中の外線が保留状態となり、「グループパーク」ボタンが緑色で点滅します。



2 受話器を置きます。

● 空いているグループパークに自動保留する

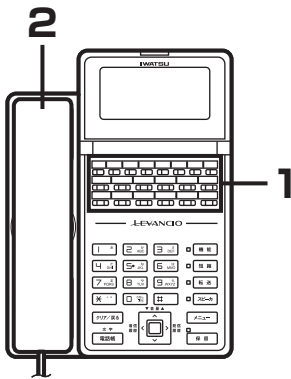
- 1** 外線とお話し中に、「自動パーク保留」ボタンを押します。
電話機に割り当てられている空きの「グループパーク」ボタンを検索し、お話し中の外線を空いているグループパークに保留します。
保留した「グループパーク」ボタンが緑色で点滅します。



2 受話器を置きます。

Note

- 「自動パーク保留」、「グループパーク」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。
- 内線をグループパークに保留することもできます。



Note

- 「グループパーク」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

●グループパークに保留中の外線に应答する（保留した電話機からの应答）

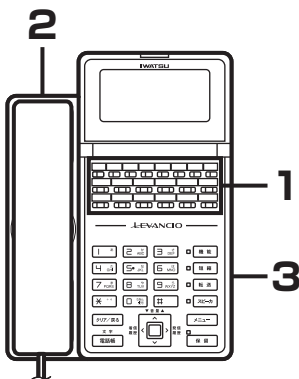
1 保留中の「グループパーク」ボタンを押します。

6月 1日(土)16:35
11

2 受話器を取り上げます。
保留していた相手とのお話しに戻ります。

相手先 鈴木一郎
0:01

3 お話しします。



Note

- パークオービット番号は、データ設定により、あらかじめ登録が必要です。登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

●グループパークに保留中の外線に应答する（グループパークボタンが設定されていない電話機または保留した電話機以外からの应答）

1 「内線」ボタンを押します。

内線
11

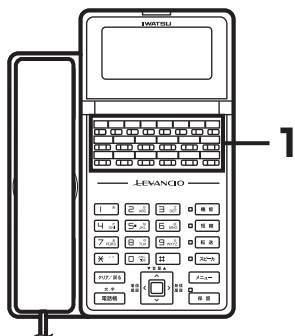
2 受話器を取り上げます。

3 保留中のグループパークに対応するパークオービット番号をダイヤルします。
保留していた相手とのお話しに戻ります。

局線#2 GP.1
0:05 9円

4 お話しします。

保留・転送関連



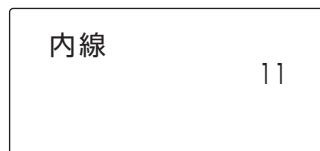
 **Note**

- 「個別パーク」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

● 個別パークに保留する

1 外線または内線とお話し中に、「個別パーク」ボタンを押します。

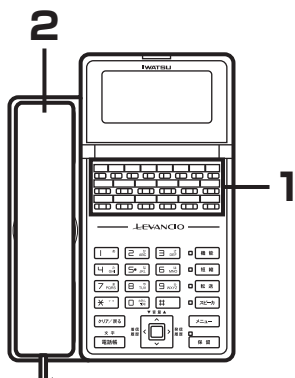
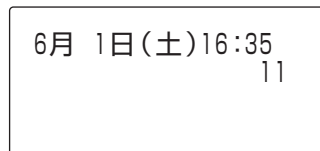
お話し中の外線／内線が保留状態となり、「個別パーク」ボタンが緑色で点滅します。



 **Note**

- お話し中に着信があったときは「個別パーク」ボタンを押すと、お話し中の相手を個別パーク保留して着信に応答できます。「個別パーク」ボタンを押すごとに、通話相手（お話し中の相手と個別パーク保留中の相手）が切替わります。

2 受話器を置きます。

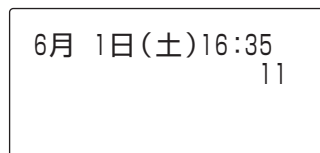


 **Note**

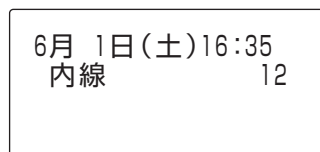
- 「個別パーク」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

● 個別パークに保留中の外線／内線に応答する（保留した電話機からの応答）

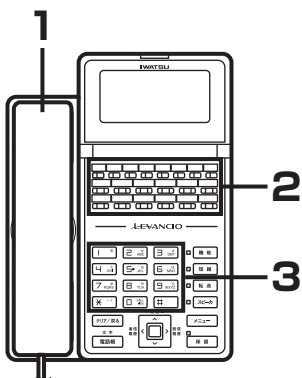
1 「個別パーク」ボタンを押します。



2 受話器を取り上げます。



3 お話しします。



Note

•「コールパークピックアップ」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

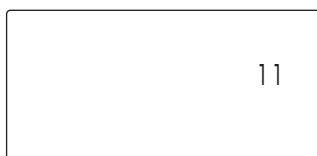
●個別パークに保留中の外線／内線に応答する（保留した電話機以外からの応答）

1 受話器を取り上げます。

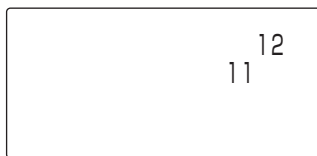


2 「コールパークピックアップ」ボタン（または「機能」＋「3」「4」ボタン）を押します。

「コールパークピックアップ」ボタンが赤色で点滅します。



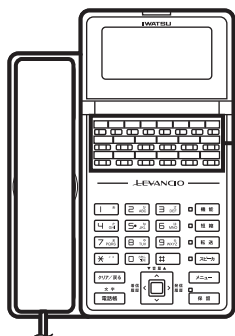
3 個別パークに保留した電話機の内線番号をダイヤルします。
保留していた相手とのお話しに戻ります。



4 お話しします。



保留・転送関連



● 個別パーク保留で通話相手を切り替えるとき

- 1 通話の状態では他から着信があると、「外線」ボタンまたは「内線」ボタンのランプが赤色で点滅します。
- 2 「個別パーク」ボタンを押します。
通話中の外線、または内線が個別保留されます。
- 3 着信している他の「外線」または「内線」ボタンを押して応答します。
- 4 新規の相手と通話中に「個別パーク」ボタンを押します。
- 5 もとの通話相手とつながります。
新規の通話相手が個別パーク保留されます。

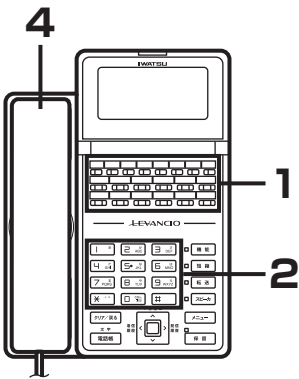
 **Note**

- 手順 (2) ~ (5) の操作の後、「個別パーク」ボタンを押すことにより、2つの通話相手との保留、応答が瞬時に切り替えられます。
- 「個別パーク」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

通話中の内線を他の電話機に強制的に転送する 〈自動転送／内線キャンプオン〉

通話中の内線を、他の電話機に強制的に転送することができます。この機能は、あらかじめオンフックキャンプオンを設定された電話機で利用できます。

●自動転送する



1 内線通話の状態です「転送」ボタン（または「保留」ボタン）を押します。

保留状態となり、「転送」ボタンが赤色で点滅し、「ツツツツ」という第2ダイヤルトーンが聞こえます。

内線 11

Note

- ドアホン呼び出し、一斉呼び出し、グループ呼び出し、およびページング呼び出し中には、内線通話を転送できません。
- 内線会議のお話しも、自動転送できます。
- 「保留」ボタンで操作する場合は、あらかじめデータ設定が必要です。

2 転送先の内線番号をダイヤルします。

呼び出し中 15
11

3 転送先の相手とつながったら、電話が入っていることを伝えます。

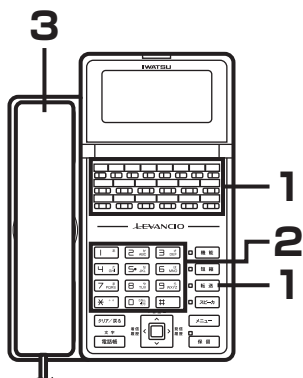
※ 転送先が応答しない場合、「転送」ボタンを押すと、保留した内線とのお話しに戻ります。

6月 1日(土)16:35
内線 15

4 受話器を置きます。

6月 1日(土)16:35
11

保留・転送関連



●内線キャンプオン

1 内線通話の状態です「転送」ボタン（または「保留」ボタン）を押します。

保留状態となり、「転送」ボタンが赤色で点滅し、「ツツツツツ」という第2ダイヤルトーンが聞こえます。

内線 11

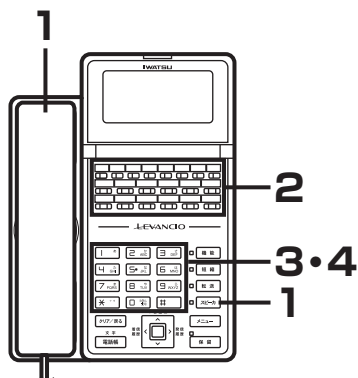
2 転送先の内線番号をダイヤルします。

呼び出し中 15 11

3 受話器を置きます。**4** 転送されます。**Note**

- 転送先が通話中でも内線を転送することができます。
- 「転送」ボタンが赤色で点滅中のとき「転送」ボタンを押すと、保留した内線に再び応答できます。
- キャンプオン着信の鳴音は、トーン呼び出しのみです。
- 内線会議のお話しも、キャンプオン転送することができます。
- ドアホン呼び出し中、一斉呼び出し中、グループ呼び出し中、およびページング呼び出し中には、キャンプオン着信できません。
- 「保留」ボタンで操作する場合は、あらかじめデータ設定が必要です。

離席のときにかかってきた電話を内線に転送する〈不在転送-ルート方式〉



Note

- 「不在転送」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。
- ルート3は取り付け時の設定で登録します。
- ルート3は内線専用です。

● 転送先を登録する

1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。

内線 11

2 「不在転送」ボタンを押します。 「不在転送」ボタンが赤色で点滅します。

不在転送ルート [1/2]
[*]解除 [#]その他

3 ルート番号 (1または2) を入力します。

- ルート1 → 「1」ボタン
- ルート2 → 「2」ボタン

不在転送モード 1 [1, 2, 3]
[*]解除

Note

- ルート2 を登録した場合は、ルート1も登録が必要です。

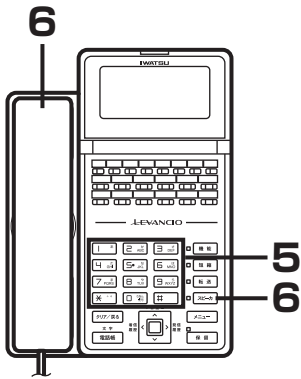
4 転送モード (1~3) を入力します。

- 即時転送モード → 「1」ボタン
- 話中・未応答転送モード → 「2」ボタン
- 未応答転送モード → 「3」ボタン

即時転送先 50

保留・転送関連

(前ページの続き)

**5** 転送先の内線を入力します。

登録が完了すると、「ブップブツ」という確認音が聞こえます。

「不在転送」ボタンが赤色で点灯または点滅します。

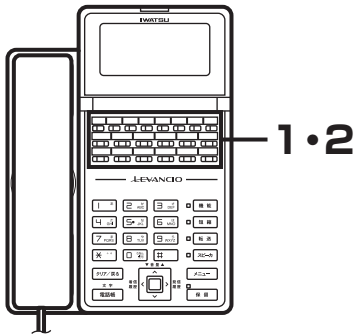
※ 転送先が登録できない場合は、「ツーッ、ツーッ、ツーッ」という警告音が聞こえます。

**6** 受話器を置くか、「スピーカ」ボタンを押します。

※ 別のルートの登録を行う場合は、再度手順 (1) から操作してください。

Note

- 転送先として外線の電話番号を登録後、電話機の市外発信クラスが外線発信禁止になった場合は、外線への不在転送はできません。
- 内線通話規制されている電話機は、不在転送先に設定できません。
- 外線着信は、転送先の内線電話機がその外線に対し外線応答規制されている場合には転送されません。
- 内線着信を不在転送するとき、転送先の電話機がドントディスタープ中、または不在メッセージを登録している場合、転送元の電話機が呼び出されます。
- 外線着信を不在転送するとき、転送先の電話機がドントディスタープ中、または不在メッセージを登録している場合、転送先、転送元の電話機ともに着信しません。ただし、外線個別着信の場合は、内線着信と同様に転送元の電話機が呼び出されます。

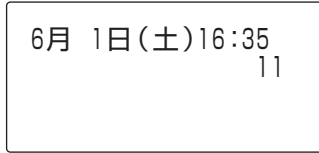


Note

- 「不在転送」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

●不在転送をオン／オフする

- 1 受話器を置いたまま「不在転送」ボタンを押します。
転送電話がオフになり、「不在転送」ボタンが消灯します。



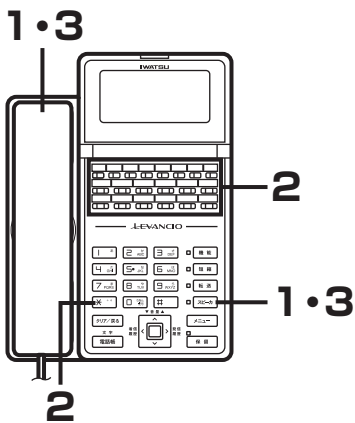
- 2 再び「不在転送」ボタンを押します。
転送電話がオンになり、「不在転送」ボタンが赤色で点灯または点滅します。

●転送先を一括して取り消す

登録しているルート番号1とルート番号2の転送先（転送ダイヤル）が消去されます。

Note

- ルート番号3の登録を取り消すには、設定を変更する必要があります。



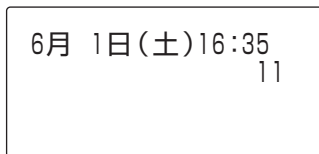
Note

- 「不在転送」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

- 1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。



- 2 「不在転送」、「*」ボタンを押します。
取り消しが完了すると、「プッププッ」という確認音が聞こえ、「不在転送」ボタンが消灯します。



- 3 受話器を置くか「スピーカ」ボタンを押します。

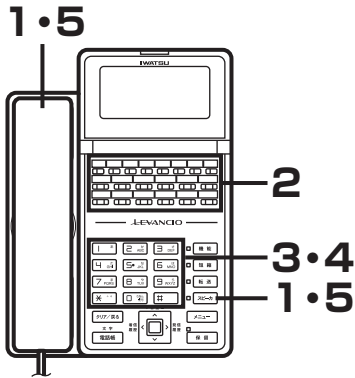
保留・転送関連

● 転送先をルートごとに取り消す

登録している転送先（転送ダイヤル）が消去されます。

 **Note**

• ルート番号3の登録を取り消すには、設定を変更する必要があります。


 **Note**

• 「不在転送」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。

内線 11

2 「不在転送」ボタンを押します。

「不在転送」ボタンが赤色で点滅します。

不在転送ルート [1/2]
[*]解除 [#]その他

3 ルート番号（1または2）を押します。

- ルート1 → 「1」ボタン
- ルート2 → 「2」ボタン

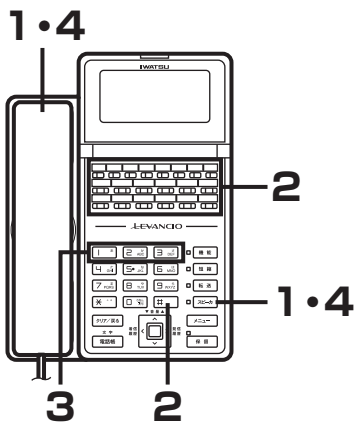
不在転送モード*1 [1, 2, 3]
[*]解除

4 「*」ボタンを押します。

取り消しが完了すると、「ブップブップ」という確認音が聞こえます。
※ ルート1が取り消された場合、「不在転送」が消灯します。

6月 1日(土)16:35
11

5 受話器を置くか「スピーカ」ボタンを押します。



● 転送モードを変更する

1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。

内線 11

2 「不在転送」、「#」、「#」ボタンの順に押します。

転送モード (1, 2, 3)
11

3 ダイヤルボタンで転送モード (1~3) を選択します。

- 即時転送モード → 「1」ボタン
- 話中・未応答転送モード → 「2」ボタン
- 未応答転送モード → 「3」ボタン

変更が完了すると、「ブップッ」 という確認音が聞こえます。

※「不在転送」ボタンのランプ表示は、変更した転送モードにより異なります。

即時転送モード : 点灯 (赤)

話中・未応答転送モード : 点滅 (赤)

未応答転送モード : 点滅 (赤)、消灯を繰り返す

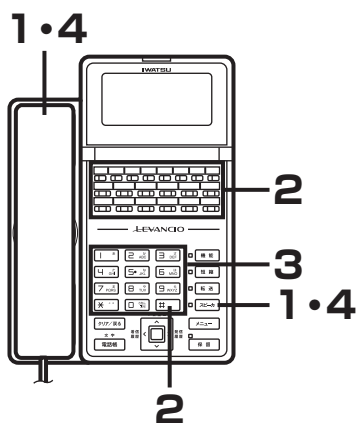
4 受話器を置くか「スピーカ」ボタンを押します。

保留・転送関連

● 不在転送先を、操作した電話機に変更する方法

 Note

- 変更される内線電話機の転送機能が休止中のとき、転送先の変更はできません。
- 不在転送先の変更対象はルート1の転送先のみです。
- 自分の内線電話機に設定した不在転送を、移動先の内線電話機に不在転送するよう、移動先の電話機から登録します。自分の内線電話機への着信が、移動先の内線電話機（本操作を行った電話機）に不在転送されます。

**1** 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。

内線
11

2 「不在転送」、「#」ボタンの順に押します。

不在転送先変更
[#]ソタ

3 転送を登録している電話機の内線番号を入力します。

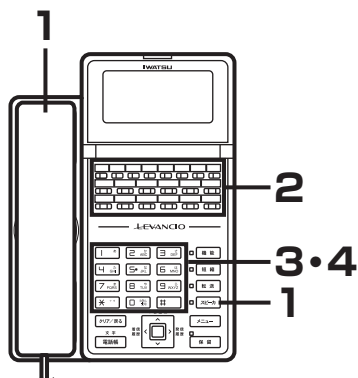
登録が完了すると、「プップップ」という確認音が聞こえます。

※転送先が登録できない場合は、「ツーツ、ツーツ、ツーツ」という警告音が聞こえます。

4 受話器を置くか「スピーカ」ボタンを押します。

転送変更の操作を行った電話機が新しい転送先になります。

離席のときにかかってきた電話を内線に転送する〈不在転送-単一方式〉



Note

- 「不在転送」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。
- 外線着信は、転送先の内線電話機がその外線に対し外線応答規制されている場合には転送されません。

● 転送先を登録する

1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。

内線 11

2 「不在転送」ボタンを押します。 「不在転送」ボタンが赤色で点滅します。

不在転送モード*[1, 2, 3]
[*]解除[#]その他

3 ダイヤルボタンで転送モード（1～3）を選択します。

- 即時転送モード → 「1」ボタン
- 話中・未応答転送モード → 「2」ボタン
- 未応答転送モード → 「3」ボタン

即時転送先 50

4 転送先の内線番号を入力します。

登録が完了すると、「プップップ」という確認音が聞こえます。
「不在転送」ボタンが赤色で点灯または点滅します。

※ 転送先が登録できない場合は「ツーツ、ツーツ、ツーツ」という警告音が聞こえます。

※ 「不在転送」ボタンのランプ表示は、登録した転送モードにより異なります。

即時転送モード : 点灯 (赤)

話中・未応答転送モード : 点滅 (赤)

未応答転送モード : 点滅 (赤)、消灯を繰り返す

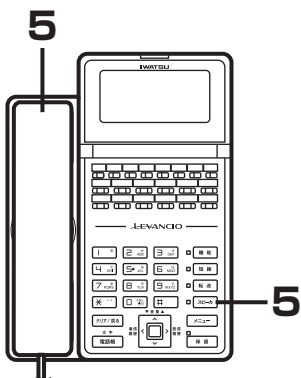
12
11

Note

- 外線通話規制されている電話機は、不在転送先に設定できません。

保留・転送関連

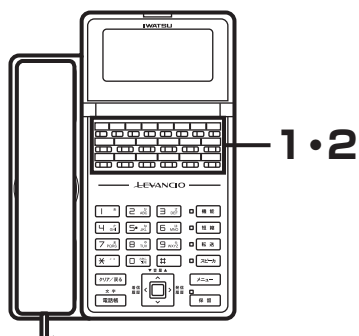
(前ページの続き)



5 受話器を置くか「スピーカ」ボタンを押します。

 **Note**

- 転送先として外線の電話番号を登録後、電話機の市外発信クラスが外線発信禁止になった場合は、外線への不在転送はできません。
- 転送先の内線電話機も不在転送を登録している場合は、さらにその転送先の内線電話機へ転送されます。ただし、転送回数には制限があります。
- 内線着信を不在転送するとき、転送先の電話機がドントディスターブ中、または不在メッセージを登録している場合、転送元の電話機が呼び出されます。
- 外線着信を不在転送するとき、転送先の電話機がドントディスターブ中、または不在メッセージを登録している場合、転送先、転送元の電話機ともに着信しません。ただし、外線個別着信の場合は、内線着信と同様に転送元の電話機が呼び出されます。



 **Note**

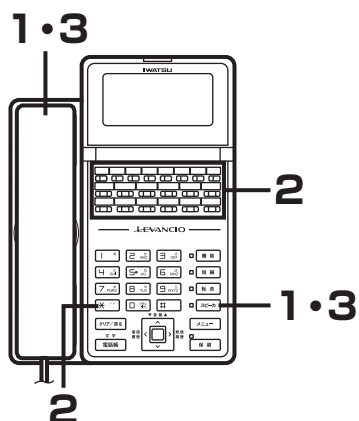
- 「不在転送」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

●不在転送をオン／オフする

- 1** 受話器を置いたまま「不在転送」ボタンを押します。
転送電話がオフになり、「不在転送」ボタンが消灯します。

6月 1日(土)16:35
11

- 2** 再び「不在転送」ボタンを押します。
転送電話がオンになり、「不在転送」ボタンが赤色で点灯または点滅します。



 **Note**

- 「不在転送」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

●転送先を取り消す

登録している転送先（転送ダイヤル）が消去されます。

- 1** 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。

内線
11

- 2** 「不在転送」、「*」ボタンを押します。
取り消しが完了すると、「プッププッ」という確認音が聞こえ、「不在転送」ボタンが消灯します。

6月 1日(土)16:35
11

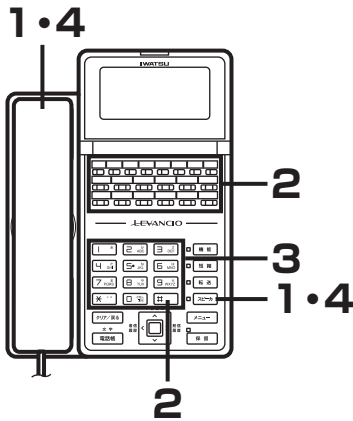
- 3** 受話器を置くか「スピーカ」ボタンを押します。

保留・転送関連

● 不在転送先を、操作した電話機に変更する方法

 Note

- 変更される内線電話機の転送機能が休止中のとき、転送先の変更はできません。
- 不在転送先の変更対象はルート1の転送先のみです。
- 自分の内線電話機に設定した不在転送を、移動先の内線電話機に不在転送するよう、移動先の電話機から登録します。自分の内線電話機への着信が、移動先の内線電話機（本操作を行った電話機）に不在転送されます。

**1** 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。

内線
11

2 「不在転送」、「#」ボタンの順に押します。

不在転送先変更
[#]ソタ

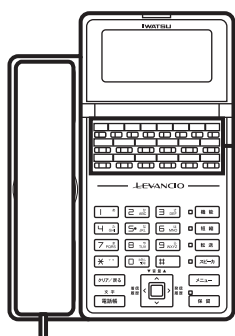
3 転送を登録している電話機の内線番号を入力します。

登録が完了すると、「プップッ」という確認音が聞こえます。

※ 転送先が登録できない場合は「ツーツ、ツーツ、ツーツ」という警告音が聞こえます。

4 受話器を置くか「スピーカ」ボタンを押します。

転送変更の操作を行った電話機が新しい転送先になります。



1・3

保留した外線を特定内線に自動転送する

- 1 通話の状態では転送先の「DSS」ボタンを押します。
- 2 転送先の相手とつながったら「〇〇さん、××番に電話です」のように連絡します。
- 3 「接続」ボタンを押します。
転送された人は、そのまま通話を始めます。



Note

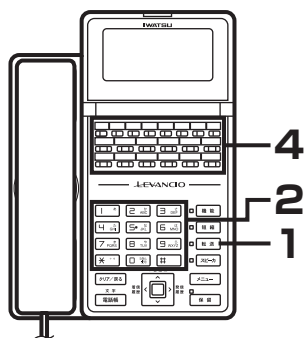
- 「DSS」、「接続」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。
- 「接続」ボタンの代わりに、受話器を戻して外線の自動転送を行うオンフック転送もできます。

会議関連

外線会議通話

外線と通話中に、他の内線電話機を呼び出して3人または4人で通話することができます。

●「転送」ボタンと「会議」ボタンによる方法



4人で通話するとき

- 1** 外線とお話し中に「転送」ボタンを押します。
保留状態となり、「転送」ボタンが赤色で点滅し、「ツツツツツ」という第2ダイヤルトーンが聞こえます。

外線 11

- 2** 会議通話に参加させたい内線電話番号をダイヤルします。

呼び出し中 12
11

- 3** つながったら「会議通話に参加してください」のように連絡します。

※会議通話は合計4人まで参加できます。

6月 1日(土)16:35
外線 12

- 4** 内線通話の状態ですら「会議」ボタンを押します。
会議通話の準備ができると、内線に「ブー」というお知らせ音が聞こえます(データ設定により、登録が必要です)。

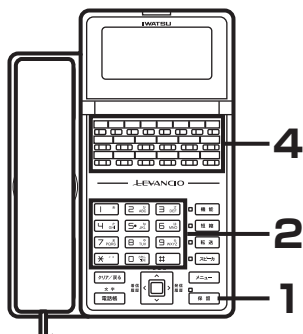
※この状態で、さらに上記手順(1)～(3)の操作を行うと、4人での会議通話が行えます。

相手先 鈴木一郎
0:01

- 5** 会議通話を始めます。

Note

- 内線グループが完全に別れている場合を除き、外線応答規制されている内線電話も会議に参加させることができます。内線グループの登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。
- 「会議」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。



●「保留」ボタンと「秘話解除」ボタンによる方法

1 外線とお話し中に「保留」ボタンを押します。
外線は共通保留になります。

内線 11

2 会議通話に参加させたい内線電話番号をダイヤルします。

呼び出し中 12
11

3 つながったら「会議通話に参加してください」のように連絡します。

6月 1日(土)16:35
内線 12

4 内線通話の状態で「秘話解除」ボタンを押します。
会議通話の準備ができると、内線に「ブー」というお知らせ音が聞こえます（データ設定により、登録が必要です）。

相手先 鈴木一郎
0:02

5 会議通話を始めます。
※この状態で、さらに上記手順（1）～（4）の操作を行うと、4人での会議通話が行えます。
※会議通話は合計4人まで参加できます。

Note

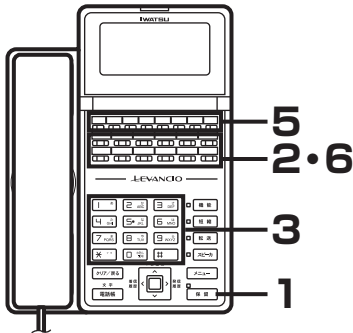
- 内線グループが完全に分れている場合を除き、外線応答規制されている内線電話も会議に参加させることができます。内線グループの登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。
- 「秘話解除」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。
- ドアホンを外線会議通話に参加させることはできません。

会議関連

複数外線会議通話

複数の内線と複数の外線とで会議通話します。

● 外線を会議通話に参加させるとき



4人で通話するとき

- 1 外線とお話し中に「保留」ボタンまたは「個別パーク」ボタンを押します。

内線 11

- 2 空いている「外線」ボタンまたは「索線」ボタンを押します。

- 3 呼び出す相手の電話番号をダイヤルします。

一般回線 03XXXX1234

- 4 つながったら「会議通話に参加してください」のように連絡します。

局線#2 GP.1
0:05 9円

- 5 通話の状態で「会議」ボタンを押します。

- 6 上記手順(1)の操作で保留となった「外線」ボタンまたは「個別パーク」ボタンを押します。

- 7 会議通話を始めます。

※この状態で、さらに上記手順(1)～(6)の操作を行うと、4人での会議通話が行えます。

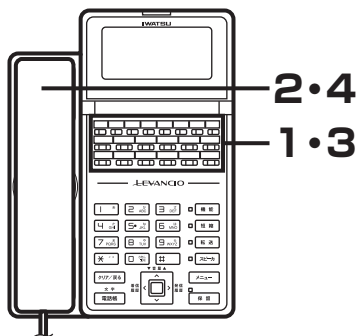
※会議中に、さらに内線を呼び出す場合は、「転送」ボタンと「会議」ボタンによる内線呼び出しを行ってください。

※会議通話は合計4人まで参加できます。

複数局線会議
#1 #2

Note

- 「外線」、「会議」、「個別パーク」、「索線」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。



Note

- 2外線、2内線で4人による通話をしている場合は、特定の外線を解除することはできません。
- 「外線」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

● 特定の外線を会議通話から解除するとき (2外線、1内線のとき)

1 通話を続けたい相手の「外線」ボタンを押します。
通話を続けたい相手の外線は保留状態になります。通話を切りたい相手の外線とは通話状態を維持します。

局線#2 GP.1
11

2 受話器をいったん戻します。
通話を切りたい相手の外線が切れます。

6月 1日(土)16:35
11

3 保留中の「外線」ボタンを押します。
※ 保留中の外線が2つある場合は、いずれか1つの「外線」ボタンを押します。

6月 1日(土)16:35
11

4 受話器を取り上げます。

局線#1 GP.1
11

5 お話しします。

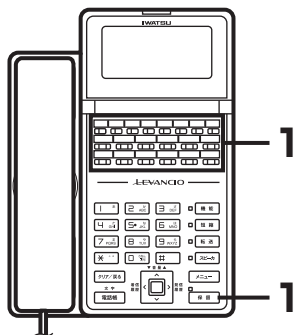
Note

- 複数外線会議通話中に特定の外線の相手がお話しを終了したときは、その外線だけが切断され、複数外線会議は続けることができます。
- 外線2本と内線2本での会議通話時に特定の内線が保留操作を行うと、その電話機だけが会議通話から抜けることができます。複数外線会議は続けることができます。この場合、残っている内線では保留操作は無効となり、外線間会議の状態には移行できません。
- システムの設定を変更すると、複数外線会議中にボタン電話機が保留操作を行うと、その複数外線会議を共通保留状態または自己保留状態にすることができます。設定を変更する際は、お買い求めの販売店にご相談ください。

会議関連

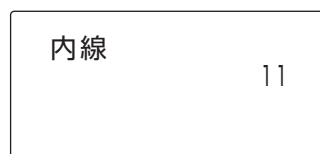
外線間会議通話

会議通話終了後に外の人（外線）どうして通話していただけます。



1 複数外線会議通話の状態です「保留」、「個別パーク」、「グループパーク」ボタンのいずれかを押します。

外線どうしは通話状態のままです。



2 外線どうしてお話しいただけます。

自分の電話機は保留状態になります。

※外線どうして通話中に、該当するフレキシブルボタンを押すと、再び会議に参加できます。

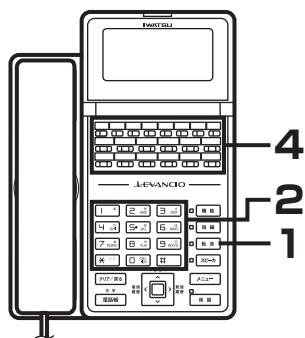
Note

- IP回線、ISDN回線、アナログ回線でご使用になれます。
- 通話終了の信号が検出できない外線の場合は、あらかじめ通話終了を判断するための登録が必要です。登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。
- 「個別パーク」、「グループパーク」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

内線会議通話

内線通話中に他の内線を呼び出して、3人または4人で通話することができます。

●「転送」ボタンと「会議」ボタンによる方法



- 1 内線通話の状態ですべて「転送」ボタンを押します。**
保留状態となり、「転送」ボタンが赤色で点滅し、「ツツツツツ」という第2ダイヤルトーンが聞こえます。

内線 11

- 2 会議通話に参加させたい内線電話番号をダイヤルします。**

呼び出し中 15
11

- 3 つながったら、「会議に参加してください」のように連絡します。**

- 4 そのままの状態ですべて「会議」ボタンを押します。**
会議通話の準備ができると「ブー」というお知らせ音が聞こえます（データ設定が必要です）。

6月 1日(土)16:35
内線 15

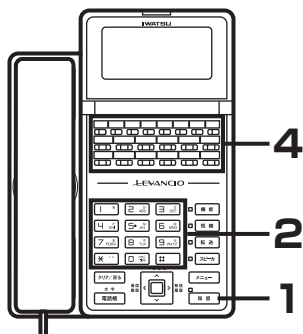
- 5 会議通話を始めます。**
※この状態で、会議に参加している内線電話機のいずれかで、さらに上記手順(1)～(4)の操作を行うと、4人による内線会議通話が行えます。
※会議通話は、合計4人まで参加できます。

内線会議 13
15

Note

- 「会議」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

会議関連



4人で通話するとき

●「保留」ボタンと「秘話解除」ボタンによる方法

- 1** 内線通話の状態ですべての「保留」ボタンを押します。
内線保留になり、「ツツツツツ」という内線発信音に切り替わります。

内線 11

- 2** 会議通話に参加させたい内線電話番号をダイヤルします。

呼び出し中 15
11

- 3** つながったら、「会議に参加してください」のように連絡します。

6月 1日(土)16:35
内線 15

- 4** そのままの状態ですべての「秘話解除 / 会議」ボタンを押します。
会議通話の準備ができると、内線に「ブー」というお知らせ音が聞こえます（データ設定が必要です）。

- 5** 会議通話を始めます。
※この状態で、会議に参加している内線電話機のいずれかで、さらに上記手順(1)～(4)の操作を行うと、4人による内線会議通話が行えます。
※会議通話は、合計4人まで参加できます。

内線会議 13
15

Note

- 「秘話解除 / 会議」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

Note

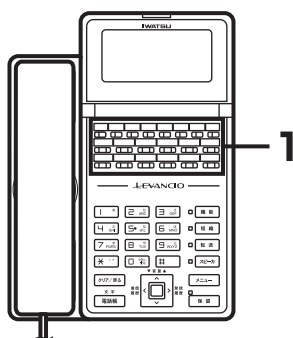
- 最大4人で会議通話を行うことができます。
- 内線会議通話への参加操作が完了すると、その会議通話中の内線の通話者には参加音が聞こえます。参加音は、可に設定することにより、送出することができます。
- 会議通話参加中の電話機のうちどれか1台が内線保留または転送保留状態にすると、その電話機は内線会議から抜け、残りの会議通話者は以下の状態になります。
 - 3者会議通話中のときにこの操作を行うと、残りの2者による内線通話となります。
 - 4者会議通話中のときにこの操作を行うと、残りの3者による会議通話となります。
 - 上記の状態では、残っている会議通話者は保留操作はできません。

その他システム機能関連

電話にでられないときに着信を拒否する〈ドント・ディスタープ〉

忙しいときに電話がかかってきて仕事の妨げにならないように、呼び出しを一時的にストップさせておくことができます。

●設定方法



Note

- 「ドントディスタープ」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

1 受話器を置いた状態で「ドントディスタープ」ボタンを押します。

「ドントディスタープ」ボタンが赤色で点灯し、着信拒否状態になります。

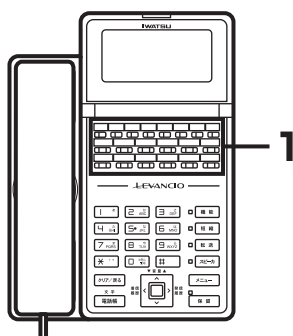
※設定の前に電話機が空き状態であることを確認してください。

6月 1日(土)16:35
11

Note

- ドントディスタープ登録中の電話機を呼び出すと、発信側にはドントディスタープ音が聞こえ、ディスプレイには着信側がドントディスタープ登録中であることが表示されます。
- ドントディスタープ登録中の着信には鳴音しません。また、ディスプレイに相手番号の表示も行いません。
例外として、「外線」ボタンまたは「外線応答グループ」ボタンに割り付けられた外線に着信があった場合は、着信表示は行われます。
- ドントディスタープ、不在転送、もしくは不在メッセージを登録中に着信がある場合、以下の順で機能が優先されます。
不在メッセージ→不在転送（未応答転送を除く）→ドントディスタープ
- 着信中に「ドントディスタープ」ボタンを押しても、着信を拒否することはできません。ドントディスタープ登録後の着信から拒否されます。

●解除方法



Note

- 「ドントディスタープ」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

1 着信拒否中の「ドントディスタープ」ボタンを押します。

着信拒否中は「ドントディスタープ」ボタンが、赤色で点灯しています。

6月 1日(土)16:35
11

2 通常の状態になります。

「ドントディスタープ」ボタンが消灯します。

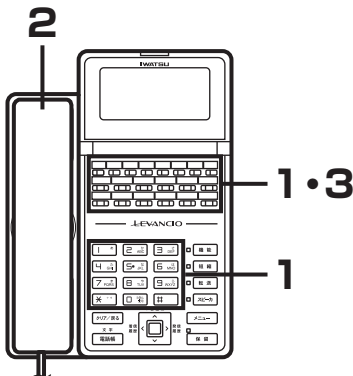
Note

- 着信拒否中でも、リコール、プライベートラインは、着信拒否できません。
- 着信拒否中の電話機に内線電話した場合は、発信電話機に「ブープブープ」 という着信拒否音が聞こえます。
- 着信拒否中の電話機でも発信に関する制約はありません。

その他システム機能関連

他の電話機の通話内容を聞く〈通話モニタ〉

他の電話機の通話内容を聞くことができます。



Note

- 「通話モニタ」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

1 該当する通話を選択します。

- 外線の場合
→通話中の「外線」ボタンを押します。
- 内線の場合
→通話中の内線番号をダイヤルします。

内線	11
----	----

2 受話器を取り上げます。

回線使用中	11
-------	----

3 「通話モニタ」ボタンを押します。

通話内容を聞くことができます。

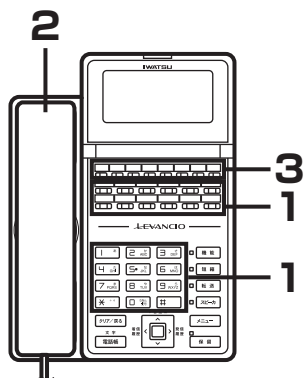
モニタ	12
-----	----

Note

- 次の条件のお話しは、通話モニタは行えません。
 - システムの設定でプロテクトされている電話機のお話し
 - 保留中および着信中
 - 外線応答規制がかかっている外線のお話し
 - 4人が参加した外線会議通話および複数外線会議通話
 - 外線間会議通話
- 通話モニタ中トーンを、モニタする電話機およびモニタされる電話機に送出します。
- 通話モニタ中にトーン送出する場合は、あらかじめ設定が必要です。
- 通話モニタ中に秘話解除を行うことができます。
- 通話モニタを行なっている電話機がパーズイン可に設定されている場合、「会議」ボタンを押すと、モニタ中のお話しに会議通話として参加することができます。
- 話中呼び出し可の電話機を話中呼び出ししても、相手が話中とはならないため、モニタすることはできません。
- 外線通話をモニタするとき、受話器を取り上げ、「外線」ボタンを押してから「通話モニタ」ボタンを押しても同じ操作ができます。
- 通話モニタする電話機または、通話モニタされる電話機に表示する場合は、あらかじめ設定が必要です。

他のお話しに割り込む〈バージン〉

外線通話割り込み（バージン）が設定された電話機から、お話し中の外線通話に割り込み、3人でお話しすることができます。

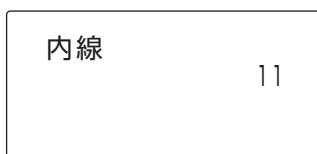


Note

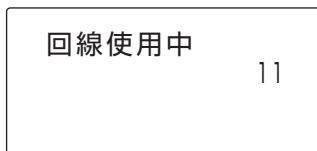
- バージンは、データ設定によりあらかじめ登録が必要です。
- 「外線」、「会議」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

1 該当する通話を選択します。

- 外線の場合
→ 通話中の「外線」ボタンを押します。
- 内線の場合
→ 通話中の内線番号をダイヤルします。



2 受話器を取り上げます。



3 「会議」ボタンを押します。

3人で通話できます。



Note

- 次の条件のお話しには割り込みできません。
 - システムの設定でプロテクトされている電話機のお話し
 - 保留中および着信中
 - 外線応答規制がかかっている外線のお話し
 - 4人による外線会議通話および複数外線会議通話
 - 外線間会議通話
 - DISA機能において外線アクセスにより行っているお話し
- バージンが行われると、操作者と通話者には、割り込み音が聞こえます。
- 外線通話にバージンするときは、受話器を取り上げ、「外線」ボタンを押してから「会議」ボタンを押しても同じ操作ができます。
- オーバーライド可能な内線電話機から、「会議」ボタンを押して、ドントディスタープ中、オフフック（スピーカオン）中、話中呼び出し禁止の内線電話機にバージンできます。

その他システム機能関連

今かけている相手の電話番号を登録させる 〈セーブナンバリダイヤル〉

外線発信したときに、発信した番号を登録（記憶）し、改めてかけ直すときに登録した相手を自動的に呼び出すことができます。

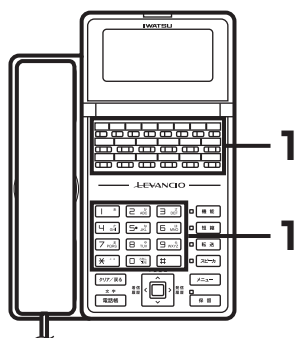
相手が出ないとき、または話し中でかけ直すときに同じ番号をダイヤルする必要がなくなります。ラストナンバリダイヤル（「最後に電話した相手に再びかけ直すとき〈ラストナンバリダイヤル〉」（4-5ページ））とは異なり、かけ直す前に違う相手を呼んだ後でも呼び出せます。

●ダイヤルを登録する

- 1 電話番号をダイヤルしてから電話を切るまでの間に「セーブナンバリダイヤル」ボタン（または「機能」+「2」「1」ボタン）を押します。

※記憶させる電話番号は、発信中の電話番号が対象となります。登録操作は発信中に行ってください。「プップップ」という確認音が聞こえます。

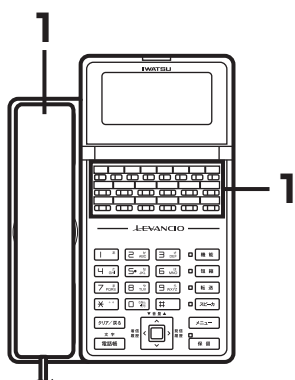
03XXXX1234
一般回線



Note

- 「セーブナンバリダイヤル」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。
- 記憶できる電話番号は電話機ごとに1つだけです。登録操作を行うと以前の登録電話番号は消去されます。

- 2 ダイヤルした電話番号が記憶されます。



●記憶させた電話番号にかけるとき

- 1 受話器を取り上げ（または「スピーカ」ボタンを押す）、
「セーブナンバーダイヤル」ボタン（または「機能」+「2」
「1」ボタン）を押します。

03XXXX1234
一般回線

- 2 相手の電話番号が自動的にダイヤルされます。

Note

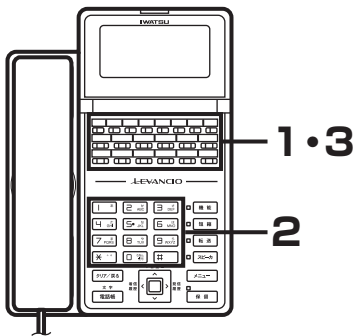
- 記憶できるダイヤル桁数は48桁以内です。
- 内線から外線につなぐ際の外線アクセス番号、外線グループアクセス番号も登録対象となります。
- 記憶できる電話番号は電話機ごとに1つだけです。登録操作を行うと以前の登録電話番号は消去されます。
- 「セーブナンバーダイヤル」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

その他システム機能関連

外線通話中に別の電話番号を記録する〈メモダイヤル〉

外線とお話し中に、ダイヤル（通話相手とは異なるダイヤルも可）を記憶できます。また、記憶したダイヤルを使用して外線に自動発信できます。

● 電話番号を記憶させるとき



Note

- 「メモダイヤル」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。
- 記憶できる電話番号は電話機ごとに1つだけです。登録操作を行うと、以前の登録電話番号は消去されます。

1 通話の状態で「メモダイヤル」ボタン（または「機能」+「2」ボタン）を押します。

「メモダイヤル」ボタンが赤色で点滅します。

局線#2	GP.1
0:05	9円

2 記憶させておきたい別の電話番号をダイヤルします。

※ 接続待ち時間（ポーズ時間/1～9秒）も一緒に登録できます。登録は「保留」ボタンを押し、続けて該当する「1」～「9」ボタン（ポーズ時間/1～9秒）を押します。

0:05	03XXXX1234	9円
------	------------	----

Note

- 登録できるダイヤル桁数は最大48桁です。

3 再び「メモダイヤル」ボタン（または「機能」ボタン）を押します。

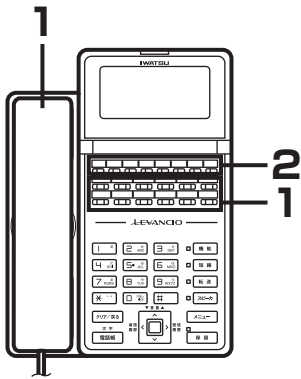
登録が完了すると、「ブッブッ」 という確認音が聞こえます。

局線#2	GP.1
0:16	9円

4 ダイヤルした電話番号が記憶されます。

Note

- ダイヤルを登録できるのは、以下の状態のときです。
 - 外線通話中
 - 外線会議中
 - 複数外線会議中
- ダイヤルの登録操作中に、他の操作（外線をパーク保留する、お話しを切断するなど）を行うと、登録が中断され、中断前のダイヤル内容が登録されます。
- ダイヤルの登録操作中に、ダイヤルを入力しないまま終了操作を行うと、以前入力されていたダイヤルもクリアされます。



●記憶させた電話番号にかけるとき

1 受話器を取り上げ（または「スピーカ」ボタンを押す）空いている「外線」ボタンを押します。

局線#2 GP.1
一般回線

2 「メモダイヤル」ボタン（または「機能」+「2」「2」ボタン）を押します。

03XXXX1234
一般回線

3 相手の電話番号が自動的にダイヤルされます。

局線#2 GP.1
0:05 9円

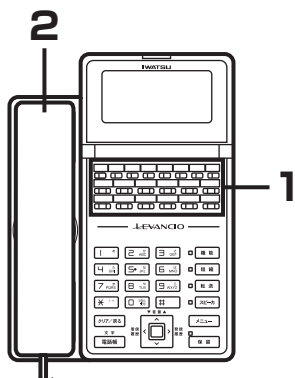
 **Note**

- 記憶できるダイヤル桁数は48桁以内です。
- 記憶できる電話番号は電話機ごとに1つだけです。登録操作を行うと、以前の登録電話番号は消去されます。
- ISDN回線でメモダイヤルを利用するときは、記憶させる相手の電話番号のあとに「#」ボタンを押して、登録してください。
- 「外線」、「メモダイヤル」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

その他システム機能関連

受話器を上げる前に外線または内線を予約する (プリセレクション)

受話器を取り上げる前に、外線または内線を予約できます。



1 フレキシブルボタンに登録してある以下のボタンの、いずれかを押します。

- 「DSS」ボタン
- 「外線」ボタン
- 「内線」ボタン
- 「一斉」ボタン
- 「ゾーン番号」ボタン
- 「内線代表」ボタン
- 「外線」ボタン
- 「個別パーク」ボタン
- 「外線応答」ボタン
- 「内線グループ番号」ボタン
- 「グループパーク」ボタン
- 「ダイヤルイン」ボタン
- 「外線ダイヤルイン」ボタン

押したボタンが緑色で点滅し、外線、内線が予約されます。

2 10秒以内に受話器を取り上げます。

予約した外線、内線につながります。



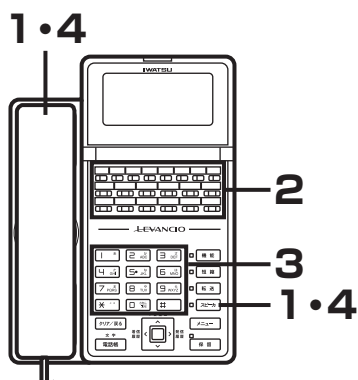
Note

- 各ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

電話機パスワード

外線の無断使用をパスワードで規制することができます。

● 電話機をロックする



Note

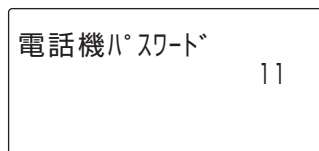
- 電話機ごとのパスワード（最大6桁以内の番号）は、データ設定により、あらかじめ登録が必要です。
- 「電話機パスワード」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

- 1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。
「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。

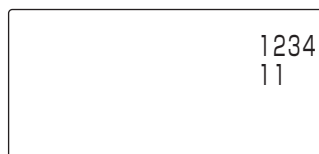


- 2 「電話機パスワード」ボタン（または「機能」 + 「4」「4」ボタン）を押します。

「電話機パスワード」ボタンが、赤色で点滅します。

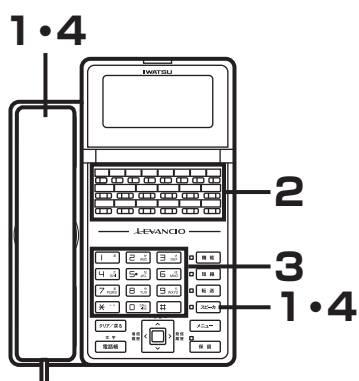


- 3 登録されているパスワード（最大6桁）を押します。
ロックされ、「電話機パスワード」ボタンが赤色で点灯します。また、「ブツブツ」という確認音が聞こえます。



- 4 受話器を置くか「スピーカ」ボタンを押します。

その他システム機能関連



Note

- 電話機ごとのパスワード（最大6桁以内の番号）は、データ設定により、あらかじめ登録が必要です。
- 「電話機パスワード」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。
- パスワードを忘れた場合は、お買い求めの販売店にご確認ください。

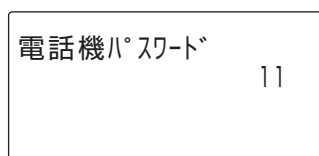
● 電話機のロックを解除する

- 1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。
「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。



- 2 「電話機パスワード」ボタン（または「機能」+「0」「4」「4」ボタン）を押します。

「電話機パスワード」ボタンが赤色で点滅します。



- 3 登録されているパスワード（最大6桁）を押します。

ロックが解除され、「電話機パスワード」ボタンが消灯します。
その電話機からの外線発信が可能になります。また、「ブツブツツ」という確認音が聞こえます。



- 4 受話器を置くか「スピーカ」ボタンを押します。

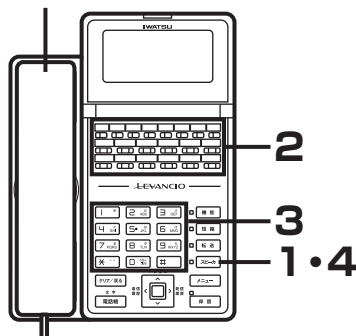
Note

- 外線着信、外線転送、外線キャンプオンなど、外線発信以外の機能は規制されません。
- DISAによるシステム機能へのアクセスも禁止されます。

モーニングコール

あらかじめ内線電話機が個々に設定した時刻になると、その内線電話機に内線着信音（モーニングコール）を鳴らすことができます。着信に应答した内線電話機に対しては、システムから保留音またはメッセージを送出することができます。

1・4

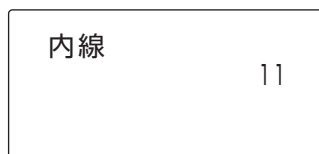


Note

- 「モーニングコール」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

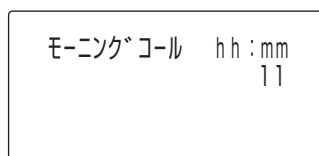
●時刻の設定方法

- 1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。
「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。



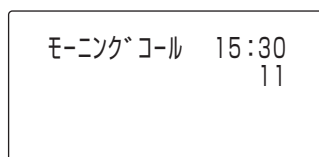
- 2 「モーニングコール」ボタン（または「機能」+「4」「2」ボタン）を押します。

「モーニングコール」ボタンが赤色で点滅します。
登録している時刻がディスプレイに表示されます。
「こちらはモーニングコールサービスです。ダイヤルをどうぞ。」というガイダンスが流れます。



- 3 24時間表記で時刻をダイヤルします。
〈例〉午後3時30分の場合は、「1」「5」「3」「0」ボタンを押します。

※ディスプレイ上で呼び出し時刻を確認できます。
設定が完了すると、「登録を受けつけました。」というガイダンスが流れます。
「モーニングコール」ボタンが赤色で点灯します。

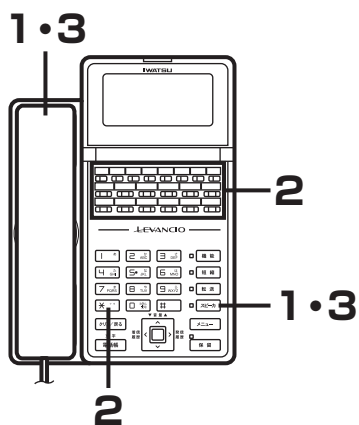


- 4 受話器を置くか「スピーカ」ボタンを押します。

Note

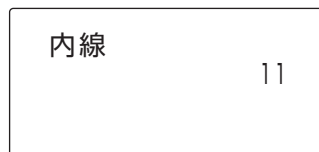
- 設定した時刻の5分前になると、モーニングコールが鳴ります。应答しなかった場合は、設定した時刻にもう一度鳴ります。
- モーニングコールは、着信に应答したとき、または2回目の着信が鳴音継続時間を経過したときに、停止します。モーニングコールが停止すると、自動的に登録データも消去されます。

その他システム機能関連



● 設定時刻の解除方法

- 1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。
「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。



- 2 「モーニングコール」、「*」ボタンの順（または「機能」+「0」「4」「2」ボタン）に押します。

削除が完了すると、「登録を取り消しました。」というガイダンスが流れます。
「モーニングコール」ボタンが消灯します。

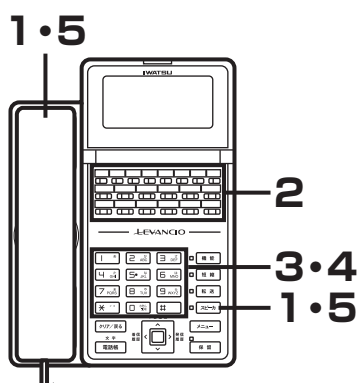
- 3 受話器を置くか「スピーカ」ボタンを押します。

タイムコール

タイムコールを設定しておく、その電話機から指定した時刻にアラーム音を鳴らすことができます。

Note

- アラーム音の鳴音継続時間は、あらかじめ設定が必要です。
- 鳴っているアラームは、受話器を取り上げると止まります。



Note

- 「タイムコール」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。
- タイムコールの後、設定した時刻は消去されます。

●時刻の設定方法

- 1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。
「ツツツツ」という内線発信音が聞こえます。

内線 11

- 2 「タイムコール」ボタン（または「機能」+「4」「1」ボタン）を押します。

タイムコール _ hh:mm
11

- 3 「1」または「2」ボタンを押します。
 - 1回だけ通知する → 「1」
 - 毎日通知する → 「2」

- 4 アラーム音を鳴らす時刻を24時間表記で押します。
〈例〉午後3時30分の場合は、「1」「5」「3」「0」ボタンを押します。
設定が登録されると、「プッププ」いう確認音が聞こえます。
「タイムコール」ボタンが赤色で点灯します。

タイムコール 1 hh:mm
11

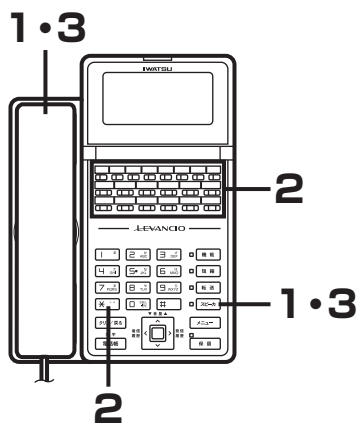
タイムコール 2 hh:mm
11

- 5 受話器を置くか「スピーカ」ボタンを押します。

Note

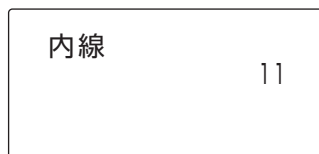
- 設定時刻に「プッププ」いうアラーム音が鳴ります。

その他システム機能関連



●登録時刻の解除方法

- 1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。
「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。



- 2 「タイムコール」、「*」ボタンの順（または「機能」＋「0」「4」「1」ボタン）に押します。

※解除が完了すると、「プッププッ」という確認音が聞こえ、「タイムコール」ボタンが消灯します。

- 3 受話器を置くか「スピーカ」ボタンを押します。

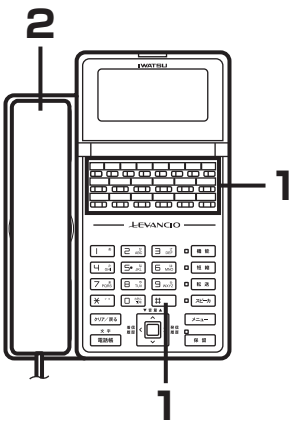
応答できない相手に連絡がほしい事を伝える 〈メッセージウェイト〉

呼び出した相手が不在または話中で応答しない場合に、相手の電話機にランプを点灯して、呼び出したことを知らせることができます。



Note

- 着信側の電話機には、3件までのメッセージウェイトを受け取ることができます。

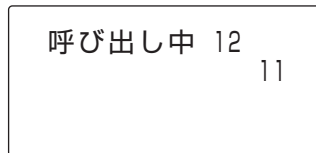


Note

- 「メッセージウェイト」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

●メッセージウェイトの設定方法

- 1 呼び出したい相手が通話中または応答しないとき、そのままで「メッセージウェイト」、「#」ボタンの順に押します。

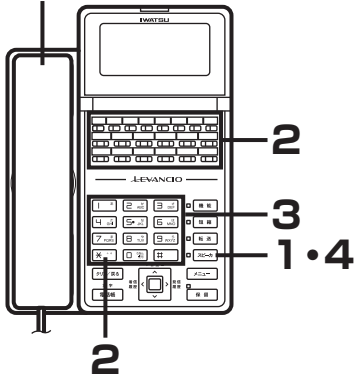


- 2 受話器を置きます。

相手の電話機の「メッセージウェイト」ボタンが点灯します。
※ 設定が完了すると、「プッププッ」という確認音が聞こえます。

その他システム機能関連

1・4



Note

- 「メッセージウェイト」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。
- 相手とお話した場合は、自動的にメッセージウェイトが取り消されます。

●メッセージウェイトを設定した電話機でメッセージウェイトを取り消す

- 1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。
「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。



- 2 「メッセージウェイト」、「*」ボタンの順に押します。



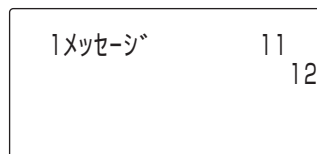
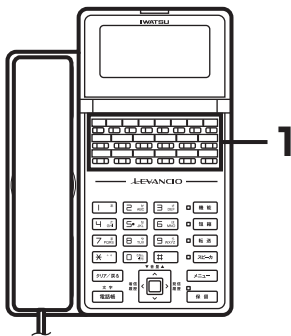
- 3 メッセージウェイトを登録した先の内線番号を押します。
※ 解除が完了すると、「プッププツ」という確認音が聞こえます。
登録が取り消され、相手の電話機の「メッセージウェイト」ボタンが消灯します。



- 4 受話器を置くか「スピーカ」ボタンを押します。

●メッセージウェイトを受け取った電話機でメッセージウェイトを確認する

- 1 受話器を置いたまま、「メッセージウェイト」ボタンを押します。
メッセージウェイトを登録した相手の内線番号が表示されます。

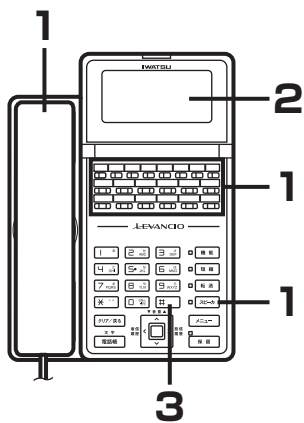


Note

- 複数のメッセージウェイトが登録されているときは、「メッセージウェイト」ボタンを押すごとに、登録した相手の内線番号が切替わります。

Note

- 「メッセージウェイト」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。
- 1台の電話機には、3件までのメッセージウェイトを受け取ることができます。



Note

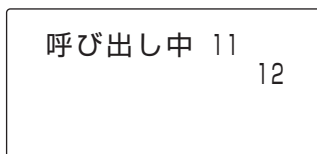
- メッセージウェイトの登録、受け取りを行う電話機は、あらかじめデータ設定により、登録が必要です。
- 「メッセージウェイト」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

●メッセージウェイトを受け取った電話機でメッセージウェイトに回答する

1 受話器を取り上げます。

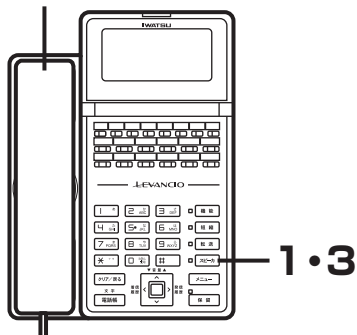


2 「メッセージウェイト」、「#」ボタンの順に押します。
ディスプレイに表示している相手の内線番号を自動的に呼び出します。



3 相手が応答したら、お話しします。

1・3



Note

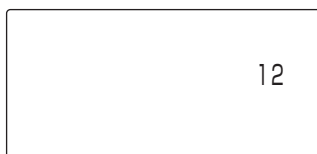
- 「メッセージウェイト」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

●メッセージウェイトを受け取った電話機でメッセージウェイトを全消去する

1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。



2 「メッセージウェイト」「*」「*」ボタンの順に押します。
着信している全てのメッセージウェイトを未応答の状態に消去します。



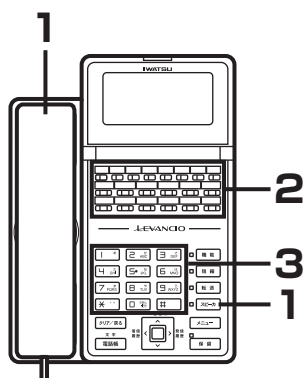
3 受話器を置くか「スピーカ」ボタンを押します。

その他システム機能関連

電話に出られないときに不在理由を表示する 〈不在メッセージ〉

席を空けるときに、不在メッセージを登録しておけば、留守中に電話をかけた相手にも、戻り時間や行き先の電話番号を知らせることができます。

●不在メッセージの登録方法



Note

- 「不在メッセージ」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。

「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。

内線 11

2 「不在メッセージ」ボタンを押します。

「不在メッセージ」ボタンが赤色で点滅します。

11

3 残したいメッセージを登録します。

※登録できる不在メッセージは1つだけです。

●戻り時間

→「1」ボタンを押し、続けて戻り時間を24時間表記で押します。

〈例〉午後3時30分の場合は、「1」「5」「3」「0」ボタンを押します。

hh:mm まで不在 11	15:30 まで不在 15:30 まで不在
------------------	--------------------------

●戻り日

→「2」ボタンを押し、続けて戻り日を2桁で押します。

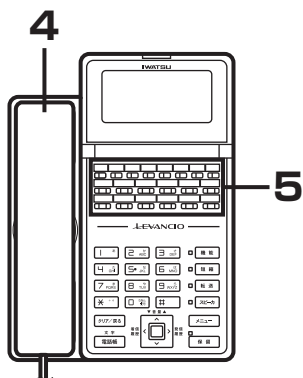
〈例〉5日に戻る場合は、「0」「5」ボタンを押します。

XX日まで不在 11	05日 まで不在 05日 まで不在
---------------	----------------------

●会議終了時間

→「3」ボタンを押し、続けて会議終了時間を24時間表記で押します。

hh:mm まで会議 11	15:30 まで会議 15:30 まで会議
------------------	--------------------------



●行き先電話番号

→「4」ボタンを押し、続けて行き先電話番号を11桁以内で押します。
10桁以内の場合は、最後に「#」ボタンを押してください。

行き先> 11

行き先>00XXXX1111
行き先>00XXXX1111

※設定が完了すると、「プップップ」 という確認音が聞こえます。

4 受話器を置くか、「スピーカ」ボタンを押します。

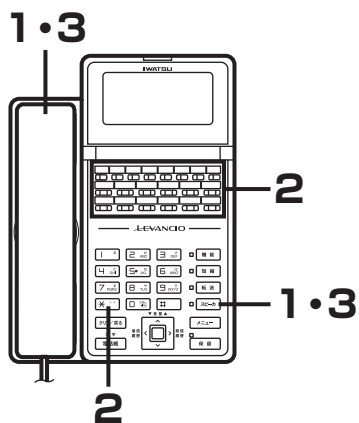
5 「不在メッセージ」ボタンの点滅を確認します。

6 内線で呼び出されると、相手の電話機のディスプレイに上記手順3で登録したメッセージ内容が表示されます。

Note

- 登録できる不在メッセージ数は1つです。最新の情報が有効となります。
- 不在メッセージを登録した電話機のディスプレイには、待機中に登録した不在メッセージが表示されます。
- 不在メッセージを登録した電話機に対して内線呼び出しを行った場合、発信側電話機には不在音が送出されます。また、発信側電話機のディスプレイに不在メッセージの内容が表示されます。
- 行先電話番号を登録する場合、登録できる桁数は11桁までです。
- 不在メッセージを登録中の着信には鳴音しません。また、ディスプレイにも表示を行いません。例外として、「外線」ボタン、または「外線応答グループ」ボタンに割り付けられた外線への着信の場合は、着信表示は行われます。
- 不在メッセージを登録している電話機を不在転送先に登録した場合、着信は転送されません。内線着信の場合、転送元の電話機を呼び出し、外線着信の場合、転送先、転送元ともに着信されません。
- 内線着信した電話機が不在メッセージを登録していた場合、その内線電話機が不在転送、またはドントディスタープを登録していても不在メッセージが優先されます。

その他システム機能関連



Note

- 「不在メッセージ」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

●不在メッセージの消去方法

- 1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。
「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。

内線
15:30 まで不在

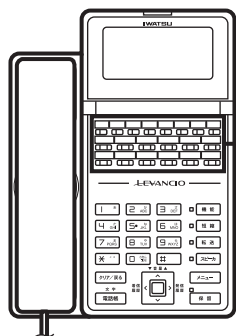
- 2 「不在メッセージ」、「*」ボタンの順に押します。
「不在メッセージ」ボタンが消灯します。
※ 消去が完了すると、「プッププッ」という確認音が聞こえます。

6月 1日(土)16:35
11

- 3 受話器を置くか「スピーカ」ボタンを押します。

秘話／秘話解除

通話状態の外線に、他の電話機からの割り込みを許可できます。秘話解除状態の外線は、通話終了後に秘話設定状態に戻ります。



● 秘話解除／秘話再設定

1 外線と通話の状態です「秘話解除／会議」ボタン（または「機能」＋「1」「4」ボタン）を押します。

秘話解除の状態となります。

相手先 鈴木一郎
0:01

Note

- 「秘話解除／会議」ボタンは、外線が秘話解除中で、その外線に割り込める状態のときのみ点灯します。ただし、外線が秘話解除中であってもその外線の通話者が4人になったときは消灯します。

2 再び「秘話解除／会議」ボタン（または「機能」＋「1」「4」ボタン）を押します。

秘話設定の状態となります。

※ 「秘話解除／会議」ボタンを押すごとに、秘話解除／秘話設定が切り替わります。

Note

- 「秘話解除／会議」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。
- 4人参加している外線会議通話および複数外線会議通話は、秘話解除できません。
- 内線通話は、秘話解除できません。
- 外線着信に回答すると、常に秘話解除状態にすることもできます。
- 秘話解除が完了すると、内線の通話者には秘話解除音が聞こえます。秘話解除音は、送出不ないようにすることもできます。

その他システム機能関連

ハウラ音送付

受話器が外れたままのとき、「ピー」という音を鳴らして受話器の戻し忘れを防止します。

 **Note**

- 警告音が30秒鳴っても受話器が置かれない場合は、警告音が止まりますので受話器を戻してお使いください。

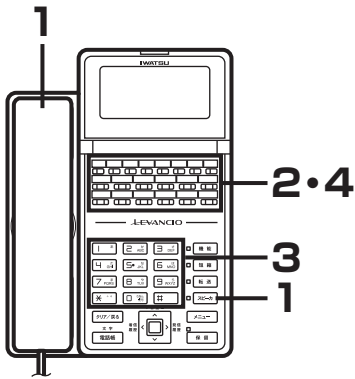
特定の相手先からの不応答記録から折り返し電話をかける<システム不応答履歴>

発信者番号通知の着信に 응답できなかった場合、システムに不応答の着信履歴が記録されます。不応答履歴を確認後、折り返し電話をかけることができます。

不応答の着信履歴を記録する発信者番号を、あらかじめ登録しておく必要があります。

 **Note**

- ISDN回線、アナログ回線でご利用になれます。この機能を利用するにはNTTとナンバーディスプレイ契約が必要です。
- 着信に 응답した場合は、不応答履歴に記録されません。
- あらかじめ、登録した発信者番号のみ記録する方法とすべての不応答を記録する方法があります。



Note

- 「ステーション放棄呼」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。
- 「外線」、「索線」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

● 不応答履歴を確認してから電話をかける

1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。

内線 11

2 「ステーション放棄呼」ボタンを押します。
ディスプレイに不応答履歴が表示されます。

03XXXX1111 15:43
04/10

Note

- 不応答履歴が記録されると、「ステーション放棄呼」ボタンが赤色に点灯します。

3 電話をかける相手をディスプレイに表示します。

- 「＊」ボタンを押すごとに、次の不応答履歴が順次表示されます。
- 「#」ボタンを押すごとに、1つ前の不応答履歴が順次表示されます。
- 「0」ボタンを押すごとに、最古／最新の不応答履歴が表示されます。

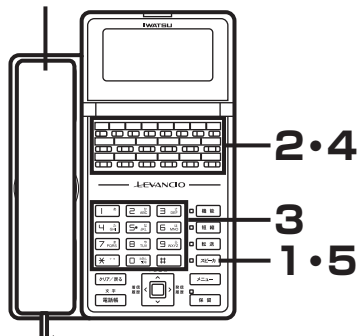
03XXXX2222 14:30
04/10

4 「外線」ボタンまたは「索線」ボタンを押します。

03XXXX2222
一般回線

その他システム機能関連

1・5



Note

- 「ステーション放棄呼」、「放棄呼情報削除」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

● 不応答履歴を削除する

1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。

内線	11
----	----

2 「ステーション放棄呼」ボタンを押します。

ディスプレイに不応答履歴が表示されます。

03XXXX1111	15:43
	04/10

Note

- 不応答履歴が記録されると、「ステーション放棄呼」ボタンが赤色に点灯します。

3 削除する相手をディスプレイに表示します。

「＊」ボタンを押すごとに、次の不応答履歴が順次表示されます。

「#」ボタンを押すごとに、1つ前の不応答履歴が順次表示されます。

「0」ボタンを押すごとに、最古／最新の不応答履歴が表示されます。

03XXXX2222	14:30
	04/10

4 「放棄呼情報削除」ボタンを押します。

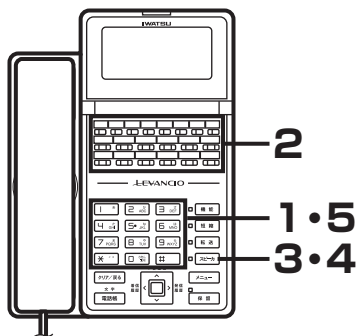
ディスプレイに表示している不応答履歴が削除されます。

03XXXX3333	13:10
	04/10

Note

- 全ての不応答履歴が削除されると、「ステーション放棄呼」ボタンが消灯します。

5 受話器を置くか「スピーカ」ボタンを押します。



Note

•「呼び返し発信」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

● 不応答の着信履歴を記録する発信者番号の登録

1 受話器を置いたまま「機能」ボタンを押します。

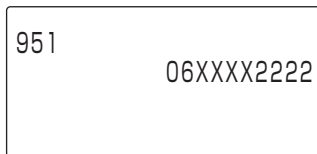
2 「呼び返し発信」ボタンを押します。
「呼び返し発信」ボタンが赤色に点滅します。



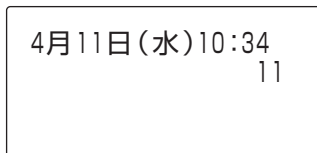
3 テーブル番号 (951~999) を押します。



4 発信者番号 (12桁以内) を押します。
発信者番号は市外局番を含めて入力してください。
〈例〉発信者が大阪の場合は、「0」「6」…と押します。



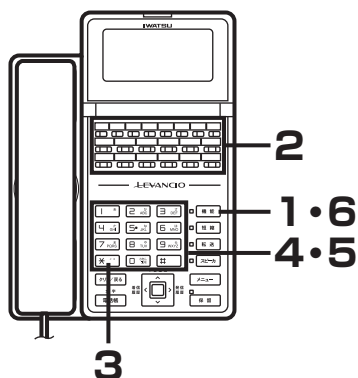
5 「機能」ボタンを押します。
発信者番号が登録され、「呼び返し」ボタンが消灯します。



Note

- 記録可能な不応答履歴数は最大500件です。500件を超えた場合、最も古い履歴から削除され、新しい履歴が記録されます。登録した発信者番号のみ記録する場合、登録できる発信者番号は最大50個までです。
- 不応答履歴の記録保存期間を、システムで設定できます。保存期間をすぎた履歴は削除されます。設定を変更する際は、お買い求めの販売店にご相談ください。

その他システム機能関連



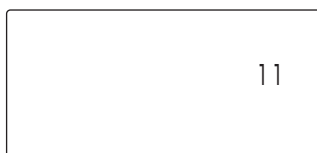
Note

- 「呼び返し」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。システム電話機に登録することができます。
- 相手先の電話番号および相手先名は、指定電話機で登録します。指定電話機は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

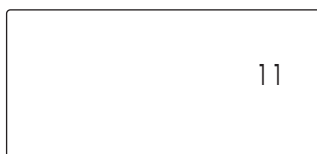
● 相手先名の登録方法

1 受話器を置いたまま「機能」ボタンを押します。

2 「呼び返し」ボタンを押します。
「呼び返し」ボタンが点滅します。



3 「*」ボタンを押します。



4 登録番号 (951～999) を押します。



5 相手先名 (16文字以内) を入力します。



Note

- 「*」ボタンでカタカナ入力モード、英数字入力モードを選択します（最初は英数字モードになっています）。
 - ダイヤルボタンで文字を選択し、1文字ごとに「保留」ボタンで確定します。
 - 再度「保留」ボタンを押すと1つ前の文字が取り消されます。
- ※入力したすべての文字を取り消す場合は、受話器を上げ下げしてください。

6 「機能」ボタンを押します。
「呼び返し」ボタンが消灯します。

8. 回線機能編

LEVANCIO-Sでご利用になれる回線

- NTT一般回線
- NTTダイヤルイン回線
- セントレックス回線（ビル電話）
- PBX内線
- DISA（ダイレクトインワードシステムアクセス）回線
- 総合デジタル通話回線（ISDN）〔回線交換（基本）〕
- IP電話サービス
- フレッツひかりネクスト（ファミリー・ハイパーファミリー）

ISDN回線

基本サービス

NTTのISDN回線「INSネット64」を収容すると、電話をかけるだけでなく、高精細なファックス通信、高速データ通信も行えます。また、かけてきた相手の電話番号や相手の名前を表示したり、サブアドレスと呼ばれる番号を付加してダイヤルすることによって内線呼び出すなど、便利なサービスが利用できます。

その他にもNTTと契約すれば様々な付加サービスを利用することができます。

- **ISDN回線の特長**：「INSネット64」回線は、2つの情報チャンネル（Bチャンネル）と1つの信号チャンネル（Dチャンネル）により構成されています。
INSネット64の1本の回線には2つの情報チャンネルがありますので、2つの外線を持つこととなります。
- **発信者番号通知**：着信の場合、かけてきた相手の電話番号が電話機に表示されます（ただし、相手から発信者番号が通知された場合のみです）。
発信者番号が通知された場合、発信者番号に対応した名称表示がデータ設定されていれば、その名称表示を行います。
また、本システムからかける場合、相手にこちらの電話番号を表示するかは工事段階で設定しますが、かける際の操作によって184（発信者番号非通知）、186（発信者番号通知）を相手電話番号の前につけることによって、その電話に限ってこれを切り替えることができます。
- **サブアドレス通知**：発信の際、サブアドレスと呼ばれる相手先の各端末に付けられた番号を付加してダイヤルすることで、内線を個別に呼び出すことができます。サブアドレスは、相手先電話番号をダイヤルしたあとに、「*」ボタンに続けてサブアドレスをダイヤルし、「#」ボタンを最後にダイヤルします。

Note

- 相手が一般回線でかけてきた場合の発信者番号表示は、NTTとの契約が必要になります。
- 相手先にISDN回線が収容されていない場合、サブアドレスによる個別呼び出しはできません。また、相手が一般電話でかけてきた場合、サブアドレスによる本システムの内線を個別に呼び出すことはできません。

ISDN回線

付加サービス

ISDN回線を収容すると、基本サービス以外にも以下の付加サービスが利用できます。

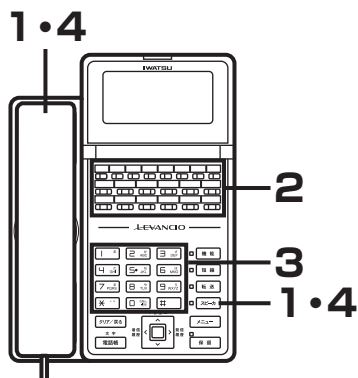
- ダイヤルインサービス
- グローバル着信サービス
- INSフレックスホンサービス（INSフレックスホンサービスの契約をした場合、通話中転送機能、三者通話機能、着信転送機能の各サービスが利用できます。）
- INSボイスワープサービス
- i・ナンバーサービス
- ナンバー・ディスプレイ

※これらの付加サービスを利用するには、各サービスごとにNTTとの契約が必要になります。

- ダイヤルインサービス : 契約電話番号とは別の電話番号（ダイヤルイン番号）を使用できます。使用できる数は最大1000個です。
ダイヤルイン番号へ電話がかかってきた場合、ダイヤルイン番号ごとにそれぞれ特定の電話機を呼び出すことができます。
- グローバル着信サービス : 契約回線番号に電話がかかると、複数の電話機を呼び出すことができます。
- 通話中転送機能 : 通話を別の相手に転送することができます。
- 三者通話機能 : 通話中に別の相手呼び出して、三者間で通話相手を切り替えてお話しすることができます（切替モード）。
通話中に別の相手呼び出して、三者で通話することができます（ミキシングモード）。
- 着信転送機能 : かかってきた電話を、この電話機にあらかじめ登録してある他の電話番号に自動的に転送することができます。
- i・ナンバーサービス : 契約電話番号（ポート1）とは別の電話番号（ポート2、ポート3）で特定の電話機を呼び出すことができます。
- ナンバー・ディスプレイ : 電話をかけてきた相手方の電話番号がディスプレイに表示されます。

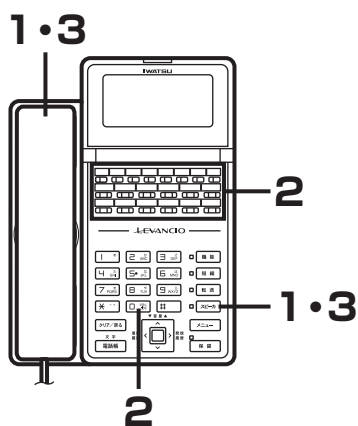
着信転送

転送先の電話番号をあらかじめ登録することにより、ダイヤルインでかかってきた着信に应答しないで、転送することができます。



Note

- 「着信転送」ボタンはデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。



● 着信転送動作を登録するとき

1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。

内線 11

2 「着信転送」ボタンを押します。

着信転送モード 0
11

3 転送メッセージ登録番号(1~4)を押します。

4 受話器を置くか「スピーカ」ボタンを押します。

● 着信転送動作を解除するとき

1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。

内線 11

2 「着信転送」、「0」ボタンの順に押します。

3 受話器を置くか「スピーカ」ボタンを押します。

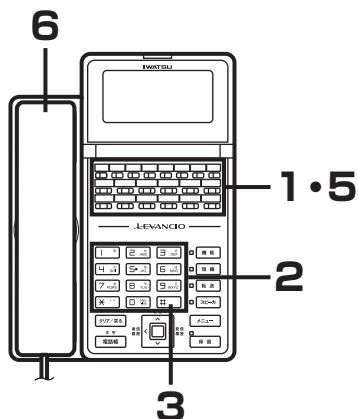
Note

- フレックスホンサービスの着信転送サービスの場合、他の転送電話の場合と違い、転送先へは本システムからではなく、局から発信します。したがって、工事段階で転送電話の発信側に指定されている外線は、着信転送時の発信に使用されません。
- 転送先の番号は着信転送を登録した電話機の個別短縮が使用されます。短縮桁数2桁の場合は個別短縮番号98になります。3桁、4桁または拡張4桁の場合は個別短縮番号918になります。
あらかじめ個別短縮番号に転送先の電話番号を登録してください。
- 着信転送を登録した電話機へダイヤルインの設定を行ってください。
- 着信転送が登録されているときは「着信転送」ボタンが点灯します。
- 網が提供する転送メッセージには以下の種類があります。

登録番号	被転送先	転送先
1	メッセージなし	メッセージなし
2	メッセージあり	メッセージなし
3	メッセージなし	メッセージあり
4	メッセージあり	メッセージあり

- 「着信転送」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

ISDN回線



 **Note**

- 「ショートフラッシュ」、「通話中転送」ボタンはデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。

通話中転送

相手からかかってきた外線通話を、システム外の別の外線に転送することができます。

- 1 外線と通話の状態です「ショートフラッシュ」ボタン（または「機能」+「1」「2」ボタン）を押します。

相手先 03XXXX1111
0:05

- 2 転送先の電話番号をダイヤルします。
ディスプレイに電話番号が表示されます。

0:11 03XXXX2222

- 3 「#」ボタンを押します。

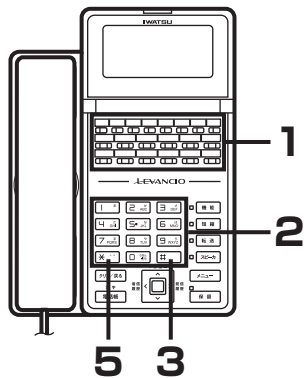
- 4 相手とつながったら転送することを伝えます。
※ 相手が通話中の場合、いったん受話器を置くと着信音が鳴りますので、再び受話器を取り上げればもとの通話に戻ります。

- 5 「通話中転送」ボタンを押します。
通話が転送されます。

- 6 受話器を置きます。

三者通話

外線と通話中に、別の外線を呼び出して3人で通話することができます。



Note

•「ショートフラッシュ」ボタンはデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。

- 1 外線と通話の状態です「ショートフラッシュ」ボタン（または「機能」+「1」「2」ボタン）を押します。

相手先 03XXXX1111
0:05

- 2 通話に加えたい相手の電話番号をダイヤルします。
ディスプレイに電話番号が表示されます。

03XXXX2222
一般回線

- 3 「#」ボタンを押します。

- 4 相手とつながったら3人で通話することを伝えます。
※相手が通話中の場合、いったん受話器を置くと着信音が鳴りますので、再び受話器を取り上げればもとの通話に戻ります。

- 5 「*」ボタンを押します。
3人で通話します。

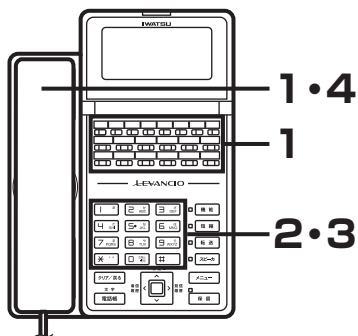
ISDN回線

INSボイスワープ

かかってきた電話を、あらかじめ登録した電話番号へ自動的に転送するサービスです。

詳しくは、NTTの「INSボイスワープ使用説明書」をご参照ください。

●INSボイスワープ開始操作


 **Note**

- 転送方法を指定する番号と動作は、以下のとおりです。
 - 「1」：無条件転送
 - 「2」：無応答時転送
 - 「3」：話中時転送
 - 「4」：無応答時および話中時転送
- 「外線」ボタンは、データ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

1 受話器を取り上げ、サービス契約のあるISDN回線の「外線」ボタンを押します。

「ツー」という発信音が聞こえます。

局線#2	GP.1
一般回線	

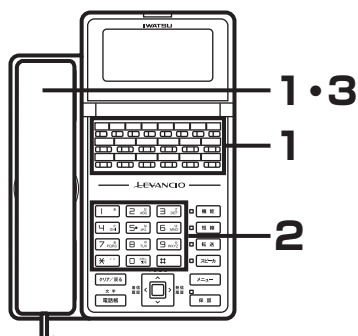
2 「1」「4」「2」「1」ボタンを押します。

一般回線	1421
------	------

3 転送方法を指定する番号（1～4）と「#」ボタンを押します。局からアナウンスが聞こえます。

一般回線	14212
------	-------

4 受話器を置きます。



Note

- 「外線」ボタンは、データ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

●INSボイスワープ停止操作

1 受話器を取り上げ、サービス契約のあるISDN回線の「外線」ボタンを押します。

「ツーン」という外線発信音が聞こえます。

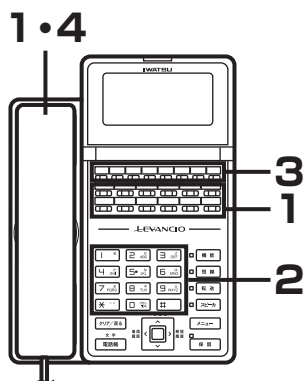
局線#2 GP.1
一般回線

2 「1」「4」「2」「0」「#」ボタンを押します。

局からアナウンスが聞こえます。

一般回線 1420#

3 受話器を置きます。



Note

- 本操作では局の転送先リスト「0」に登録されます。転送先電話番号の登録方法は、短縮のほか転送先電話番号を通話中ダイヤル操作でも行えます。この場合、アナウンスを聞いてから転送先電話番号をダイヤルし、最終ダイヤルから一定時間経過後に局へ転送先電話番号を通知します。
- 「外線」、「ダイレクト短縮」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

●INSボイスワープ転送先電話番号の登録操作

1 受話器を取り上げ、サービス契約のあるISDN回線の「外線」ボタンを押します。

「ツーン」という外線発信音が聞こえます。

局線#2 GP.1
一般回線

2 「1」「4」「2」「2」「#」ボタンを押します。

局からアナウンスが聞こえます。

一般回線 1422#

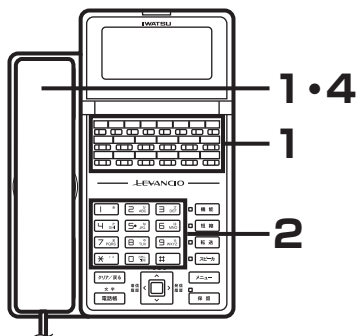
3 転送先電話番号を登録してある短縮ダイヤルの「ダイレクト短縮」ボタンを押します。

局からアナウンスが聞こえます。

または、例えば個別電話帳90に転送先電話番号を登録してあれば、「短縮」「9」「0」ボタンを押しても、「ダイレクト短縮」ボタンと同じ操作ができます。(短縮番号の桁数3桁、4桁または拡張4桁の場合は、個別電話帳の使用範囲が異なります。)

4 受話器を置きます。

ISDN回線


 **Note**

- 「外線」ボタンは、データ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

● INSボイスワープ確認操作

- 1 受話器を取り上げ、サービス契約のあるISDN回線の「外線」ボタンを押します。
「ツー」 という外線発信音が聞こえます。

局線#2	GP.1
一般回線	

- 2 「1」「4」「2」「8」「#」ボタンを押します。

一般回線	1428#
------	-------

- 3 局から現在の設定内容がアナウンスされます。

- 4 受話器を置きます。

ナンバー・ディスプレイ（付加サービス）

外線から電話がかかってきたとき、発信者の電話番号が通知されたときは発信者の電話番号を、通知されないときにはその理由を電話機のディスプレイに表示するサービスです。この機能を利用するときには、NTTとの契約が必要です。

ISDN回線でお使いの場合も、アナログ回線でお使いの場合もご利用になれる機能です。

●電話がかかってきたとき

電話機全て（無鳴音着信の多機能電話機を含む）に、かけてきた相手（発信者）の電話番号が表示されるので、相手の電話番号を確認してから電話を受けることができます。電話に应答すると相手の電話番号は消えますが、設定によって電話を受けたあとも、電話番号を表示することができます。

<外線からかかってきたときの表示例>

例：鈴木一郎（03-XXXX-1234）からかかってきたとき

名前登録なし

相手先 03XXXX1234

名前登録あり（システム漢字電話帳／発信者名）

相手先 鈴木一郎
03XXXX1234

通知された電話番号が発信者名または電話帳に名前を登録されている場合は、名前を表示します。

<NTTとの契約により、下記のような表示になります>

<凡例> ○：相手の電話番号を表示 △：非通知理由を表示 ×：表示しない

LEVANCIO-S側の回線		相手の回線（かける側）			
		ISDN		電話（アナログ）	
		番号通知	番号非通知※	番号通知	番号非通知※
ISDN	ナンバー・ディスプレイ契約あり	○	△	○	△
	ナンバー・ディスプレイ契約なし	○	×	×	×
電話（アナログ）	ナンバー・ディスプレイ契約あり	○	△	○	△
	ナンバー・ディスプレイ契約なし	×	×	×	×

※公衆電話、電話番号通知のできないネットワークからかけた場合も含まれます。

アナログ回線をお使いの方から電話番号が通知されたときは、LEVANCIO-Sの着信回線がナンバー・ディスプレイを契約している場合に、電話番号が表示されます。

<相手の電話番号が通知されないときは、以下のような表示になります>

表示	内容
非通知	非通知で電話がかかってきたとき
公衆電話	公衆電話から電話がかかってきたとき
表示圏外	国際電話などで電話番号を通知できない電話がかかってきたとき

Note

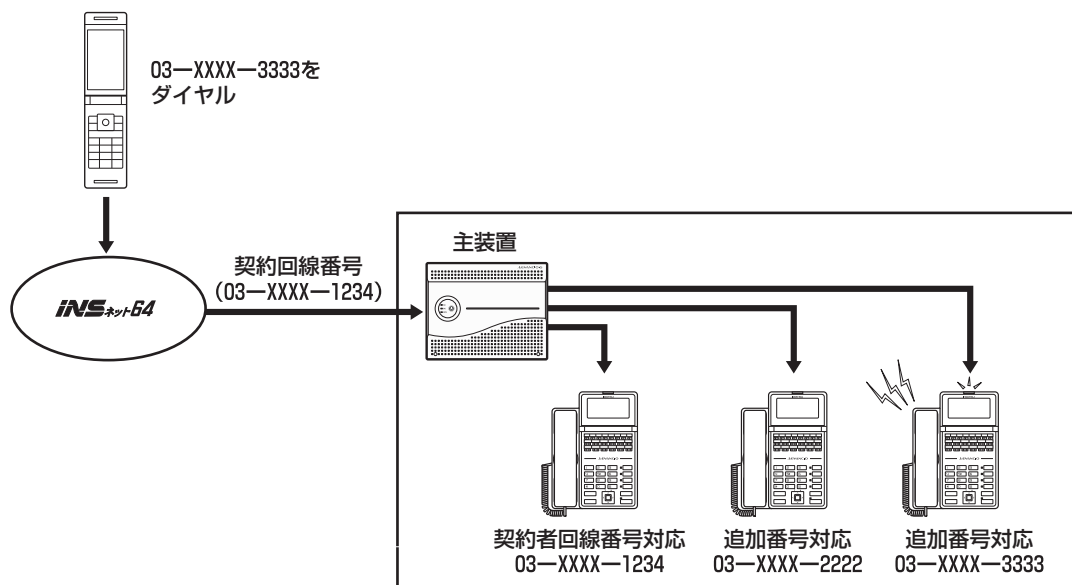
- 表示可能なケタ数を超える電話番号が通知された場合、表示可能な桁数まで表示します。
- LEVANCIO-Sに接続される停電中の停電対応多機能電話機には、電話をかけてきた相手の電話番号は表示されません。

ISDN回線

i・ナンバー

NTTのi・ナンバーサービスを利用できます。呼び出す内線電話機、内線代表番号をあらかじめ指定します。契約者回線番号とは別の電話番号を追加できます。外線からLEVANCIO-Sの内線電話機を呼び出す場合、契約者回線と追加した電話番号に対応する電話機をそれぞれに設定し、その電話番号をダイヤルして直接内線電話機を呼び出すことができます。

(例) 外線から契約者回線番号03-XXXX-1234 のi・ナンバー契約番号03-XXXX-3333 の電話機を呼び出す。



Note

- i・ナンバーサービスへの加入が必要です。なお、代表取扱、ダイヤルインとの同時契約はできません。
- 呼び出す電話機はデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。お買い求めの販売店にお問い合わせください。
- i・ナンバーは、電話番号を最大3個（契約者回線番号を含む）契約することができます。
- 取り付け時の設定により、以下の機能を使用することができます。
- 設定を変更する際は、お買い求めの販売店にご相談ください。
 - 電話番号ごとに特定の内線電話機を呼び出す
 - 電話番号ごとに着信音を設定
 - i・ナンバーの電話番号をダイヤルイン番号として扱い、「ダイヤルイン」ボタンまたは「ダイヤルイングループ」ボタンに着信することができます。
- 「ダイヤルイン」、「ダイヤルイングループ」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

NTTダイヤルイン

NTTのダイヤルインサービスを利用することができます。

呼び出す内線電話機、内線代表番号、内線グループをあらかじめ指定することができます。

外線から、LEVANCIO-Sの特定の内線電話機を呼び出す場合、契約回線番号とは別に、それぞれの電話機にダイヤルインのための契約番号を設定し、その契約番号をダイヤルして直接内線電話機を呼び出すことができます。(ダイヤルイン個別着信)

ダイヤルインを利用することで、外線から必要な担当者に直接電話をかけることができ、取り継ぎでお客様を待たせることも少なくなります。

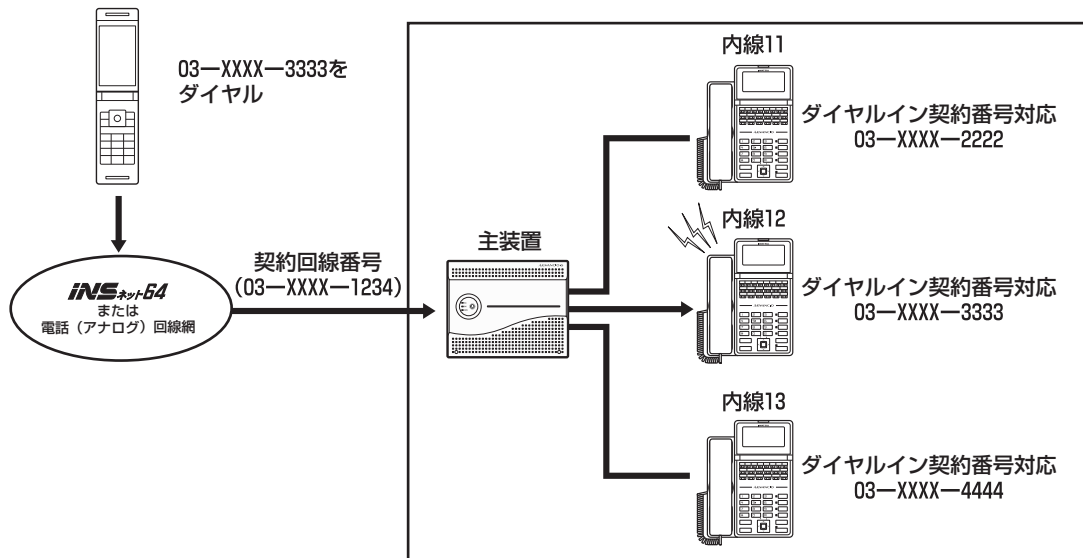
Note

- NTTダイヤルインサービスへの加入が必要です。
- 取り付け時の設定により、以下のようなこともできます。設定を変更する際は、お買い求めの販売店にご相談ください。
 - ダイヤルイン契約番号ごとに着信音を設定することができます。
 - グローバル着信
契約回線番号に電話がかかると、複数の電話機を呼び出すことができます。
 - ダイヤルイン着信
ダイヤルイン番号ごとに、複数の電話機を呼び出すことができます。
ダイヤルイン番号ごとに転送先電話番号を設定し、着信転送（フレックスホン（付加サービス）、局線間転送）を行うこともできます。
 - ダイヤルイン番号ごとに、着信表示する「ダイヤルイン」ボタンを設定することができます。
空いている「ダイヤルイン」ボタンがない場合は、発信者に対して話中音が出送されます。
 - 「外線ダイヤルイン」ボタンを使った場合、空いているダイヤルインを自動的に選択して外線発信を行いません。
 - お話中の「ダイヤルイン」を保留操作した場合、「ダイヤルイン」ボタンは緑色で点滅します。他の電話機の「ダイヤルイン」ボタンは、赤色で点滅します。
- 電話帳を検索してかける場合
「電話帳」ボタンを押して各検索操作を行い、「ダイヤルイン」ボタンを押してください。電話帳検索方法については、「電話帳に登録した電話番号にかける」(4-11ページ)を参照してください。
- 「短縮」ボタンを使用してかける場合
「ダイヤルイン」ボタンを押し、続けて「短縮」ボタンを押して短縮番号をダイヤルしてください。短縮ダイヤルでかける方法については、「短縮ダイヤルを利用する」(4-7ページ)を参照してください。

ISDN回線

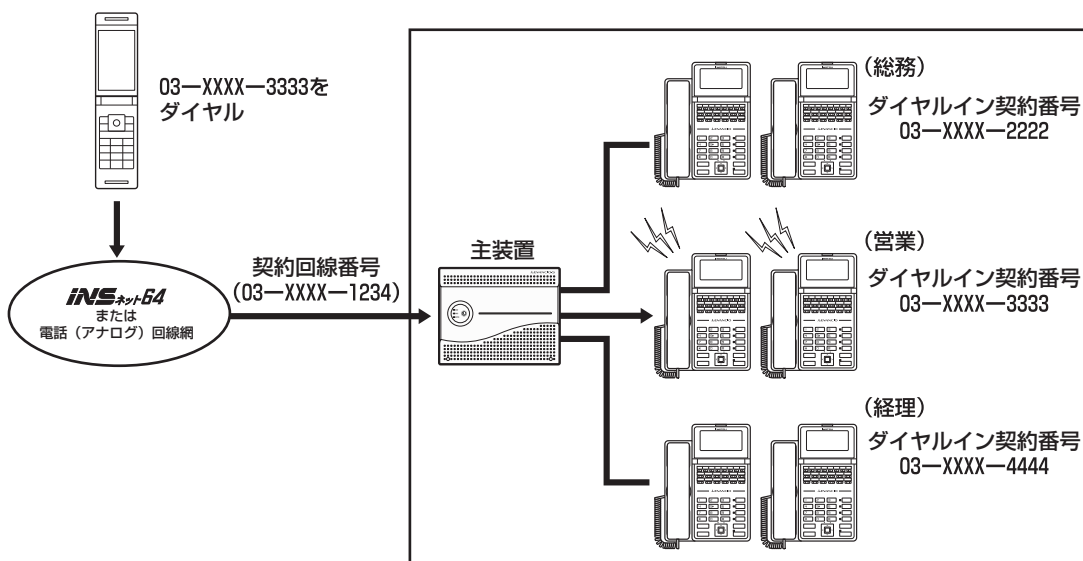
運用例1 個別着信

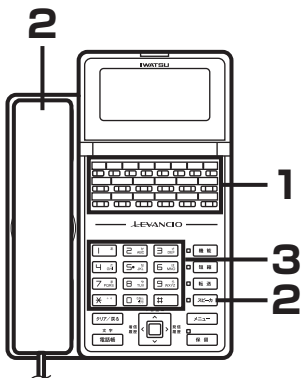
- 1) 契約回線番号03-XXXX-1234 を通して、ダイヤルイン契約番号対応03-XXXX-3333（内線12）に電話がかかります。
- 2) 内線11および内線13の電話機から代理応答の操作により応答が可能です。



運用例2 グループ着信

- 1) 契約回線番号03-XXXX-1234を通して、ダイヤルイン契約番号03-XXXX-3333に対応したグループの複数の電話機に電話がかかります。
- 2) 複数の契約回線番号を代表扱いするサービスと併用が可能です。
- 3) 2つ以上の着信を同一の着番号（ダイヤルイン番号）で受けることも可能です。





Note

•「ダイヤルイン」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

●ダイヤルインボタンでの発信

ダイヤルインボタンを使用して外線に発信することができます。また、ダイヤルインキーに割り付けられた発信番号を通知することもできます。

1 「ダイヤルイン」ボタンを押します。

局線#2 GP.1
一般回線

2 受話器を取り上げます。

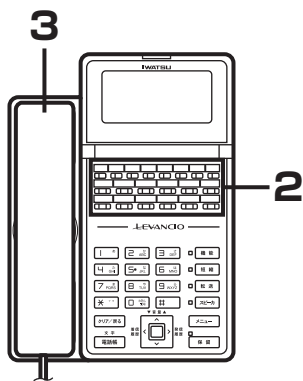
3 相手の電話番号をダイヤルします。

※ ISDN回線の場合は、最後に「#」ボタンを押します。

03XXXX2222
一般回線

4 相手先が応答したら、お話しします。

ISDN回線



 **Note**

- 「ダイヤルイン」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

● **ダイヤルインボタンでの着信**

1 着信音が鳴ります。

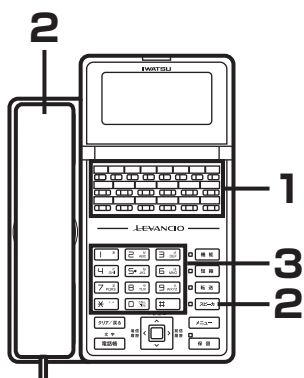
相手先 鈴木一郎
03XXXX1234

2 赤色で点滅している「ダイヤルイン」ボタンを押します。

3 受話器を取り上げてお話しします。

 **Note**

- 取り付け時の設定により、以下のようなこともできます。設定を変更する際は、お買い求めの販売店にご相談ください。
 - ダイヤルイン契約番号ごとに着信音を設定できます。
 - グローバル着信
- 契約回線番号に電話がかかると、複数の電話機を呼び出すことができます。
 - ダイヤルイン着信
ダイヤルイン番号ごとに、複数の電話機を呼び出すことができます。
ダイヤルイン番号ごとに転送先電話番号を設定し、着信転送（フレックスホン（付加サービス）、局線間転送）を行うこともできます。
 - ダイヤルイン番号ごとに、着信表示する「ダイヤルイン」ボタンを設定することができます。
空いている「ダイヤルイン」ボタンがない場合は、発信者に対して話中音が出されます。
 - お話中の「ダイヤルイン」ボタンを保留操作すると「ダイヤルイン」ボタンは緑色で点滅します。他の電話機の「ダイヤルイン」ボタンは、赤色で点滅します。
- 電話帳を検索してかける場合
- 「電話帳」ボタンを押して各検索操作を行い、「ダイヤルイン」ボタンを押してください。電話帳検索方法については、「電話帳に登録した電話番号にかける」（4-11ページ）を参照してください。
- 「短縮」ボタンを使用してかける場合
- 「ダイヤルイン」ボタンを押し、続けて「短縮」ボタンを押して短縮番号をダイヤルしてください。短縮ダイヤルでかける方法については、「短縮ダイヤルを利用する」（4-7ページ）を参照してください。



Note

- 「索線ダイヤルイン」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

● 索線ダイヤルインボタンでの発信

索線ダイヤルインボタンを使用して外線に発信することができます。また、該当キーに割り付けられた発信番号を相手に通知することもできます。

1 「索線ダイヤルイン」ボタンを押します。

局線#2 GP.1
一般回線

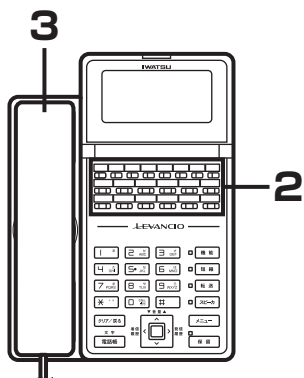
2 受話器を取り上げます。

3 相手の電話番号をダイヤルします。

※ ISDN回線のときは、最後に「#」ボタンを押します。

一般回線 03XXXX2222

4 相手が応答したら、お話しします。



Note

- 「ダイヤルイングループ」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

● ダイヤルイングループボタンでの着信応答

1 着信音が鳴ります。

相手先 鈴木一郎
03XXXX1234

2 赤色で点滅している「ダイヤルイングループ」ボタンを押します。

3 受話器を取り上げてお話しします。

迷惑電話おことわりサービス

迷惑電話を受けたときに、登録操作を行うことで、以降の同じ電話番号からの着信時に、お客様に代わり音声ガイダンスで応答するサービスです（お客様の電話機も鳴音しません）。

相手には、「こちらは、〇〇〇-△△△-□□□□※です。この電話はお受けできません。ご了承ください」と自動的にメッセージが流れます。（※：迷惑電話おことわりサービス契約者の電話番号）

この機能を利用するときには、NTTとの契約が必要です。

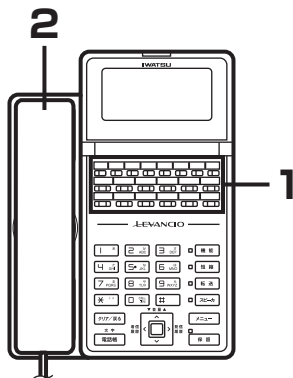
ISDN回線でお使いの場合も、アナログ回線でお使いの場合もご利用になれる機能です。

Note

- ダイヤルQ2回線、アナログ回線ダイヤルインサービスの場合、「迷惑電話おことわりサービス」は利用できません。
- ISDN回線でダイヤルイン、i・ナンバー、代表取り扱いのサービスを利用している場合、発信者通知を行う必要があります。
- 「迷惑電話おことわりサービス」にアクセスするためのダイヤルを、共通短縮ダイヤル（0996～0999）に設定する必要があります。
- 短縮番号の桁数2桁～4桁、拡張4桁の場合でも、同じ共通短縮ダイヤル（0996～0999）を使用します。
- 「迷惑電話おことわりサービス」にアクセス後、ダイヤル操作を促すガイダンスメッセージが流れる場合は、ガイダンスに従ってダイヤル操作してください。

迷惑電話の登録方法

- 通話中の相手を登録するには



- 1 外線と通話の状態ですべて「迷惑電話おことわり」ボタンを押します。

「迷惑電話おことわり」ボタンが赤色で点滅します。

相手先 03XXXX9999
0:05

- 2 受話器を置きます。

自動的にオンフックダイヤルで迷惑電話おことわりサービスに発信され、登録が行われます。

登録が完了すると、登録完了のガイダンスメッセージが流れます。

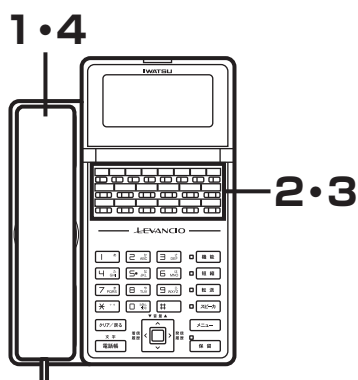
Note

- NTTのナンバー・ディスプレイ契約が必要となります。
- 「迷惑電話おことわり」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

Note

- 外線との通話状態でボタン電話機のLCDに相手番号が表示されている場合のみその操作が有効となります。
- 相手から電話番号が通知されない着信を拒否したい場合は、あらかじめデータ設定が必要です。
- 共通短縮ダイヤル（0999）に、あらかじめ1442の登録が必要です。
- 短縮番号の桁数2桁～4桁、拡張4桁いずれの場合でも、同じ共通短縮ダイヤル（0999）を使用します。

迷惑電話の取り消し方法



- 最後に登録した迷惑電話を解除する

1 受話器を取り上げます。

内線 11

2 契約している「外線」ボタンを押します。

局線#2 GP.1
一般回線

3 「ダイレクト短縮998」ボタンを押します。 登録解除完了メッセージが流れます。

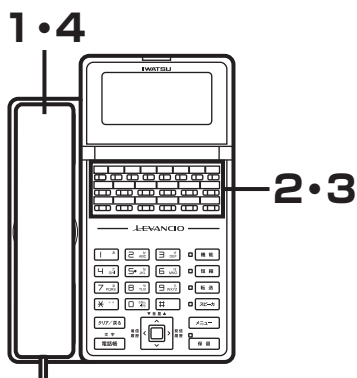
0998 1443

4 メッセージを聞き終わったら、受話器を置きます。

Note

- 「ダイレクト短縮998」ボタンは、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。
- 共通短縮ダイヤル（0998）に、あらかじめ1443の登録が必要です。
- 短縮番号の桁数2桁～4桁、拡張4桁いずれの場合でも、同じ共通短縮ダイヤル（0998）を使用します。

迷惑電話おことわりサービス



● 迷惑電話を全件解除する

1 受話器を取り上げます。

内線	11
----	----

2 契約している「外線」ボタンを押します。

局線#2	GP.1
一般回線	

3 「ダイレクト短縮997」ボタンを押します。

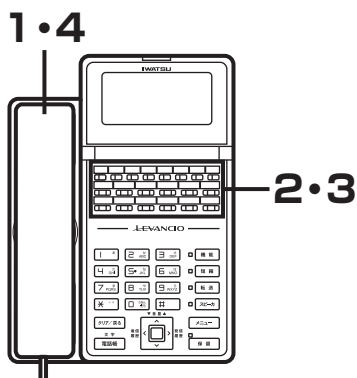
登録解除完了メッセージが流れます。

0997	1449
------	------

4 メッセージを聞き終わったら、受話器を置きます。

Note

- 「ダイレクト短縮997」ボタンは、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。
- 共通短縮ダイヤル（0997）に、あらかじめ1449の登録が必要です。
- 短縮番号の桁数2桁～4桁、拡張4桁いずれの場合でも、同じ共通短縮ダイヤル（0997）を使用します。



迷惑電話おことわりサービスの効果を確認する

1 受話器を取り上げます。

内線 11

2 契約している「外線」ボタンを押します。

局線#1 GP.2
一般回線

3 「ダイレクト短縮996」ボタンを押します。 メッセージ応答した回数を知らせるメッセージが流れます。

0996 1444

4 メッセージを聞き終わったら、受話器を置きます。

Note

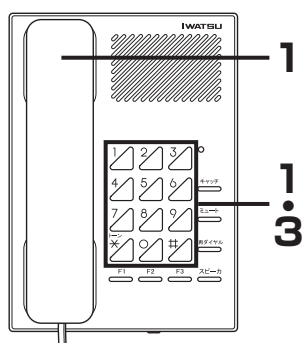
- 「ダイレクト短縮998」ボタンは、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。
- 共通短縮ダイヤル（0996）に、あらかじめ1444の登録が必要です。
 - 短縮番号の桁数2桁～4桁、拡張4桁いずれの場合でも、同じ共通短縮ダイヤル（0996）を使用します。
- ダイヤルQ2回線、アナログ回線ダイヤルインサービスの場合、「迷惑電話おことわりサービス」をご利用できません。
- ISDN回線でダイヤルイン、i・ナンバー、代表取り扱いのサービスを利用している場合、発信者通知を行う必要があります。「迷惑電話おことわりサービス」にアクセスするためのダイヤルを、共通短縮ダイヤル（0996～0999）に設定する必要があります。
- 短縮番号の桁数2桁～4桁、拡張4桁の場合でも、同じ共通短縮ダイヤル（0996～0999）を使用します。
- 「迷惑電話おことわりサービス」にアクセス後、ダイヤル操作を促すガイダンスメッセージが流れる場合は、ガイダンスに従ってダイヤル操作してください。

ダイレクトインワードシステムアクセス 〈DISA〉

外出先から電話をかけ、システムが自動応答した後に、アクセスダイヤルをプッシュ信号によりダイヤルすることで、システム内の電話機を呼び出すことができます。また、システム内の機能をコントロールすることもできます。

システムは、音声案内、または確認音による自動応答ができます。DISA着信の機能をお使いになる場合は、DISA用の専用回線が必要となります。

外出先からの内線個別呼び出し方法



Note

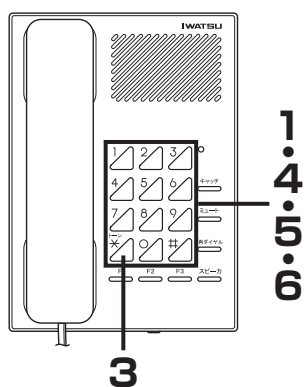
- アクセスダイヤルは呼び出し方法やアクセスする機能に対応した番号で、それぞれをシステムで設定します。詳しくは、お買い求めの販売店にご相談ください。

- 1 外出先からプッシュホン電話機で、DISA用に設定した外線の電話番号をダイヤルします。
- 2 システムが自動応答し、音声案内、または「プップップ」という確認音が聞こえます。
- 3 呼び出し先の内線番号をダイヤルします。
- 4 相手が応答したら、お話しします。

Note

- かけた内線電話機が話中だった場合、強制呼び出しができます。強制呼び出しを行うには、データ設定により、あらかじめ登録が必要です。
- DISAを行うにはデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。

外出先からの内線電話機の一斉呼び出し、グループ呼び出し、ページング呼び出し方法

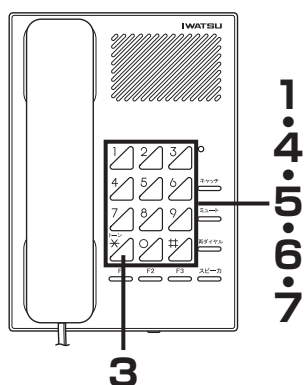


Note

- 一斉呼び出し、グループ呼び出し、ページング呼び出しを行うには、データ設定により、あらかじめ登録が必要です。登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

- 1 外出先からプッシュホン電話機で、DISA用に設定した外線の電話番号をダイヤルします。
- 2 システムが自動応答し、音声案内、または「プップップ」という確認音が聞こえます。
- 3 そのままの状態ですべての「*」ボタンを押します。
- 4 パスワードを登録してある内線電話機の番号を押します。パスワード入力の要求案内、または「ツツツツツ」という第2発信音が聞こえます。
- 5 電話機パスワードを押します。
※このとき「#」ボタンを2回押すと、手順(2)の状態に戻ります。ただし、やり直しは3回以内です。
- 6 「一斉呼び出し特番」、「グループ呼び出し特番」、「ページング呼び出し特番」の1つを押します。
- 7 「〇〇さん、応答願います」のように呼びかけます。
- 8 呼び出し相手が応答したら、お話しします。

システムを介した外線発信またはグループ外線発信方法

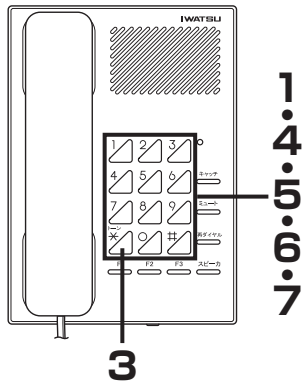


Note

- 電話機パスワード、外線アクセス番号、外線グループアクセス番号を行うには、データ設定により、あらかじめ登録が必要です。登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

- 1 外出先からプッシュホン電話機で、DISA用に設定した外線の電話番号をダイヤルします。
- 2 システムが自動応答し、音声案内、または「プッププッ」という確認音が聞こえます。
- 3 そのままの状態ですべての「*」ボタンを押します。
- 4 パスワードを登録してある内線電話機の番号を押します。パスワード入力の要求案内、または「ツツツツツ」という第2発信音が聞こえます。
- 5 電話機パスワードを押します。
※このとき「#」ボタンを2回押すと、手順（2）の状態に戻ります。ただし、やり直しは3回以内です。
- 6 外線アクセス番号または外線グループアクセス番号を押します。
内線を介してつながった外線発信音が聞こえます。
※このとき「#」ボタンを2回押すと、内線発信音に戻ります。
- 7 相手の電話番号（または短縮番号）を押します。
- 8 相手とつながったら、お話しします。

ダイレクトインワードシステムアクセス 〈DISA〉



ACR 発信方法

- 1 外出先からプッシュホン電話機で、DISA用に設定した外線
の電話番号をダイヤルします。
- 2 システムが自動応答し、音声案内、または「プッププッ」
という確認音が聞こえます。
- 3 そのままの状態ですべてのボタンを押します。
- 4 パスワードを登録してある内線電話機の番号を押します。
パスワード入力の要求案内、または「ツツツツツ」という第2発信音が聞こえ
ます。
- 5 電話機パスワードを押します。
※このとき「#」ボタンを2回押すと、手順（2）の状態に戻ります。
ただし、やり直しは3回以内です。
- 6 ACR 発信する外線に設定している番号をダイヤルします。
- 7 相手の電話番号（または短縮番号）を押します。
- 8 相手とつながったら、お話しします。

自動おまたせメッセージ

着信に回答できないときにメッセージを送ってお待ちいただく〈自動おまたせメッセージ〉

外線着信があったときに、空いている電話機を自動選択して着信させることができます。
また、複数の外線着信に回答していて、新たな外線着信に回答できない場合に、相手にメッセージを流してお待ちいただくことができます。



Note

- ダイヤルイン回線およびi・ナンバー回線でも動作します。

●メッセージについて

一定時間内に回答できない場合に、システムが自動応答してメッセージを流します。自動応答するまでの時間はあらかじめ設定が必要です。

メッセージ終了後は、保留音になります。

メッセージは、一定間隔ごとに流します。メッセージの間隔はあらかじめ設定が必要です。

メッセージとメッセージの間は、保留音になります。

メッセージ内容は、1回目と2回目以降で異なるメッセージを流すことができます。可変メッセージをあらかじめ録音すると、録音したメッセージを流すことができます。

夜間モードに切替えているときは動作しません。(自動おまたせメッセージのオン/オフは、夜間モード切替で行います。)

●外線着信について

メッセージを流している間、または保留音を流している間も、外線着信の呼び出しが継続されます。

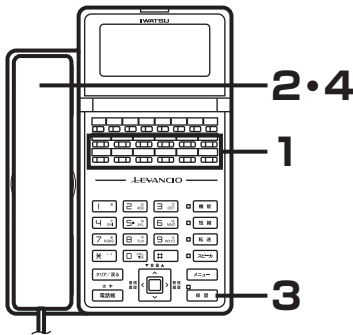
擬似話中返し

ISDN/IP回線を利用しているユーザにて、夜間など着信数を減らしたい場合、着信拒否したい局線を設定することにより、着信数を制限することができます。

Note

- 擬似話中返しを設定した外線は、保留警報の対象外となります。
- 擬似話中返しを設定した外線に着信があると、システムの不応答履歴に記録されます。システムの着信不応答履歴に記録するためには、あらかじめ設定が必要です。
- 記録可能な不応答履歴数は最大500件です。500件を超えた場合、最も古い履歴から削除され、新しい履歴が記録されます。
- 電話機に「ステーション放棄呼」ボタンが割り付けられていると、「ステーション放棄呼」ボタンが赤色で点灯します。受話器を取り上げ、「ステーション放棄呼」ボタンを押すと、履歴を確認できます。
- 「ステーション放棄呼」ボタンは、データ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

擬似話中の登録方法



1 空いている「外線」ボタンを押します。
「外線」ボタンが緑色で点滅します。

2 受話器を取り上げます。
「ツー」という外線発信音が聞こえます。
※手順(2)→手順(1)の順でも可能です。

局線#2 GP.1
一般回線

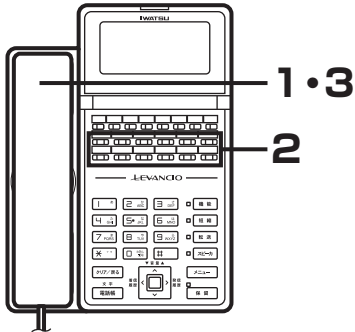
3 「保留」ボタンを押します。
「外線」ボタンが緑色で点滅します。

内線 11

4 受話器を置きます。

Note

- 擬似話中の局線は、通常の局線保留中と同じ表示になります。
- 複数の外線に擬似話中返しを設定したい場合は、設定したい外線全てに、同じ設定操作を繰り返してください。
- 「外線」ボタンの代わりに、「ダイヤルイン」ボタンを押しても同じ操作ができます。



擬似話中の解除方法

1 受話器を取り上げます。

内線 11

2 擬似話中の「外線」ボタンを押します。 「外線」ボタンが点滅します。

局線#2 GP.1 11

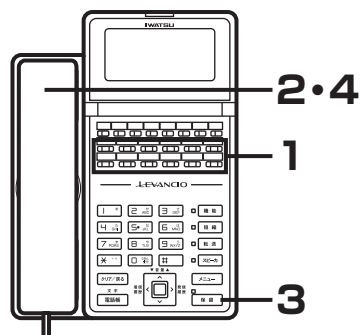
3 受話器を置きます。

Note

- 擬似話中返しを設定した電話機以外の電話機からも解除できます。

ダイヤルイン回線擬似話中

ISDN/IP回線のダイヤルイン回線を利用しているユーザにて、夜間など着信数を減らしたい場合、着信拒否したいダイヤルインキーを設定することにより、着信数を制限することができます。



ダイヤルイン回線の擬似話中登録方法

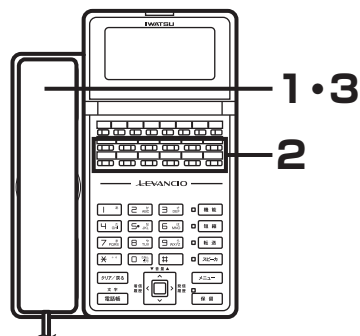
- 1 空いている「ダイヤルイン」ボタンを押します。
「ダイヤルイン」ボタンが緑色で点滅します。
- 2 受話器を取り上げます。
「ツー」という発信音が聞こえます。
※手順2→1の順でも可能です。
- 3 「保留」ボタンを押します。
登録が完了すると、「プッププッ」という確認音が聞こえます。
- 4 受話器を置きます。



Note

- 擬似話中のダイヤルインボタンは、通常の局線保留中と同じ表示になります。

ダイヤルイン回線擬似話中の解除



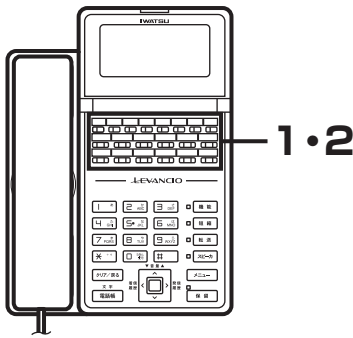
- 1 受話器を取り上げます。
- 2 擬似話中の「ダイヤルイン」ボタンを押します。
解除が完了すると、「プッププッ」という確認音が聞こえます。
- 3 受話器を置きます。

迷惑電話防止

非通知の着信にメッセージまたは話中音で応答する

発信者番号非通知の着信（ダイヤルイン含む）があると、メッセージまたは話中音が自動的に流れます。

発信者番号非通知の着信は、オン（着信拒否する）／オフ（着信拒否しない）を切替えることができます。

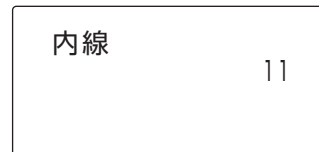


 **Note**

- 「非通知着信拒否」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

1 受話器を置いたまま「非通知着信拒否」ボタンを押し、非通知着信拒否をオンにします。

非通知着信拒否がオンになり、「非通知着信拒否」ボタンが赤色で点灯します。



2 再び「非通知着信拒否」ボタンを押します。

非通知着信拒否がオフになり、「非通知着信拒否」ボタンが消灯します。

 **Note**

- ISDN回線、アナログ回線でお使いの場合も、IP回線でお使いの場合もご利用になれますが、この機能を利用するにはNTTとナンバーディスプレイサービスの契約が必要です。
- 発信者番号非通知の着信に対する迷惑電話防止を使用するには、システムの設定が必要です。設定を変更する際は、お買い求めの販売店にご相談ください。
- 着信拒否の方法（メッセージまたは話中音）は、あらかじめ設定が必要です。
- メッセージが2回流れた後に、外線が自動的に切断されます。
- 発信者番号非通知に対する迷惑電話防止を設定する場合、下記の組合せで迷惑電話防止の対象を設定できます。
 - 非通知のみ
 - 公衆電話のみ
 - 表示圏外のみ
 - 非通知と公衆電話
 - 非通知と表示圏外
 - 公衆電話と表示圏外
 - 非通知、公衆電話と表示圏外

迷惑電話防止

登録された相手に着信拒否のメッセージ または話中音で応答する

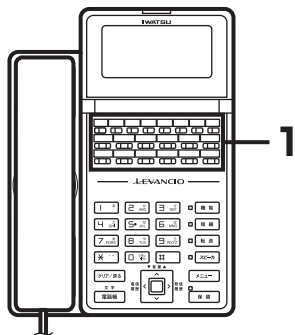
ある発信元に対して、次回から着信に応答したくない場合、発信者番号通知のある着信では、ワンタッチで相手の電話番号を迷惑電話番号リストに登録できます（最大200件）。拒否登録した電話番号から電話がかかってきたとき、電話を受けないようにして迷惑電話を防止することができます。このような相手から電話がかかってきたときに、メッセージまたは話中音が自動的に流れます。

● 着信拒否する電話番号を自動で登録する

1 着信した外線とお話し中に、「迷惑電話防止」ボタンを押します。

着信中の相手の電話番号が迷惑電話番号リストに登録されます。また、「ブブブブ」という確認音が聞こえます。

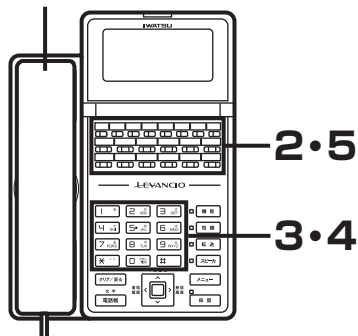
相手先 03XXXX0570
0:09



Note

- 「迷惑電話防止」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

1・6



 **Note**

- 「迷惑電話防止」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

● 着信拒否する電話番号を手動で登録する

1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。

内線 11

2 「迷惑電話防止」ボタンを押します。
「迷惑電話防止」ボタンが赤色で点滅します。



3 「9」「9」「9」ボタンを押します。

登録

4 登録する電話番号（最大16桁）を入力します。

- ※ 本手順で16桁の電話番号を入力した場合、その時点でダイヤルした電話番号が迷惑電話番号リストに登録され、「プッププッ」という確認音が鳴ります。この場合、手順（5）を省略し、終了する場合は手順（6）、続けて登録する場合は手順（4）を行ってください。

登録 03XXXX2222

5 「迷惑電話防止」ボタンを押します。
ダイヤルした電話番号が迷惑電話番号リストに登録され、「プッププッ」という確認音が鳴ります。

登録

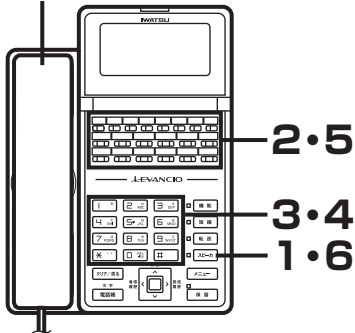
 **Note**

- 登録した電話番号には、自動的に迷惑番号リストの編集番号（001から200）が割り当てられます。

6 受話器を置くか「スピーカ」ボタンを押します。
「迷惑電話防止」ボタンが消灯します。

迷惑電話防止

1・6


 **Note**

- 「迷惑電話防止」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

●登録した電話番号を変更する

1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。

内線 11

2 「迷惑電話防止」ボタンを押します。
「迷惑電話防止」ボタンが赤色で点滅します。**3** 変更したい迷惑電話番号リストの編集番号 (001~200) を入力します。

登録されている電話番号が表示されます。

001
03XXXX2222

4 新しく登録する電話番号 (最大16桁) を入力します。

本手順で16桁の電話番号を入力した場合、その時点でダイヤルした電話番号が迷惑電話番号リストに上書き登録されます。

また、「迷惑電話防止」ボタンが消灯し、「プップッ」 という確認音が鳴ります。

この場合、手順 (5) を省略し、手順 (6) を行ってください。

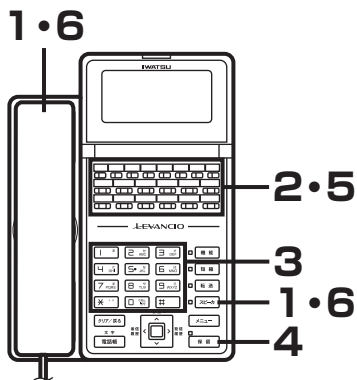
001 03XXXX1111

5 「迷惑電話防止」ボタンを押します。

ダイヤルした電話番号が迷惑電話番号リストに上書き登録されます。

また、「迷惑電話防止」ボタンが消灯し、「プップッ」 という確認音が鳴ります。

6 受話器を置くか「スピーカ」ボタンを押します。



Note

- 「迷惑電話防止」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

●登録した電話番号を消去する

1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。

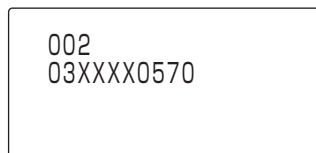


2 「迷惑電話防止」ボタンを押します。
「迷惑電話防止」ボタンが赤色で点滅します。

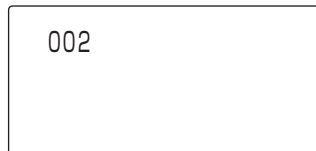


3 消去したい迷惑電話番号リストの編集番号 (001 ~ 200) を入力します。

登録されている電話番号が表示されます。



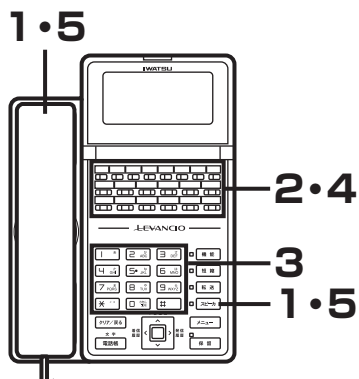
4 「保留」ボタンを押します。
ディスプレイの電話番号が消去されます。



5 「迷惑電話防止」ボタンを押します。
迷惑電話番号リストから消去されます。
「迷惑電話防止」ボタンが消灯し、「プップッ」 という確認音が鳴ります。

6 受話器を置くか「スピーカ」ボタンを押します。

迷惑電話防止


 **Note**

- 「迷惑電話防止」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

●登録した電話番号を全て消去する

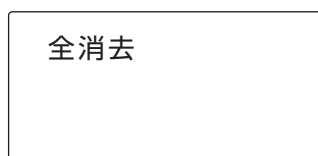
1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。



2 「迷惑電話防止」ボタンを押します。
「迷惑電話防止」ボタンが赤色で点滅します。



3 「9」「8」「7」をダイヤルします。
ディスプレイに“全消去”と表示されます。

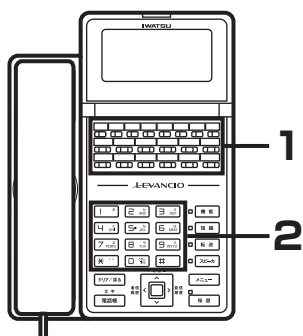


4 「迷惑電話防止」ボタンを押します。
迷惑電話番号リストから全ての電話番号が消去されます。
「迷惑電話防止」ボタンが消灯し、「プップッ」という確認音が鳴ります。

5 受話器を置くか「スピーカ」ボタンを押します。

●登録した電話番号を確認する

1 受話器を置いたまま「迷惑電話防止」ボタンを押します。 「迷惑電話防止」ボタンが赤色で点滅します。

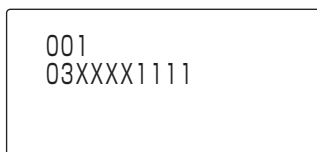


Note

- 「迷惑電話防止」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

2 確認したい迷惑電話番号リストの編集番号 (001~200) を入力します。

登録されている電話番号が表示されます。



※ 次の電話番号を表示するときは、「*」を押します。

※ 前の電話番号を表示するときは、「#」を押します。

Note

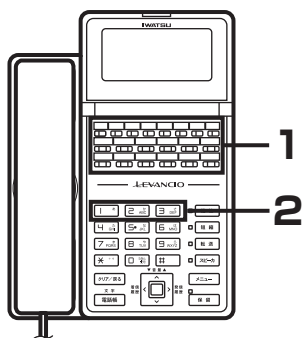
- ISDN 回線、アナログ回線でお使いの場合も、IP回線でお使いの場合もご利用になれますが、この機能を利用するにはNTTとナンバーディスプレイサービスの契約が必要です。
- 迷惑電話番号リストに登録できる電話番号の件数は、システムで最大200件までです。
- 発番号非通知の着信は、登録できません。
- 着信拒否の方法（メッセージまたは話中音）は、あらかじめ設定が必要です。
- メッセージが2回流れた後に、外線が自動的に切断されます。

迷惑電話防止

話中の相手にきっかけ音を聞かせる

通話中の相手に、電話を切るきっかけ音（ドアホンの着信音など）を聞かせることができます。

勧誘電話などの通話中に電話を早々に切りたいときなど、きっかけ音を通話中の相手に聞かせることで、電話を切る口実として利用できます。きっかけ音は、操作者にも聞こえます。



 **Note**

- 「きっかけ音」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

1 外線とお話し中に、「きっかけ音」ボタン（または「機能」+「1」「5」ボタン）を押します。

「きっかけ音」ボタンが赤色で点滅します。

相手先 03XXXX0570
0:09

2 きっかけ音に対応する番号（1～3）を押します。

きっかけ音が相手と操作者に聞こえます。

- 警報類似音 → 「1」ボタン
- 通話途切れ音 → 「2」ボタン
- ドアホン着信音 → 「3」ボタン

再度、きっかけ音を送出する場合は、手順（1）から操作します。

 **Note**

- ドアホン着信音は、冒頭の音が操作者には聞こえない場合があります。
- 通話録音、通話モニタ中でも、きっかけ音を送出できます。

オフフックトランクキューイング

捕捉しようとした外線が使用中の場合に、受話器を取り上げた状態のままや、「スピーカ」ボタンを押した状態のまま、外線が空くのを待つことができます。

Note

- オフフックトランクキューイングを行うためにはデータ設定が必要です。お買い求めの販売店にお問い合わせください。

プライムステーション

鳴音電話機がない場合にも、外線着信に応答することができます。鳴音電話機がない場合は、プライムステーションが鳴ります。

※プライムステーションについては、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

外線着信鳴音指定／外線代表着信／スライド着信

外線着信音を鳴らす電話機を指定することができます。

● 外線着信鳴音指定

各外線ごとに外線の着信を鳴らす電話機を指定することができます。

Note

- 着信音を鳴らす電話機は、1つの外線に対して夜間モード、昼間モードの各モードで最大32台までです。
- 通話中、内線呼び出し中、不在転送設定中、着信拒否中、不在メッセージ登録中または強制切断の場合は、外線着信鳴音指定されている電話機でも鳴りません。
- 鳴音する電話機は、外線代表着信やスライド着信が設定されているときでも鳴り続けます。

● 外線代表着信

内線グループ内の空いている電話機を選択して、外線の着信音を鳴らすことができます。

Note

- 着信鳴音設定されている電話機は、本機能に関係なく着信時に鳴ります。
- 着信音を鳴らす代表着信グループは、外線ごとの夜間モード、昼間モードの各モードで1つだけです。
- 通話中、内線呼び出し中、不在転送設定中、着信拒否中、不在メッセージ登録中または強制切断の場合は、外線代表着信指定されている同一グループの電話機でも鳴りません。
- 外線ごとに着信させる代表着信グループ番号を、データ設定により、あらかじめ登録が必要です。登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

● スライド着信

指定した電話機が応答しない場合に、他の電話機に着信を回すことができます。外線着信鳴音指定した電話機が一定時間以上応答しない場合に、最大32台の電話機に着信を回すことができます。

Note

- スライド着信できるのは一般着信だけです。
- スライド着信を指定した電話機は、夜間モード、昼間モードともに共通です。
- 通話中、内線呼び出し中、不在転送設定中、着信拒否中、不在メッセージ登録中または強制切断の場合は、外線着信鳴音指定されている電話機でも鳴りません。
- スライドするまでの時間、およびスライド着信先の電話機を、データ設定により、あらかじめ登録が必要です。登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

外線着信方式

外線の着信先を簡易中継台に集めたり、内線電話機に分散したり、あるいは両方に着信させることができます。

着信鳴音優先順位

呼び出し機能には以下のような優先順位が定められています。ただし、同じ呼び出しが同時に入っている場合は、着信順となります。

優先順位	呼び出し状態	優先順位	呼び出し状態
0	優先内線着信（ボイス）／ルームモニタ	8	局線着信
1	優先内線着信（トーン）	9	内線キャンプオン
2	内線音声呼び	10	局線コールバック
3	タイムコール／モーニングコール	11	内線コールバック
4	転送保留リコール	12	内線トーン
5	局線リコール	13	ドアホン
6	局線着信アラーム	14	ページング
7	局線キャンプオン	15	BGM

Note

- 優先順位は、0が最も最優先順位が高い着信です。

簡易着信呼均等分配〈簡易ACD〉

外線着信に対し設定した応答時間を超えると、システムが自動的に応答してメッセージを流すようにすることができます。



Note

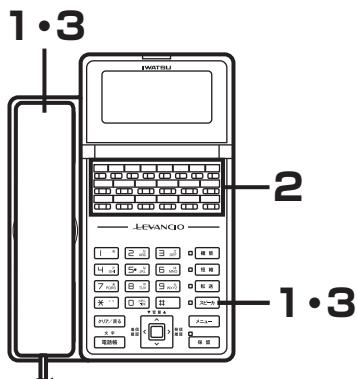
- 簡易ACDを行う外線、応答時間は、データ設定により、登録が必要です。登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

⚠ 注意

- 切断信号が検出されない外線では、データ設定された時間で強制切断されますのでご注意ください。

夜間切り替え／分散切り替え

- データ設定により、あらかじめ登録されている時間帯に着信音を鳴らす電話機および外線応答規制を切り替えられます。
- 指定電話機で着信音を鳴らす電話機および外線応答規制を手動で切り替えられます。



夜間切り替え方法

- 1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。
「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。




- 2 「夜間切替」ボタンを押します。
※切り替えが完了すると、「プッププツ」という確認音が聞こえます。
 - 夜間モード状態のとき
「夜間切替」ボタンが赤色で点灯します。
 - 昼間モード状態のとき
「夜間切替」ボタンが消灯します。

- 3 受話器を置くか「スピーカ」ボタンを押します。



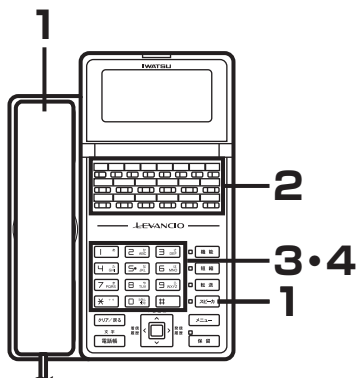
Note

- あらかじめ登録した時間により自動的に切り替えを行うことができます。
- 夜間モードから昼間モードへの切り替えはマニュアル操作でしかできません。
- 外線使用中にモードを変更すると、その外線が空きになった時点で、新しい設定モードに切り替わります。
- 「夜間切替」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。システム電話機に登録することができます。
- 夜間モード状態中は、電話機ディスプレイに  が表示されます。

夜間切り替え／分散切り替え

分散切り替え方法

外線グループごとに昼間／夜間のモードを切替えることができます。



1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。
「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。

2 「分散切り替え」ボタンを押します。

3 外線グループ番号 (001～030) を押します。

4 モード番号 (「1」または「2」ボタン) を押します。

● 昼間モード → 「1」ボタン

● 夜間モード → 「2」ボタン

※ 切り替えが完了すると、「プッププツ」という確認音が聞こえます。

Note

- 昼間モード、夜間モードで着信音を鳴らす電話機は、データ設定により、あらかじめ登録が必要です。登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。
- システムが夜間切り替えでモードを切り替えられていても、分散切り替えを行うとサブシステム内の外線グループごとにモードを切り替えられます。
- 外線使用中にモードを変更すると、その外線が空きになった時点で、新しい設定モードに切り替わります。
- 「分散切り替え」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。システム電話機に登録することができます。

音声案内

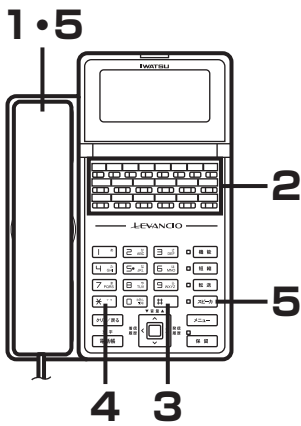
外線や内線からかかってきた電話に対し、音声による案内サービスができます。

音声案内サービスには以下のようなものがあります。

- 接続案内サービス
- ダイレクトインワードサービスアクセス (DISA)
- 外線への自動応答メッセージ
- 転送電話の応答メッセージ
- 迷惑電話防止のおことわりメッセージ

番号	状態	ページ	メッセージ
01	案内サービス	—	可変メッセージのみ
02	DISA	8-22	こちらは、ダイレクトインサービスです。おかけの電話機が、プッシュホンでしたら発信音の後に、内線番号をダイヤルしてください。
03			こちらは、ダイレクトインサービスです。おかけの電話機が、プッシュホンでしたら発信音の後に、内線番号をダイヤルしてください。ただしコレクトコールではお呼び出しできません。
05			ピー（発信音）
06～09	外線自動応答1	—	本日の業務は、終了致しました。恐れ入りますが、就業時間におかけ直してください。
10～13	外線自動応答2	—	恐れ入りますが本日は、定休日となっています。
14～17	転送電話	5-45	転送電話です。
18	話中音	—	ただいまお話し中です。
19	警告音	—	おかけになった番号は、使われておりません。
20	ドントディスタープ	7-53	ただいまお呼び出しできません。
21	不在メッセージ	7-70	ただいま不在のため、お呼び出しできません。
22	モーニングコール	7-63	こちらは、モーニングコールサービスです。ダイヤルをどうぞ。
23	モーニングコール応答	7-63	こちらは、モーニングコールサービスです。お時間になりました。
24	音声案内録音	8-45	録音を開始します。メッセージをどうぞ。
25	音声案内録音消去	8-48	録音を取り消しました。
26	音声案内登録不可	8-45	ただいま録音できません。
27	音声案内登録終了	8-45	録音を終了します。
28	音声案内録音再生	8-46	録音を再生します。
29	登録完了	8-45	登録を受け付けました。
30	登録消去	8-48	登録を取り消しました。
31	着信呼均等分配 (自動おまたせメッセージ・1回目)	8-25	ただいま呼び出しを行っていますので、恐れ入りますがそのままの状態ですしばらくお待ちください。
32	着信呼均等分配 (自動おまたせメッセージ・2回目以降)	8-25	お待たせして申し訳ございませんが、もうしばらくお待ちください。
33	DCL圏外	—	おかけになった電話は、電波の届かない場所にあるか、電源が入っていないため、呼び出せません。
42	センサ自動発報	—	センサーが動作しました。
45	迷惑電話防止（電話番号登録型）	8-29	この電話はお受けできません。ご了承ください。
46	迷惑電話防止（番号非通知型）	8-29	恐れ入りますが、電話番号の先頭に186とつけてダイヤルするなど、あなたの電話番号を通知しておかけ直してください。
47	迷惑電話防止（公衆／表示圏外型）	8-29	恐れ入りますが、電話番号が通知されていないため、この電話はお受けできません。電話番号が通知される電話からおかけ直してください。
48	FAX自動転送	—	ただいま呼び出しを行っていますので、恐れ入りますがそのままの状態ですしばらくお待ちください。
49	DISAパスワード入力要求	8-22	パスワードをダイヤルしてください。

音声案内


 Note

- 「音声案内録音」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。システム電話機に登録することができます。
- 固定メッセージは、システムにあらかじめ登録してある音声案内です。

固定メッセージの再生

1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。

2 「音声案内録音」ボタンを押します。
「音声案内録音」ボタンが緑色で点滅します。

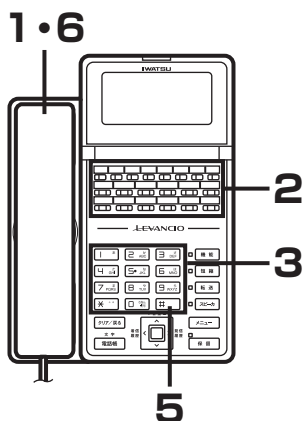
録音種別	11
------	----

3 「#」ボタンを押します。
「録音を再生します。」というガイダンスが流れます。
「音声案内録音」ボタンが消灯します。

4 「*」ボタンを押します。
全ての固定メッセージが流れます。

再生種別	11 *
------	------

5 固定メッセージを聞き終わったら、受話器を置くか「スピーカ」ボタンを押します。



Note

- すでにメッセージ登録されている場合、上書きして登録されます。
- メッセージは何度でも吹き替えることができます。
- 「音声案内録音」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。システム電話機に登録することができます。

可変メッセージの録音

1 受話器を取り上げます。

2 「音声案内録音」ボタンを押します。
「音声案内録音」ボタンが緑色で点滅します。

録音種別	11
------	----

3 メッセージ番号 (01~49) を押します。
「録音を開始します。メッセージをどうぞ。」というガイダンスが流れます。
「音声案内録音」ボタンが消灯します。

録音種別	15
	11

4 受話器を通してメッセージを録音します。

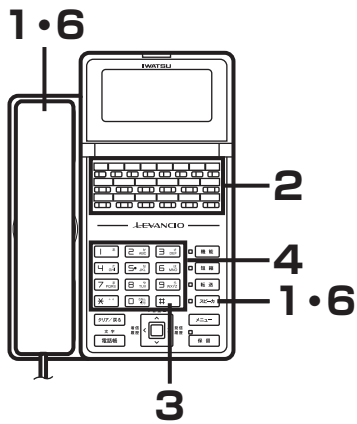
Note

- 可変メッセージの録音時間には制限があります。制限を越えた録音はできません。設定を変更する際は、お買い求めの販売店にご相談ください。

5 録音を終わらせる為に「#」ボタンを押します。
「登録を受け付けました。」というガイダンスが流れます。

6 受話器を置きます。

音声案内


 **Note**

- 「音声案内録音」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。システム電話機に登録することができます。

可変メッセージの再生

●可変メッセージの再生方法

1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。

2 「音声案内録音」ボタンを押します。
「音声案内録音」ボタンが緑色で点滅します。

録音種別	11
------	----

3 「#」ボタンを押します。
「録音を再生します。」というガイダンスが流れます。
「音声案内録音」ボタンが消灯します。

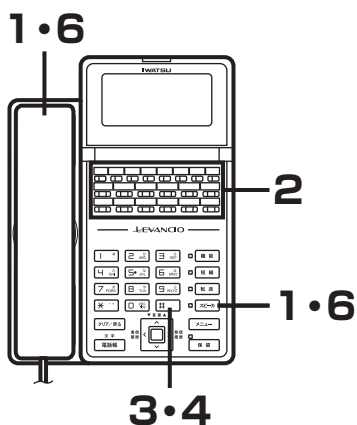
再生種別	11
------	----

4 再生するメッセージ番号 (01~49) を押します。

再生種別	01
	11

5 録音されていた可変メッセージが流れます。

6 可変メッセージを聞き終わったら、受話器を置くか「スピーカ」ボタンを押します。



Note

•「音声案内録音」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。システム電話機に登録することができます。

●可変メッセージの一括再生方法

1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。

2 「音声案内録音」ボタンを押します。
「音声案内録音」ボタンが緑色で点滅します。

録音種別	11
------	----

3 「#」ボタンを押します。
「録音を再生します。」というガイダンスが流れます。
「音声案内録音」ボタンが消灯します。

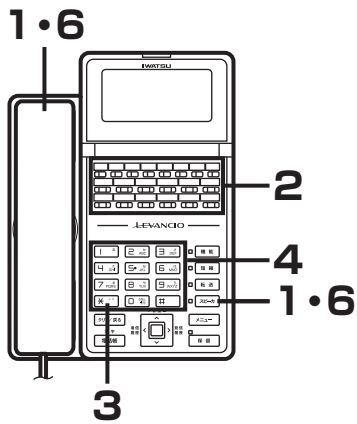
4 「#」ボタンを押します。

再生種別	#
	11

5 録音されていた全ての可変メッセージが流れます。

6 可変メッセージを聞き終わったら、受話器を置くか「スピーカ」ボタンを押します。

音声案内


 **Note**

•「音声案内録音」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。システム電話機に登録することができます。

可変メッセージの消去

●可変メッセージの消去方法

1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。

2 「音声案内録音」ボタンを押します。
「音声案内録音」ボタンが緑色で点滅します。

録音種別	11
------	----

3 「*」ボタンを押します。

クリア種別	11
-------	----

4 消去するメッセージ番号 (01~49) を押します。

5 録音されている内容が消去されます。
「録音を取り消しました。」というガイダンスが流れます。
「音声案内録音」ボタンが消灯します。

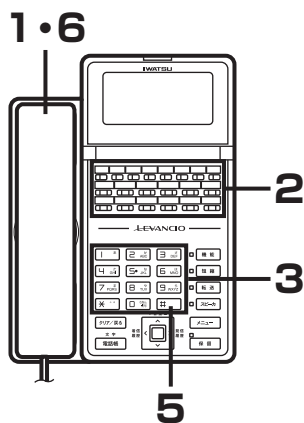
クリア種別	01
	11

6 受話器を置くか「スピーカ」ボタンを押します。

案内サービス

伝えたい内容があるときに、案内サービスを使用して録音しておくことで、他の人が再生して聞くことができます。

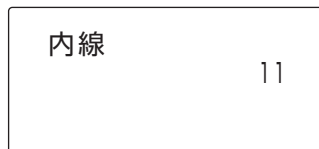
●案内サービスを使って伝言を録音する



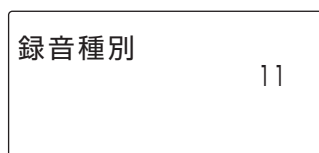
Note

・「音声案内録音」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。システム電話機に登録することができます。

1 受話器を取り上げます。



2 「音声案内録音」ボタンを押します。 「音声案内録音」ボタンが緑色で点滅します。



3 案内サービスのメッセージ番号 (01) を押します。 「録音を開始します。メッセージをどうぞ。」というガイダンスが流れます。 「音声案内録音」ボタンが消灯します。

4 録音するメッセージを話します。

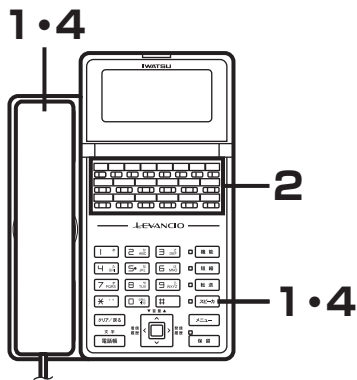
5 録音を終わらせる為に「#」ボタンを押します。 「登録を受け付けました。」というガイダンスが流れます。

6 受話器を置きます。

Note

・既にメッセージ番号01に変更可メッセージが録音されていた場合は、上書き保存されません。

音声案内



●案内サービスを使って伝言を再生する

1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。

内線	11
----	----

2 「音声案内再生」ボタン（または「機能」+「4」「5」ボタン）を押します。

再生種別	01
	11

3 メッセージが再生されます。

4 メッセージの再生終了後、受話器を置くか「スピーカ」ボタンを押します。

 **Note**

- 可変メッセージ01番に録音されたメッセージが再生されます。
- 「音声案内再生」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

9.IP 関連機能編

ご利用いただく前に

■IP電話サービスについて

- IP電話サービス、IWATSU-NET、およびインターネット電話帳を「外線」ボタンに割り付けてある場合、イーサケーブルが外れたり、外部ルータの電源が切れたとき、対象となるすべての「外線」ボタンが赤色で点灯します。
- あらかじめ資源ライセンスの登録が必要です。

IP電話サービス

IP電話サービス提供会社と契約することで一般公衆回線と同様に「外線」ボタンに登録し、外線発信、着信保留転送などの各種サービス機能をご利用できます。

- 電話をかけるときは、ISDN回線と同様にダイヤルの最後に「#」ボタンをダイヤルします。また、ダイヤルは市外局番からダイヤルしてください。
- 対応しているIP電話サービス提供会社の情報など、各種情報は次のホームページなどでご確認ください。
<http://www.iwatsu.co.jp/>
- ご契約したIP電話サービス提供会社のホームページなどで、以下の内容をご確認ください。
 - ・発信できないダイヤル（例：110、119などの緊急番号、その他）などの情報。
 - ・その他の注意事項。
- 多機能電話機などに表示される課金は目安であり、正確な内容を表示していません。

Note

- ・このサービスを利用するには、プロバイダ、フレッツ 光ネクストなどの回線、IP電話サービスの契約が必要です。
- ・「110番」、「119番」などIP回線で発信しても電話番号により発信できない場合は、あらかじめ登録した外線グループの空き外線を自動的に使用して発信されます。ただし、あらかじめデータ設定が必要です。
この場合、一般公衆回線であるため課金されます。また、最初に表示していた「外線」ボタンのランプは消灯し、他の「外線」ボタンのランプが緑色で点滅します。
- ・IP電話サービスユニットはあらかじめ取り付けが必要です。お買い求めの販売店にお問い合わせください。

IWATSU-NET

あらかじめダイナミックDNSサービスに電話番号を登録する事で、IP電話サービスの契約がなくてもIWATSU-NETに対応した製品どうしでお話しができます。

発信者番号はデータ設定により、あらかじめ登録することで着信表示することができます。

Note

- ・このサービスを利用するには、プロバイダ、フレッツ 光ネクストなどの回線の契約、ダイナミックDNSの登録が必要です。
- ・相手先がIWATSU-NETに登録されていないとIWATSU-NETを使用した発信はできません。相手先が登録していない場合には、あらかじめ登録した外線グループの空き外線を自動的に使用して発信されます。ただし、あらかじめデータ設定が必要です。
一般公衆回線を使用した場合は課金されます。また、最初に表示していた「外線」ボタンのランプは消灯し、他の「外線」ボタンのランプが緑色で点滅します。
- ・あらかじめ専用のユニットの取り付けが必要です。お買い求めの販売店にお問い合わせください。

インターネット電話帳

インターネット電話帳は、インターネットを使用して、主装置に登録した相手先に電話ができるサービスです。IWATSU-NETは、弊社のインターネット中継網を経由して音声のやりとりをするサービスですが、インターネット電話帳は主装置の機能を使用し、弊社のインターネット中継網を経由しないでも同じような音声のやりとりができるサービスです。

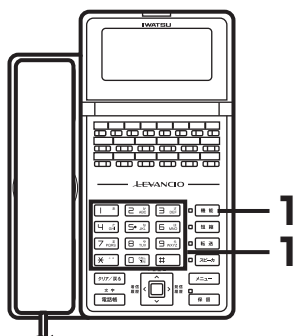
お話ししたい相手の機器のIPアドレスが判明しているとき、かつIPアドレスが変更されることがない場合は、あらかじめ登録したIPアドレス宛に発信することができます。電話番号はデータ設定により、あらかじめ登録しておく必要があります。

Note

- ・このサービスを利用するには、プロバイダ、フレッツ 光ネクストなどの回線の契約が必要です。
- ・あらかじめ専用のユニットの取り付けが必要です。お買い求めの販売店にお問い合わせください。

システム情報を確認する

システムのIPアドレス、ソフトウェアバージョン等の情報を表示できます。



1 受話器を置いたまま、「機能」+「9」「1」ボタンを押します。

```
CCSU 192.168. 1. 1
LAN 255.255.255. 0
Ver 200
```

IPアドレス
サブネット
マスク

ソフトウェア
バージョン

Note

- システム情報は、電話機のディスプレイに10秒間表示されます。
- IPアドレスおよびサブネットマスクは、操作した時点で実際にLANポートに設定されている値を表示します。なお、IPアドレス、サブネットマスク以外のLANポート情報は表示しません。
- ソフトウェアバージョンは、以下のように表示されます。
例 Ver 2.00の場合「Ver 200」

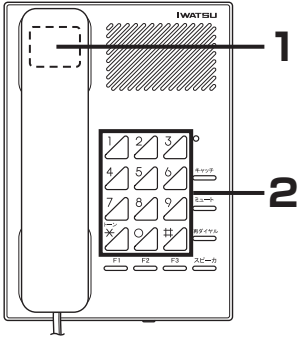
10. 单独電話機

基本操作編

機能特番の使い方

機能特番とは、システムに入っている機能をアクセスしたいときにダイヤルする番号です。
以下の機能は工事によって登録する必要があります。登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

機能特番をダイヤルするとき



1 通話中の場合はフッキング（フックスイッチをポンと一瞬押す）をします。

※使用していない場合は、受話器を取り上げます。「ツツツツツ」という内線発音音が聞こえます。

2 機能特番を押します。
以下の機能の機能特番が使用できます。

Note

- フッキングはデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。
- 特番はデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

機能特番

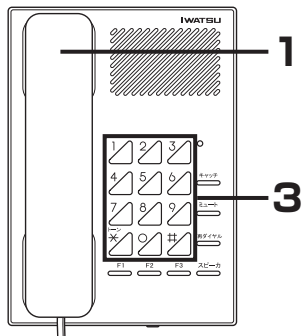
表の特番空欄部には、登録したダイヤル番号を書き込みます。
※ダイヤル番号は、データ設定により登録されます。お買い求めの販売店にお問い合わせください。

特番	機能	特番	機能
	キャンセル特番 短縮番号発信特番 短縮番号登録特番（グループ無） 短縮番号登録特番（グループ有） ラストナンバリダイヤル特番 トランクキューイング特番 タイムドトランクキューイング特番 保留応答特番 グループ内代理応答特番 グループ外代理応答特番 個別代理応答特番 個別パーク保留応答特番 個別パークリモート応答特番 ロングフラッシュ特番 ショートフラッシュ特番 会議特番 伝言録音 コールバック特番 メッセージウェイト特番 転送先変更特番 転送モード切替え特番 転送特番 ドントディスターブ特番 ミート・ミー応答特番		案内サービス特番 モーニングコール特番 電話機パスワード登録特番 中継台一斉呼び出し特番 リモート特番 局線グループに対する応答 全ての局線グループに対応する応答特番 とりつぎ特番 指定端末アクセス特番 グループ内秘書応答特番 グループ外秘書応答特番 局線ルームモニタ特番 発番号転送リモート特番

外線へ電話をかける

受話器を上げてかける

受話器を取り上げるだけで自動的に空いている外線を探すことができます。



1 受話器を取り上げます。

2 空いている外線が自動的に捕捉されます。

「ツー」という外線発信音が聞こえます。

※すべての外線が使用中のときは、「ツーツー」という話中音が聞こえます。

3 電話番号をダイヤルします。

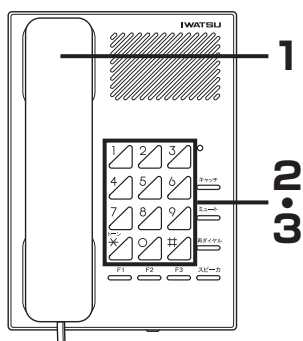
※MF式（PB）単独電話機からIP回線・ISDN回線をご利用の場合は、電話番号のあとに「#」ボタンを押します。

Note

• 空外線自動捕捉機能を使用する場合は、電話機ごとに、使用する外線アクセス番号、または外線グループアクセス番号は、データ設定により、あらかじめ登録が必要です。登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

外線を指定して電話をかける

〈外線発信／グループ外線発信〉



1 受話器を取り上げます。

「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。

2 該当する番号を押します。

●外線発信の場合

→使用する外線アクセス番号（1～4桁）を押します。

●グループ外線発信の場合

→使用する外線グループアクセス番号（1～4桁）を押します。「ツー」という発信音に切り替わります。

※該当する外線（グループ内のすべての外線）が使用中の場合は、「ツーツー」という話中音が聞こえます。その場合は受話器を戻し、少し待ってから再び、上記手順（1）から操作してください。

3 相手の電話番号をダイヤルします。

4 お話します。

Note

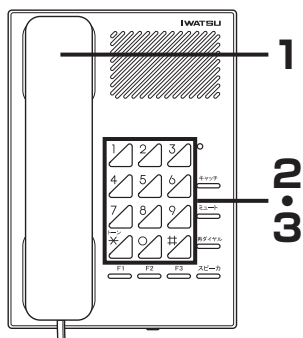
• 外線アクセス番号は、外線をアクセスするための番号で、局番とは別に外線ごとに割り当てられます。

• 外線グループアクセス番号とは、グループ分けされている複数の外線全体に割り当てられる番号です。

• 使用できる外線アクセス番号は、または外線グループアクセス番号は、データ設定により、あらかじめ登録が必要です。登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

外線へ電話をかける

短縮ダイヤルでかける〈短縮ダイヤル発信〉



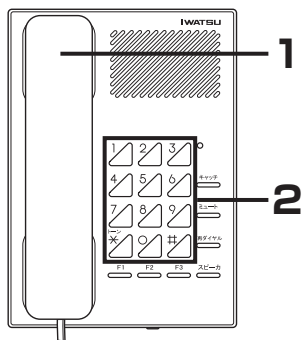
Note

- 短縮番号発信の特番は、データ設定により、登録が必要です。登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

- 1 受話器を取り上げます。
「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。
- 2 「短縮発信特番」を押します。
- 3 相手の短縮番号をダイヤルします。
登録されている電話番号が自動ダイヤルされます。
- 4 お話しします。

最後にかけた相手に再びかけ直す 〈ラストナンバリダイヤル〉

簡単な操作で最後に電話した相手に再びかけ直すことができます。



Note

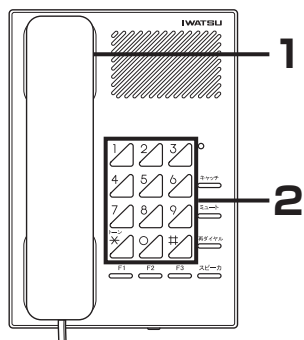
- この機能は常に最後にダイヤルした電話番号が対象となります。
- 転送中、通話中のダイヤルは、ラストナンバリダイヤルの対象とはなりません。
- 記憶される有効ダイヤル桁数は48桁以内です。
- 「ラストナンバリダイヤル特番」はデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。

- 1 受話器を取り上げます。
「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。
- 2 「ラストナンバリダイヤル特番」を押します。
- 3 自動的にダイヤルされます。
※最後にダイヤルした外線アクセス番号、外線グループアクセス番号に該当する外線につながりますので、該当する外線が使用中の場合は「ツーツー」という話中音が聞こえます。

内線へかける

受話器を上げてかける〈空内線自動捕捉〉

内線を自動的に捕捉することができます。



1 受話器を取り上げます。
「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。

2 内線番号をダイヤルします。

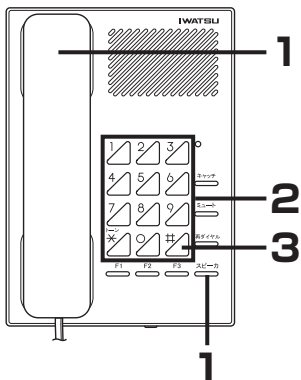
 **Note**

- 外線と接続中のときは、フッキング（フックスイッチをポンと一瞬押す）をすることで内線につながります。
フッキングはデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。

内線へかける

内線呼び出し音を切替える

〈音声呼び出し／トーン呼び出し〉



1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。
「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。

2 相手の内線番号（1～4桁）をダイヤルします。

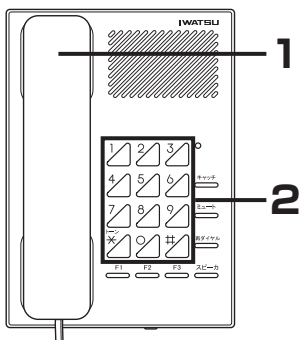
3 声で呼び出す場合は「#」ボタンを押します。
※受話器で「〇〇さん」のように呼びかけます。
※声での呼び出しは、相手が多機能電話機の場合のみ使用できます。

4 相手が応答したらお話しします。

Note

- 内線番号の登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。
- 他の内線電話機を音で呼び出すか、声で呼び出すかは、データ設定により、あらかじめ登録できます。登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

呼び出したい部署の空いている電話機を呼び出す



1 受話器を取り上げます。
「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。

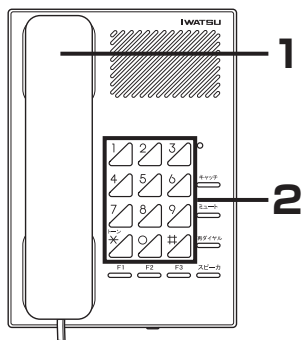
2 相手の内線グループ（部署など）の代表番号（1～4桁）をダイヤルします。

3 相手が応答したらお話しします。

一斉呼び出し／グループ呼び出し／外部スピーカ呼び出し

多機能電話機のスピーカおよび外部スピーカに一斉に呼びかけることができます。

呼び出し対象となる多機能電話機と外部スピーカに、データ設定により選択したページング予告音を送出することができます。



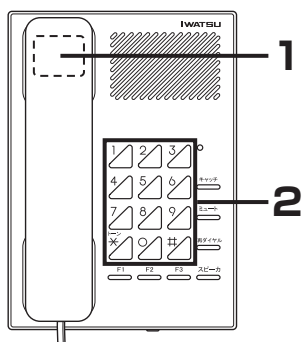
1 受話器を取り上げます。
「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。

2 該当する特番をダイヤルします。

- 電話機および外部スピーカを一斉に呼び出す場合
→ 「一斉呼び出し特番」
- グループ分けした電話機を対象に呼び出す場合
→ 「グループ呼び出し特番」
- 外部スピーカを対象に呼び出す場合
→ 「ページング呼び出し特番」

3 「〇〇さん応答してください」のように呼びかけます。

● お話し中の場合



1 通話中に、フッキング（フックスイッチをポンと一瞬押す）をします。

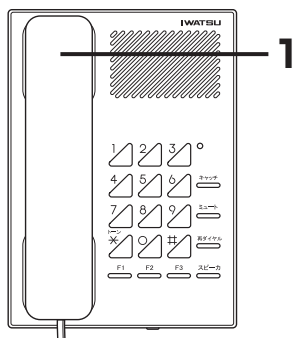
2 該当する特番をダイヤルします。

- 電話機および外部スピーカを一斉に呼び出す場合
→ 「一斉呼び出し特番」
- グループ分けした電話機を対象に呼び出す場合
→ 「グループ呼び出し特番」
- 外部スピーカを対象に呼び出す場合
→ 「ページング呼び出し特番」

Note

- 各呼び出しの対象となる多機能電話機と外部スピーカは、データ設定により登録が必要です。
- 「一斉呼び出し特番」、「グループ呼び出し特番」、「ページング呼び出し特番」は、データ設定により、あらかじめ登録が必要です。登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。
- これらの呼び出しにはミート・ミー応答でしか応答できません。

内線へかける



内線ホットライン

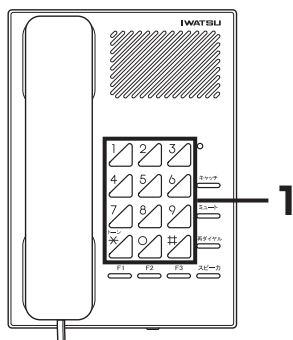
受話器を取り上げるだけで、特定の内線電話機を呼び出すことができます。

- 1 受話器を取り上げます。
- 2 登録されている内線番号を自動的に呼び出します。

**Note**

- 内線ホットライン機能を使用するには、データ設定により、あらかじめ登録が必要です。内線番号、パイロット番号、一斉呼び出し番号、グループ呼び出し番号、ページング呼び出し番号を登録できます。

相手が通話中か応答がなく続けて別の内線を呼び出す〈クリアコール／シフトコール〉



Note

- クリアコールまたはシフトコールは、データ設定により、あらかじめ登録が必要です。
- クリアコールとシフトコールの両方を登録することはできません。

1 そのままの状態

- クリアコールの場合
→ 別の内線番号（1～4桁）をダイヤルします。
- シフトコールの場合
→ 最初にダイヤルした内線番号の下一桁のみダイヤルし直し、呼び出し先を変更します。

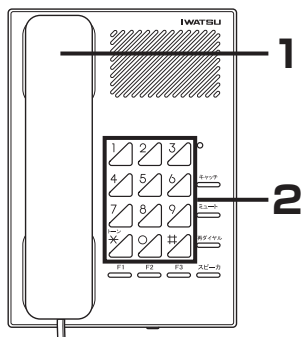
2 相手が応答したらお話しします。

応答しない相手に、折り返し連絡がほしい旨のメッセージを伝える〈メッセージウェイト〉

- メッセージウェイトの設定方法については、10-26ページ
- メッセージウェイトの解除方法については、10-26ページ

●メッセージウェイトの応答方法

連絡を待っている相手呼び出します。



1 受話器を取り上げます。

「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。

2 「メッセージウェイト特番」を押します。

連絡を待っている相手の内線が自動的に呼び出されます。

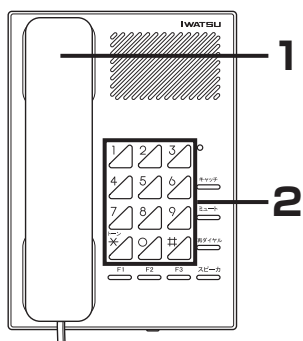
Note

- 1台の電話機に対して4通のメッセージウェイトを記憶させることができます。
- データ設定により、あらかじめ登録が必要です。登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

内線へかける

呼び出した相手の応答がない場合に強制的に呼び出す〈オーバーライド〉

応答しない内線電話機（着信拒否、通話中）を強制的に呼び出せます。この機能はオーバーライド可のデータ設定をされた電話機で利用することができます。



1 受話器を取り上げます。
「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。

2 呼び出したい内線番号をダイヤルします。

3 相手が通話の状態でも呼び出しを行います。

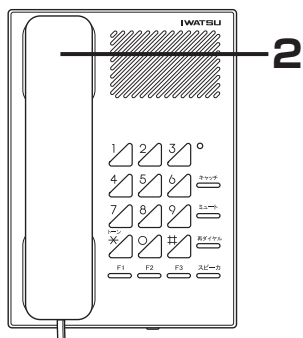
Note

- オーバーライドを行う単独電話機には、あらかじめオーバーライド可の登録が必要です。登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

外線を受ける

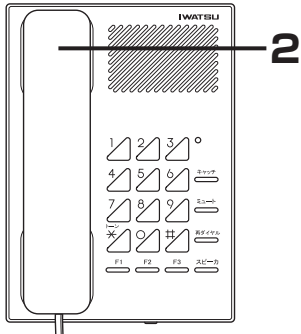
外線からの電話を受けるとき〈外線着信自動応答〉

受話器を取り上げるだけで自動的にかかってきた外線に应答することができます。



- 1 着信鳴音指定されている外線に着信があると、着信音が鳴ります。
- 2 受話器を取り上げます。
- 3 お話しします。

内線を受ける

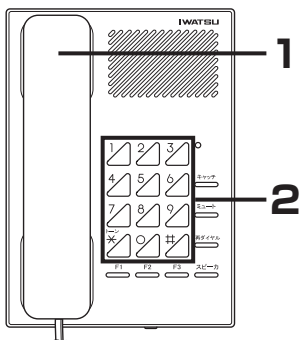


受話器を上げて受ける〈内線自動応答〉

- 1 着信音が鳴ります。
- 2 受話器を取り上げます。
- 3 お話しします。

離席の人への内線呼び出しに自席で応答する 〈着信代理応答〉

鳴っている電話機の着信を、他の電話機で応答できます



- 1 受話器を取り上げます。
- 2 応答する着信により、以下の操作を行います。
 - グループ内への着信の場合
→「グループ内代理応答特番」
 - 他の内線グループ（部署など）への着信の場合
→「グループ外代理応答特番」と、着信している電話機のグループ番号（3桁）
 - 着信している電話機の内線番号を指定して応答する場合
→「個別代理応答特番」と、着信している電話機の内線番号
 - 全グループへの着信の場合
→「グループ外代理応答特番」とグループ番号（000）
- 3 お話しします。

Note

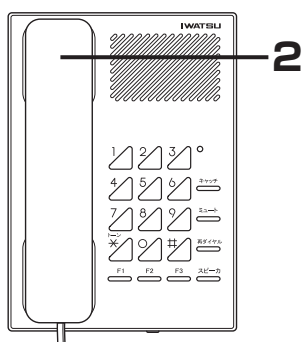
- あらかじめ外線応答規制されている外線には代理応答できません。登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。
- 「グループ内代理応答特番」、「グループ外代理応答特番」、「個別代理応答特番」、「グループ外代理応答特番」と、内線番号は、データ設定により、あらかじめ登録が必要です。登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。
- 複数の着信がある場合は、先着順の応答となります。

呼び出した相手がお話中の場合、お話しを終了知らせる〈内線コールバック（発信）〉

通話中の内線が終了したことをお知らせします。

- 内線コールバック設定方法については、10-25ページ
- 内線コールバック解除方法については、10-25ページ

●呼び返しが来たら



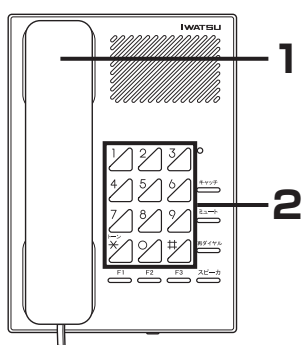
1 内線コールバック音が鳴ります。

2 受話器を取り上げます。
「トルルトルル」という呼出音に切り替わります。
※あらかじめ登録された時間内に応答しないと、取り消されます。

3 相手とつながったら、お話しします。

外部スピーカの呼び出しに应答する〈ミート・ミー应答〉

外部スピーカの呼び出しに应答することができます。



1 近くにある単独電話機の受話器を取り上げます。

2 「ミート・ミー应答特番」を押します。
呼び出しもとの電話機とつながります。

3 お話しします。

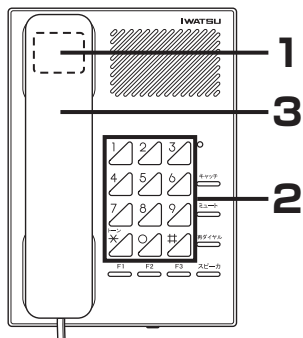
Note

- ミート・ミー应答機能は、一斉呼び出し、ページング呼び出しに应答するためのものです。使用する電話機は、どの呼び出しに应答するかデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。
- 「ミート・ミー应答特番」はデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。

保留・転送する

外線を保留する（他の人が取れないようにする）〈外線保留／応答〉

● 外線の保留 〈外線自己保留〉



1 通話の状態ですフッキング（フックスイッチをポンと一瞬押す）をします。

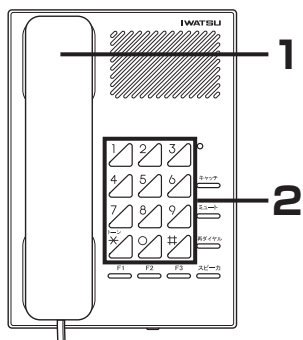
2 「保留応答特番」を押します。

3 受話器を置きます。

保留中は受話器を置いても外線はつながっています。また、保留中は、相手には保留音のみが聞こえます。

※ 保留警報機能がデータ設定により、あらかじめ登録されている場合は、保留状態が設定時間を超えると「ブルブルブル」と警報が鳴ります。その後、共通保留となり、他の電話機による応答が可能になります。

● 保留した外線の応答 〈保留外線応答〉



1 受話器を取り上げます。

2 「保留応答特番」を押します。

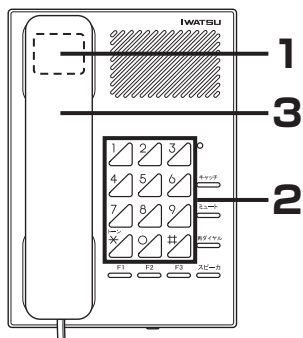
3 お話しします。

Note

- 単独電話機で自己保留できる外線は1つだけです。フッキングはデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。
- 「保留応答特番」はデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。

内線を保留する〈内線保留／応答〉

●内線の保留〈内線自己保留〉



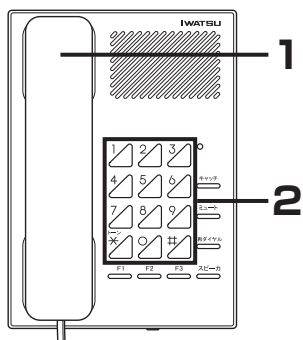
1 通話の状態ですフッキング（フックスイッチをポンと一瞬押す）をします。

2 「保留応答特番」を押します。

3 受話器を置きます。
保留中は、受話器を置いても内線はつながっています。また、保留中は、相手には保留音のみが聞こえます。

Note

- フッキングはデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。
- 「保留応答特番」はデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。



●保留内線の応答〈保留内線応答〉

1 受話器を取り上げます。

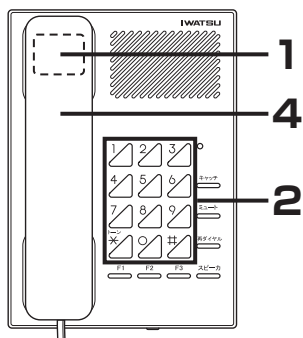
2 「保留応答特番」を押します。

3 お話しします。

Note

- 「保留応答特番」はデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。

保留・転送する


 **Note**

- 転送保留機能、外線キャンブオン機能を使用する単独電話機は、データ設定により、あらかじめ登録が必要です。
- あらかじめ内線グループ分けのデータ設定で、保留中の外線が外線応答規制されている電話機には転送できません。内線グループ分けの登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。
- フッキングはデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。

外線を特定の人に転送する〈外線自動転送／外線キャンブオン〉

1 通話の状態でもフッキング（フックスイッチをポンと一瞬押す）をします。

「ツツツツツ」という内線発信音に切り替わります。

※ダイヤル回線でご使用の場合、データ設定によりフッキングをしないで直接転送先の電話番号をダイヤルする方法もあります。

2 転送先の内線番号をダイヤルします。

※専用線に転送する場合は、タンドム変換ダイヤルまたは専用線アクセス番号、転送先番号の順にダイヤルします。

※強制的に転送する場合（外線キャンブオン）は、このあと受話器を置きます。転送先が別の通話をしているときは、転送を知らせる音が聞こえます。あらかじめ登録されているキャンブオン着信音監視時間を経過しても、転送先が応答しない場合は、他の電話機でも応答できるようになります。

3 内線がつながったら、「〇〇さん、電話です」のように連絡します。

※転送できない場合は、受話器を置くと「トゥルトルトルトール」という呼出音が鳴ります。受話器を取り上げて応答すると、転送保留した外線と通話できます。

4 受話器を置きます。

転送された人は、そのままお話しできます。

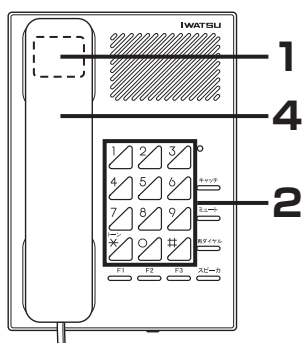
内線を転送する

1 内線と通話の状態でもフッキング（フックスイッチをポンと一瞬押す）をします。**2** 転送先の内線番号をダイヤルします。**3** 内線がつながったら、「〇〇さん、電話です」のように連絡します。

※転送できない場合は、受話器を置くと「トゥルトルトルトール」という呼出音が鳴ります。受話器を取り上げて応答すると、転送保留した外線と通話できます。

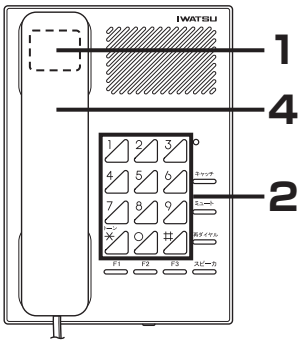
4 受話器を置きます。

転送された人は、そのままお話しできます。



外線への手動転送〈外線間会議通話〉

会議通話終了後に外の人（外線）同士で通話していただけます。



1 複数外線会議（外線2人、内線1人）の通話の状態です。フッキング（フックスイッチをポンと一瞬押す）をします。外線同士は通話状態のままです。

2 「保留応答特番」をダイヤルします。

3 外線同士でお話ししていただけます。

自分の電話機は保留状態になります。

※外線同士で通話中に「保留応答特番」を押すと、再び会議に参加できます。

4 受話器を置きます。

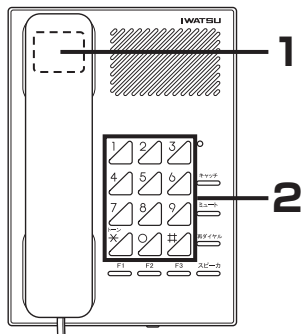
Note

- 通話終了の信号が検出できない外線の場合は、あらかじめ通話終了を判断するための登録が必要です。
- フッキングはデータ設定により、登録が必要です。
- 「保留応答特番」は、データ設定により、あらかじめ登録が必要です。

保留・転送する

パーク保留

- 外線または内線をシステムパーク保留するとき〈システムパーク保留〉

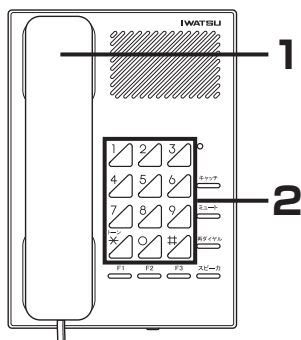


1 通話の状態ですッキング（フックスイッチをポンと一瞬押す）をします。

2 使用するパークオービット番号を押します。
グループパーク保留となり、内線グループ外の電話機から応答できなくなります。

3 受話器を置きます。

- システムパーク保留した外線または内線に応答するとき〈システムパーク保留応答〉

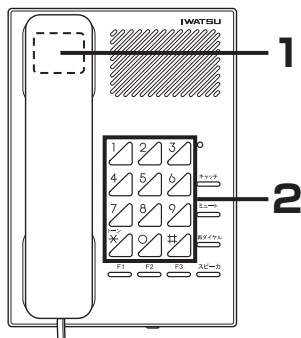


1 受話器を取り上げます。
「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。

2 パークオービット番号を押します。

3 お話しします。

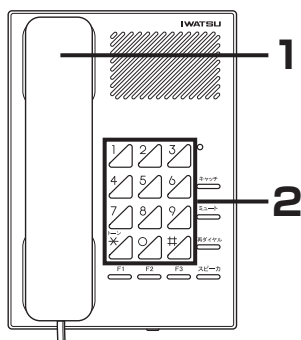
- 外線または内線を個別パーク保留するとき〈個別パーク保留〉



1 通話の状態ですッキング（フックスイッチをポンと一瞬押す）をします。

2 「個別パーク保留応答特番」を押します。
個別パーク保留となり、他の電話機から応答できなくなります。

- 個別パーク保留した外線または内線に応答するとき〈個別パーク応答〉



1 受話器を取り上げます。

2 「個別パーク保留応答特番」を押します。

3 お話しします。

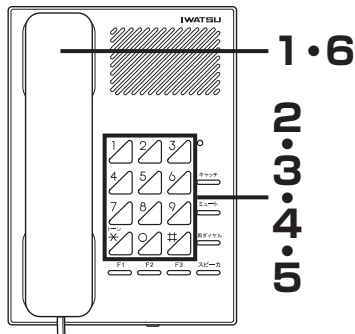
Note

- 単独電話機で個別パーク保留できる外線または内線は、1つだけです。フッキングはデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。
- 「個別パーク保留応答特番」はデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。

登録・設定など

短縮ダイヤルの登録・変更〈短縮ダイヤル登録〉

●グループアクセス番号ありの場合の登録



1 受話器を取り上げます。

2 「短縮番号登録特番」を押します。

3 登録する短縮番号 (90~99) を押します。

※この短縮番号は電話機ごとに登録できます。

※システム短縮のデータ設定により、個別短縮番号が異なります。

4 外線グループアクセス番号 (1~4桁) を押します。

5 相手の電話番号を押します。

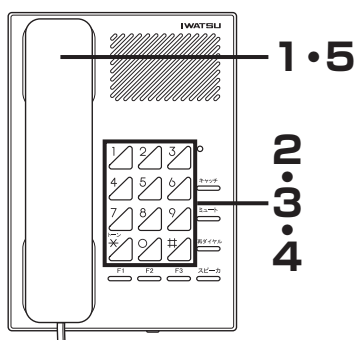
※1つの短縮番号には32桁以内で登録ができます。

※IP回線またはISDN回線で短縮ダイヤルを利用する場合、押しボタンダイヤル (PB) 式をご使用のときは、相手の電話番号のあとに「#」ボタンを登録してください。

6 受話器を置きます。

Note

- 外線グループアクセス番号のある電話機の場合は「グループ有」の特番、外線グループアクセス番号のない電話機の場合は「グループ無」の特番になります。
- 短縮番号登録用の特番は、データ設定により、あらかじめ登録が必要です。登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。
- 個別短縮番号については、お買い求めの販売店にお問い合わせください。



●グループアクセス番号なしの場合の登録

1 受話器を取り上げます。

2 「短縮番号登録特番」を押します。

3 登録する短縮番号 (90~99) を押します。

※この短縮番号は電話機ごとに登録できます。

※システム短縮のデータ設定により、個別短縮番号が異なります。

4 相手の電話番号を押します。

※1つの短縮番号には32桁以内で登録ができます。

※IP回線またはISDN回線で短縮ダイヤルを利用する場合、押しボタンダイヤル (PB) 式をご使用のときは、相手の電話番号のあとに「#」ボタンを登録してください。

5 受話器を置きます。

●登録を変更するとき

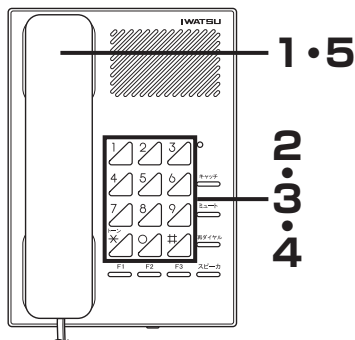
登録方法の手順を繰り返すことで、自動的に前の登録内容が書き換えられます。

登録・設定など

不在転送先を設定する-単一方式 〈不在転送／話中転送／未応答転送〉

自席に不在中または通話中のときなど、かかってきた電話を指定した電話機へ自動的に転送することができます。この機能は不在転送可の設定がされた電話機で利用できます。

●転送先（内線）登録



Note

・「転送特番」はデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。

1 受話器を取り上げます。
「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。

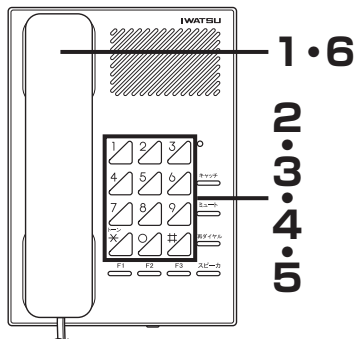
2 「転送特番」を押します。

3 「転送モード」(1～3)を押します。
 ●不在転送モード → 「1」ボタン
 ●話中／未応答転送モード → 「2」ボタン
 ●未応答転送モード → 「3」ボタン

4 転送先の内線番号を押します。
※登録が完了すると、「プッププッ」という確認音が聞こえます。

5 受話器を置きます。

●転送先（外線）登録



Note

・「転送特番」、「短縮発信特番」はデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。

1 受話器を取り上げます。
「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。

2 「転送特番」を押します。

3 「転送モード」(1～3)を押します。
 ●不在転送モード → 「1」ボタン
 ●話中／未応答転送モード → 「2」ボタン
 ●未応答転送モード → 「3」ボタン

4 「短縮発信特番」を押します。

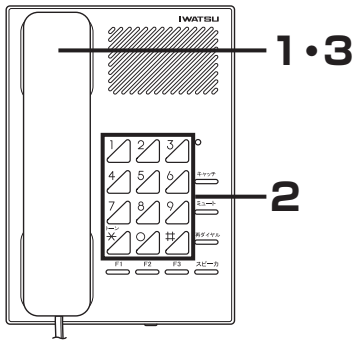
5 転送先の短縮番号を押します。
※登録が完了すると、「プッププッ」という確認音が聞こえます。

6 受話器を置きます。

Note

・指定可能な短縮番号

種別	短縮番号 2桁	短縮番号 3桁	短縮番号 4桁	短縮番号 拡張4桁
システム短縮 ダイヤル	00～89	000～899	0000～0999	0000～4999
内線グループ 短縮ダイヤル	—	—	8000～8999	—
個別短縮 ダイヤル	90～99	900～919	900～919	900～919



● 転送の取り消し方法

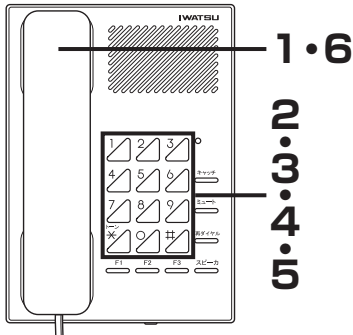
- 1 受話器を取り上げます。**
「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。
- 2 「キャンセル特番」、「転送特番」の順に押します。**
※取り消しが完了すると、「プッププツ」という確認音が聞こえます。
- 3 受話器を置きます。**

Note

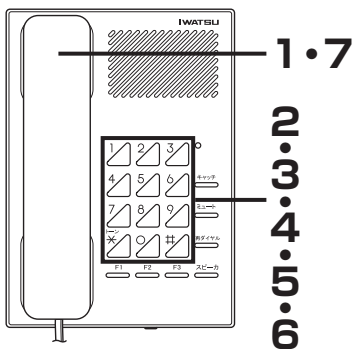
- 「キャンセル特番」、「転送特番」はデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。

登録・設定など

不在転送先を設定する-ルート方式 〈不在転送 / 話中転送 / 未応答転送〉



Note
 ・「転送特番」はデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。



Note
 ・「転送特番」、「短縮発信特番」はデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。

● 転送先（内線）登録

- 1 受話器を取り上げます。
「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。
- 2 「転送特番」を押します。
- 3 ルート順番号を押します。
 - ルート1 → 「1」ボタン
 - ルート2 → 「2」ボタン
- 4 「転送モード」(1～3)を押します。
 - 不在転送モード → 「1」ボタン
 - 話中／未応答転送モード → 「2」ボタン
 - 未応答転送モード → 「3」ボタン
- 5 転送先の内線番号を押します。
※ 登録が完了すると、「ププププッ」という確認音が聞こえます。
- 6 受話器を置きます。

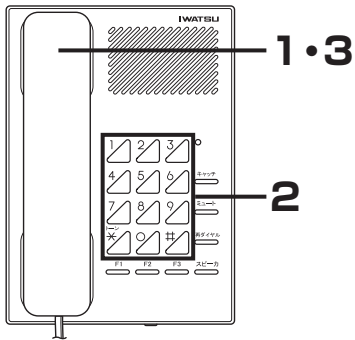
● 転送先（外線）登録

- 1 受話器を取り上げます。
「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。
- 2 「転送特番」を押します。
- 3 ルート順番号を押します。
 - ルート1 → 「1」ボタン
 - ルート2 → 「2」ボタン
- 4 「転送モード」(1～3)を押します。
 - 不在転送モード → 「1」ボタン
 - 話中／未応答転送モード → 「2」ボタン
 - 未応答転送モード → 「3」ボタン
- 5 「短縮発信特番」を押します。
- 6 転送先の短縮番号を押します。
※ 登録が完了すると、「ププププッ」という確認音が聞こえます。
- 7 受話器を置きます。

Note

・ 指定可能な短縮番号

種別	短縮番号 2桁	短縮番号 3桁	短縮番号 4桁	短縮番号 拡張4桁
システム短縮 ダイヤル	00～89	000～899	0000～0999	0000～4999
内線グループ 短縮ダイヤル	—	—	8000～8999	—
個別短縮 ダイヤル	90～99	900～919	900～919	900～919

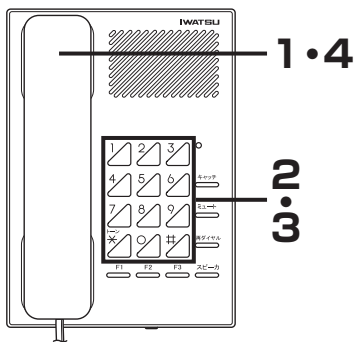


Note

•「キャンセル特番」、「転送特番」はデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。

●転送の取り消し方法（一括）

- 1 受話器を取り上げます。
「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。
- 2 「キャンセル特番」、「転送特番」「0」の順に押します。
※取り消しが完了すると、「プッププッ」という確認音が聞こえます。
- 3 受話器を置きます。



Note

•「キャンセル特番」、「転送特番」はデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。

●転送の取り消し方法（ルートごと）

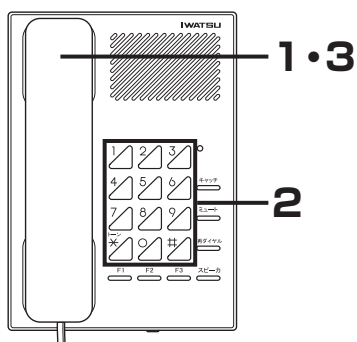
- 1 受話器を取り上げます。
「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。
- 2 「キャンセル特番」、「転送特番」の順に押します。
- 3 ルート順番号を押します。
※取り消しが完了すると、「プッププッ」という確認音が聞こえます。
 - ルート1 → 「1」ボタン
 - ルート2 → 「2」ボタン
- 4 受話器を置きます。

登録・設定など

電話に出られないときに着信を拒否する
〈ドント・ディスターブ (DND)〉

一時的に着信を拒否することができます。

● 設定方法



1 受話器を取り上げます。

2 「ドント・ディスターブ特番」を押します。
※ 設定が完了すると、「プッププッ」という確認音が聞こえます。

3 受話器を置きます。

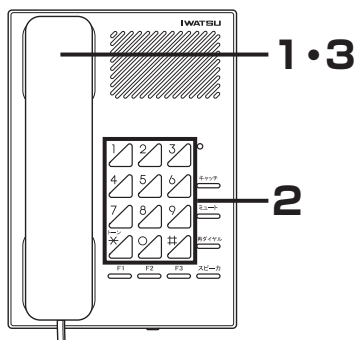
Note

• 「ドント・ディスターブ特番」はデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

Note

- 着信拒否中でも、リコールは着信拒否できません。
- 着信拒否中の電話機に内線電話した場合は、発信電話機に「ブーブーブーブ」という着信拒否音が聞こえます。
- 着信拒否中の電話機でも発信に関する制約はありません。

● 解除方法



1 受話器を取り上げます。

2 「キャンセル特番」、「ドント・ディスターブ特番」の順に押します。
※ 設定が完了すると、「プッププッ」という確認音が聞こえ、通常の状態になります。

3 受話器を置きます。

Note

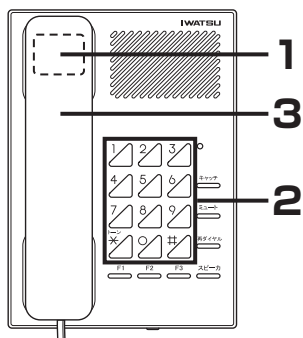
• 「ドント・ディスターブ特番」、「キャンセル特番」はデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

呼び出した相手がお話中の場合、お話しを終了を知らせる〈内線コールバック（登録・解除）〉

通話中の内線が終了したことをお知らせします。

- 呼び返しがきた場合の応答方法については、10-13ページ

●登録方法



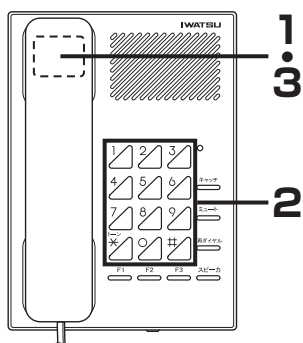
1 電話をかけた相手がお話し中のとき、フッキング（フックスイッチをポンと一瞬押す）をします。

2 「コールバック特番」を押します。
※設定が完了すると、「プッププッ」という確認音が聞こえます。

3 受話器を置きます。

Note

- フッキングはデータ設定により、登録が必要です。
- 「コールバック特番」はデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。



●解除方法

1 受話器を取り上げます。

2 「キャンセル特番」、「コールバック特番」の順に押します。
※解除が完了すると、「プッププッ」という確認音が聞こえます。

3 受話器を置きます。

Note

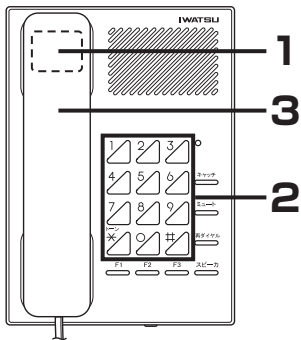
- 「コールバック特番」、「キャンセル特番」はデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

登録・設定など

応答しない相手に、折り返し連絡がほしい旨のメッセージを伝える〈メッセージウェイト〉

・メッセージウェイトに応答するには、10-9ページ

●メッセージウェイトの設定方法



1 呼び出したい相手が通話の状態または応答しないとき、そのままの状態、フッキング（フックスイッチをポンと一瞬押す）をします。

2 「メッセージウェイト特番」を押します。
※設定が完了すると、「プッププッ」という確認音が聞こえます。

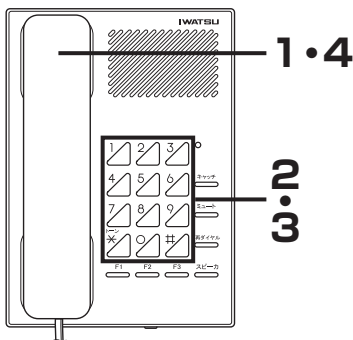
3 受話器を置きます。



Note

- ・1台の電話機に対して4通のメッセージウェイトを記憶させることができます。
- ・「メッセージウェイト特番」、受け取りを行う電話機は、データ設定により、あらかじめ登録が必要です。登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

●メッセージウェイトの解除方法



1 受話器を取り上げます。
「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。

2 「キャンセル特番」、「メッセージウェイト特番」の順に押します。

3 メッセージウェイト登録先の内線番号を押します。
※解除が完了すると、「プッププッ」という確認音が聞こえます。

4 受話器を置きます。



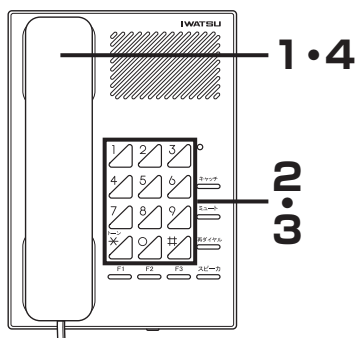
Note

- ・「メッセージウェイト特番」、「キャンセル特番」はデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

電話機パスワード

外線の無断使用をパスワードで規制することができます。

●パスワードロック操作



1 受話器を取り上げます。
「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。

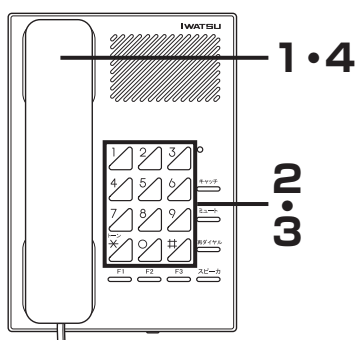
2 「電話機パスワード登録特番」を押します。

3 決められたパスワード（最大6桁）を押します。
その電話機からは外線の発信ができなくなります。
※設定が完了すると、「ププププ」 という確認音が聞こえます。

4 受話器を置きます。

Note

- 電話機ごとのパスワード（最大6桁以内の番号）は、データ設定により、あらかじめ登録が必要です。
- 「電話機パスワード登録特番」、「キャンセル特番」およびパスワードは、データ設定により、あらかじめ登録が必要です。登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。



●パスワードロック解除操作

1 受話器を取り上げます。
「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。

2 「キャンセル特番」、「電話機パスワード登録特番」の順にダイヤルします。

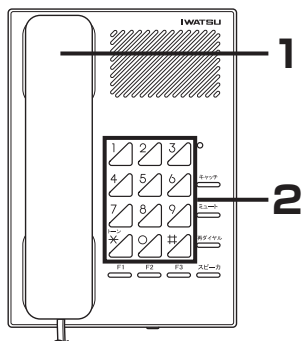
3 決められたパスワード（最大6桁）を押します。
発信規制が解除され、その電話機からの外線発信が可能になります。
※解除が完了すると、「ププププ」 という確認音が聞こえます。

4 受話器を置きます。

その他

ドアホンを呼び出してお話しする

内線からドアホンを呼び出すことができます。

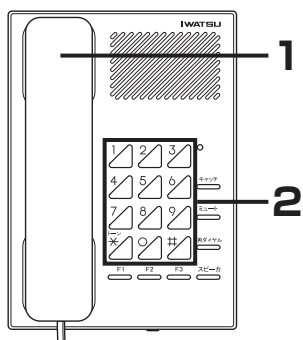


- 1 受話器を取り上げます。
- 2 呼び出すドアホンの内線番号をダイヤルします。
- 3 相手が出たら、お話しします。

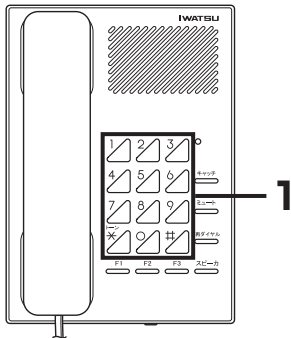
Note

- ドアホンと通話するには、データ設定により、あらかじめドアホンごとに内線番号の登録が必要です。登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。
- ドアホン1台ごとに、呼び出せる内線電話機は16台までです。

録音再生



- 1 受話器を取り上げます。
- 2 「ボイスメールアクセス番号」を押します。



録音消去・保存

●保存する

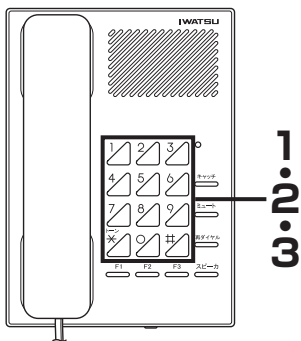
- 1 録音内容再生中または終了後に、「9」ボタンを押します。

●1件消去する

- 1 録音内容再生中または終了後に、「5」ボタンを押します。

●全件消去する

- 1 録音内容再生中または終了後に、「*」 「*」 ボタンを押します。



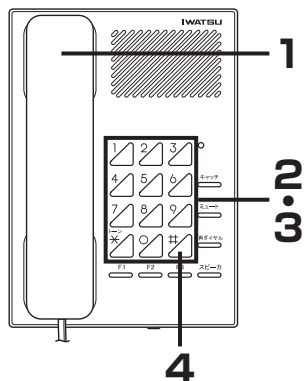
録音内容転送

- 1 録音内容再生中または終了後に、「6」「1」ボタンを押します。

- 2 ボックス番号を押します。

- 3 「#」ボタンを押します。

その他



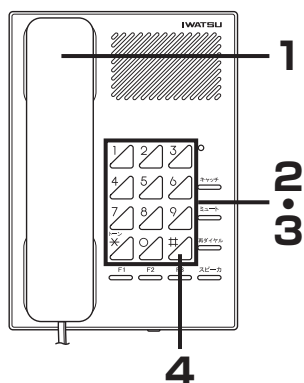
伝言録音

指定したボックスにメッセージを録音できます。

- 1 受話器を取り上げます。
- 2 「伝言録音特番」を押します。
- 3 伝言を保存するボックス番号を押します。
- 4 「#」ボタンを押します。
- 5 メッセージをお話しします。

伝言同報

同報ボックスに録音すると、メッセージは、その同報ボックスの宛先として設定されているボックスの全てに保存されます。

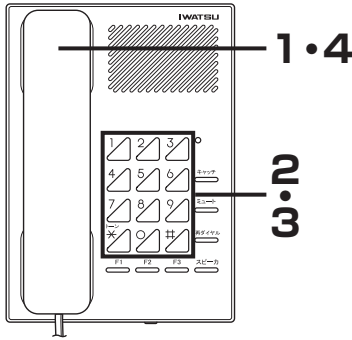


- 1 受話器を取り上げます。
- 2 「伝言録音特番」を押します。
- 3 同報ボックス番号を押します。
- 4 「#」ボタンを押します。
- 5 メッセージをお話しします。

ボイスワープ

かかってきた電話を、あらかじめ登録した電話番号へ自動的に転送するサービスです。

詳しくは、NTTの「INSボイスワープ使用説明書」をご参照ください。



1 受話器を取り上げます。
「ツーン」という外線発信音が聞こえます。

2 電話局（NTT）サービス特番（「1」「4」「2」ボタン）を押します。

3 指定する付加ダイヤルに該当するボタンを押します。

※付加ダイヤル

- 0 : サービス停止
- 1n : サービス開始（n：転送条件1～4）
- 2 : 転送先登録（リスト0）
- 3 : 無応答時間設定
- 4 : 転送先登録（リスト1～4）
- 7 : リモートコントロール手順
- 8 : 確認

4 受話器を置きます。

MEMO

11. オプション編

ヘッドセット接続

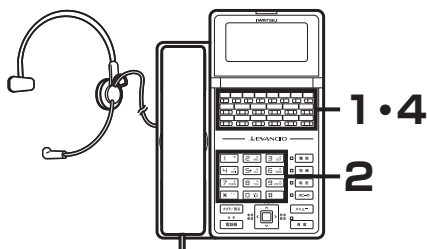
オプション

オプションのヘッドセットを接続することで、ヘッドセットを使用して内線や外線と通話することができます。

 **Note**

- ヘッドセットは、推奨品をご使用ください。詳しくは、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

ヘッドセットコントロールボタンを使って内線へかける


 **Note**

- 「ヘッドセットコントロール」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

1 受話器を置いた状態で「ヘッドセットコントロール」ボタンを押します。

「内線」ボタンが赤色で点滅します。
「ヘッドセットコントロール」ボタンが赤色で点灯します。

内線	11
----	----

2 相手の内線番号をダイヤルします。

呼び出し中	12
	11

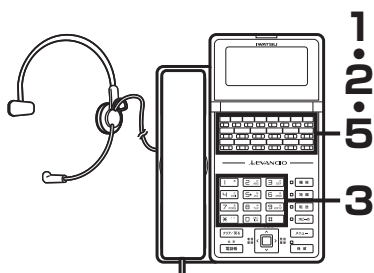
3 相手とつながり、お話しができます。

6月 1日(土)16:35	
内線	12

4 お話しが終わったら、「ヘッドセットコントロール」ボタンを押します。

「内線」ボタン、「ヘッドセットコントロール」ボタンが消灯します。

6月 1日(土)16:35	
	11



Note

•「ヘッドセットコントロール」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

ヘッドセットコントロールボタンを使って外線へかける

1 受話器を置いた状態で「ヘッドセットコントロール」ボタンを押します。

「内線」ボタンが赤色で点滅します。
「ヘッドセットコントロール」ボタンが赤色で点灯します。

内線 11

2 「外線」ボタンを押します。

「ツー」 という外線発信音が聞こえ、「外線」ボタンが緑色で点滅します。
「内線」ボタンが消灯します。

局線 #2 GP.1
一般回線

3 相手の電話番号をダイヤルします。

03XXXX1234
一般回線

4 相手とつながり、お話しができます。

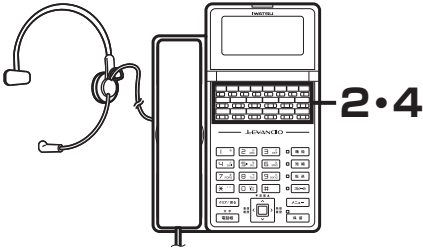
局線 #2 GP.1
0:05 9円

5 お話しが終わったら、「ヘッドセットコントロール」ボタンを押します。

「ヘッドセットコントロール」ボタンが消灯します。

6月 1日(土)16:35
11

ヘッドセットコントロールボタンを使って着信に応答する



- 1 着信音が鳴ります。
着信している「外線」ボタンと着信ランプが赤色で点滅します。

相手先 03XXXX1234
0:03

- 2 「ヘッドセットコントロール」ボタンを押します。
「ヘッドセットコントロール」ボタンが赤色で点灯します。

- 3 お話しします。

- 4 お話しが終わったら、「ヘッドセットコントロール」ボタンを押します。

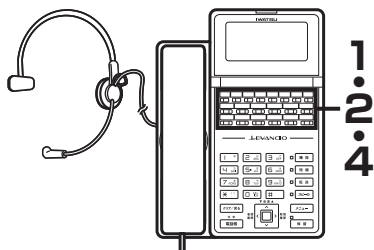
「ヘッドセットコントロール」ボタンが消灯します。

6月 1日(土)16:35
11

 **Note**

- 「ヘッドセットコントロール」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

ヘッドセットコントロールボタンを使って外線を受ける



Note

- 「外線応答グループ」、「ヘッドセットコントロール」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

- 1 着信表示している「外線」ボタンまたは「外線応答グループ」ボタンを押します。

相手先 03XXXX1234
11

- 2 「ヘッドセットコントロール」ボタンを押します。
「ヘッドセットコントロール」ボタンが赤色で点灯します。

相手先 03XXXX1234
0:03

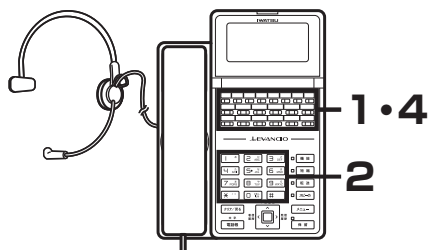
- 3 お話しします。

- 4 お話しが終わったら、「ヘッドセットコントロール」ボタンを押します。

「ヘッドセットコントロール」ボタンが消灯します。

6月 1日(土)16:35
11

ヘッドセットコントロールボタンによる転送／ キャンプオン操作



Note

- 「ヘッドセットコントロール」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

- 1 ヘッドセット通話の状態ですべて「転送」ボタンを押します。
通話が保留状態となり、「転送」ボタンが赤色で点滅します。
「ツツツツツ」という第2ダイヤルトーンが聞こえます

内線	11
----	----

- 2 転送先の内線番号をダイヤルします。

呼び出し中	12
	11

- 3 相手が応答した際、電話を転送する旨を伝えます。
※相手が応答しない場合、「転送」ボタンを押すと、保留した外線または内線のお話に戻ります。

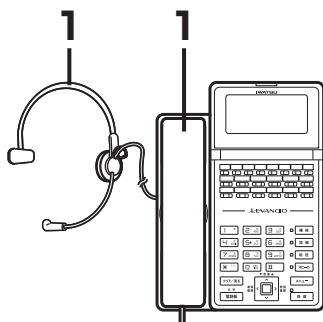
6月 1日(土)16:35
内線 12

Note

- 転送先の相手呼び出し中に「ヘッドセットコントロール」ボタンを押すと、キャンプオンになります。

- 4 「ヘッドセットコントロール」ボタンを押します。

6月 1日(土)16:35
11



ヘッドセットから受話器に切り替える

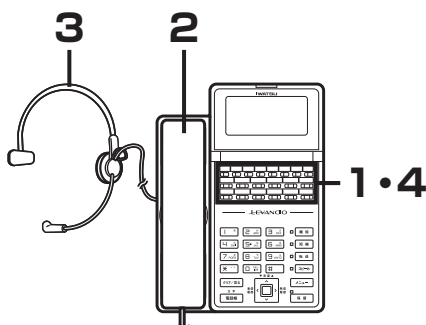
- 1 ヘッドセットでお話し中に受話器を取り上げます。
受話器に切替わり、「ヘッドセットコントロール」ボタンが消灯します。

相手先 03XXXX1234
0:03

Note

- 「ヘッドセットコントロール」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。
- 切り替える際は、あらかじめヘッドセットを受話器に差し替えてください。

- 2 受話器でお話しします。



受話器からヘッドセットに切り替える

- 1 受話器でお話し中に「ヘッドセットコントロール」ボタンを押します。
ヘッドセットに切替わり、「ヘッドセットコントロール」ボタンが赤色で点灯します。

相手先 03XXXX1234
0:03

Note

- 「ヘッドセットコントロール」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。
- 切り替える際は、あらかじめ受話器をヘッドセットに差し替えてください。

- 2 受話器を置きます。

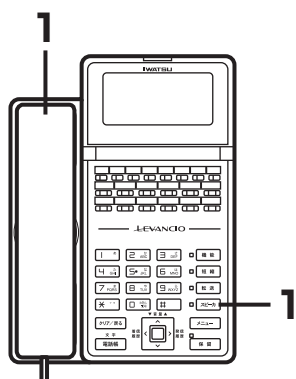
- 3 ヘッドセットでお話しします。

- 4 お話しが終わったら、「ヘッドセットコントロール」ボタンを押します。
「ヘッドセットコントロール」ボタンが消灯します。

Note

- ヘッドセットが使われているときは、「ヘッドセットコントロール」ボタンが赤色で点灯します。

内線からドアホンを呼び出すことができます。



Note

- アナログドアホンを接続する場合、オプションのユニットが必要です。
- アナログドアホンは、自社製のみ接続ができます。

ドアホンからの呼び出しでお話する

1 ドアホンからの着信音が鳴ります。



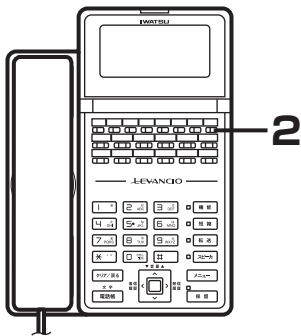
2 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します

※スピーカでは、受話拡声状態となり、スピーカでお話できます。
スピーカ受話の音量は、音量ボタンで調整できます。

3 相手とつながり、お話しができます。

Note

- ドアホンからの着信に鳴音させる電話機とドアホンからの着信音は、ドアホンごとに設定できます。設定できる着信音は、4種類あります。
- ドアホンから呼び出しがあったとき、着信音の鳴り始めから応答不可になるまでの制限時間を設定できます。
- ドアホン対応中の電話機に他のドアホンから呼び出しがあったとき（ドアホン多重着信）、着信表示をする／しないかしないを設定できます。
- ドアホン多重着信が可能な電話機でも、以下の状態のときはドアホン着信は表示されません。
 - 着信拒否（ドントディスターブ）中
 - 不在転送登録中
 - 不在メッセージ登録中
- 話中着信不可に設定された電話機が話中のときでも、ドアホン着信は表示されます。
- 通話中に電話機の「保留」ボタンを押すと、ドアホンからは保留音が流れます。
- 保留解除する場合は、保留操作した電話機の「内線」ボタンを押します。



●外線とお話中にドアホンから呼び出しがあったとき

1 ドアホンからの着信音が鳴ります。

着信ランプが赤色で点滅します。
ディスプレイには、ドアホンの内線番号が表示されます。

内線	19
0:45	

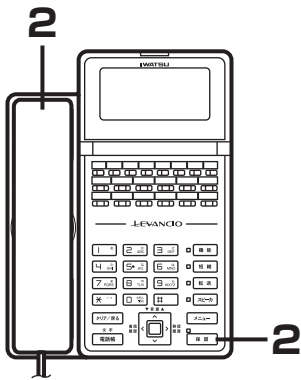
Note

- ドアホンに応答する前に外線とのお話を終了する場合は
 - ①受話器を置きます。
 - ②再度受話器を取り上げます。
 - ③「内線」ボタンを押します。

2 「内線」ボタンを押します。

外線とのお話しは終了し、ドアホンの呼び出しに応答します。

6月 1日(土)16:35
内線 19



●内線とお話中にドアホンから呼び出しがあったとき

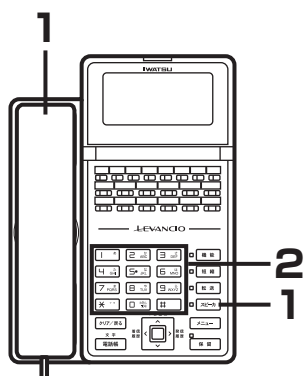
1 ドアホンからの着信音が鳴ります。

着信ランプが赤色で点滅します。
ディスプレイには、ドアホンの内線番号が表示されます。

内線	19
	11

2 「保留」ボタンを押し、いったん受話器を置き、あらためて受話器を取り上げます。

※ ドアホンに応答する前に内線とのお話を終了する場合は、受話器を置き、再度受話器を取り上げます。



 **Note**

- ドアホンの呼び出しは、音声呼び出しのみです。音声呼び出し時の予告音は送出されません。

ドアホンを呼び出してお話しする

- 1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。
※スピーカでは、受話拡声状態となり、スピーカでお話しできます。
スピーカ受話の音量は、音量ボタンで調整できます。

内線	11
----	----

- 2 ドアホンの内線番号をダイヤルします。

6月 1日(土)16:35	
内線	19

- 3 相手が出たら、お話しします。

ドアホン周囲の音をモニタする

ドアホン呼び出し音を停止に設定してドアホンを呼び出し、受話拡声機能を使用してドアホン周囲の音をモニタすることができます。

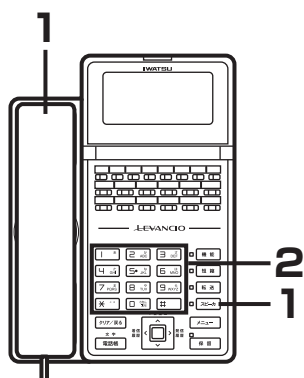
- 1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。
※スピーカでは、受話拡声状態となり、スピーカでモニタできます。
スピーカ受話の音量は、音量ボタンで調整できます。

内線	11
----	----

- 2 ドアホンの内線番号をダイヤルします。
「内線」ボタンが赤色で点滅します。
※ドアホンが無音で呼び出します。

6月 1日(土)16:35	
内線	19

- 3 ドアホン周囲の音をモニタします。



 **Note**

- ドアホンの呼び出しは、音声呼び出しのみです。音声呼び出し時の予告音は送出されません。

センサーで検知して多機能電話機のスピーカから一斉放送を聞く(センサー検知一斉放送) オプション

緊急地震速報機などの外部機器を接続し、センサー検出時に、指定した多機能電話機のスピーカから一斉放送（緊急地震速報など）を聞くことができます。

- 一斉放送中は、電話機のスピーカが最大音量になります。また、着信ランプが赤色で点滅します。
- 一斉放送は、多機能電話機を使用していないときに聞くことができます。お話し中や着信を受けている場合など、多機能電話機の使用中は聞けません。



Note

- BGM（3-13ページ）とは、併用できません。

外部スイッチを動かす〈リレーコントロール〉

オプション

ボタン電話機からシステムに搭載されているリレーをON/OFFして、システム外の装置を制御できます。

システムには、2個のリレーが搭載されています。2個のリレーは、それぞれリレー番号（1/2）と使用種別（未使用、リレーコントロール用、一時動作リレー用）を設定できます。

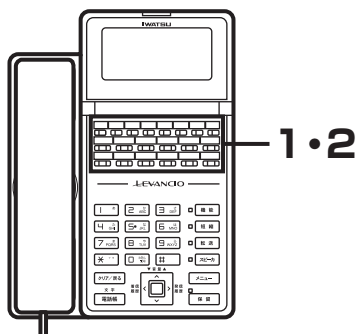
リレー使用種別とその説明を以下に示します。

使用種別	リレースイッチの動作	備考
リレーコントロール用	「リレー1」ボタン（または「リレー2」ボタン）を押すごとにリレースイッチの開/閉が切り替わります。	
一時動作リレー用	「リレー1」ボタン（または「リレー2」ボタン）を押すごとにリレースイッチが設定した時間だけONになります。 設定時間経過後、自動的に閉になります。	動作を行う設定時間も設定します。
未使用	動作しません	

**Note**

- 「リレー1」、「リレー2」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

リレー1がリレーコントロール用に設定されている場合



Note

- 「リレー1」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。
- 「リレー1」ボタンが割り付けられている電話機だけが、リレースイッチを制御できます。

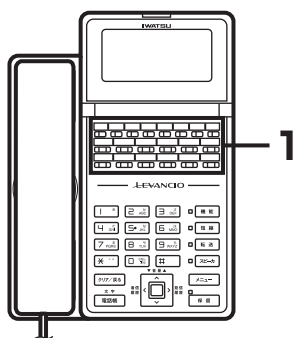
- 1 「リレー1」ボタンを押します。
リレー1に接続されている装置がONになります。
「リレー1」ボタンが赤色で点灯します。
※スイッチ状態が10秒間表示されます。

スイッチ	1	ON
		11

- 2 赤色に点灯している「リレー1」ボタンを押します。
リレー1に接続されている装置がOFFになります。
「リレー1」ボタンが消灯します。
※スイッチ状態が10秒間表示されます。

スイッチ	1	OFF
		11

リレー2が一時動作リレー用に設定されている場合



Note

- 「リレー2」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。
- 「リレー2」ボタンが割り付けられている電話機だけが、リレースイッチを制御できます。

- 1 「リレー2」ボタンを押します。
リレー2に接続されている装置がONになります。
「リレー2」ボタンが赤色で点灯します。
※スイッチ状態が10秒間表示されます。

スイッチ	2	ON
		11

- 2 設定時間後、リレー2に接続されている装置がOFFになります。
「リレー2」ボタンが消灯します

Note

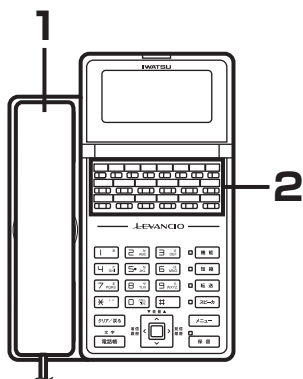
- 電話機は、お話し中、待機中など状態に関係なく、「リレー1」ボタンまたは「リレー2」ボタンを押してリレーを制御できます。設定を変更する際は、お買い求めの販売店にご相談ください。
- ドアホンの発信や着信に対応して動作させることもできます。

構内放送

外部スピーカを使用して呼び出す
〈ページング呼び出し〉

内線電話機は、外部スピーカ（ゾーンスピーカ）を使用して呼び出しを行うことができます。また、他の内線から、その呼び出しに応答することができます。

この時、内線電話機がマイクのかわりになりますから、どこからでも構内の放送、呼び出しができます。

**Note**

- 「ページング呼び出し特番」の詳細については、お買い求めの販売店にご確認ください。

1 受話器を取り上げます。

内線 11

2 「ページング呼び出し」ボタンを押します。

予告音が聞こえ、「ページング呼び出し」ボタンが点灯します。

呼び出し中 8#9
11

Note

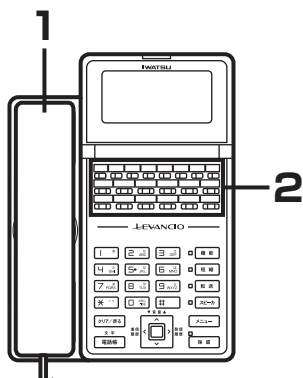
- ページング呼び出しの開始時、呼び出し先に予告音が出されます。予告音を止める、または変更するには、あらかじめ設定が必要です。
- 「ページング呼び出し」ボタンの代わりに、「ページング呼び出し特番」をダイヤルしても同じ操作ができます。その場合、「内線」ボタンが緑色で点滅します。

3 送話口へ向かって呼び出しを行います。**Note**

- ページング呼び出しには、ミート・ミー応答でしか応答できません。「外部スピーカからの呼び出しに電話機で応答する〈ミート・ミー応答〉」（11-15ページ）を参照してください。
- 外部スピーカはシステムに接続されます。（1系統2ゾーンを収容します。）
- ページング呼び出し中は、他の端末から呼び出し対象以外のゾーンをページング呼び出しすることはできません。
- ページング呼び出し中は、他の端末から呼び出し対象のゾーンを一斉呼び出しまたはグループ呼び出しすることができます。その場合、ミート・ミー応答は、一斉呼び出しまたはグループ呼び出しに対して優先となります。
- ページング呼び出し開始時の予告音は、3種類あります。システムでいずれかを設定します。予告音を止めることもできます。

外部スピーカの呼び出しに電話機で応答する 〈ミート・ミー応答〉

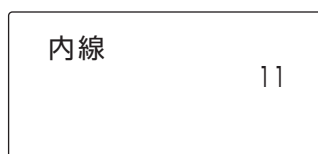
内線電話機は、一斉呼び出し／グループ呼び出し／ページング呼び出しを受けているときに、ミート・ミー操作を行うことにより、応答することができます。



Note

- 「ミート・ミー応答」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

1 一斉呼び出し／グループ呼び出し／ページング呼び出しの着信中に、受話器を取り上げます。



2 「ミート・ミー応答」ボタン（または「機能」＋「3」「5」ボタン）を押します。

3 お話しします。

Note

- 呼び出し側が呼び出し操作を止めた後に、ミート・ミー応答をしても応答できません。また、その場合、警告音が聞こえます。
- グループ呼び出しは、ボタン電話機以外の端末、お話し中の電話機には着信しません。
- ミート・ミー応答を行うと、呼び出しは解除され、呼び出しを行った電話機とミート・ミー応答を行った電話機間での内線通話となります。
- ページング呼び出しと一斉呼び出し、またはグループ呼び出しが同時にあったときは、一斉呼び出しまたはグループ呼び出しへの応答が優先されます。

センサーと連動させてセキュリティを強化する

オプション

防犯用センサーなどの外部機器を接続し、センサーが検知状態のときに、以下のシステムを動作させることができます。

- ・ 指定した電話番号への自動発信。(応答するとセンサー検知があったことを音声でお知らせします)
- ・ 指定したメールアドレスに電子メールを送信。(センサー検知メール)
- ・ 指定した多機能電話機で音と光による威嚇。
- ・ 指定した外部スピーカで音による威嚇。
- ・ 指定した外部リレーの制御。
- ・ 指定した多機能電話機の周辺の物音を録音。

センサー監視状態を変更したときなどに、指定したメールアドレスに電子メールを送信することができます。(お知らせメール)

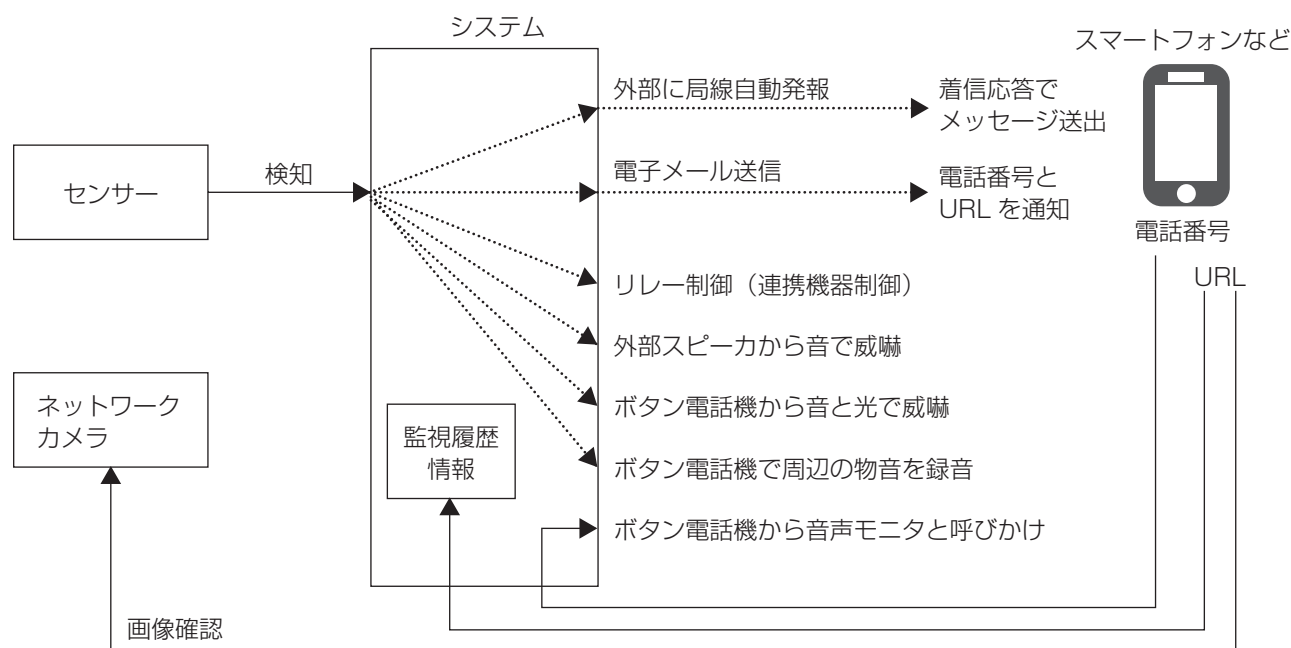
- ・ センサー監視状態を変更したとき
- ・ 指定した時刻にセンサー監視状態が「外出監視」にセットされていないとき。(外出監視セット忘れ防止)
- ・ 停電や復電などによって、システムがバッテリー運転を開始および終了したとき。

センサー検知メールに記載された電話番号にアクセスすると、外部の電話機から多機能電話機を通じて、音声モニタや呼びかけを行うことができます。

また、センサー検知メールやお知らせメールに記載されているURLにアクセスすると、以下の機能を動作させることができます。

- ・ 連携機器URL : ネットワークカメラを用いた画像確認など
- ・ センサー監視URL : センサー監視状態の変更(外出監視状態のセット)や、監視履歴情報の閲覧

例) センサー検知時の動作



Note

- ・ 本機能を使用するためには、機能ライセンスが必要です。
- ・ スマートフォン等を利用して監視履歴情報の参照やネットワークカメラの画像確認等を行うと、パケット料金が発生する場合があります。
- ・ センサーのご利用にあたっては、データ設定によりあらかじめ登録が必要です。また、センサーの設定などを変更する場合は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

センサー検知連動機能の動作説明

自動発報







- センサー検知時、あらかじめ登録した発報先電話番号に対して、自動的に発信（自動発報）を行うことができます。
- 自動発報に応答すると、センサー検知をお知らせする音声案内が送出されます。

センサー検知メール送信

- センサー検知時、あらかじめ登録したメールアドレスに対して、自動的に送信することができます。
- 連携機器URLをあらかじめ設定しておくことで、メールを受け取った携帯電話等からウェブブラウザを使用して、連携機器（ネットワークカメラ等）にアクセスすることができます。
- システムのIPアドレスまたはドメイン名をあらかじめ設定しておくことで、メールを受け取った携帯電話等からウェブブラウザを使用して、監視履歴情報の閲覧が行えます。
- メール本文内にコメントとして、全角で最大40文字までの任意の文字を表示させることができます。

リレー制御（連携機器制御）

- 連動機能設定をしておくことで、センサー検知時にデータ設定したリレーを動作させることができます。リレー動作は、以下のいずれか一つをデータ設定できます。

リレーの使用種別	リレー出力
セキュリティ出力リレー (接点OFFからONへ)	ON  OFF 
セキュリティー時動作出力リレー (接点OFFからON後、一定時間経過でOFFへ)	ON  OFF 
セキュリティ開放出力リレー (接点ONからOFFへ)	ON  OFF 

Note

- 本機能は、装置の設置（工事）時に設定する必要があります。また、設定などを変更する場合は、再度工事が必要となります。
- リレー動作中は、そのリレーに該当する「リレー」ボタンが赤色で点灯します。（ただし一時動作リレーの場合はランプ表示しません。）点灯中の「リレー」ボタンを押すと、リレー動作を解除することができます。
- システムが停止しているときリレー出力は開放状態になります。
セキュリティ開放出力リレーを利用している場合、その機器に対しては、リレー動作中（センサー検知連動機能動作中）とシステム停止中のリレー出力が同じ状態になります。
セキュリティ開放出力リレーをご利用になる際は、充分にご注意ください。

外部スピーカから音で威嚇

- センサー検知時、あらかじめ設定した外部スピーカから、威嚇音を送出することができます。

Note

- ボタン電話機での威嚇と同様に、外部スピーカが空き状態のときに威嚇音が送出されます。
- 外部スピーカからの威嚇を行う場合は、システムに接続している全ての外部スピーカが威嚇動作の対象となります。
- 外部スピーカの音量は、スピーカ側で調整してください。

センサーと連動させてセキュリティを強化する

オプション

ボタン電話機から音と光で威嚇

- 連動機能設定しておくことで、センサー検知時に威嚇端末として設定されたボタン電話機（デジタルコードレスは除く）から、着信ランプを点滅させると同時に、最大音量で威嚇音を出力することができます。

Note

- 音と光による威嚇は、ボタン電話機が空き状態のときに動作します。
着信中(無鳴音着信、ルームモニタ含む)、通話中、内線捕捉中および外線捕捉中等の場合は、威嚇動作が行われないのでご注意ください。
- ボタン電話機が空き状態でない場合でも、以下の場合は威嚇が動作します。
 - メニュー、電話帳、発着信履歴など、受話器を置いたままスピーカを使用しない機能进行操作しているとき
 - BGM聴取中
 - センサー検知一斉放送聴取中
- 同じボタン電話機で威嚇と物音録音を同時に動作させることはできません。
- 威嚇動作中のボタン電話機で、受話器を上げたり着信を受けるなどして空き状態でなくなった場合は、威嚇が停止します。その際、音量レベルは威嚇前の設定に戻ります。ランプ類は端末状態変化後の表示になります。その後、電話機が空き状態に戻った場合は、センサー検知時と同様に、最大音量での音の威嚇、および着信ランプでの光の威嚇が行われます。
- 威嚇動作は、動作開始から一定時間が経過した後に自動で停止します。工事設定によって、威嚇停止操作を行うまで威嚇動作を継続させることもできます。
「センサー監視」ボタン操作から「監視停止」状態にセットすることでも威嚇動作を停止させることができます。
- 威嚇動作停止後の音量レベルは、威嚇動作前（センサー検知前）の設定値に戻ります。
- 外出監視状態では、外出監視センサーが検知状態になった時に、威嚇動作を指定した電話機から、威嚇の予告音が出送されます。
- 威嚇動作中の電話機で音量レベル変更操作を行うと、威嚇前の音量を基準として音量レベルが変化します。

ボタン電話機で周辺の物音を録音

- 連動機能設定しておくことで、センサー検知時にセンサー監視用録音端末として設定されたボタン電話機（DCLは除く）のマイクから、ボイスメールの伝言録音機能を使用して、周辺の物音を録音することができます。

Note

- あらかじめ、ボイスメールの収容および伝言録音機能の設定が必要です。ただし「伝言録音」ボタンの割り付けは不要です。また、録音内容の再生は、ボイスメールの録音内容再生機能を使用します。あらかじめ、ボイスメールの録音内容再生機能の設定が必要です。
- 物音録音は、動作開始からボイスメール録音制限時間まで継続されます。
録音中に「#」をダイヤルするか、受話器を上げ下げすることで、強制的に録音を終了させることもできます。
- 物音録音は電話機が空き状態の時に動作します。
- 最大4台のボタン電話機で同時に物音録音を行うことができます。
- 物音録音中のボタン電話機は、「スピーカ」ボタンが点滅し、ディスプレイがボイスメールアクセス中の表示になります。なお、ディスプレイのバックライトは点灯しません。
- 録音中のボイスメールガイダンスは、以下のとおり動作します。
録音開始時のガイダンスは送出不されます。
録音開始以降のガイダンス（録音終了等）は送付されます。
- ボイスメールのチャンネルに空きがない場合や、ボイスメールの録音メモリ残量がない場合は録音できません。
- システムがバッテリー運転中のときは、物音録音は行われません。
- 物音録音は、連動機能が動作してから約3秒後に開始されます。
- 物音録音中のボタン電話機の受話器を上げ、その後「スピーカ」ボタンを押して受話器を戻した場合は、マイク状態を有効にしないと音声は録音されません。
- 物音録音中のボタン電話機を指定してルームモニタを行うことはできません。

センサーの監視状態

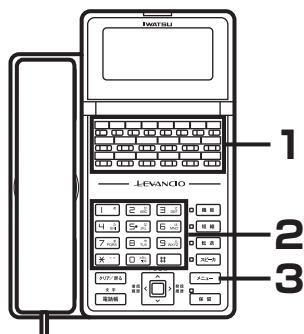
●監視状態に応じて、センサー検知連動機能が動作します。

名称	監視状態		
	停止	在宅監視※1	外出監視※2
センサー1 (外出)	動作しない	動作しない	動作する
センサー2 (在宅)	動作しない	動作する	動作する

※1 「在宅監視」は、就業時間中に普段使わないドアの開閉や立ち入り禁止エリアへの侵入等を監視している状態です。

※2 「外出監視」は、就業時間後に無人のオフィスへの侵入等を監視している状態です。

センサー検知の設定をする



Note

- 「決定」ボタンのかわりに「戻る」ボタンを押すと、ひとつ前の画面に戻ることができます。
- 「センサー監視」ボタンの操作は、威嚇動作中の電話機やルームモニタが行われている電話機でも可能です。ただし、物音録音中の電話機では操作できません。

1 受話器を置いた状態で「センサー監視」ボタンを押します。パスワード入力画面と現在のセンサー状態が表示されます。

パスワード入力
 センサ-1(外出): 非検知
 センサ-2(在宅): 非検知

2 センサー監視用パスワードをダイヤルします。センサー監視状態と、センサー監視状態の選択候補が表示されます。

監視状態: 監視停止中
 0 : 監視停止
 1 : 在宅監視
 2 : 外出監視

3 「メニュー」ボタンを押します。センサー監視設定メニューが表示されます。

センサー監視設定メニュー
 ▶メール本文内容設定

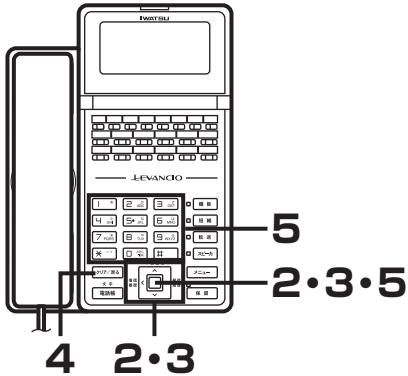
センサー監視設定メニュー
 ▶送信先メールアドレス登録
 監視忘れ通知時刻
 監視用パスワード

センサー監視設定メニュー
 ▶自動発報用短縮番号
 検知時送信先選択
 お知らせ送信先選択

メニューの表示内容一覧は下記をご覧ください。

設定項目名			参照ページ
自動発報用短縮番号	センサー1	システム短縮番号	11-21
	センサー2	システム短縮番号	
検知時送信先選択	送信先アドレス1		11-22
	送信先アドレス8		
お知らせ送信先選択	送信先アドレス1		11-23
	送信先アドレス8		
送信先メールアドレス登録	送信先アドレス1		11-24
	送信先アドレス8		
監視忘れ通知時刻			11-25
監視用パスワード			11-26
メール本文内容設定	アクセス先電話番号	電話番号1	11-28
		電話番号2	
	連携機器URL	連携機器URL1	11-29
連携機器URL2			
コメント	コメント編集		11-30

自動発報用短縮番号を設定する



1 「センサー検知の設定をする」(11-20ページ)の手順(1)～(3)と同様の操作をします。

センサー監視設定メニューが表示されます。

2 上下ボタンで“自動発報用短縮番号”を選択し、「決定」ボタンを押します。

自動発報用短縮番号メニューが表示されます。

自動発報用短縮番号
▶センサー1(外出監視)
センサー2(在宅監視)
00:03XXXX1111

3 上下ボタンで“センサー1”または“センサー2”から設定するセンサーを選択し、「決定」ボタンを押します。

システム短縮番号入力画面が表示されます。

システム短縮番号? ¹
00

4 クリアボタンを押します。

システム短縮番号が消去されます。

システム短縮番号? ¹

5 システム短縮番号を入力し、「決定」ボタンを押します。

設定完了画面が表示され、3秒後にセンサー監視設定メニュー画面に戻ります。

登録しました

Note

- 発信先はセンサーごとに設定することができます。
- 自動発報に応答すると、センサーが動作したことをお知らせする音声メッセージが送出されます。
- 自動発報に一定時間応答しなかった場合、発報は中断され指定時間経過後に再度発報が行われます。
- 自動発報は、あらかじめ設定された回数分繰り返し発信されます。再発報回数分の呼び出しに応答しないと、呼び出しは中止されます。
- 発信時に空き局線が存在しない場合は、その時点での発信は行われず、指定時間経過後に再発報が行われます。
- 相手応答を検出することができない局線で自動発報を行った場合は、発信後、応答を受けた際の動作になります。
- システム短縮番号の桁数が、2桁の場合は00～89、3桁の場合は000～899、4桁の場合は0000～0999、拡張4桁の場合は0000～4999になります。

検知時送信先を選択する

1 「センサー検知の設定をする」(11-20ページ)の手順(1)～(3)と同様の操作をします。

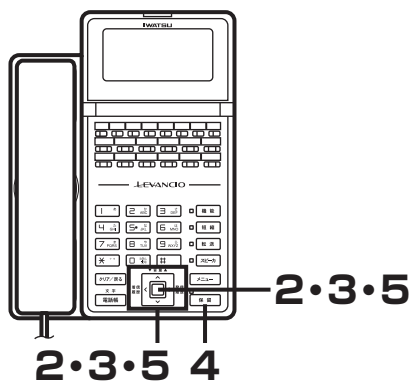
2 上下ボタンで“検知時送信先選択”を選択し、「決定」ボタンを押します。

検知時送信先選択画面が表示されます。

検知時送信先選択
 ▶■ iwatsu-taro@iwats
 -登録なし
 [保留]登録

※Eメールアドレスの左横に設定状態が表示されます。

■：送信する
 □：送信しない
 -：対象外



3 上下ボタンでEメールアドレスを選択し、「決定」ボタンを押します。

※「決定」ボタンを押すごとに、送信する／しないが切り替わります。

※Eメールアドレスごとに送信する／しないを設定できます。

検知時送信先選択
 ▶■ iwatsu-taro@iwats
 -登録なし
 [保留]登録

4 送信先Eメールアドレスを選択し、「保留」ボタンを押します。

登録確認画面が表示されます。

登録しますか?
 ▶はい
 いいえ

5 上下ボタンで“はい”を選択し、「決定」ボタンを押します。

設定完了画面が表示され、3秒後にセンサー監視設定メニュー画面に戻ります。
 ※“いいえ”を選択した場合は、変更した設定がキャンセルされ、センサー監視設定メニュー画面に戻ります。

登録しました

Note

- センサー監視用の送信先メールアドレスは、最大8アドレスまで設定することができます。

お知らせ送信先を選択する

1 「センサー検知の設定をする」(11-20ページ)の手順(1)～(3)と同様の操作をします。

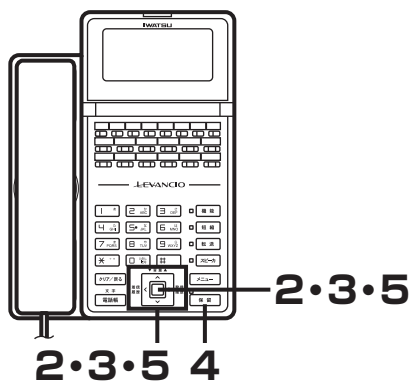
2 上下ボタンで“お知らせ送信先選択”を選択し、「決定」ボタンを押します。

お知らせ送信先選択画面が表示されます。

お知らせ送信先選択
▶ iwatsu-taro@iwats
- 登録なし
[保留] 登録

※Eメールアドレスの左横に設定状態が表示されます。

■ : 送信する
 : 送信しない
- : 対象外



3 上下ボタンでEメールアドレスを選択し、「決定」ボタンを押します。

※「決定」ボタンを押すごとに、送信する／しないが切り替わります。

※Eメールアドレスごとに送信する／しないを設定できます。

お知らせ送信先選択
▶ iwatsu-taro@iwats
- 登録なし
[保留] 登録

4 「保留」ボタンを押します。

登録確認画面が表示されます。

登録しますか?
▶ はい
いいえ

5 上下ボタンで“はい”を選択し、「決定」ボタンを押します。

設定完了画面が表示され、3秒後にセンサー監視設定メニュー画面に戻ります。
※“いいえ”を選択した場合は、変更した設定がキャンセルされ、センサー監視設定メニュー画面に戻ります

登録しました

Note

• お知らせ送信先のメールアドレスは、最大8アドレスまで設定することができます。

センサー検知メールおよびお知らせメールの送信先を設定する

1 「センサー検知の設定をする」(11-20ページ)の手順(1)～(3)と同様の操作をします。

2 上下ボタンで“送信先メールアドレス登録”を選択し、「決定」ボタンを押します。

送信先メールアドレス登録選択画面が表示されます。

送信先メールアドレス登録
▶送信先アドレス1
送信先アドレス2

3 上下ボタンで“送信先アドレス1”～“送信先アドレス8”のいずれかを選択し、「決定」ボタンを押します。

文字入力画面が表示されます。

A
—
(最大64文字)

4 送信先メールアドレスを文字入力します。

※半角英数字を最大64文字入力できます。

※入力方法については、「文字の入力方法」(3-30ページ)を参照してください。

A
iwatsu-taro@iwats.c
o.jp_
(最大64文字)

5 「決定」ボタンを押します。

登録確認画面が表示されます。

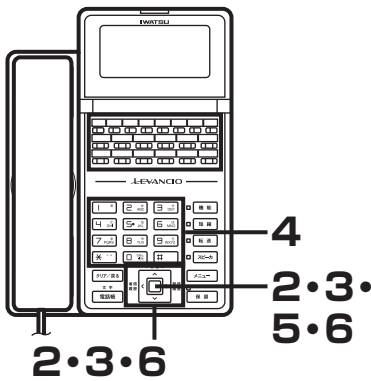
登録しますか?
▶はい
いいえ

6 上下ボタンで“はい”を選択し、「決定」ボタンを押します。

設定完了画面が表示され、3秒後にセンサー監視設定メニュー画面に戻ります。

※“いいえ”を選択した場合は、変更した設定がキャンセルされ、センサー監視設定メニュー画面に戻ります。

登録しました



Note

- 本メールアドレスは、センサー検知メールおよびお知らせメールで使用されます。
- 最大8アドレスまで設定することができます。
- 送信先メールアドレスには、以下の文字が設定可能です。
. @ : / - _ ` , ! ? ' () \$ % # + * = ^ ` ; ¥ & | { } < > []
- センサー検知メールを送信するには、「検知時送信先を選択する」(11-22ページ)により、「送信する」に設定する必要があります。
お知らせメールを送信するには、「お知らせ送信先を選択する」(11-23ページ)により、「送信する」に設定する必要があります。

外出監視セット忘れ通知時刻を設定する

1 「センサー検知の設定をする」(11-20ページ)の手順(1)～(3)と同様の操作をします。

2 上下ボタンで“監視忘れ通知時刻”を選択し、「決定」ボタンを押します。

監視忘れ通知時刻設定画面が表示されます。

監視忘れ通知時刻¹
:

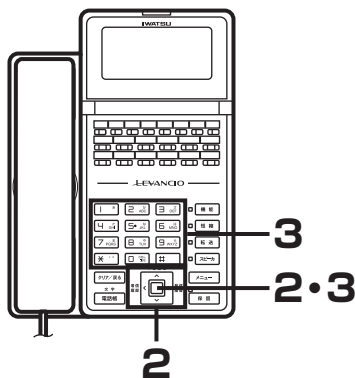
3 24時間表記で監視セット忘れ通知時刻(数字4桁)を入力し、「決定」ボタンを押します。

〈例〉午後10時00分の場合は、「2」「2」「0」「0」ボタンを押します。

監視忘れ通知時刻¹
22:00

設定完了画面が表示され、3秒後にセンサー監視設定メニュー画面に戻ります。

登録しました



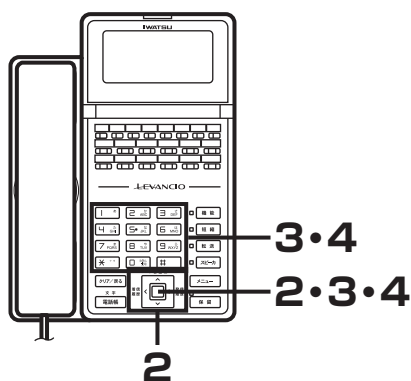
監視用パスワードを設定する

1 「センサー検知の設定をする」(11-20ページ)の手順(1)～(3)と同様の操作をします。

2 上下ボタンで“監視用パスワード”を選択し、「決定」ボタンを押します。

監視用パスワード設定画面が表示されます。

監視用パスワード¹



3 監視用パスワード(暗証番号)を入力し、「決定」ボタンを押します。

監視用パスワード(暗証番号)再入力画面が表示されます。

※ 監視用パスワード 数字4桁

監視用パスワード¹



監視用パスワード¹

再入力

4 手順3で入力したものと同一監視用パスワードを入力し、「決定」ボタンを押します。

監視用パスワード¹

再入力

設定完了画面が表示され、3秒後にセンサー監視設定メニュー画面に戻ります。

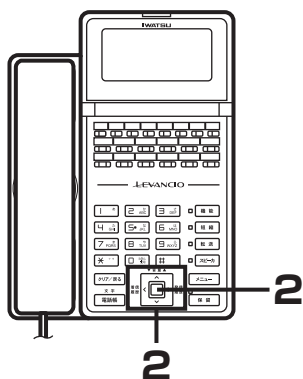
登録しました

メール本文内容を設定する

1 「センサー検知の設定をする」(11-20ページ)の手順(1)～(3)と同様の操作をします。

2 上下ボタンで“メール本文内容設定”を選択し、「決定」ボタンを押します。

メール本文内容設定メニューが表示されます。



メール本文内容設定
 ▶アクセス先電話番号
 連携機器URL
 コメント

Note

- 「メール本文内容設定メニュー」で設定できる項目は以下とおりです。
 - アクセス先電話番号
 センサー検知があった際にアクセスする電話番号を設定します。
 例) 外出先からオフィス内の物音をモニタできる電話番号(ルームモニター)や、契約している警備会社の電話番号など
 - 連携機器URL
 センサー検知があった場合やセンサー監視状態が変更された際にアクセスするURLを設定します。
 例) 外出先からオフィス内の様子を確認できるネットワークカメラのURLなど
 - コメント
 センサー検知があった場合やセンサー監視状態が変更された際に、メール受信者に知らせたい内容を設定します。

●センサー検知メール (携帯電話の表示例)

センサー監視のお知らせ
 時刻:12月11日16時39分10秒

お知らせ内容:「監視停止」にセットしました

•アクセス先
 連携機器1: http://WWW.*/01/
 連携機器2: http://WWW.*/02/

監視装置:
http://WWW.*/SensorSecurity/index.html

コメント
 検知メールの場合は折り返し電話&WEBアクセス!

●お知らせメール (携帯電話の表示例)

センサー検知しました
 時刻:12月13日17時14分21秒
 センサー種別:外出監視センサー(センサー1)

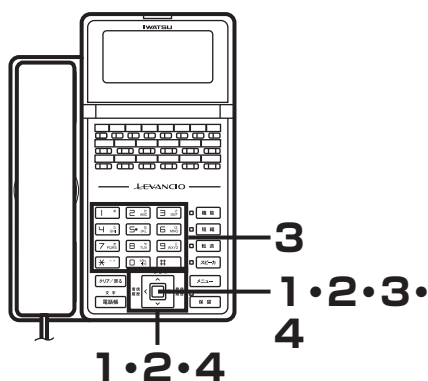
•アクセス先
 電話番号1: 03XXXX1234
 電話番号2: 03XXXX5678

連携機器URL
 連携機器1: http://WWW.*/01/
 連携機器2: http://WWW.*/02/

監視装置:
http://WWW.*/SensorSecurity/index.html

コメント
 センサー検知メールの場合は折り返し電話&WEBアクセス!

メールに記載するアクセス先電話番号を設定する



- 1** 上下ボタンで“アクセス先電話番号”を選択し、「決定」ボタンを押します。
アクセス先電話番号選択画面が表示されます。

アクセス先電話番号
▶電話番号1
電話番号2

- 2** 上下ボタンで電話番号1～8のいずれかを選択し、「決定」ボタンを押します。
電話番号入力画面が表示されます。

電話番号1(半角32桁)
—

- 3** 電話番号(32桁以内)を入力し、「決定」ボタンを押します。
※アクセス先電話番号には、名称等の文字情報も併せて登録することができます。
入力方法については、「文字の入力方法」(3-30ページ)を参照してください。

電話番号1(半角32桁)
03XXXX1111

登録しますか?
▶はい
いいえ

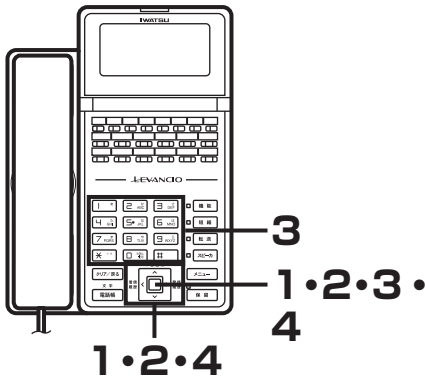
- 4** 上下ボタンで“はい”を選択し、「決定」ボタンを押します。
設定完了画面が表示され、3秒後にセンサー監視設定メニュー画面に戻ります。
※“いいえ”を選択した場合は、変更した設定がキャンセルされ、センサー監視設定メニュー画面に戻ります。

登録しました

Note

- 本電話番号は、センサー検知メールでのみ送信されます。(お知らせメールでは送信されません)

メールに記載する連携機器URLを設定する



1 上下ボタンで“連携機器URL”を選択し、「決定」ボタンを押します。

連携機器URL選択画面が表示されます。

連携機器URL
▶連携機器URL1
連携機器URL2

2 上下ボタンで連携機器URL1~2のいずれかを選択し、「決定」ボタンを押します。

URL入力画面が表示されます。

連携機器URL1¹
—

3 URLを入力し、「決定」ボタンを押します。

※入力方法については、「文字の入力方法」(3-30ページ)を参照してください。

連携機器URL1¹
http://security-cam_ → 登録しますか?
▶はい
いいえ

4 上下ボタンで“はい”を選択し、「決定」ボタンを押します。

設定完了画面が表示され、3秒後にセンサー監視設定メニュー画面に戻ります。

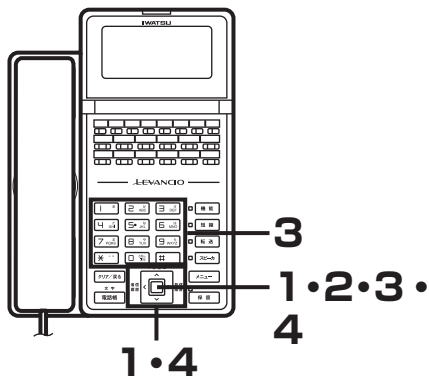
※“いいえ”を選択した場合は、変更した設定がキャンセルされ、センサー監視設定メニュー画面に戻ります。

登録しました

Note

- 本URLは、センサー検知メールおよびお知らせメールにて送信されます。

メールに記載するコメントを設定する



- 1** 上下ボタンで“コメント”を選択し、「決定」ボタンを押します。

コメント編集画面が表示されます。

コメント編集
[決定]編集

- 2** 「決定」ボタンを押します。

コメント入力画面が表示されます。

コメント編集(全角40文字)
—

- 3** コメント(最大全角40文字)を入力し、「決定」ボタンを押します。

※全角で最大40文字入力できます。

※入力方法については、「文字の入力方法」(3-30ページ)を参照してください。

コメント編集(全角40文字)
しすせそたちつと_

登録しますか?
▶はい
いいえ

- 4** 上下ボタンで“はい”を選択し、「決定」ボタンを押します。

設定完了画面が表示され、3秒後にセンサー監視設定メニュー画面に戻ります。

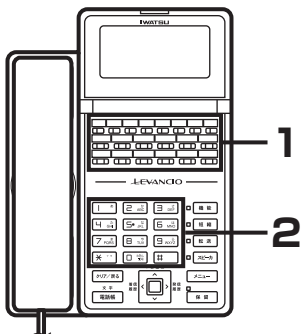
※“いいえ”を選択した場合は、変更した設定がキャンセルされ、センサー監視設定メニュー画面に戻ります。

登録しました



Note

- 本コメントは、センサー検知メールおよびお知らせメールにて送信されます。



センサーの検知状態を確認する

- 1 受話器を置いた状態で「センサー監視」ボタンを押します。パスワード入力画面と現在のセンサー検知状態が表示されます。

パスワード入力¹

センサー-1 (外出): 非検知
センサー-2 (在宅): 非検知

- 2 受話器を上げ下げします。

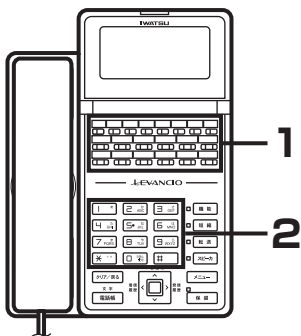
Note

- 「センサー監視」ボタンは、データ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。
- センサー検知状態は、以下のように表示されます。

センサー検知状態	状態表示
検知状態のとき	検知中
検知状態でないとき	非検知

- 「センサー監視」ボタンの操作は、威嚇動作中の電話機やルームモニターが行われている電話機でも可能です。ただし、物音録音中の電話機では操作できません。

センサー監視状態を確認／登録する



- 1 受話器を置いた状態で「センサー監視」ボタンを押します。パスワード入力画面と現在のセンサー状態が表示されます。

パスワード入力¹

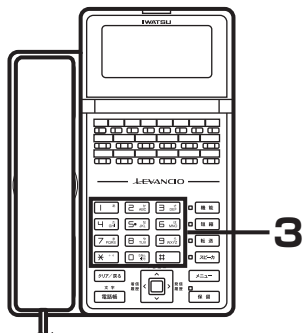
センサー-1 (外出): 非検知
センサー-2 (在宅): 非検知

- 2 センサー監視用パスワードを入力します。現在の監視状態が表示されます。

監視状態: 監視停止中
0: 監視停止
1: 在宅監視
2: 外出監視

センサーと連動させてセキュリティを強化する

オプション



3 監視状態を変更する場合は、指定したい監視状態に該当するダイヤルボタン（0～2）を押します。

確認画面が表示されます。

※ 監視状態には次の3種類があります。

●0：監視停止の場合

監視状態：監視停止に登録しました

●1：在宅監視の場合

監視状態：在宅監視に登録しました

●2：外出監視の場合

監視状態：外出監視に登録しました



Note

- 監視状態を「外出監視」にセットすると、一定の待ち時間が経過した後に外出監視状態になります。待ち時間の間は「センサー監視」ボタンのランプが早い点滅と消灯を繰り返しますので、ランプ表示を目安にすみやかに退室してください。
- センサー監視ボタンのランプ表示は下表の監視状態を示しています。

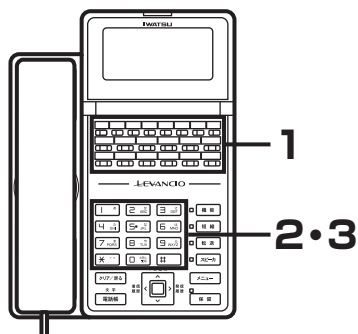
ボタン	ランプ	センサーの監視状態
「センサー監視」ボタン	消灯	監視停止
	点灯（赤）	在宅監視
	遅い点滅（赤）	外出監視
	早い点滅（赤）と消灯の交互	外出予約 ※1
	早い点滅（赤）	センサー検知 ※2

※1 外出監視を設定して監視動作が開始するまでの状態です。

※2 センサーが検知状態になり、連動機能が一定時間経過後に動作する状態もしくは連動機能動作している状態です。

- 外出監視中にセンサーが検知状態になった場合、一定時間が経過した後に連動機能が動作します。出社時などに「外出監視」を停止する場合は、所定の時間内に外出監視状態の解除（監視停止操作または在宅監視操作）を行ってください。
- センサー監視連動機能が動作しているときに「監視停止」状態をセットすると、威嚇動作（多機能電話機での威嚇、外部スピーカでの威嚇）が停止します。自動発報、リレー制御および物音録音は、「監視停止」状態にセットしても停止しません。
- 外出監視中は、強制的にルームモニタ機能が有効になります。センサーが検知状態でもルームモニタ機能を動作させることができます。
- 在宅監視センサーが検知状態のときに「在宅監視」状態をセットすると、即時にセンサー検知連動機能が動作します。監視開始時はセンサー検知状態にご注意ください。
- 外出監視センサーが検知状態のときに外出監視セットの待ち時間が満了すると、即時にセンサー検知連動機能が動作します。監視開始時はセンサー検知状態にご注意ください。
- 外出監視状態セット時の待ち時間の間にシステムを停止した場合、外出監視状態セットが無効になります。システム再開後、センサー監視状態は、外出監視状態セット前の状態に戻りますので、再度「外出監視」状態をセットしてください。

センサー検知中の威嚇を停止する



- 1 受話器を置いた状態で、「センサー監視」ボタンを押します。
パスワード入力画面が表示されます。

パスワード入力¹
センサー-1 (外出): 検知中
センサー-2 (在宅): 非検知

- 2 センサー監視用パスワードをダイヤルします。
センサー監視状態と、センサー監視状態の選択候補が表示されます。

監視状態: 外出監視中
0: 監視停止
1: 在宅監視
2: 外出監視

- 3 “0” をダイヤルします。
監視停止状態になり、威嚇が停止します。
※ 監視停止登録確認画面が表示されます。

監視状態: 監視停止に
登録しました

Note

- 威嚇動作は、「監視停止」状態をセットすることで停止させることができますが、監視も停止します。威嚇動作停止後も監視を継続したい場合は、再度監視状態のセット操作を行ってください。

センサーと連動させてセキュリティを強化する

オプション

お知らせメールを受信する

監視状態が変わると、自動的に携帯電話等に状態が変わったことを知らせるメール（お知らせメール）が送信されます。

外出先等からウェブブラウザを使用して連携機器にアクセスすることができます。また、監視履歴情報の閲覧や「外出監視」をセットすることもできます。

① 携帯電話等でEメールを開きます。

② 以下の内容を知ることができます。
●お知らせメール（携帯電話の表示例）

件名：センサー監視のお知らせメール
本文：

センサー監視のお知らせ

時刻:12月11日16時39分21秒

— お知らせメールの時刻

お知らせ内容:「監視停止」にセットしました

— お知らせメールの内容

・アクセス先

連携機器1: http://WWW.*/01/

連携機器2: http://WWW.*/02/

— 連携機器として設定された URL

監視装置:

http://WWW.*/SensorSecurity/index.html

— センサー監視用 WEBサービスの URL

コメント

検知メールの場合は折り返し電話 & WEBアクセス!

— 任意コメント



Note

- お知らせメールから連携機器にアクセスするには、あらかじめ連携機器URLの設定が必要です。
- お知らせメールから監視履歴情報を閲覧するには、あらかじめシステムのIPアドレスまたはドメイン名の設定が必要です。
- 短時間の間にメール送信する事象が複数回発生した場合は、メール受信の遅延発生やメール受信順序が入れ替わる場合があります。
- メール送信事象の正確な発生時刻は、メール本文内に記載された時刻により確認ができます。

多機能電話機周辺の物音を外出先からモニタする（ルームモニタ）

① 外出先からプッシュホン電話機で、ルームモニタ用に設定した外線の電話番号をダイヤルします。
※センサー検知時送信メールに、ルームモニタ用の電話番号が記載されている場合は、メールに記載されたルームモニタ用電話番号をクリックします。

② システムが自動応答し、音声案内、または「プップップ」という確認音が聞こえたら、モニタする指定した内線電話機の内線番号をダイヤルします。

③ 指定した内線電話機周辺の物音をモニタでき、音声で呼びかけを行うこともできます。



Note

- 外線からの操作は、プッシュ信号で送られます。プッシュ信号を送出できない電話機からは操作できません。
- 外出監視中は、強制的にルームモニタ機能が有効になります。センサーが検知状態でもルームモニタ機能を動作させることができます。
- ルームモニタを動作させる際は、ダイヤルトーンを送出できる電話機でシステムにアクセスしてください。
- 指定した内線電話機が空き状態でない場合（受話器が外れているなど）、外線は切断されます。

外出先から外出監視状態をセットする

- ① センサー監視連動機能コンテンツのURLにアクセスします。
ログイン画面が表示されます。
- ② 「ログイン」を押します。
機能選択画面が表示されます。
※現在のセンサー監視状態も表示されます。
- ③ 「外出監視開始」を押します。
※センサーの監視状態が外出監視に設定されます。

LEVANCIO-S
センサー監視連動機能コンテンツ

アカウント

パスワード

LEVANCIO-S
センサー監視連動機能コンテンツ

■機能選択画面

現在の監視状態: 監視停止

現在のセンサー動作状態
センサー 1(外出): 非検知
センサー 2(在宅): 非検知

LEVANCIO-S
センサー監視連動機能コンテンツ

■外出監視設定画面
設定変更しました

自動でページが移動しない場合は、
下記リンクをクリックしてください。
[機能選択画面に戻る](#)

Note

- 携帯電話やスマートフォンの機種によっては、上記画面が正しく表示されない場合があります。
- センサー監視連動機能用のWEBサービスは、複数台の機器から同時にご利用いただくことができます。但し、タイミングによっては、応答までに時間がかかる場合や応答に失敗する場合があります。
- ログイン時、アカウント名もしくはパスワードのいずれかがシステムに設定されていない場合や、入力した内容に誤りがある場合は、認証失敗画面が表示されます。
- 「外出監視開始」ボタンは、現在のセンサー監視状態が外出監視中の場合は押せません。
- ウェブブラウザの操作で外出監視状態をセットした場合は、即座に外出監視が開始されます。ボタン電話機で操作した場合の監視開始待ち時間はありませので、ボタン電話機操作の代わりとしてウェブブラウザ操作を用いないようご注意ください。

センサー監視に関する履歴情報を閲覧する

- ① センサー監視連動機能コンテンツのURLにアクセスします。
ログイン画面が表示されます。
- ② ログイン画面で「ログイン」を押してログインします。
機能選択画面が表示されます。
- ③ 「センサー監視履歴閲覧」ボタンを押します。
センサー監視履歴閲覧画面が表示されます。

LEVANCIO-S
センサー監視連動機能コンテンツ

アカウント

パスワード

LEVANCIO-S
センサー監視連動機能コンテンツ

■機能選択画面

現在の監視状態: 監視停止

現在のセンサー動作状態
センサー 1(外出): 非検知
センサー 2(在宅): 非検知

LEVANCIO-S
センサー監視連動機能コンテンツ

■センサー監視履歴画面

- 2014/01/08 18:12:59
状態変更(外出監視→監視停止)
操作端末: ボタン電話機
- 2014/01/08 18:12:54
外出センサー検知
- 2014/01/08 18:01:27

Note

- 監視履歴情報は最大500件登録されます。500件を超えると、最も古い履歴情報が上書きされます。

センサー検知メールを受信する

センサーが検知されると、自動的に携帯電話等にメールが送信されますので、外出先等でセンサー検知状態を知ることができます。

① 携帯電話等でEメールを開きます。

② 以下の内容を知ることができます。

● センサー検知メール（携帯電話の表示例）

件名：センサー検知しました	
本文：	
センサー検知しました	
時刻:12月13日17時14分32秒	—— センサー検知の時刻
センサー種別:外出監視センサー (センサー 1)	—— 検知したセンサーの内容
・ アクセス先	
電話番号 1: 03XXXX1234	—— アクセス先電話番号
電話番号 1: 03XXXX5678	(ルームモニタ用電話番号など)
連携機器 1: http://WWW.*/01/	—— 連携機器として設定された URL
連携機器 2: http://WWW.*/02/	
監視装置:	
http://WWW.*/SensorSecurity/index.html	
コメント	
センサー検知メールの場合は折り返し 電話&WEBアクセス!	—— 任意コメント

 **Note**

- 短時間にメール送信する事象が複数回発生した場合は、メール受信の遅延発生やメール受信順序が入れ替わる場合があります。
- メール送信事象の正確な発生時刻は、メール本文内に記載された時刻により確認ができます。
- アクセス先電話番号に、ルームモニタ用電話番号が設定されている場合、簡単な操作でルームモニタ用電話番号に発信することができます。(操作は機種に依存します。)

外出監視セット忘れのお知らせメール

外出監視セットを忘れて外出したような場合、外出監視セット忘れ通知時刻に以下のような内容のお知らせメールが送出されます。

① 携帯電話等でEメールを開きます。

② 以下の内容を知ることができます。
●外出監視セット忘れ通知（お知らせメール）

件名：センサー監視のお知らせメール
本文：

センサー監視のお知らせ

時刻：12月11日20時00分10秒

—— センサー監視のお知らせ時刻

お知らせ内容：注意！ 「外出監視」にセットされていません！

—— 検知したセンサーの内容

・アクセス先

携帯機器1: http://WWW.*/01/

携帯機器2: http://WWW.*/02/

—— 携帯機器として設定された URL

監視装置：

http://WWW.*/SensorSecurity/index.html

コメント

—— 任意コメント

検知メールの場合は折り返し電話
&WEBアクセス！

自動発報

センサーが検知されると、あらかじめ設定した連絡先に自動発報され、センサーが動作したことをお知らせする音声メッセージが送出されます。

① 外出先の電話機で着信した自動発報からの呼び出しに応答します。

センサーが動作したことをお知らせするガイダンスが流れます。

Note

- ・自動発報に一定時間応答しなかった場合、発報は中断され指定時間経過後に再度発報が行われます。
- ・自動発報は、あらかじめ設定された回数分繰り返し発信されます。再発報回数分の呼び出しに回答しないと、呼び出しは中止されます。
- ・発信時に空き局線が存在しない場合は、その時点での発信は行われず、指定時間経過後に再発報が行われます。
- ・音声メッセージは、データ設定により、あらかじめ録音した可変メッセージを送出させることもできます。

MEMO

12. 管理者編

システム障害に関して

システムに障害が生じた場合は、主装置のマザーボード（MMBD）上のステータスランプ（LED）に障害コードが表示されます。

また、PCプログラマに警報のログメッセージを出力することができます。

お買い求めの販売店にお問い合わせください。

システムのデータ設定に関して

システムのデータ設定を簡易中継台（SATT）から行うことができます（システムデータ設定）。

お買い求めの販売店にお問い合わせください。

市外発信クラス切り替え／市外発信規制

電話機ごとに外線発信できる範囲を、以下のように規制することができます。

サービスクラス	規制内容
0	規制はありません
1~4	市外発信クラス、外線の市外発信グループで示される規制方法、規制するダイヤル登録によりダイヤル規制をおこないます。規制ダイヤルデータは、最大48桁です。
5	システム短縮ダイヤルのみで発信できます
6	外線発信は全面的に禁止されます。ただし、外線着信には応答できます
7	外線発信、外線着信ともに全面禁止です。ただし、鳴音指定されている外線の着信、および外線自動転送の着信には応答できます



Note

- 市外発信クラスは2種類のモード（モード1、モード2）を設定でき、電話機またはグループ単位で切替えることができます。モードの切替え操作は、システム電話機から行います。詳しくはお買い求めの販売店にお問い合わせください。
- グループ単位でモード2に切替えているときは、グループに所属している電話機のモードを、モード1に切替えることはできません。

番号計画に関して〈フレキシブルナンバリングプラン〉

内線電話番号、機能特番を登録することができます。

- 内線番号（1～4桁）を登録することができます。
お買い求めの販売店にお問い合わせください。

内線グループ分け〈内線テナント〉

各電話機を内線グループに分けることができます。内線テナントグループに分けられた電話機は、同一グループ間での電話機との通話は可能ですが、他グループの電話機との通話はできません。

- 最大32個の独立した内線テナントグループに分けることができます。
- 内線テナント番号「0」に設定された電話機では、すべての内線と通話が可能になります。

内線通話規制

内線の通話を規制することができます。

- 電話機によって内線相互の通話、ホットライン、不在転送、話中転送、未応答転送を規制することができます。ただし、規制されていない電話機とは通話できます。



Note

- 内線通話規制されている電話機間で通話したい場合は、内線通話規制されていない電話機による自動転送、会議通話、その他内線キャンブオン、不在転送、話中転送、未応答転送などで通話することができます。
- 内線通話規制する電話機はデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。設定内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

外線グループ分け

部署ごとに発信できる外線を決めることができます。

- 最大30個に分けた外線グループの中から、使用できる外線グループを決めておくと、内線グループ（部署など）ごとの使用通話料が管理しやすくなります。



Note

- 電話機ごとの外線発信規制は、データ設定により、あらかじめ登録が必要です。登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。
- 外線グループ番号は、最大30となります。

外線応答規制

外線をグループに分け、そのグループに対応した内線電話機に対して、応答を規制することができます。制限の種類はテナントフリー・発信テナント・着信テナント・発着信テナント・完全テナントに分けることができます。

	発信テナント	着信テナント	発着信テナント	完全テナント
着信応答	○	×	×	×
保留応答	○	○	○	×
キャンプオン応答	○	○	○	×
転送	○	○	○	×
秘話解除・応答	○	○	○	×
自端末へのリコール着信応答	○	○	○	○
ページ・イン	○	○	○	×
スライド着信・応答	○	○	○	○

○：応答規制なし ×：応答規制の対象

外線発信規制



Note

- ・外線捕捉の発信規制ができます。内線電話機で発信可能な局線グループを設定することにより、局線グループ単位で外線捕捉の発信規制ができます。詳しくはお買い求めの販売店にお問い合わせください。

通話料金に関する機能

予算オーバー発信規制

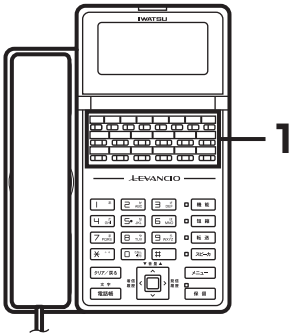
あらかじめ登録したグループ予算額を超えたとき、その内線グループの発信を規制することができます。対象とする電話機をデータ設定により、登録することで規制することができます。

通話料金集計表示

各電話機ごとに前回分、本日分、今月分、先月分の通話料金を表示することができます。
個人単位で通話料金の管理（長時間電話の防止）ができます。

Note

- ディスプレイがない電話機やディスプレイに通話時間、通話料金を表示できない電話機は、システムで電話機の通話料金をカウントすることができます。
- 集計額は本日、今月、先月の場合は最大39,999,999で集計可能であり、これを越えたとしても、39,999,999円のままとなります。また、集計額が前回の場合は、最大99,999円まで集計可能であり、これを越えたとしても99,999円のままとなります。
- 料金の集計は、あらかじめ登録した集計日の集計時刻に行われます。設定の確認や変更は、お買い求めの販売店にご連絡ください。
- 今月分の集計を表示させたときに、すでに本日分の集計が行われていた場合、集計結果に本日分が含まれます。
- 集計日、集計時刻にシステムの電源が切れているときは、料金集計されませんのでご注意ください。
- 料金集計が行われた時点で、それまでの集計結果はクリアされます。



● 前回分の集計方法

1 受話器を置いたまま「通話料金表示（前回分）」ボタン（または「機能」＋「7」「1」ボタン）を押します。

2 直前にかけた1通話分の通話料金が表示されます。

※ 料金表示されている状態で、該当するダイヤルボタンを押すと表示を切替えることができます。

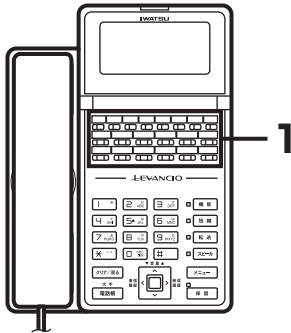
- 前回分 → 「1」ボタン
- 本日分 → 「2」ボタン
- 今月分 → 「3」ボタン
- 先月分 → 「4」ボタン

前回	80円
----	-----

Note

- 「通話料金表示（前回分）」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

通話料金集計表示



●本日分の集計方法

1 受話器を置いたまま「通話料金表示 (本日分)」ボタン (または「機能」+「7」「2」ボタン) を押します。

2 その日の通話ごとの料金集計が表示されます。

※料金表示されている状態で、該当するダイヤルボタンを押すと表示を切替えることができます。

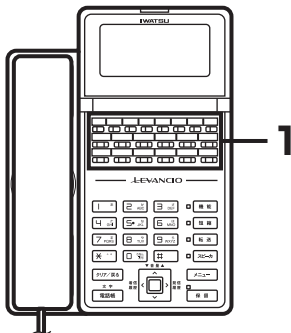
- 前回分 → 「1」ボタン
- 本日分 → 「2」ボタン
- 今月分 → 「3」ボタン
- 先月分 → 「4」ボタン

本日	2480円
----	-------

Note

- 当日0時以降が集計範囲です。
- 「通話料金表示 (本日分)」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

●今月分の集計方法



1 受話器を置いたまま「通話料金表示 (今月分)」ボタン (または「機能」+「7」「3」ボタン) を押します。

2 定時に集計した今月分の通話料金集計が表示されます。

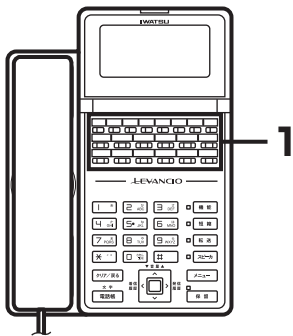
※料金表示されている状態で、該当するダイヤルボタンを押すと表示を切替えることができます。

- 前回分 → 「1」ボタン
- 本日分 → 「2」ボタン
- 今月分 → 「3」ボタン
- 先月分 → 「4」ボタン

今月	23480円
----	--------

Note

- 「通話料金表示 (今月分)」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。
- 今月分の表示には、すでに本日分の集計が行われていた場合、集計結果に本日分が含まれます。



●先月分の集計方法

1 受話器を置いたまま「通話料金表示（先月分）」ボタン（または「機能」＋「7」「4」ボタン）を押します。

2 決められた集計日、集計時刻まで1か月分の通話料金集計が表示されます。

※ 料金表示されている状態で、該当するダイヤルボタンを押すと表示を切替えることができます。

- 前回分 → 「1」ボタン
- 本日分 → 「2」ボタン
- 今月分 → 「3」ボタン
- 先月分 → 「4」ボタン

先月	32840円
----	--------



Note

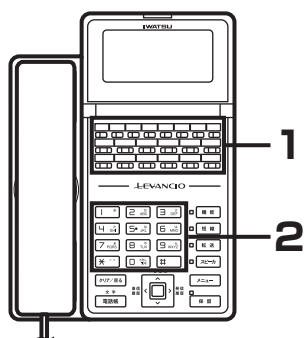
- 「通話料金表示（先月分）」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

通話料金使用率表示

部署ごとなどに通話料金予算額を設定できます。また、それに対する使用率を表示することができます。

Note

- グループ予算を超えたときに、そのグループ内の発信を規制することができます。あらかじめ対象とする電話機を設定する必要があります。



Note

- 「グループ予算」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

● 使用率を表示する

予算額が設定された料金管理グループに所属し、料金表示ができる電話機をご使用ください。

1 「グループ予算」ボタン（または「機能」+「7」「5」ボタン）を押します。

2 グループ番号（001～030）を押します。
※システム電話機以外の電話機では、本手順を省略し、手順（3）を行ってください。

3 通話料金予算額に対する使用率が10秒間表示されます。

グループ番号	使用率
G1	10%
	1000円
	グループ予算額

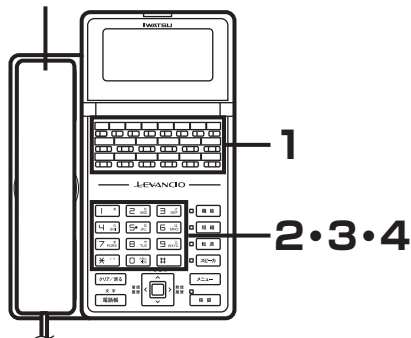
Note

- 通話予算額が0の場合は、使用率は表示されません。
- グループ内の通話料金の集計額がクリアされると、使用率は0%となります。
- 予算超過の場合は、使用率200%まで表示できます。
- 通話料金予算額管理のための内線グループ（部署などの分け方）は、データ設定により、あらかじめ登録が必要です。登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

● 自グループの予算額を設定する

システム電話機より自グループの予算額を設定してください。

1・5



1 システム電話機の受話器を取り上げ「グループ予算」ボタン（または「機能」+「7」「5」ボタン）を押します。

2 グループ番号（001～030）を押します。

3 予算額（100～9999900）を100円単位で入力します。

4 「#」ボタンを押します。
「プップ」 という確認音が聞こえます。

5 システム電話機の受話器を置きます。

Note

- 「グループ予算」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

停電のとき

停電専用ユニット

オプション

- 停電したときは、停電専用ユニットの付いている電話機から外線発信、着信応答することができます。
- 停電になったときは、停電専用ユニットの付いている電話機が自動的に使用できる状態に切り替わります。
 - 外線発信
電話機の受話器を取り上げて、ダイヤルボタンを押して発信します。
 - 着信応答
「プルルルル、プルルルル」という着信音が鳴ったら受話器を取り上げてお話しします。
- 停電が復旧したときは、自動的に多機能電話として使用できる状態に戻ります（ただし、通話中に停電が復旧した場合は受話器を置くまで停電用電話機として通話を継続することができます）。
- 停電したときは、VoIP機能はご利用できません。



Note

- あらかじめ専用ユニットの取り付けが必要です。お買い求めの販売店にお問い合わせください。

停電バッテリーによる運用

停電時は、自動的にバッテリー運転に切替わり、所定時間^{*1}運転が継続されます。

以下の時間内に停電が回復しないときは、バッテリーの出力電圧が低下して主装置の運転が停止します（バッテリー運転時間は、お客様の搭載バッテリーにより異なります）。

	バッテリー運転時間	製品名（品番）
内蔵バッテリー	約6分	• バッテリーパックS
外付けバッテリー ^{*2} （オプション）	約2.5時間	• 外付けバッテリー（蓄電池）（PE12V-7.2F1） • 外付けバッテリーケース（WX-BATTCASE（Li））

※1 システムの運転に必要な電力をバッテリーから供給できる時間です。

※2 外付けバッテリーを使用する場合は、主装置の内蔵バッテリーは不要です。

● 停電時の動作

停電時は、操作パネル上のACランプが消灯します。

- 内蔵バッテリーの出力電圧の低下が検出された時は、自動的にシステム内部でバッテリーが切り離されてシステム全体が停止（運転停止状態）となります。（この場合、システムは強制的に運転停止状態になります。バッテリー運転中に電話機設定などの登録内容を変更していた場合は、変更内容が破棄されてしまいますのでご注意ください。）
- システムが運転停止状態となっているときに、停電状態から通電状態に回復した場合は自動的にシステムの立ち上げとなり、運転状態となります。この時、自動的にバッテリーの充電が再開されます。
- システムが各種登録データのバックアップを行っているときは主制御ユニット（CCSU）上のSAVEランプが点灯します。
- バッテリー運転に切替わると、ボタン電話機は省電力モードに切替わります。省電力モード時、バックライトおよびダイヤルライトは点灯しません。



Note

- バッテリー搭載のないシステムでの停電時は、システムは運転停止となります。
- 停電時は、内蔵バッテリーによるシステム立ち上げはできません。
- 蓄電池（内蔵バッテリー、外付けバッテリー）は約3年に1度の交換（有償）が必要です。交換につきましてはお買い求めの販売店にお問い合わせください。

停電のとき

停電切替えによる運用

停電時に外線（アナログ）が直接、停電用内線電話機に切替えられ、外線の発着信を可能とします。

● 停電時の動作（アナログ回線）

項目		アナログ回線
電話機切替え方法		停電切替ユニットを介して接続することにより、停電時、アナログ回線を自動的に停電電話機に切り替えることができます。
接続可能な電話機		・アナログ回線用停電対応多機能電話機（IX-24KTAPF-N）
通話状態	通常⇒停電	外線との通話は切断されます
	停電⇒通常	全てのお話しは切断されます。ただし、停電自動切替局線ユニットに収容している回線のお話しは保持されます。
停電切替ユニット		・IX-2PFU-Sまたは、IX-6PFU-S お買い求めの販売店にお問い合わせください。

● 停電用の電話機の使い方

電話をかけるときは、受話器を取ってからダイヤルしてください。

電話を受けるときは、受話器を取り上げるとお話しできます。

Note

- ・停電切替可能な回線は、アナログ回線のみでIP回線およびISDN回線を収容することはできません。また、アナログ回線でダイヤルイン、ナンバーディスプレイ回線は、着信通話できません。
- ・バッテリーバックアップ中の動作は、通常の動作が可能です。

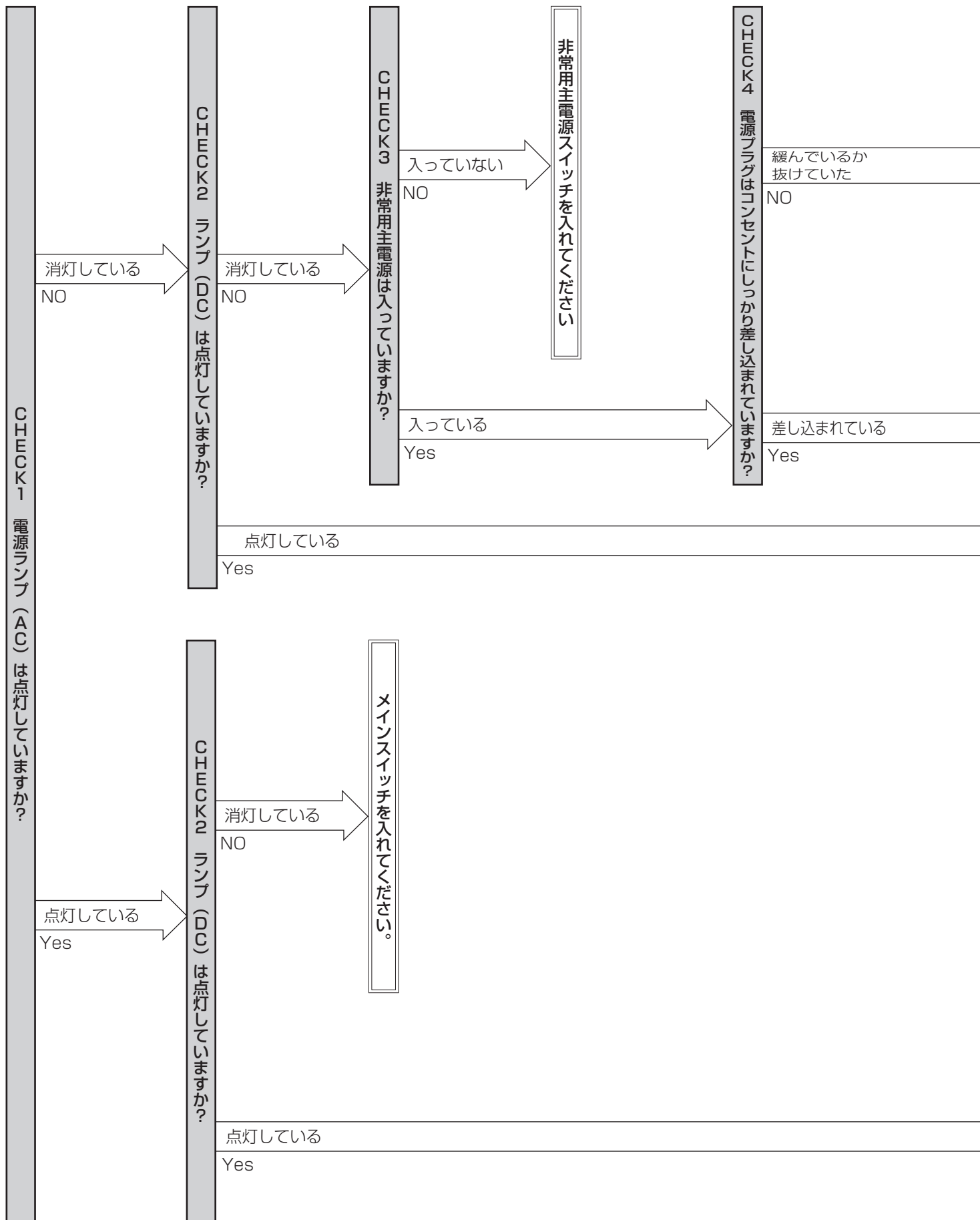
困ったときは

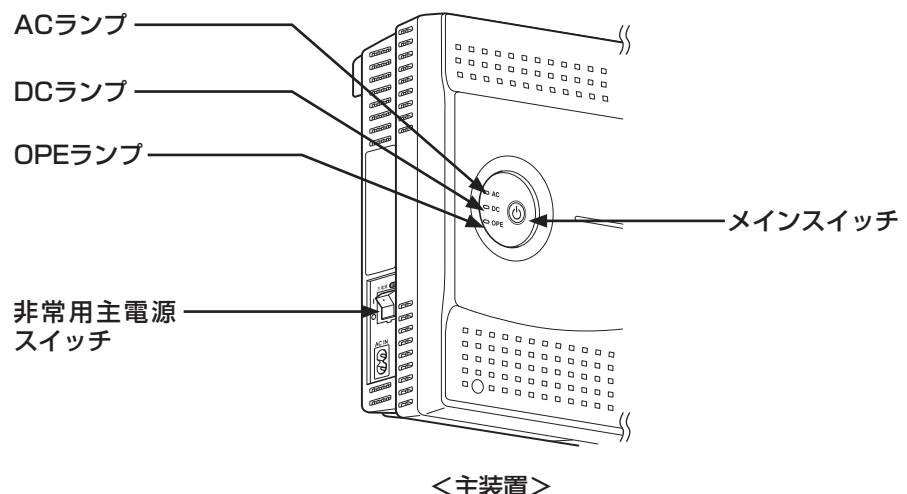
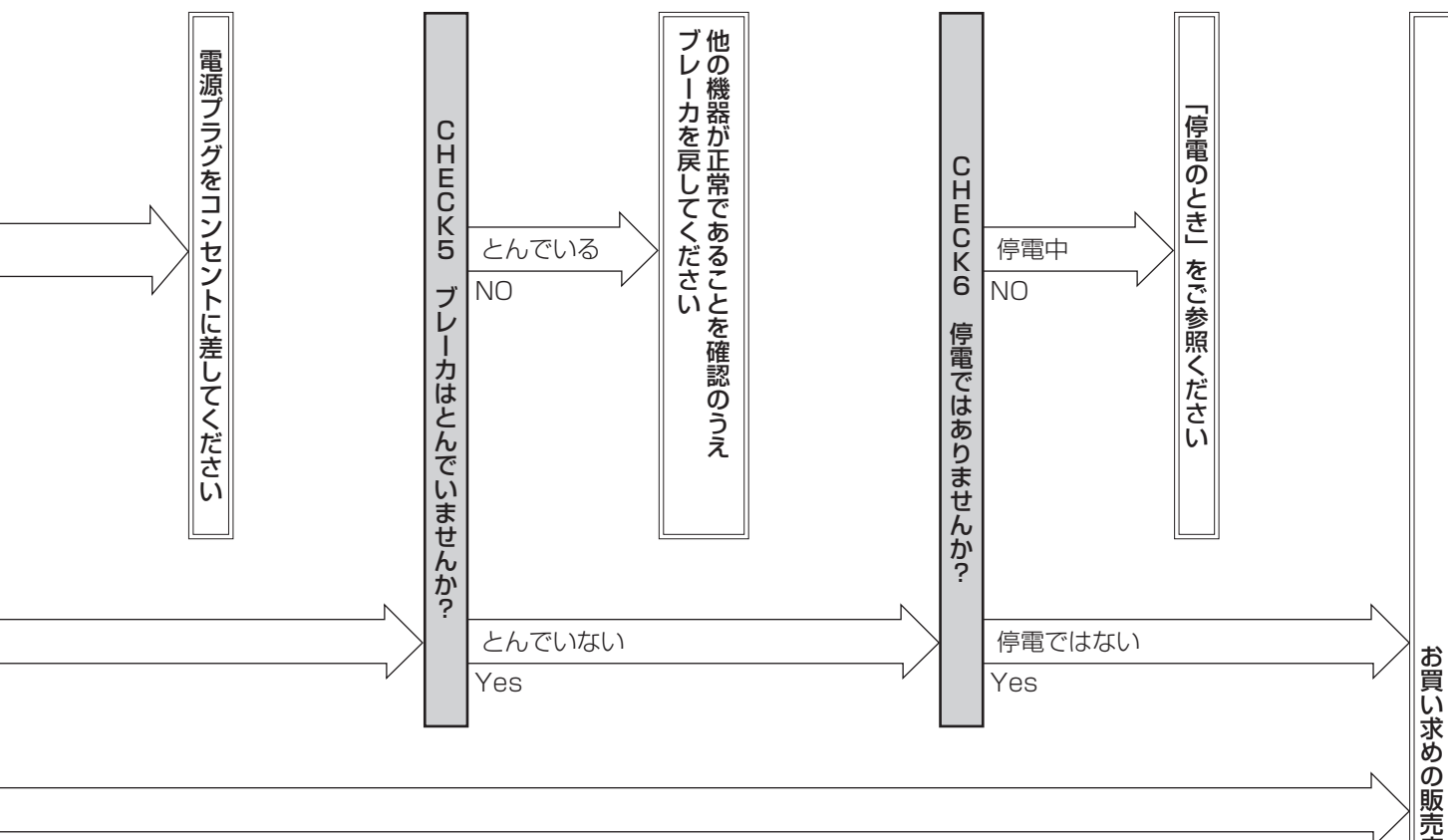
修理をご依頼される前に、もう一度次の点を確認してください。
それでも直らない場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。

こんなときは	ここを確認してください	操作	参照ページ
電話をかけられない 電話を受けられない	各機器間の接続ケーブルが外れていませんか？	モジュージャックを正しく接続してください。	2-2
	ドント・ディスターブ (DND) や、不在転送、フレックスホン(着信転送)、等の自動転送を設定していませんか？	設定を解除すれば、電話を受けられます。	7-53、10-24
着信音が鳴らない	電話機の外線着信音量、内線着信音量がオフになっていませんか？	音量調節をしてください。	3-5
「再発信」ボタンを押してもラストナンバーダイヤルできない	外線が全てお話し中になっていませんか？	外線が空きしだい、再度操作し直してください。	—
保留できない	ハンズフリー応答をしていませんか？	オンフックして着信に応答してください。	4-40、4-41
一斉・グループ呼び出しができない	保留中またはお話中ではありませんか？	保留中またはお話を終えてから操作し直してください。	—
	グループ呼び出し番号を設定していませんか？	取り付け時の設定です。確認してください。	—
システム電話帳などを登録できない	システム電話帳は、システム電話機で操作していますか？	システム電話機以外では登録することはできません。	3-14、2-9
名前が登録できない	登録可能な文字数を超過していませんか？	それぞれの入力可能な文字数を超過すると入力できません。 新規に名前を登録するときや、名前を変更するときは、フックスイッチまたは「クリア」ボタンを押して、文字を消去してから入力してください。	3-14
電話番号が登録できない	登録可能な桁数を超過していませんか？	それぞれの登録可能なケタ数以内で登録してください。 フックスイッチを押して、番号を消去してから入力してください。	3-14
システム電話帳に名前を登録しているのに電話がかかってきても名前表示されない	PBXアクセスダイヤルの後に電話番号が市内局番なしで登録されていませんか？	PBXアクセスダイヤルの後に市内局番から電話番号を登録してください。	—
システム電話帳や個別電話帳に名前を登録したのに、電話帳で名前を検索できない	名前の前にスペースが入っていませんか？	スペースを入れないで登録してください	3-14
システムが使えない	主装置の電源スイッチのランプが点灯していますか？	ランプが消えている場合は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。	—
多機能電話機のLCDに“リコール”と着信表示される	通話を保留のまま放置していませんか？ 通話を転送しようとして転送操作が失敗していませんか？	グループ内代理応答操作を行なう。 1) 受話機を取り上げる 2) 「機能」+「3」「1」ボタンを押す 3) 通話を行う	2-12、7-24

故障！とお考えになる前に

次の診断シートに従って主装置を点検してください。





アフターサービスについて

●この商品には保証書があります。保証期間はご購入の日から1年間です。

保証書は販売店で所定事項を記入してお渡ししますので、記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

なお、以下の記載内容についてご確認ください。

- ・設置されている電話機の台数が記載されていること
- ・ご購入の日が記載されていること
- ・お客様のご住所とお名前が記載されていること
- ・販売店の住所と名前が記載されていること

●保証期間はご購入の日から1年間です。

なお保証期間中でも有料になる場合がありますので、保証書をよくお読みください。

●アフターサービスはご購入の販売店、もしくは工事店が行います。

万一の故障の修理、移動、増設、移設はすべてご購入の販売店、もしくは工事店にご依頼ください。

●保証期間経過後の修理はご購入の販売店、もしくは工事店にご依頼ください。

・補修用部品の保有期間について

本商品の補修用性能部品（商品の性能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後、最低7年間保有しています。保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、ご購入の販売店、もしくは工事店にお問い合わせください。

・電子情報の消去について

お客様または第三者等が本商品のお取り扱いを誤ったとき、本商品のメモリなどが静電気ノイズの影響を受けたとき、また故障修理などのときに、まれに記憶内容が変化および消失することがあります。重要な内容は必ず控えを取っておいてください。記憶内容が変化および消失したことによる損害については、弊社に重大な過失、故意がない限り、弊社は一切その責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

アフターサービスについてご不明な点はおご購入の販売店、もしくは工事店にお問い合わせください。

販売店へのご相談ができない場合には、岩崎通信機お客様相談センターへご相談ください。

＜お客様相談センター：0120-186102＞

索引

<数字・アルファベット>

50音訓検索……………4-11、4-13
ACR……………8-24
BGM……………2-12、2-14、3-13、3-40
DISA……………5-2、5-4、8-2、8-22、8-43
DSS……………7-18、7-45、7-60
Eメールアドレス……………6-4、6-18、6-20
INSボイスワープ……………8-4、8-8、10-31
IPアドレス……………2-12、9-3、9-4
IP電話回線……………4-2、4-3、7-3、7-5
IP電話サービス……………8-2、9-2、9-3
ISDN……………8-2、8-11
ISDN回線……………1-2、4-2、4-3、5-2、7-3、
7-5、8-3、8-11、8-17、8-28、9-3、10-3、
10-19
i・ナンバー……………5-3、8-12
i・ナンバーサービス……………8-4、8-12

<あ行>

アクセス番号……………6-9、6-47、6-48、8-23、
10-3、10-4、10-16、10-19、10-28
アナウンス……………5-45、6-44、6-50、6-53、6-75、
8-8、8-9、8-10
アナログ回線……………1-2、1-3、5-2、7-4、8-11、
8-18
暗証番号……………6-5、6-38、6-40、6-57、6-79
案内サービス……………2-12、8-43、8-49、10-2
一斉呼び出し……………2-14、2-15、5-2、5-5、7-16、
8-22、10-7
一般着信……………5-2、5-3、5-6、5-12、5-15、
5-21、5-24、5-30、5-32、5-34
インターネット……………9-3
インターネット電話帳……………9-3
応答専用メッセージ……………6-4、6-58
応答特番……………10-2、10-12、10-13、10-14、
10-15、10-17、10-18
応答メッセージ……………6-4、6-6、6-44、6-58、
6-59、6-61、6-63、8-43
応答メッセージ選択……………2-10、6-6
オートリピートダイヤル……………2-15、4-9、4-10
オーバーライド……………7-19、10-10
お知らせ音……………3-9、3-10
オフフックトランクキューイング……………8-39
音訓検索……………4-11、4-13
音声案内……………2-12、2-16、8-43
音声案内録音……………2-16、8-43、8-44、8-45、
8-46、8-47、8-48、8-49
音声呼び出し……………4-35、4-41、7-16、7-17、
10-6
音量調整……………2-11、3-5
音量ボタン……………1-5、2-3

<か行>

カーソル……………2-3、3-31、3-34
会議……………7-55、7-73
会議通話……………2-14、3-35、7-46、7-48、7-50、
7-51、10-17
外線アクセス番号……………6-9、8-23
外線グループ……………12-5
外線グループアクセス番号……………6-9、8-23、10-19
外線グループ番号……………7-3、8-42、12-5
外線グループ分け……………12-5
外線応答グループ……………7-27、11-5
外線自動応答……………8-43
外線転送……………5-2
外線発信……………7-2、8-23、10-3、12-3
外線発信音……………3-9
外線発信規制……………12-5、12-6
外線発信グループ……………3-18
外線ハンズフリー通話……………7-11
外線予約……………2-12、2-14、7-8、7-10
外部スピーカ……………3-13、7-16、10-7、10-13、
11-14、11-15
可変メッセージ……………5-45、8-43、8-45、8-46、
8-48
キータッチトーン……………3-3
規制……………7-61、10-27、12-3、12-5、12-6、
12-10
機能特番……………10-2、12-4
機能ボタン……………1-5、2-3、2-5、2-12、3-4
キャンセル特番……………10-2、10-21、10-23、
10-24、10-25、10-26、10-27
キャンプオン……………4-46、4-47、4-49、4-51、
4-53、7-33
共通応答メッセージ……………6-58、6-63
共通保留……………4-45、4-46、4-50
クリアコール……………4-38、10-9
グループアクセス番号……………10-19
グループ外代理応答……………2-12、2-15、10-2
グループ検索……………4-11、4-15
グループ短縮ダイヤル……………3-19、4-7、10-20、
10-22
グループ内代理応答……………2-12、2-15、7-24、
10-2、10-12
グループパーク保留……………2-14、7-28、10-18
グループ予算……………2-12、2-15、12-10
グループ呼び出し……………7-15、8-22、10-7
グループ留守番……………6-44
グループ留守番スケジュール……………6-22
グループ留守番録音……………6-44
グループ分け……………12-4、12-5
警告音……………3-9、8-43
検索モード……………4-11
検索モード切り替え操作……………3-26、4-12
コールパークピックアップ……………2-12、2-15、7-31

索引

コールバック7-7、7-9、7-20、10-2
コールバック特番10-2、10-25
固定メッセージ5-45、8-44
個別代理応答2-12、2-14
個別短縮2-14
個別短縮ダイヤル2-14、3-19、4-7、10-20、
10-22
個別短縮番号7-13、10-19
個別着信5-4
個別電話帳3-14
個別パーク保留2-15、7-28、7-32、10-18
個別ボックス2-10、6-4、6-5
個別留守番電話6-6
個別留守番録音6-46、6-48、6-49
今月分2-12、2-15、12-8

<さ行>

再生パスワード2-10、6-4、6-5、6-38、
6-57、6-79
再発信2-15、2-17
索線2-14
索線ダイヤルイン2-16、7-2、8-17
サブアドレス8-3
サブアドレス通知5-3、5-4、8-3
時刻3-35
時刻調整3-2
自己保留4-44、4-50、7-28
自ボックス6-2、6-3、6-70
システム短縮ダイヤル3-19、4-7、10-20、
10-22、12-3
システム電話機1-5、2-9
自動応答4-40、4-44、7-23
自動消去6-13、6-14
自動転送4-46、4-48、4-51、5-2、5-5、
5-6、7-33、7-45
自動発信7-13
シフトコール4-38、10-9
手動転送2-16、5-5、5-46、10-17
消去除外ボックス2-10、6-4
消去対象属性条件2-10
使用率2-12、2-15、12-10
ショートフラッシュ2-12、2-15、8-6、8-7、
10-2
所属ボックス2-10、6-5
スケジュール2-10、6-22、6-31、6-37
スピーカ音量2-3、2-11、3-5、3-6
スライド着信6-50、8-38、12-6
セーブナンバリダイヤル2-12、2-15、7-56
設定パスワード2-10、6-4、6-5、6-40
先月分2-12、2-15、12-9
送信先Eメールアドレス6-4、6-18、6-20
即時転送5-2

即時転送モード5-39、5-43、6-3、6-47、
6-48、7-35、7-39、7-41

<た行>

タイム6-23、6-26
タイムコール2-12、2-15、7-65
タイムドランクキューイング2-12、2-15、
7-6、7-7
ダイヤルイン2-16、5-3、7-2、7-60、8-5
ダイヤルイングループボタン8-17
ダイヤルインサービス8-4、8-13
ダイヤルイン着信5-2
ダイヤルイン転送5-16、5-30
ダイヤルイン転送登録5-8、5-13
ダイヤルイン番号8-4
ダイヤルインボタン7-2、7-60、8-28
ダイヤルトーン3-9
ダイヤルリバース2-12、2-15、3-33、7-4
代理応答2-17、7-24
ダイレクト短縮8-9、8-19、8-20、8-21
単一方式5-43、5-44、6-48、7-41、10-20
短縮2-15
短縮ダイヤル3-14、4-7、7-2、10-4、10-19
短縮発信特番10-4、10-20、10-22
短縮番号3-14
短縮番号検索4-11、4-16
短縮番号登録特番10-2、10-19
単独電話機1-2、1-3、10-2
着信応答12-6
着信音2-11、3-3
着信拒否8-30
着信拒否中3-9
着信転送8-5
着信ランプ2-3、2-5
着信履歴4-27、4-29
着信履歴ボタン1-5、3-23、4-21、4-25、
4-27、4-29
着信履歴リスト3-23、4-21、4-25
着番号毎転送5-2、5-3、5-8、5-13、5-19、
5-22、5-26、5-30、5-32、5-34
通話料金12-7
通話料金表示2-12、12-7、12-8、12-9、
12-10
通話録音2-15、6-2、6-70
通話録音中6-3
通話録音ボタン6-2、6-3
ディスプレイ1-3、2-3、2-9、2-12
停電1-3、12-11
デジタルコードレス1-2、1-3
テナント12-4、12-6
伝言6-52、6-55、6-56、6-57、6-64、
6-66、6-69、6-77

伝言録音……………6-69、6-80、10-2、10-30
 伝言録音ボタン……………6-2、6-3
 転送グループ番号……………3-19
 転送先登録……………5-2
 転送先ボックス番号……………5-34、5-35
 転送先ボックス……………5-15、5-16、5-17、5-18、
 5-19、5-20
 転送ダイヤル……………5-42、5-44、7-37、7-38、
 7-43
 転送電話……………2-14、5-2、5-30、5-32、5-45
 転送電話グループ……………5-15、5-18
 転送電話登録ボタン……………5-2、5-6、5-12、5-24
 転送特番……………10-2、10-20、10-22
 転送ボックス……………5-34、5-35
 転送保留……………4-46
 転送モード……………5-2、5-39、5-43、6-3、6-47、
 6-48、7-35、7-39、7-41、10-20、10-22
 転送モード切り替え特番……………10-20、10-22
 電話機パスワード……………2-12、2-15、7-61、10-27
 電話帳……………3-14、4-11
 電話帳グループ……………3-14、3-18、3-28
 電話帳グループ検索……………4-11
 電話帳登録……………3-15、3-22、3-23
 ドアホン……………1-2、1-3、10-28、11-8、11-10
 動作モード……………6-16、6-52
 同報ボックス……………6-4、6-5、6-42、6-80
 同報ボックスボタン……………6-2
 同報録音……………6-80
 トーン……………4-35、10-6
 特定日……………6-31
 特定日設定……………6-31、6-34
 特番……………10-2
 トランクキューイング……………2-12、2-14、7-8、
 7-10、10-2
 ドント・ディスターブ……………2-15、7-53、10-24
 ドントディスターブボタン……………7-53
 ドント・ディスターブ特番……………10-24

＜な行＞

内線会議通話……………7-51
 内線キャンブオン……………7-34
 内線グループ短縮ダイヤル……………3-19、4-7、10-20、
 10-22
 内線グループ分け……………12-4
 内線コールバック……………2-12、2-14
 内線番号……………2-9、2-14、4-36
 内線保留……………4-43、10-15
 ナンバー・ディスプレイ……………8-4、8-11
 入力モード……………3-30、3-34

＜は行＞

パーク応答……………2-12、2-15、10-18
 パークオービット番号……………7-29、10-18
 パーク保留……………4-50、7-28、10-18
 パスワード……………2-15、6-4
 パスワード変更……………2-10、6-4
 発信音……………3-9
 発信規制……………12-3、12-6
 発信グループ……………3-14、3-18
 発信者番号毎転送……………5-2、5-4、5-10、5-14、
 5-18、5-23、5-31
 発信者番号転送……………5-20、5-28
 発信者番号非通知……………8-3、8-29
 発信履歴……………3-22、4-20、4-22、4-23、4-24
 発信履歴ボタン……………1-5、2-3、3-22、4-20、
 4-22、4-23、4-24
 発信履歴リスト……………3-22、4-20、4-22、4-23、
 4-24
 バッテリー……………12-11
 発番号転送登録ボタン……………5-2、5-10、5-14、5-28
 発番号転送ボタン……………5-2、5-17、5-20、5-23、
 5-31
 発報時刻……………6-4、6-11
 ハンズフリー応答……………4-41
 ハンズフリー通話……………4-40、7-11、7-12
 秘書応答……………7-25、10-2
 秘書応答ボタン……………7-25、7-26
 非通知着信拒否……………8-29
 非通知着信拒否ボタン……………8-29
 秘話解除……………2-12、2-15、7-73、12-6
 秘話解除／会議ボタン……………7-52、7-73
 秘話解除ボタン……………7-47、7-52
 ファックス……………1-2、1-3
 付加サービス……………5-2、8-3、8-4、8-11
 不在……………3-35
 不在転送……………2-10、2-14、2-17、5-2、5-4、
 5-36、5-43、5-45
 不在転送設定……………2-10、5-38
 不在転送ボタン……………5-44、6-2、6-3、6-48、
 6-49、7-35、7-37、7-38、7-39、7-40、
 7-41、7-43、7-44
 不在転送モード……………5-36、5-39、5-43、6-46、
 6-48
 不在転送ルート……………5-39、5-42、6-46
 不在メッセージ……………2-14、3-37
 フッキング……………10-2
 フックスイッチ……………2-3、10-2
 ブッシュ……………2-12、2-15
 ブッシュ信号……………7-4
 ブッシュホン……………8-22
 プライムステーション……………8-37
 フレキシブルボタン……………1-5、2-13、2-14、2-17
 フレックスホンサービス……………8-4

索引

ページンググループ……………2-14
ページンググループボタン……………7-15
ページング呼び出し……………8-22、11-14
ページング呼び出し特番……………8-22、10-7
ヘッドセット……………11-2、11-7
ヘッドセットコントロールボタン……………11-2、11-3、
11-4、11-5、11-6、11-7
ヘルプ表示……………2-11、3-40
ボイスメール……………6-2、6-44
ボイスワープ……………5-2、8-4、8-8、10-31
ポーズ……………3-33
ポーズ時間……………3-33
ボックス種別……………6-6
ボックス番号……………5-3、5-4
保留……………4-42、4-43
保留応答特番……………10-2、10-14、10-15、10-17
保留音……………3-9、3-12、3-13
保留外線自動応答……………2-15、4-44
保留警報……………3-10、4-50
保留警報機能……………4-42、4-44、10-14
保留ボタン……………2-3、4-42、4-43、4-45、4-46、
4-52
本日分……………2-12、2-15、12-8

<ま行>

マイク……………2-3、2-12、2-15、2-17、4-40、
4-41
マイクボタン……………2-17、4-40
ミーティング・ミーティング……………2-12、2-15、10-2、10-13、
11-15
ミーティング・ミーティング特番……………10-2、10-13
未応答転送……………3-35、5-2、10-20、10-22
未応答転送モード……………5-39、5-43、6-47、6-48、
7-35、7-39、7-41、10-20、10-22
迷惑電話……………2-16、8-18、8-19、8-29
迷惑電話おことわりサービス……………8-18、8-21
迷惑電話番号リスト……………8-30
迷惑電話防止……………2-16、8-29
メインメニュー……………3-3
メール設定……………2-10
メッセージウェイト……………7-67
メッセージウェイト特番……………10-2、10-9、10-26
メッセージ自動消去……………2-10、6-4、6-13
メッセージ番号……………6-58、8-45、8-46、8-48、
8-49
メニュー……………2-10
メニューボタン……………2-3、2-10、6-4
メモダイヤル……………2-12、2-15、7-58
モーニングコール……………2-12、2-15、3-10、7-63、
8-43
モーニングコールサービス……………7-63、8-43
モーニングコール特番……………10-2
文字入力……………3-30、3-31

索引-4

モニタ……………3-35、6-8、6-51
モニタ動作……………2-10、6-4

<や行>

夜間切り替え……………8-41
夜間切替ボタン……………8-41
夜間モード……………8-41、8-42
優先内線着信……………3-11
予告音……………3-11
予算……………12-6、12-10
予算額……………2-12、2-15、12-6
読み仮名検索……………4-11、4-12
呼び返し……………7-20、10-13
呼出音……………3-9

<ら行>

ラストナンバリダイヤル……………2-15、4-5、10-4
ラストナンバリダイヤル特番……………10-2、10-4
リモート……………6-64、6-69
リモート特番……………5-34、10-2
料金表示……………2-12、3-36、12-7
リレー……………2-15、11-12、11-13
リレーコントロール……………2-15、11-12、11-13
ルート順番号……………10-22、10-23
ルート番号……………5-39、5-42、7-35、7-37、7-38
ルート方式……………5-36、6-46
留守番……………2-10
留守番機能……………6-22、6-44
留守番グループ……………6-23、6-29
留守番スケジュール……………2-10、6-22、6-31、6-37
留守番設定……………2-10、6-4
留守番電話……………6-4、6-46、6-67
留守番ボタン……………6-2、6-3
留守番録音……………6-44、6-46
留守録応答メッセージ……………6-6
留守録自動発報……………2-10、6-4、6-9、6-10、6-11
留守録モニタ……………2-10、6-8
留守録モニタ動作……………2-10、6-4、6-8
留守録モニタボタン……………6-2、6-3、6-51
録音……………2-15、2-16
録音お知らせメール……………6-16、6-18、6-20、
6-82、6-83
録音先ボックス……………6-70、6-71、6-72、6-73
録音内容……………6-70、6-72、6-75
録音内容再生……………6-53、6-64
ロングフラッシュ……………2-12、2-15、3-33、4-4、
4-36、10-2

<わ行>

話中音	3-9
話中転送	10-20、10-22
話中・未応答転送	3-35、5-2、5-39、5-43、 6-47、6-48、7-35、7-39、7-41
話中・未応答転送モード	5-39、5-43、6-47、 6-48、7-35、7-39、7-41
ワンタッチ	1-5、2-14、4-4、4-36、7-18、 7-27

このたびはLEVANCIO-Sをお買い求めいただき、まことにありがとうございます。ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになった後も本製品のそばなど、いつもお手元に置いてお使いください。

ご不明の点がございましたら、岩崎通信機お客様相談センターへお気軽にご相談ください。

〈お客様相談センター：☎ 0120-186102〉

お客様メモ

お買い求めになった年月日、店名等をご記入ください。
修理を依頼される時やお問い合わせの時に大変便利です。

設置年月日	年	月	日
設置店名			
住所			
電話番号			